

令和2年度 保育園サービス第三者評価事業

報告書

令和3年3月

杉並区

はじめに

保育園サービス第三者評価は、第三者が保育園の提供しているサービスの質の評価を行い、同時に、評価結果をホームページによって公表することを通じて保育園の取り組みを広く利用者や関係者へ情報提供を行うことによって保育園の提供するサービス質の向上に向けた取り組みを促すものである。

■評価対象：杉並区立の以下の8保育園を対象としている。

保育園名	事業内容		
	定員	保育対象年齢	その他実施事業
1 杉並区立和泉保育園	70	1～5歳	延長保育
2 杉並区立永福南保育園	107	0～5歳	延長保育、障害児保育
3 杉並区立大宮保育園	92	0～5歳	延長保育
4 杉並区立大宮前保育園	72	1～5歳	延長保育
5 杉並区立上萩保育園	106	0～5歳	延長保育、障害児保育
6 杉並区立上高井戸保育園（公設民営）	80	1～5歳	延長保育
7 杉並区立高井戸保育園（公設民営）	95	0～5歳	延長保育
8 杉並区立堀ノ内東保育園（公設民営）	96	0～5歳	延長保育
合計	718（人）		

※資料は杉並区ホームページ（平成27年12月21日）

■評価機関：株式会社 日本生活介護

（東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号：機構 02-015）

■評価者：担当した評価者（終了番号）

H0602010、H1001062、H1201031、H1601008、H1801054、H1071024、
H0403001、H1201029、H1401069、H1601082、H0302053、H1901058

■評価の流れ

内容	時期・期間
1. 関係者説明会	令和2年7月
2. 職員説明会、職員自己評価票配布、利用者調査票配布	令和2年8月
3. 職員自己評価票回収日	令和2年8月～9月
4. 利用者調査票回収日	令和2年8月～9月
5. 調査報告書作成日	令和2年9月～11月
6. 訪問調査実施日	令和2年10月～11月
7. 事業評価結果報告日	令和2年11月～12月

目次

第一部 利用者調査.....	1
1. 利用者調査の概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の対象者.....	1
(3) 調査方法.....	1
(4) 調査期間.....	1
(5) 利用者調査票の配布・回収状況.....	1
2. 全体の調査結果.....	2
(1) 各項目の集計結果.....	2
(2) 総合的な満足度.....	5
(3) 回答者属性.....	5
(4) 総合的な満足度に関するクロス集計結果.....	10
(5) 質問別記述記入分類・整理.....	13
3. 満足度構造分析.....	14
(1) 分析方法.....	14
(2) 被説明変数.....	14
(3) 説明変数.....	14
(4) 分析結果.....	15
(5) 満足度構造分析結果.....	16
4. 各保育園の利用者調査結果.....	17
第二部 事業評価.....	67
1. 評価の概要.....	68
(1) 評価の目的.....	68
(2) 評点のつけ方.....	68
(3) 訪問調査とフィードバック.....	69
2. 各保育園の評価結果報告書.....	71
巻末 付属資料.....	263

第一部 利用者調査

1. 利用者調査の概要

(1) 調査の目的

杉並区立保育園を利用している保護者が、園が提供する保育サービスに対して感じていること、また、意見や要望について把握することを目的とした。

(2) 調査の対象者

8 保育園の利用者（保護者帯）世帯を対象とした。複数の子どもが利用している場合は、年齢の一番低い子どもを回答の対象とした。

(3) 調査方法

無記名のアンケート方式で実施した。調査票は保育園から保護者に直接配布し、返信用封筒を使用して直接評価機関へ郵送する方法で回収を行った。

(4) 調査期間

令和 2 年 8 月 3 日～令和 2 年 8 月 31 日

(5) 利用者調査票の配布・回収状況

8 園の回収率は 67.1% から 86.8% で、平均有効回収率は 74.5% である。

保育園名	利用者		
	調査対象者数	有効回答者数	回答率
1 和泉保育園	60	47	78.3%
2 永福南保育園	86	63	73.3%
3 大宮保育園	66	50	75.8%
4 大宮前保育園	73	49	67.1%
5 上萩保育園	100	80	80.0%
6 上高井戸保育園	68	59	86.8%
7 高井戸保育園	82	62	75.6%
8 堀ノ内東保育園	83	57	68.7%
合計	618 (人)	467 (人)	74.5%

2. 全体の調査結果

(1) 各項目の集計結果

「はい」の回答が多い項目は、多い順に、

問1「園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っているか」(100%)

問2「園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっているか」(96%)

問3「園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっているか」(94%)

問10「職員の言葉遣いや態度、服装などが適切か」(94%)

問9「園内は清潔で整理された空間になっているか」(92%)

問11「お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できるか」(91%)

問13「職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれているか」(90%)

となっている

「はい」の回答が少ない項目は、少ない順に

問7「行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされているか」(64%)

問12「子ども同士のいさかやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できるか」(74%)

問5「急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれているか」(75%)

であり、以外は「はい」の回答は、80%台となっている。

また、「いいえ」の回答が多い項目は、

問17「あなたが困ったときに、職員以外の人にも相談できることをわかりやすく伝えてくれたか」(12%)であった。

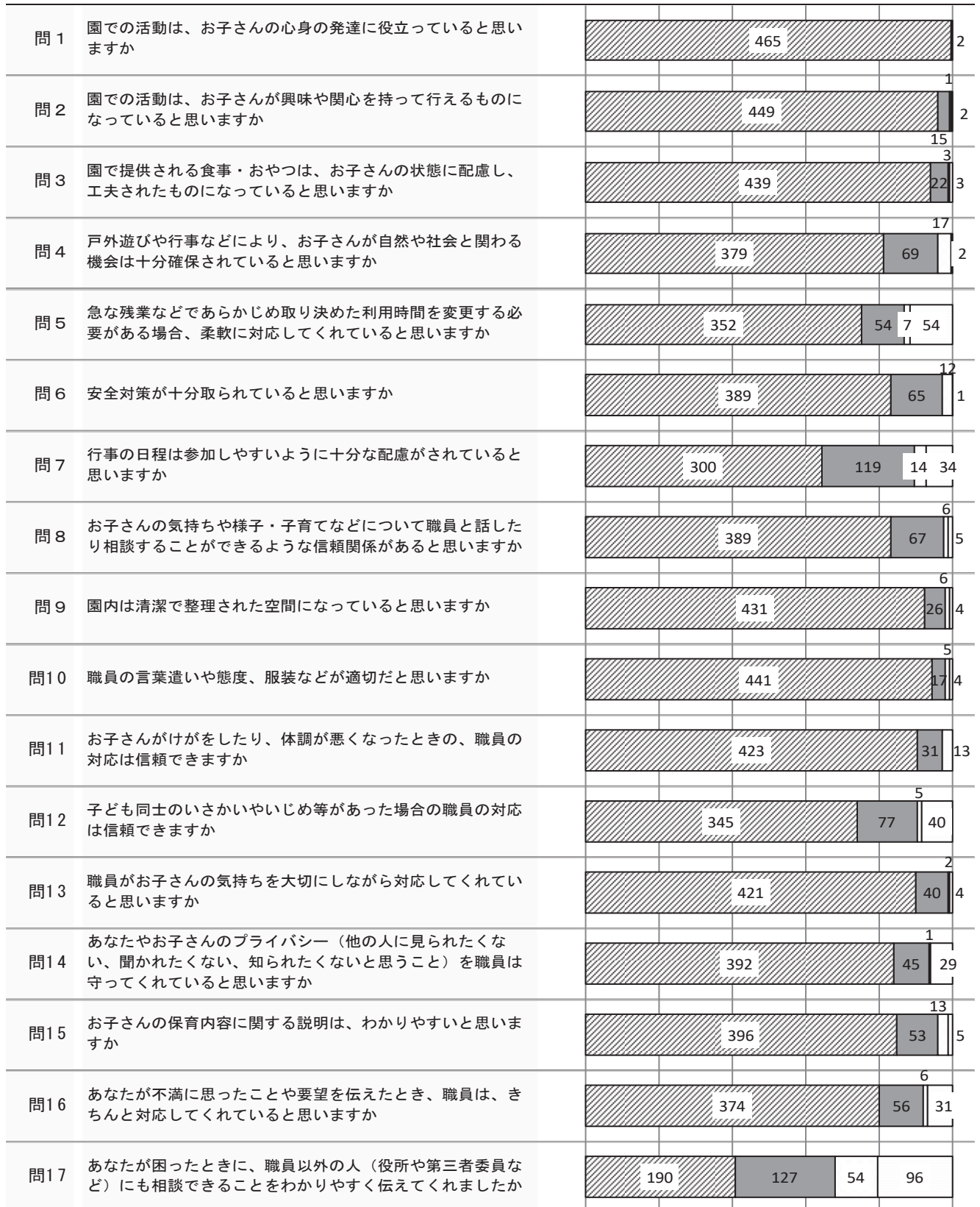
		実数				%			
		ど いち えら なと はい	い い も	非 無 回 答・	い え	ど いち えら なと はい	い い も	非 無 回 答・	い え
問1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	465	2	0	0	100%	0%	0%	0%
問2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	449	15	1	2	96%	3%	0%	0%
問3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	439	22	3	3	94%	5%	1%	1%
問4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	379	69	17	2	81%	15%	4%	0%
問5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	352	54	7	54	75%	12%	1%	12%
問6	安全対策が十分取られていると思いますか	389	65	12	1	83%	14%	3%	0%
問7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	300	119	14	34	64%	25%	3%	7%
問8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	389	67	6	5	83%	14%	1%	1%
問9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	431	26	6	4	92%	6%	1%	1%
問10	職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	441	17	5	4	94%	4%	1%	1%
問11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	423	31	0	13	91%	7%	0%	3%
問12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	345	77	5	40	74%	16%	1%	9%
問13	職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	421	40	2	4	90%	9%	0%	1%
問14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	392	45	1	29	84%	10%	0%	6%
問15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	396	53	13	5	85%	11%	3%	1%
問16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたと、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	374	56	6	31	80%	12%	1%	7%
問17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	190	127	54	96	41%	27%	12%	21%

「実数」… 実際に答えた人の数

「%」… それぞれの実数が有効回答者数に占める割合

☑はい ☐どちらともいえない ☐いいえ ☐非該当・無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%



※数値は有効回答者数に対する割合

(2) 総合的な満足度

総合的な満足度は、「大変満足」の回答は54.8%、「満足」の回答は37.9%であり、両者を合わせると92.3%なり、ほとんどの保護者が満足と回答している。「不満」「大変不満」の回答は両者合わせても、1%に満たない。

総合的な満足度

	回答者数	回答者の割合
大変満足	256	54.8%
満足	177	37.9%
どちらともいえない	22	4.8%
不満	3	0.6%
大変不満	1	0.2%
無回答	8	1.7%
	467 (人)	100.0%

(3) 回答者属性

調査票の記入者467人のうち79.7%が母親となっている。

回答者の年齢構成では、35～40歳未満が39.2%、40～50歳未満が35.5%と全体の75.7%を占める。一方、30歳未満は4.3%となっている。

勤務形態では、父親の85.7%、母親の82.0%が常勤（フルタイム）となっている。なお、次に多い勤務形態は、父親では自営業（7.7%）、母親ではパート・アルバイト（6.6%）であった。

子どもの通うクラスでは、ほぼ定員に沿った回答となっている。回答は複数回答で539人であり、74名、15.8%の保護者が複数の子どもで利用している。

調査の記入者属性

	回答者数	回答者の割合
1 父	38	8.1%
2 母	372	79.7%
3 父母一緒に	45	9.6%
4 その他	0	0.0%
5 無回答	12	2.6%
合計	467 (人)	100.0%

記入者の年齢

	回答者数	回答者の割合
1 20歳未満	0	0.0%
2 20歳～25歳未満	2	0.4%
3 25歳～30歳未満	18	3.9%
4 30歳～35歳未満	82	17.6%
5 35歳～40歳未満	183	39.2%
6 40歳～50歳未満	166	35.5%
7 50歳以上	3	0.6%
8 無回答	13	2.8%
合 計	467 (人)	100.0%

保護者の勤務形態（父）

	回答者数	回答者の割合
1 常勤（フルタイム）	400	85.7%
2 パート・アルバイト	3	0.6%
3 自営業	36	7.7%
4 無職	2	0.4%
5 その他	5	1.1%
6 無回答	21	4.5%
合 計	467 (人)	100.0%

保護者の勤務形態（母）

	回答者数	回答者の割合
1 常勤（フルタイム）	383	82.0%
2 パート・アルバイト	31	6.6%
3 自営業	21	4.5%
4 無職	2	0.4%
5 その他	18	3.9%
6 無回答	12	2.6%
合 計	467 (人)	100.0%

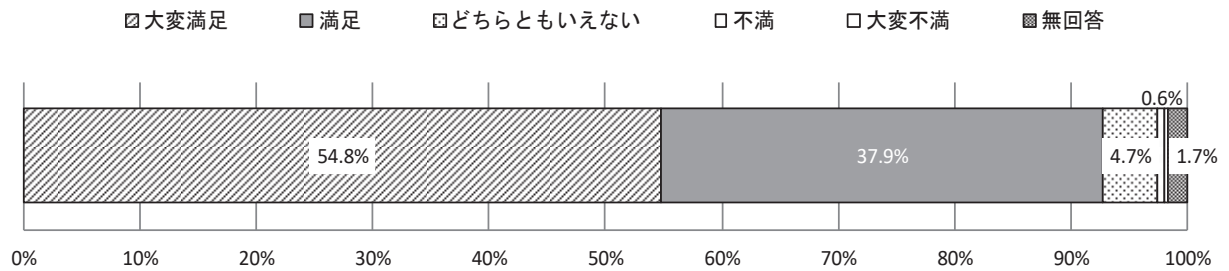
保護者の勤務形態（その他）

	回答者数	回答者の割合
1 常勤（フルタイム）	23	4.9%
2 パート・アルバイト	7	1.5%
3 自営業	3	0.6%
4 無職	8	1.7%
5 その他	3	0.6%
6 無回答	423	90.6%
合計	467（人）	100.0%

子どもの通うクラス（複数回答）

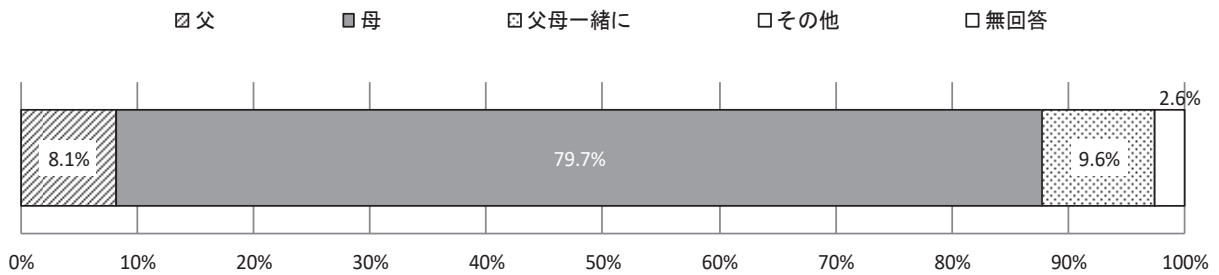
		回答者数	回答者の割合
1	0歳児クラス	41	7.6%
2	1歳児クラス	86	16.0%
3	2歳児クラス	89	16.5%
4	3歳児クラス	98	18.2%
5	4歳児クラス	105	19.5%
6	5歳児クラス	101	18.7%
7	無回答	19	3.5%
		539（人）	100.0%

●総合的な感想



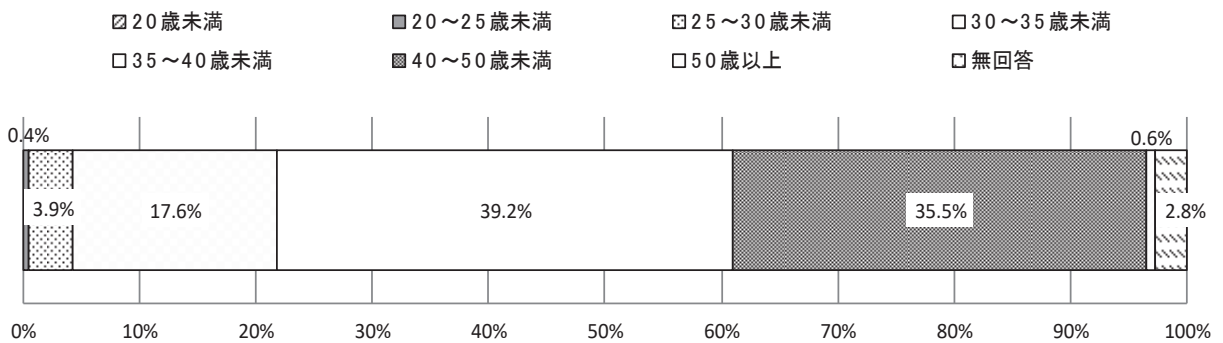
大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
256	177	22	3	1	8

F 1. 調査票記入者



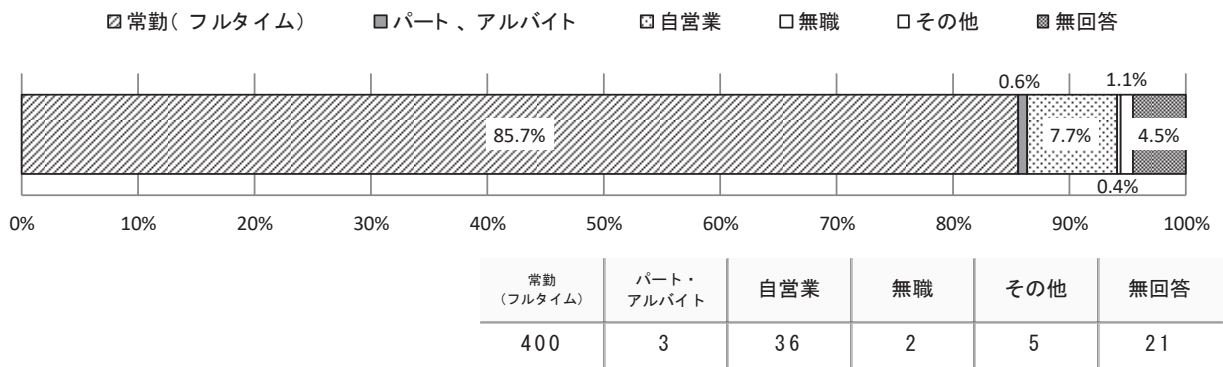
父	母	父母一緒に	その他	無回答
38	372	45	0	12

F 2. 記入者の年齢

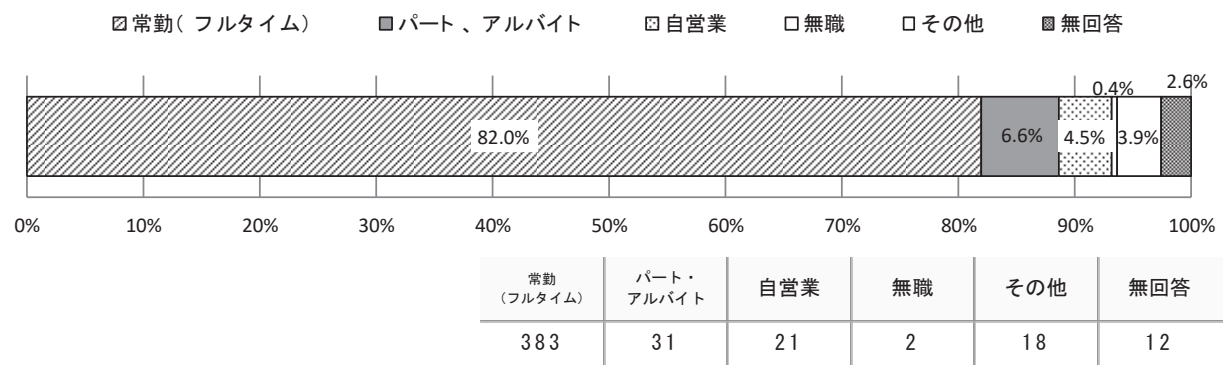


20歳未満	20~25歳未満	25~30歳未満	30~35歳未満	35~40歳未満	40~50歳未満	50歳以上	無回答
0	2	18	82	183	166	3	13

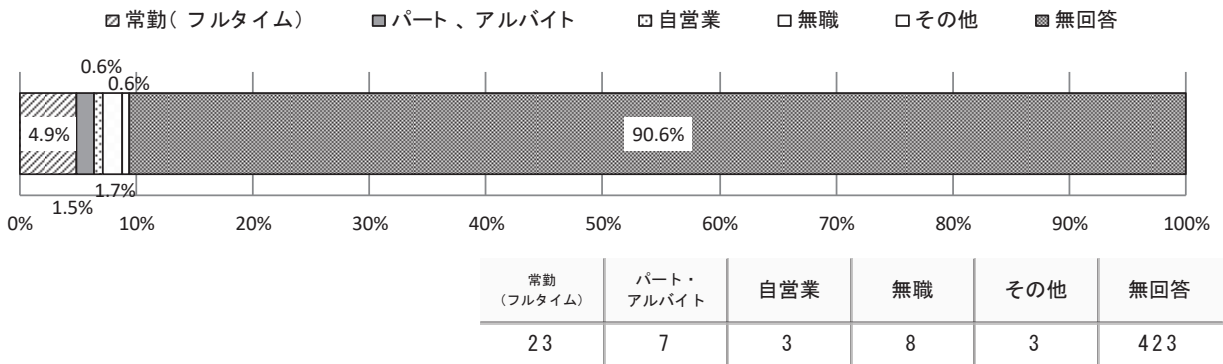
F 3. 保護者の勤務形態【父】



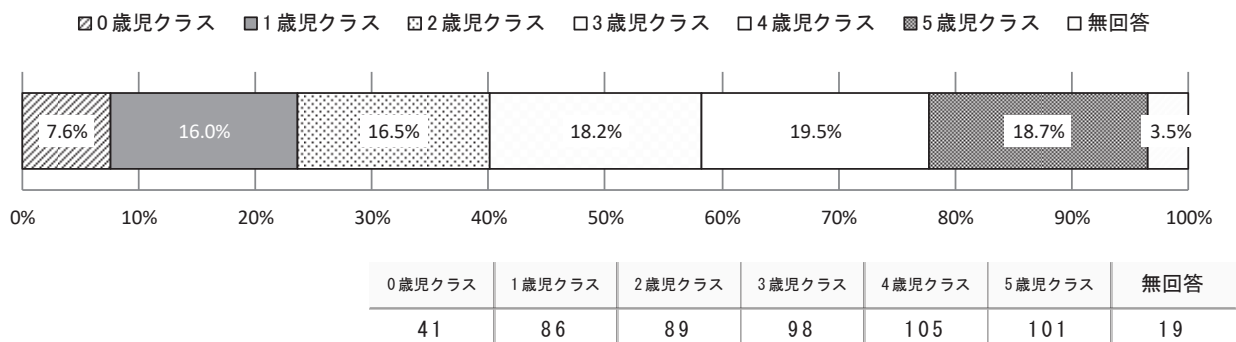
F 3. 保護者の勤務形態【母】



F 3. 保護者の勤務形態【その他の保護者】



F 4. お子さんが通うクラス(複数回答)



(4) 総合的な満足度に関するクロス集計結果

総合的な満足度は、父親では、「大変満足」「満足」との回答が96.5%であり、母親では、「大変満足」「満足」との回答が93.8%と、高い満足度を示している。

一方、「不満」「大変不満」との回答は、父親は0%、母親は0.8%と極めて少なかった。

年齢別では、「大変満足」「満足」については、年齢にかかわらず高い評価をとっており、「不満」「大変不満」との回答はほとんど見られない。

勤務形態においても「大変満足」「満足」について大きな差異は見られない。

① 調査記入者と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
父	回答者数(人)	38	22	14	2	0	0	0
	回答率	100%	57.9%	36.8%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
母	回答者数(人)	372	212	137	13	2	1	7
	回答率	100%	57.0%	36.8%	3.5%	0.5%	0.3%	1.9%
父母	回答者数(人)	45	16	22	5	1	0	1
	回答率	100%	35.6%	48.9%	11.1%	2.2%	0.0%	2.2%
その他	回答者数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	回答率	0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	12	6	4	2	0	0	0
	回答率	100%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
全体	回答者数(人)	467	256	177	22	3	1	8
	回答率	100.0%	54.8%	37.9%	4.7%	0.6%	0.2%	1.7%

② 調査票記入者の年齢と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
20歳未満	回答者数(人)	0	0	0	0	0	0	0
	回答率	0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～25歳未満	回答者数(人)	2	1	1	0	0	0	0
	回答率	100%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25～30歳未満	回答者数(人)	18	9	7	2	0	0	0
	回答率	100%	50.0%	38.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
30～35歳未満	回答者数(人)	82	43	32	6	0	0	1
	回答率	100%	52.4%	39.0%	7.3%	0.0%	0.0%	1.2%
35～40歳未満	回答者数(人)	183	106	65	5	2	0	5
	回答率	100%	57.9%	35.5%	2.7%	1.1%	0.0%	2.7%

		合計	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
40～50歳未満	回答者数(人)	166	89	67	7	0	1	2
	回答率	100%	53.6%	40.4%	4.2%	0.0%	0.6%	1.2%
50歳以上	回答者数(人)	3	2	1	0	0	0	0
	回答率	100%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	13	6	4	2	1	0	0
	回答率	100%	46.2%	30.8%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%
全体	回答者数(人)	467	256	177	22	3	1	8
	回答率	100%	54.8%	37.9%	4.7%	0.6%	0.2%	1.7%

③-1 父親の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計

		合計	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
常勤(フルタイム)	回答者数(人)	400	216	160	14	2	1	7
	回答率	100%	54.0%	40.0%	3.5%	0.5%	0.3%	1.8%
パート・アルバイト	回答者数(人)	3	1	1	1	0	0	0
	回答率	100%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
自営	回答者数(人)	36	23	10	2	0	0	1
	回答率	100%	63.9%	27.8%	5.6%	0.0%	0.0%	2.8%
無職	回答者数(人)	2	1	0	1	0	0	0
	回答率	100%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数(人)	5	4	0	1	0	0	0
	回答率	100%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	21	11	6	3	1	0	0
	回答率	100%	52.4%	28.6%	14.3%	4.8%	0.0%	0.0%
全体	回答者数(人)	467	256	177	22	3	1	8
	回答率	100%	54.8%	37.9%	4.7%	0.6%	0.2%	1.7%

③-2 母親の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計

		合計	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数(人)	383	200	152	19	3	1	8
	回答率	100%	52.2%	39.7%	5.0%	0.8%	0.3%	2.1%
パート・アルバイト	回答者数(人)	31	19	11	1	0	0	0
	回答率	100%	61.3%	35.5%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
自営	回答者数(人)	21	19	2	0	0	0	0
	回答率	100%	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	回答者数(人)	2	1	1	0	0	0	0
	回答率	100%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数(人)	18	10	7	1	0	0	0
	回答率	100%	55.6%	38.9%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	12	7	4	1	0	0	0
	回答率	100%	58.3%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
全体	回答者数(人)	467	256	177	22	3	1	8
	回答率	100%	54.8%	37.9%	4.7%	0.6%	0.2%	1.7%

③-3 その他の迎えに行く人の勤務形態と現在利用の保育園の総合満足度のクロス集計

		合計	大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数(人)	23	12	10	1	0	0	0
	回答率	100%	52.2%	43.5%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
パート・アルバイト	回答者数(人)	7	3	4	0	0	0	0
	回答率	100%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営	回答者数(人)	3	1	2	0	0	0	0
	回答率	100%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	回答者数(人)	8	5	2	1	0	0	0
	回答率	100%	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数(人)	3	1	1	1	0	0	0
	回答率	100%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	423	234	158	19	3	1	8
	回答率	100%	55.3%	37.4%	4.5%	0.7%	0.2%	1.9%
全体	回答者数(人)	467	256	177	22	3	1	8
	回答率	100%	54.8%	37.9%	4.7%	0.6%	0.2%	1.7%

(5) 質問別記述記入分類・整理

調査票の質問別記述欄に寄せられた意見を、内容によって分類すると、次の通りとなる。

大分類	中分類		件数	内 容
サービスの提供	1	心身の発達に役立つ活動	98	友達との関わり、遊びの幅の広がり、集団生活と社会性、温かい環境、言葉、様々な体験、教育的プログラムへの要望、コロナ禍による活動制限
	2	興味や関心を持って行える活動	77	活動プログラム、歌やダンス、様々な体験、行事やイベントの多様性、食育、保育者の工夫やアイデア、コーナー、コロナ禍による活動制限
	3	提供する食事・おやつへの配慮	108	献立、献立の工夫、食事の量、アレルギー対応、食材への配慮、好き嫌い、栄養士、食事の見本の展示、コロナの影響、栄養バランス、行事食
	4	身近な自然や社会との関わり	131	頻度や場所、自然との関わり、コロナ下での工夫、熱中症や事故への配慮
	5	保育時間の変更への柔軟な対応	73	登園・降園時間、延長保育・保育者への柔軟な対応、保育者の態度と気兼ね
	6	安全対策	79	安全対策、園や周辺環境、蚊、避難訓練、入口の安全、細かい気配り、看護師の存在、施設の老朽化、交通安全
	7	保護者に配慮した行事日程の設定	115	行事や保護者会への参加しやすさ、日程の連絡、父母会、コロナ禍による制限、オンラインの活用
	8	家庭と保育所の信頼関係	95	送迎時の園での生活の連絡、子育ての悩みや要望に対する相談、相談事への対応、日々の連絡、声掛け、連絡ノート、保育士の態度
安心・快適性	9	施設内の清掃、整理整頓	66	園内の清掃、整理整頓、清潔感、トイレ・食事スペース、おもちゃの除菌
	10	職員の接遇・態度	41	言葉遣いや態度、雰囲気、挨拶、保育士・園の対応
	11	保健・衛生（病気、ケガ、健康）	54	発熱時への対応、与薬・けがへの対応・健康管理や病気予防、看護師の対応
	12	子ども同士のトラブルへの対応	9	トラブルへの対応の的確さ、喧嘩やいさかいへの対応
利用者個人の尊重	13	子どもの気持ちの尊重	64	子どもの考えや思いの受け止め、安心・信頼
	14	子どもと保護者のプライバシー保護	19	プライバシーの保護・気配り
	15	保育内容に関する説明の分かり易さ	79	活動目標や支援内容、保護者会、連絡帳・日誌・掲示板、デジタル化、コロナ禍による制限
不満・要望への対応	16	利用者の要望・不満への対応	42	言いやすい雰囲気、聞く姿勢、要望や不満への対応の的確さ、保育士同士の連携
	17	外部の苦情窓口の周知	9	第三者委員、入園時の説明、知らなかった

3. 満足度構造分析

(1) 分析方法

利用者調査の項目は全部で17項目であり、その中でも、特に総合的な満足度に影響を与えている項目は何かを明らかにするために、回帰分析の手法を使って分析を行った。

分析にあたっては下記のような手続きを行った。

(2) 被説明変数

被説明変数は「総合的な感想」とし、下記の変数処理を行った。

「大変満足」=5、「満足」=4、「どちらともいえない」=3、「不満」=2、「大変不満」=1
無回答は欠損値とした。

(3) 説明変数

説明変数は問1～問17の各設問とし、下記の変数処理を行った。「はい」=1、それ以外の「どちらともいえない」「いいえ」「非該当」=0

無回答は欠損値とした。

(4) 分析結果

「総合的な満足度」に関する回帰分析

		回帰係数	標準偏差	有意確率 (P 値)
問 1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	2.92	0.60	1.33E-06
問 2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	1.07	0.20	1.98E-07
問 3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	0.17	0.17	0.30
問 4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	0.43	0.10	1.45E-05
問 5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	0.46	0.09	3.3E-07
問 6	安全対策が十分取られていると思いますか	0.54	0.10	2.93E-07
問 7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	0.47	0.08	1.33E-08
問 8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	0.83	0.10	7.91E-16
問 9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	0.98	0.14	1.38E-11
問 10	職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	1.54	0.16	3.08E-20
問 11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	0.85	0.13	1.54E-10
問 12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	0.49	0.09	3.8E-08
問 13	職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	1.18	0.12	3.35E-20
問 14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	0.60	0.10	1.77E-08
問 15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	0.84	0.10	9.35E-15
問 16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	0.77	0.09	1.7E-15
問 17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	0.45	0.08	1.15E-18

※「問 3」以外のすべての問いについて有意確率は<0.05 であり、統計的に有意ことが示されている。

(5) 満足度構造分析結果

総合的な満足度に影響を与えている項目は、以下の設問であった。

問1「園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っているか」(2.92)

問10「職員の言葉遣いや態度、服装が適切か」(1.54)

問13「職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれているか」(1.18)

問2「園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっているか」(1.07)

問9「園内は清潔で整理された空間になっているか」(0.98)

問11「お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できるか」(0.85)

問15「お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思うか」(0.84)

問8「お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思うか」(0.83)

の順であった。

総合的な満足度に、比較的影響を与えていない項目は、以下の設問であった。

問4「戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思うか」(0.43)

問5「急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれているか」(0.46)

問6「安全対策が十分取られているか」(0.54)

問7「行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされているか」(0.47)

問12「子ども同士のいさかやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できるか」(0.49)

問14「あなたやお子さんのプライバシーを職員は守ってくれている」(0.60)

問16「あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれているか」(0.77)

問17「あなたが困ったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることをわかりやすく伝えてくれたか」(0.45)

※問3「園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっているか」の設問については、統計的に有意でなかったため、検討の対象外とした。

4. 各保育園の利用者調査結果

(1) 和泉保育園	19
(2) 永福南保育園	25
(3) 大宮保育園	31
(4) 大宮前保育園	37
(5) 上荻保育園	43
(6) 上高井戸保育園	49
(7) 高井戸保育園	55
(8) 堀ノ内東保育園	61

(1) 和泉保育園

調査対象者数	60 世帯
有効回答者数	47 名
回答率	78%
調査方法	郵送によるアンケート調査

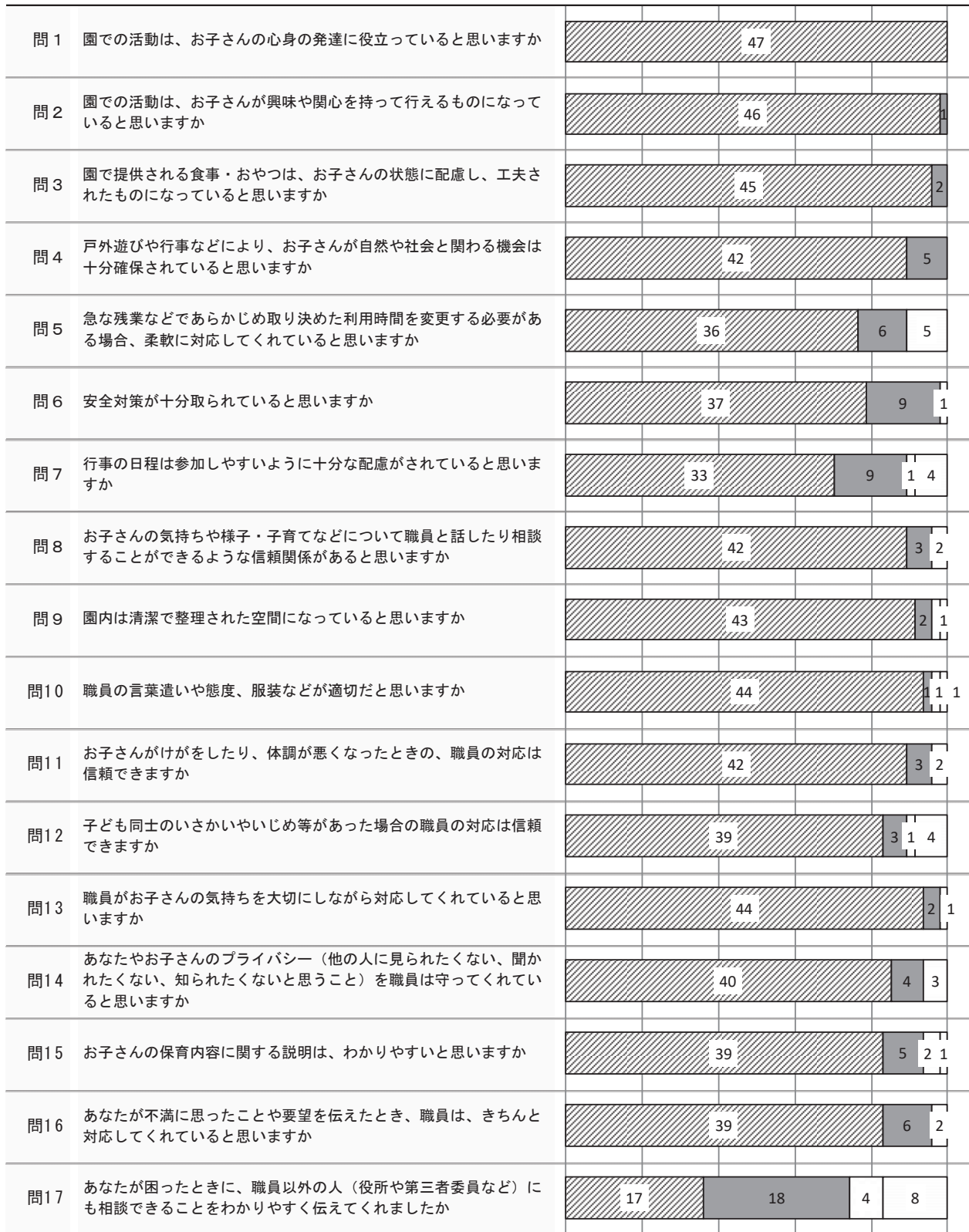
		実数				%			
		ど いち えら は い	い な い も	非 無 回 答 ・	該 回 答 ・	ど いち えら は い	い な い も	非 無 回 答 ・	該 回 答 ・
問1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	47	0	0	0	100%	0%	0%	0%
問2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	46	1	0	0	98%	2%	0%	0%
問3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	45	2	0	0	96%	4%	0%	0%
問4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	42	5	0	0	89%	11%	0%	0%
問5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	36	6	0	5	77%	13%	0%	11%
問6	安全対策が十分取られていると思いますか	37	9	1	0	79%	19%	2%	0%
問7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	33	9	1	4	70%	19%	2%	9%
問8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	42	3	0	2	89%	6%	0%	4%
問9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	43	2	1	1	91%	4%	2%	2%
問10	職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	44	1	1	1	94%	2%	2%	2%
問11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	42	3	0	2	89%	6%	0%	4%
問12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	39	3	1	4	83%	6%	2%	9%
問13	職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	44	2	0	1	94%	4%	0%	2%
問14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	40	4	0	3	85%	9%	0%	6%
問15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	39	5	2	1	83%	11%	4%	2%
問16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	39	6	0	2	83%	13%	0%	4%
問17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	17	18	4	8	36%	38%	9%	17%

「実数」 … 実際に答えた人の数

「%」 … それぞれの実数が有効回答者数に占める割合

☑ はい ■ どちらともいえない □ いいえ □ 非該当・無回答

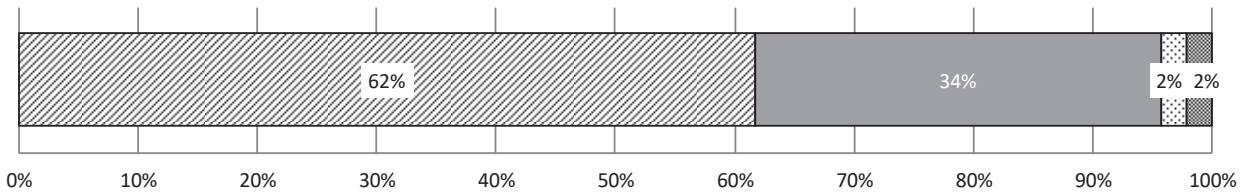
0% 20% 40% 60% 80% 100%



※数値は有効回答者数に対する割合

●総合的な感想

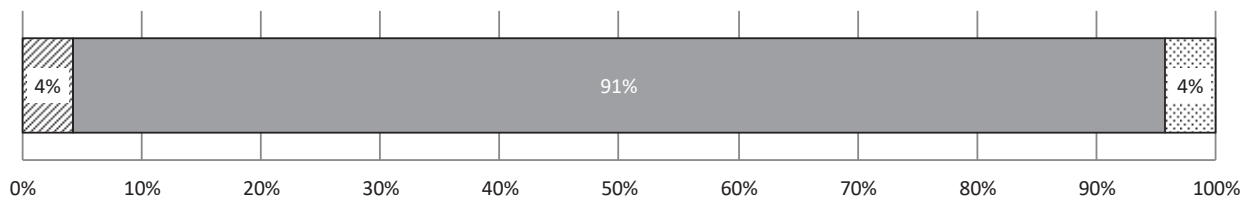
大変満足
 満足
 どちらともいえない
 不満
 大変不満
 無回答



大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
29	16	1	0	0	1

F1. 調査票記入者

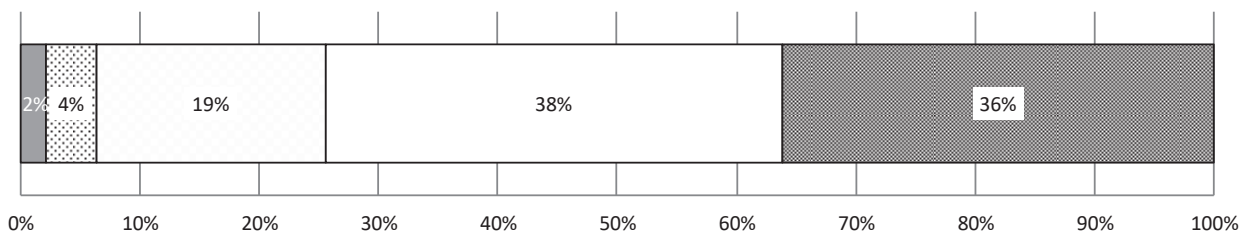
父
 母
 父母一緒に
 その他
 無回答



父	母	父母一緒に	その他	無回答
2	43	2	0	0

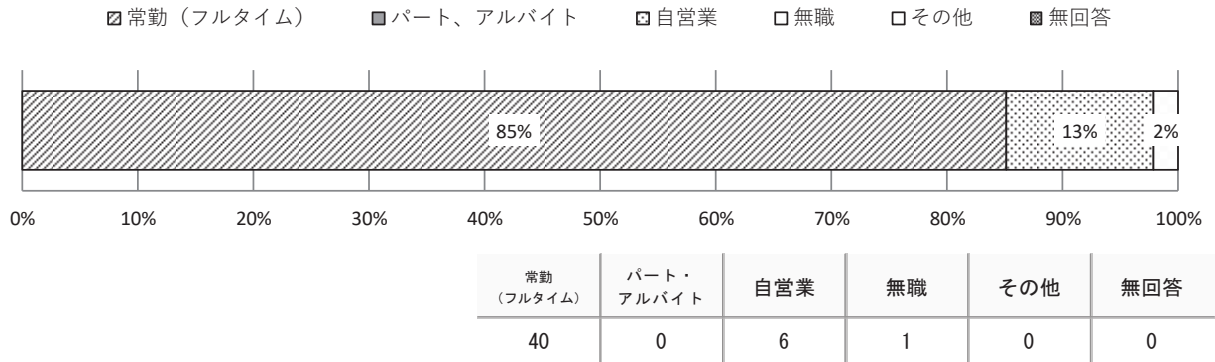
F2. 記入者の年齢

20歳未満
 20～25歳未満
 25～30歳未満
 30～35歳未満
 35～40歳未満
 40～50歳未満
 50歳以上
 無回答

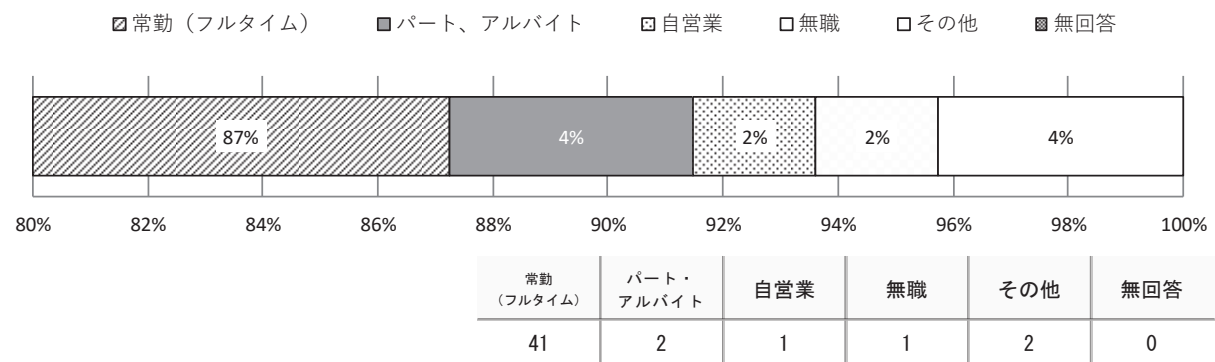


20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～50歳未満	50歳以上	無回答
0	1	2	9	18	17	0	0

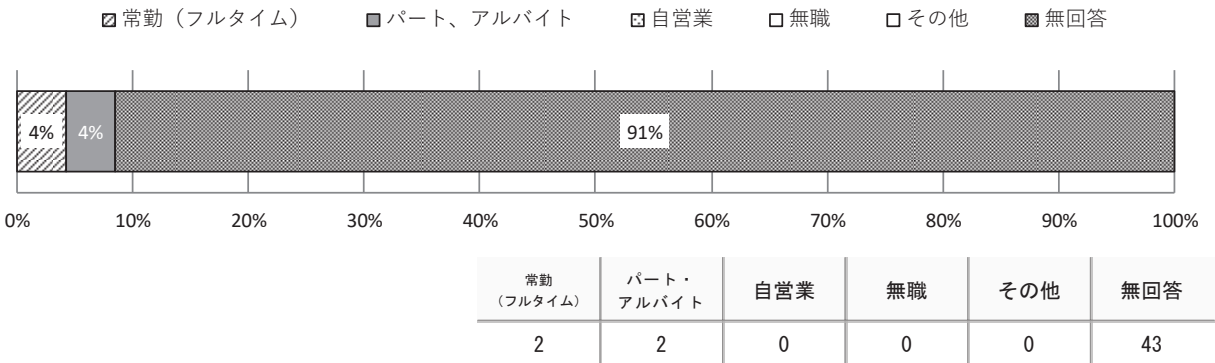
F 3. 保護者の勤務形態【父】



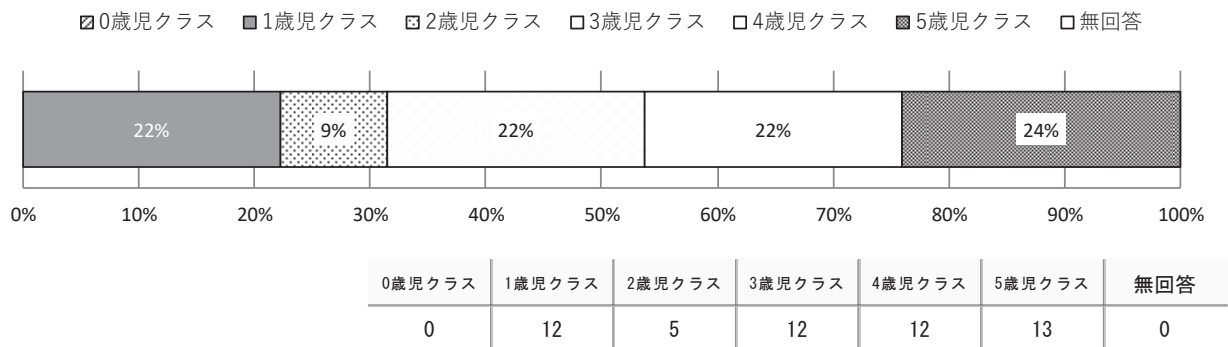
F 3. 保護者の勤務形態【母】



F 3. 保護者の勤務形態【その他の保護者】



F 4. お子さんが通うクラス（複数回答）



(2) 永福南保育園

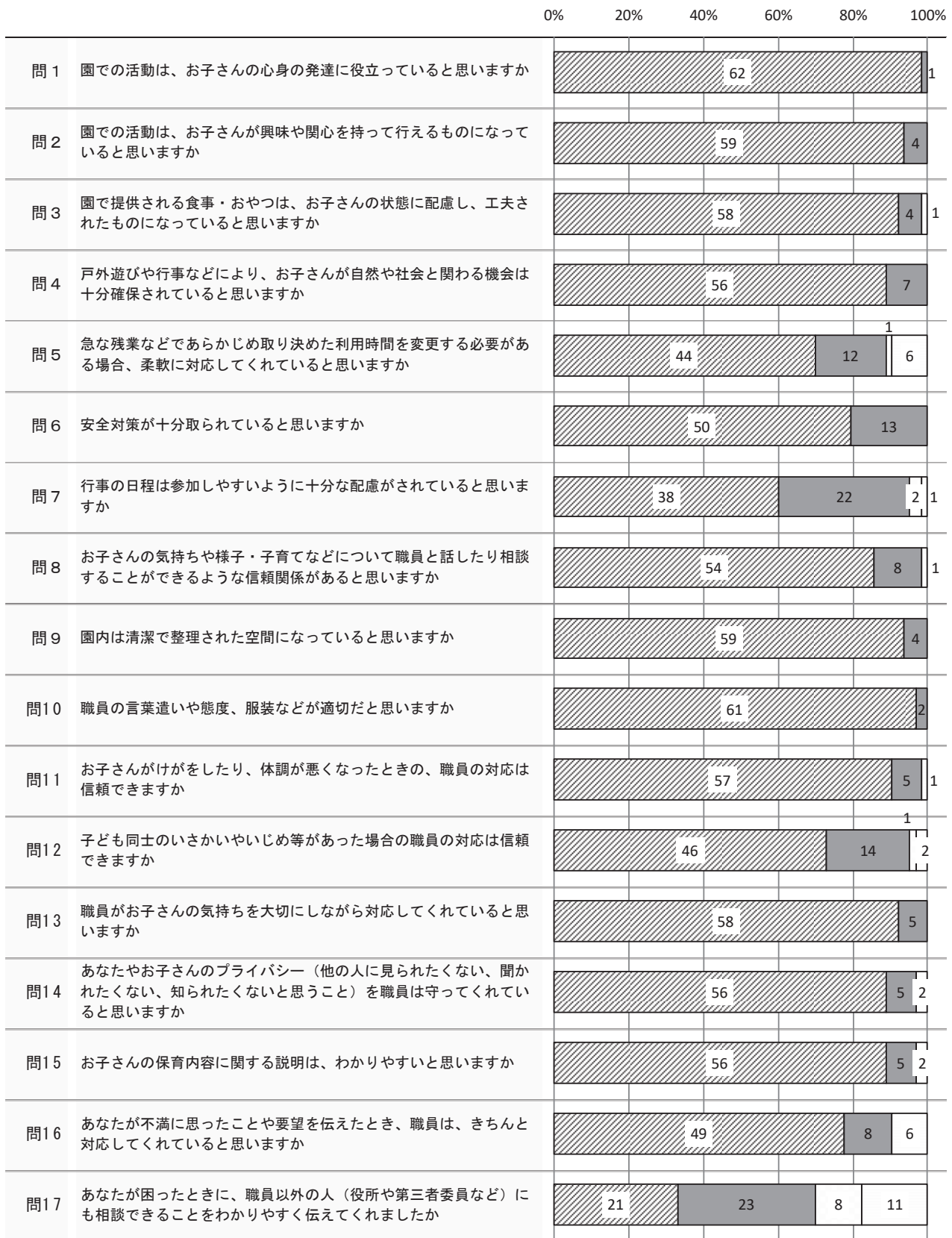
調査対象者数	86 世帯
有効回答者数	63 名
回答率	73%
調査方法	郵送によるアンケート調査

		実数				%			
		ど い ち え ら な い も は い	い え い え	非 無 該 回 答 ・	0	ど い ち え ら い え	は い	い え	非 無 該 回 答 ・
問1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	62	1	0	0	98%	2%	0%	0%
問2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	59	4	0	0	94%	6%	0%	0%
問3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	58	4	1	0	92%	6%	2%	0%
問4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	56	7	0	0	89%	11%	0%	0%
問5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	44	12	1	6	70%	19%	2%	10%
問6	安全対策が十分取られていると思いますか	50	13	0	0	79%	21%	0%	0%
問7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	38	22	2	1	60%	35%	3%	2%
問8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	54	8	1	0	86%	13%	2%	0%
問9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	59	4	0	0	94%	6%	0%	0%
問10	職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	61	2	0	0	97%	3%	0%	0%
問11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	57	5	0	1	90%	8%	0%	2%
問12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	46	14	1	2	73%	22%	2%	3%
問13	職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	58	5	0	0	92%	8%	0%	0%
問14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	56	5	0	2	89%	8%	0%	3%
問15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	56	5	2	0	89%	8%	3%	0%
問16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	49	8	0	6	78%	13%	0%	10%
問17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	21	23	8	11	33%	37%	13%	17%

「実数」 … 実際に答えた人の数

「%」 … それぞれの実数が有効回答者数に占める割合

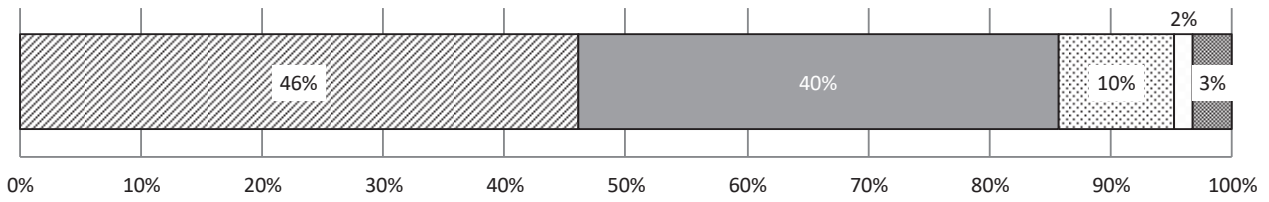
☑ はい ■ どちらともいえない □ いいえ □ 非該当・無回答



※数値は有効回答者数に対する割合

●総合的な感想

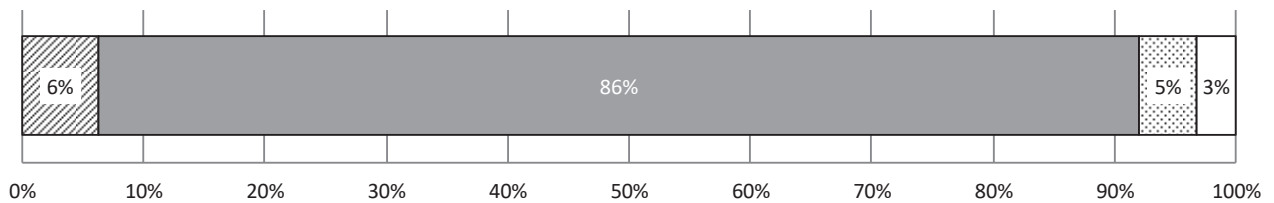
大変満足
 満足
 どちらともいえない
 不満
 大変不満
 無回答



大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
29	25	6	1	0	2

F 1. 調査票記入者

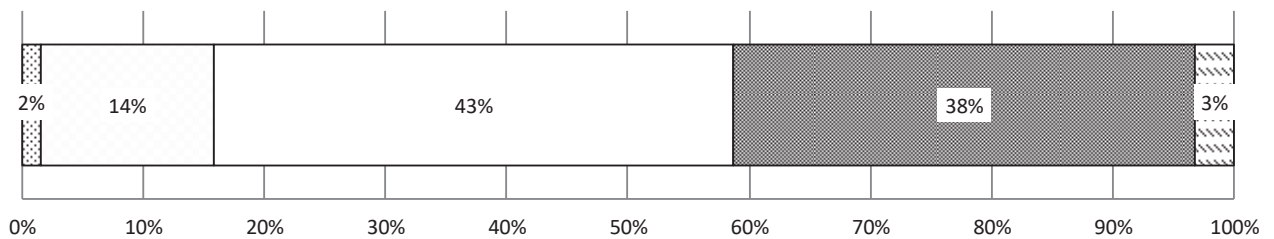
父
 母
 父母一緒に
 その他
 無回答



父	母	父母一緒に	その他	無回答
4	54	3	0	2

F 2. 記入者の年齢

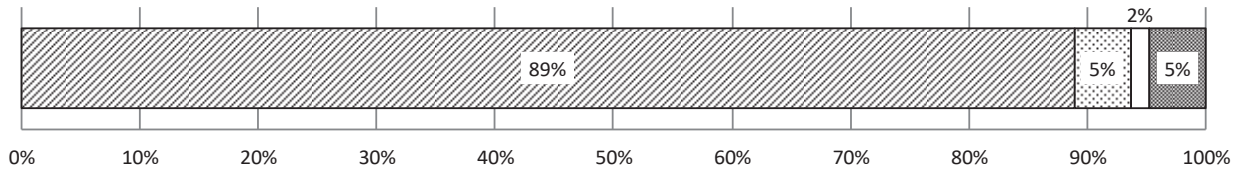
20歳未満
 20～25歳未満
 25～30歳未満
 30～35歳未満
 35～40歳未満
 40～50歳未満
 50歳以上
 無回答



20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～50歳未満	50歳以上	無回答
0	0	1	9	27	24	0	2

F 3. 保護者の勤務形態【父】

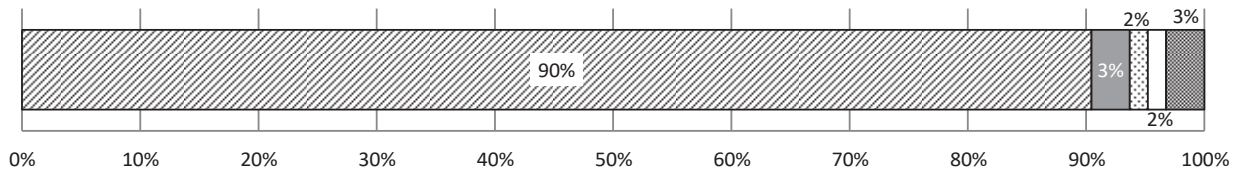
■ 常勤（フルタイム） ■ パート、アルバイト □ 自営業 □ 無職 □ その他 ■ 無回答



常勤（フルタイム）	パート・アルバイト	自営業	無職	その他	無回答
56	0	3	0	1	3

F 3. 保護者の勤務形態【母】

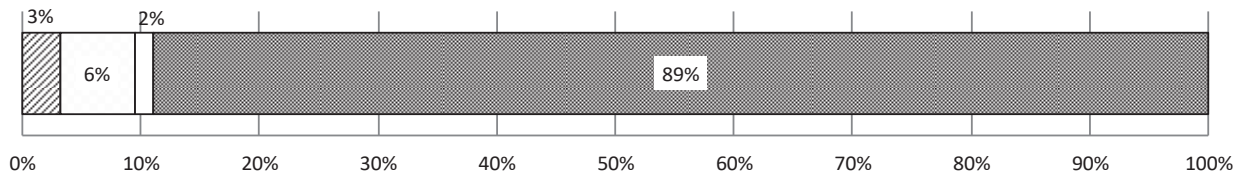
■ 常勤（フルタイム） ■ パート、アルバイト □ 自営業 □ 無職 □ その他 ■ 無回答



常勤（フルタイム）	パート・アルバイト	自営業	無職	その他	無回答
57	2	1	0	1	2

F 3. 保護者の勤務形態【その他の保護者】

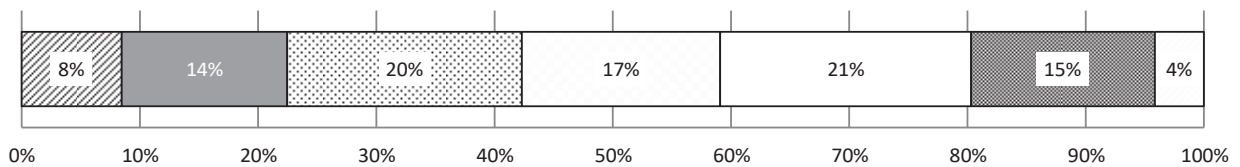
■ 常勤（フルタイム） ■ パート、アルバイト □ 自営業 □ 無職 □ その他 ■ 無回答



常勤（フルタイム）	パート・アルバイト	自営業	無職	その他	無回答
2	0	0	4	1	56

F 4. お子さんが通うクラス（複数回答）

■ 0歳児クラス ■ 1歳児クラス □ 2歳児クラス □ 3歳児クラス □ 4歳児クラス ■ 5歳児クラス □ 無回答



0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
6	10	14	12	15	11	3

(3) 大宮保育園

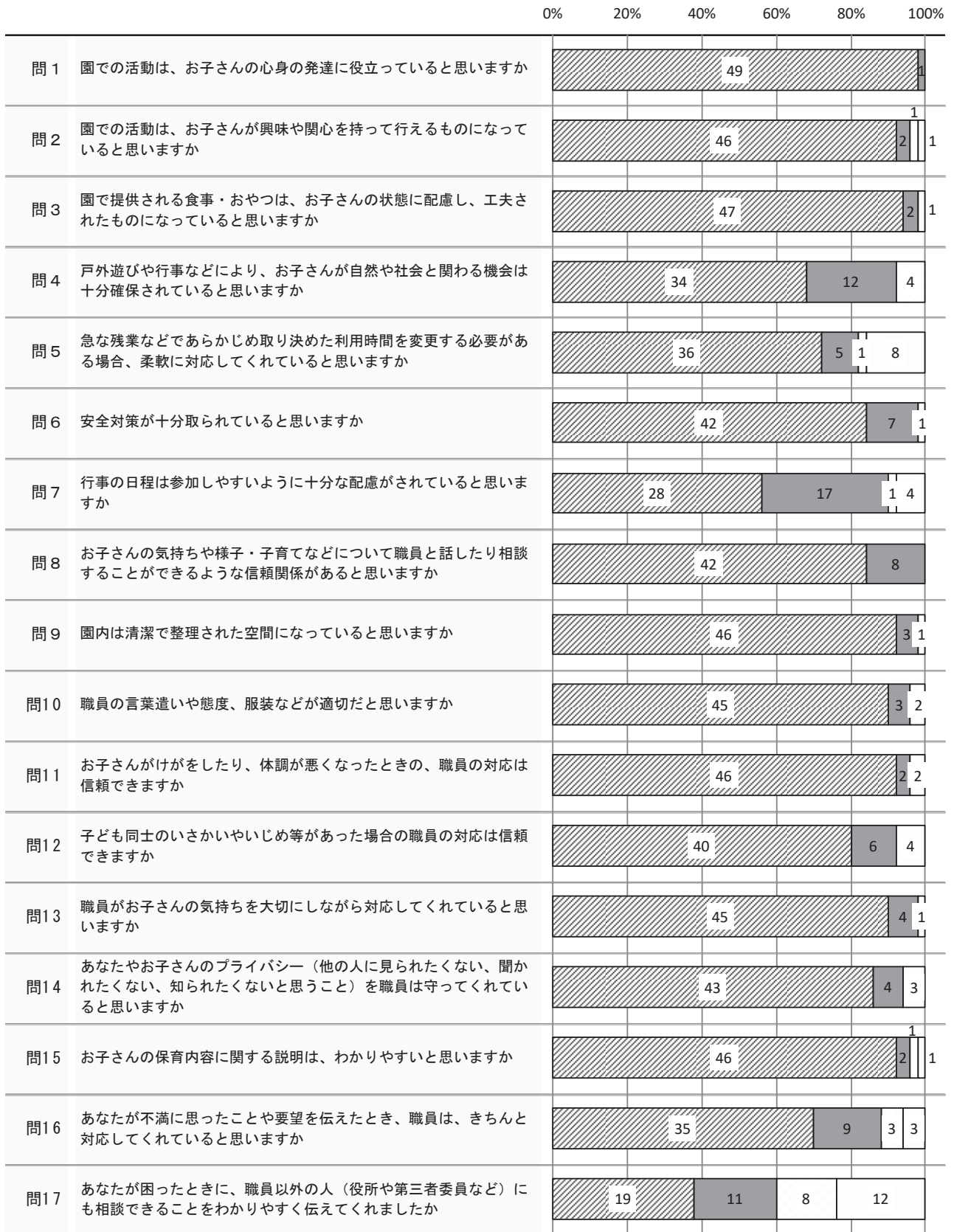
調査対象者数	66 世帯
有効回答者数	50 名
回答率	76%
調査方法	郵送によるアンケート調査

		実数				%			
		ど いち えら は い	い な い も	非 無 該 回 答 ・	非 無 該 回 答 ・	ど いち えら は い	い な い も	非 無 該 回 答 ・	非 無 該 回 答 ・
問1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	49	1	0	0	98%	2%	0%	0%
問2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	46	2	1	1	92%	4%	2%	2%
問3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	47	2	1	0	94%	4%	2%	0%
問4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	34	12	4	0	68%	24%	8%	0%
問5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	36	5	1	8	72%	10%	2%	16%
問6	安全対策が十分取られていると思いますか	42	7	1	0	84%	14%	2%	0%
問7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	28	17	1	4	56%	34%	2%	8%
問8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	42	8	0	0	84%	16%	0%	0%
問9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	46	3	1	0	92%	6%	2%	0%
問10	職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	45	3	2	0	90%	6%	4%	0%
問11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	46	2	0	2	92%	4%	0%	4%
問12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	40	6	0	4	80%	12%	0%	8%
問13	職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	45	4	1	0	90%	8%	2%	0%
問14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	43	4	0	3	86%	8%	0%	6%
問15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	46	2	1	1	92%	4%	2%	2%
問16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	35	9	3	3	70%	18%	6%	6%
問17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	19	11	8	12	38%	22%	16%	24%

「実数」 … 実際に答えた人の数

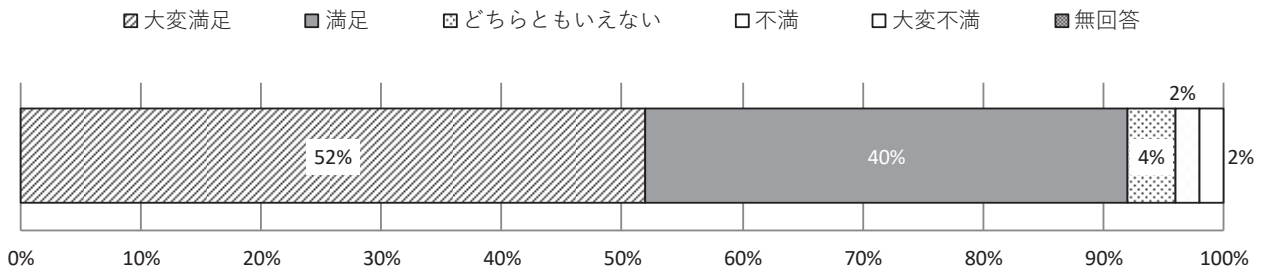
「%」 … それぞれの実数が有効回答者数に占める割合

■ はい ■ どちらともいえない □ いいえ □ 非該当・無回答



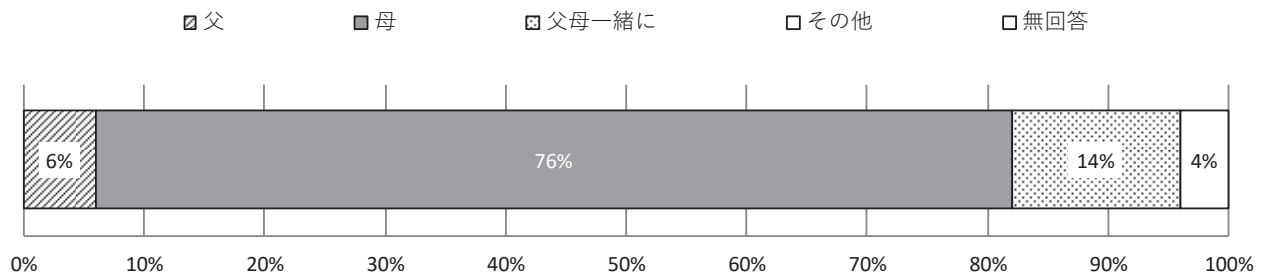
※数値は有効回答者数に対する割合

●総合的な感想



大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
26	20	2	1	1	0

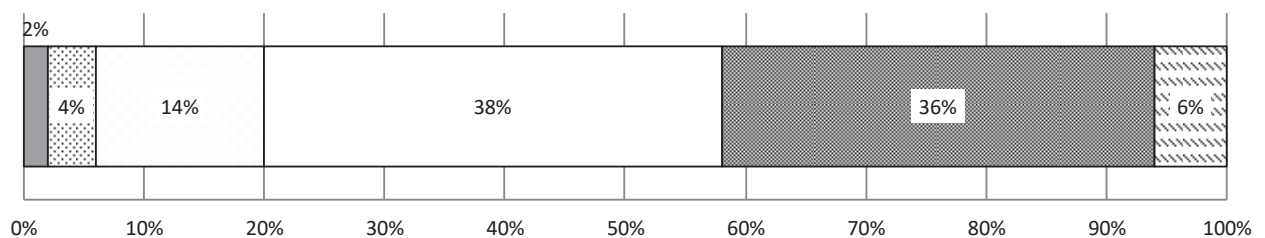
F 1. 調査票記入者



父	母	父母一緒に	その他	無回答
3	38	7	0	2

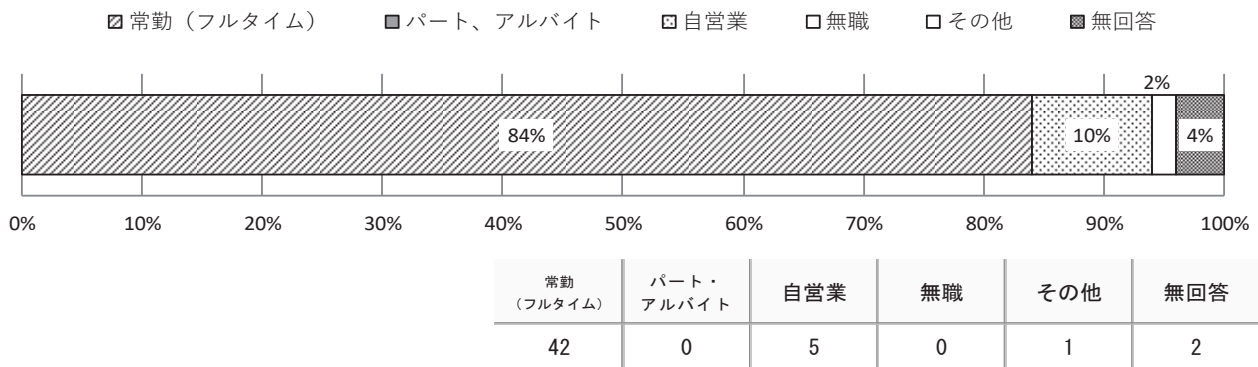
F 2. 記入者の年齢

20歳未満 20～25歳未満 25～30歳未満 30～35歳未満 35～40歳未満 40～50歳未満 50歳以上 無回答

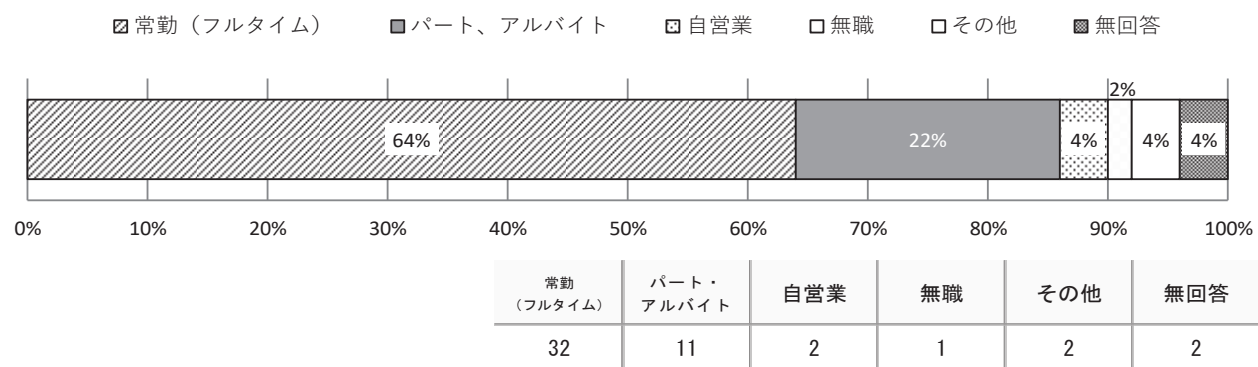


20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～50歳未満	50歳以上	無回答
0	1	2	7	19	18	0	3

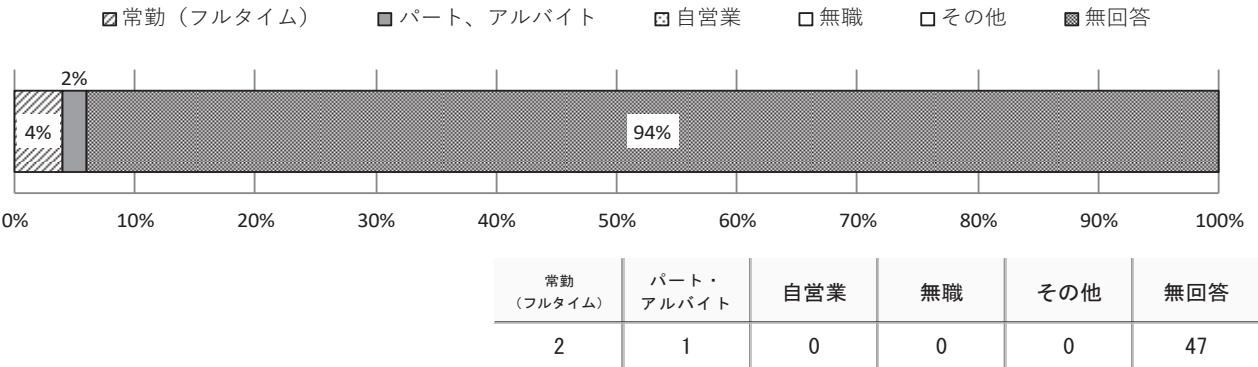
F 3. 保護者の勤務形態【父】



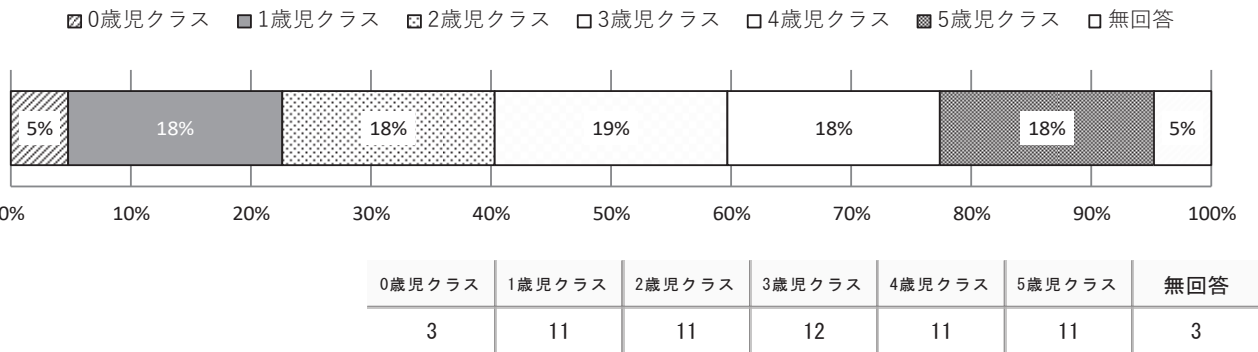
F 3. 保護者の勤務形態【母】



F 3. 保護者の勤務形態【その他の保護者】



F 4. お子さんが通うクラス（複数回答）



(4) 大宮前保育園

調査対象者数	73 世帯
有効回答者数	49 名
回答率	67%
調査方法	郵送によるアンケート調査

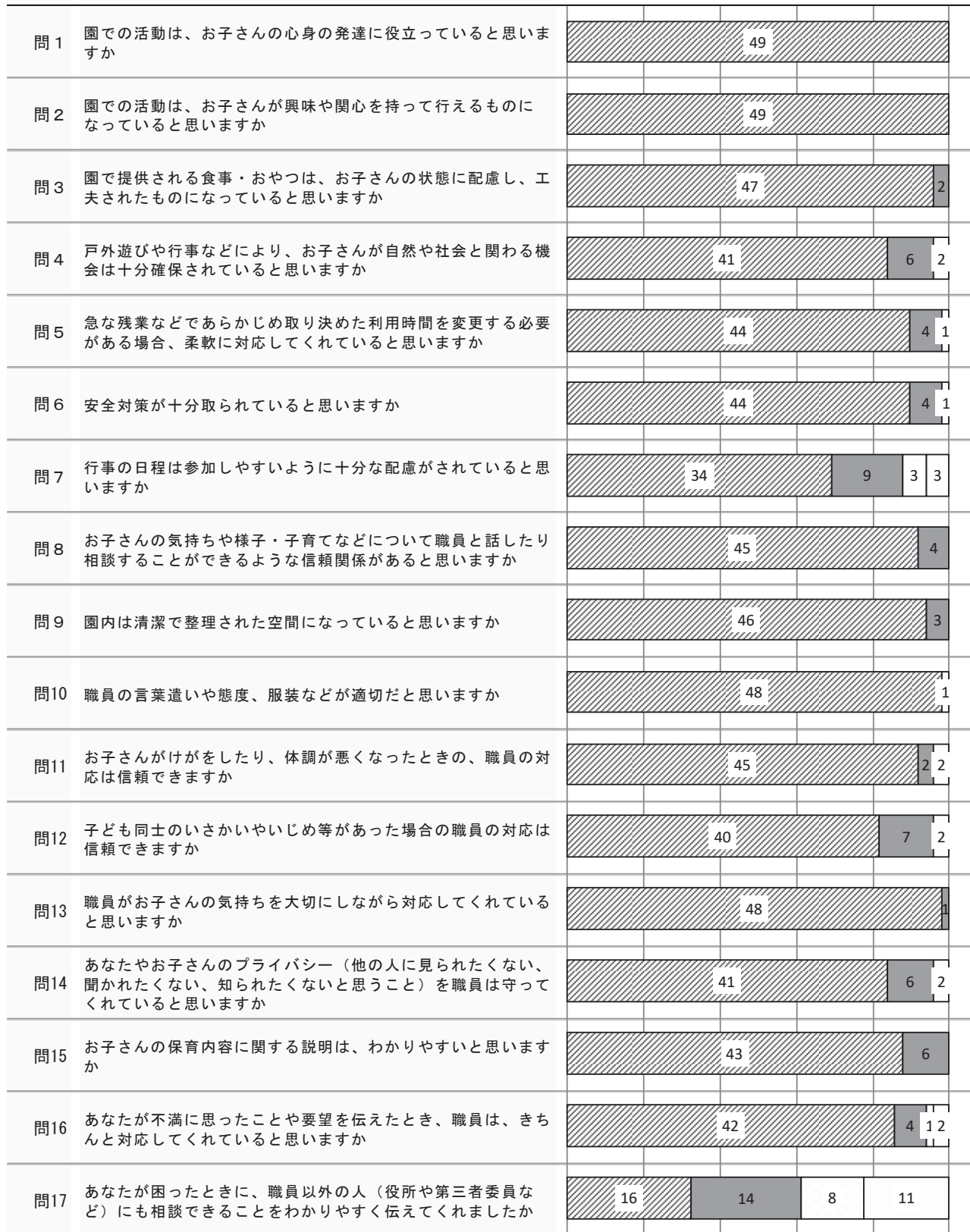
		実数				%			
		ど いち えら は い	い な も	非 無 回 答 ・	い え	ど いち えら は い	い な も	非 無 回 答 ・	い え
問1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	49	0	0	0	100%	0%	0%	0%
問2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	49	0	0	0	100%	0%	0%	0%
問3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	47	2	0	0	96%	4%	0%	0%
問4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	41	6	2	0	84%	12%	4%	0%
問5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	44	4	0	1	90%	8%	0%	2%
問6	安全対策が十分取られていると思いますか	44	4	1	0	90%	8%	2%	0%
問7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	34	9	3	3	69%	18%	6%	6%
問8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	45	4	0	0	92%	8%	0%	0%
問9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	46	3	0	0	94%	6%	0%	0%
問10	職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	48	0	0	1	98%	0%	0%	2%
問11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	45	2	0	2	92%	4%	0%	4%
問12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	40	7	0	2	82%	14%	0%	4%
問13	職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	48	1	0	0	98%	2%	0%	0%
問14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	41	6	0	2	84%	12%	0%	4%
問15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	43	6	0	0	88%	12%	0%	0%
問16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	42	4	1	2	86%	8%	2%	4%
問17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	16	14	8	11	33%	29%	16%	22%

「実数」 … 実際に答えた人の数

「%」 … それぞれの実数が有効回答者数に占める割合

☑ はい ■ どちらともいえない □ いいえ □ 非該当・無回答

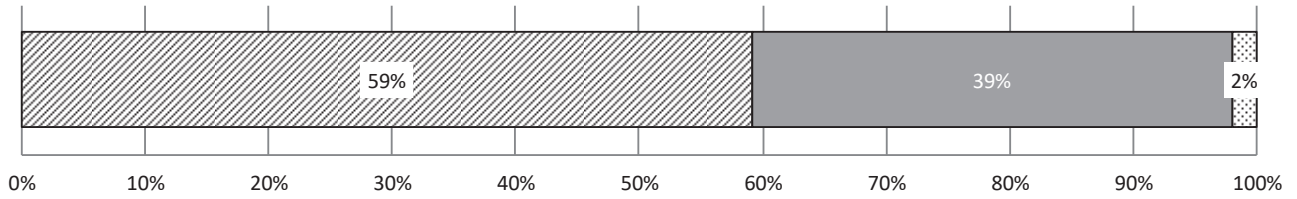
0% 20% 40% 60% 80% 100%



※数値は有効回答者数に対する割合

● 総合的な感想

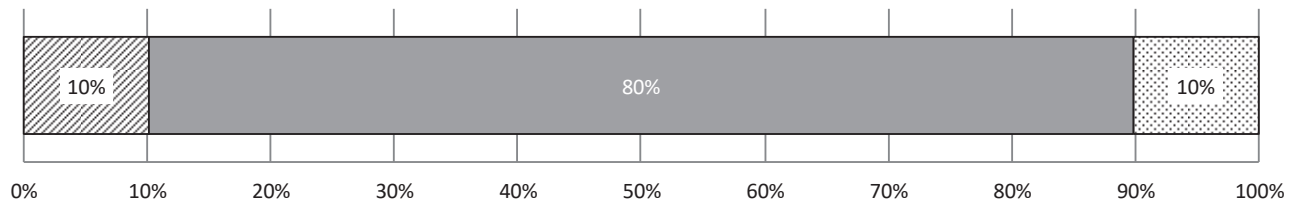
大変満足
 満足
 どちらともいえない
 不満
 大変不満
 無回答



大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
29	19	1	0	0	0

F 1. 調査票記入者

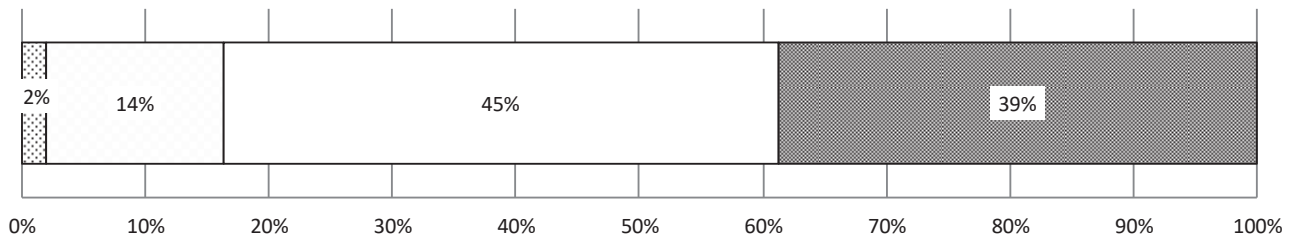
父
 母
 父母一緒に
 その他
 無回答



父	母	父母一緒に	その他	無回答
5	39	5	0	0

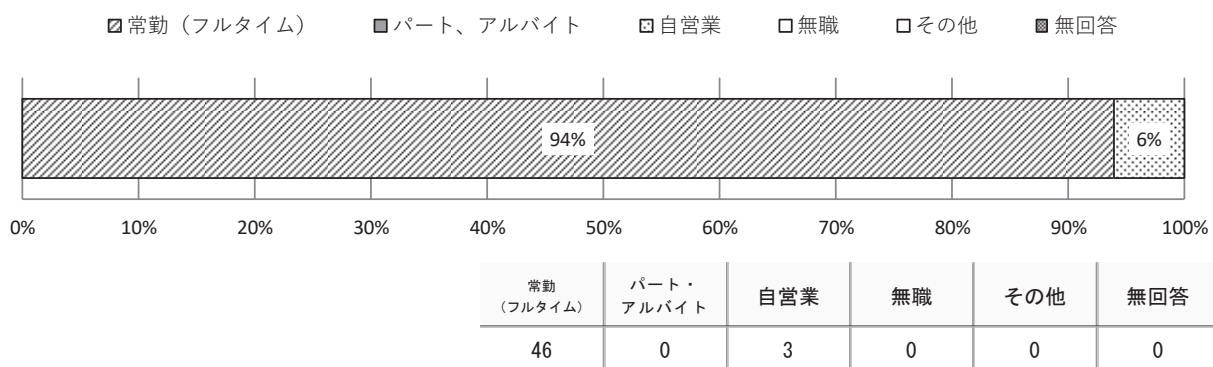
F 2. 記入者の年齢

20歳未満
 20～25歳未満
 25～30歳未満
 30～35歳未満
 35～40歳未満
 40～50歳未満
 50歳以上
 無回答

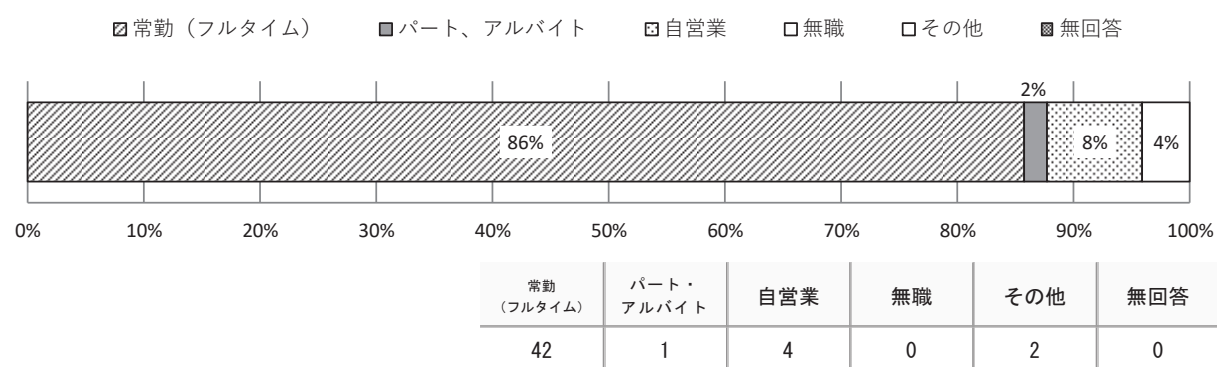


20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～50歳未満	50歳以上	無回答
0	0	1	7	22	19	0	0

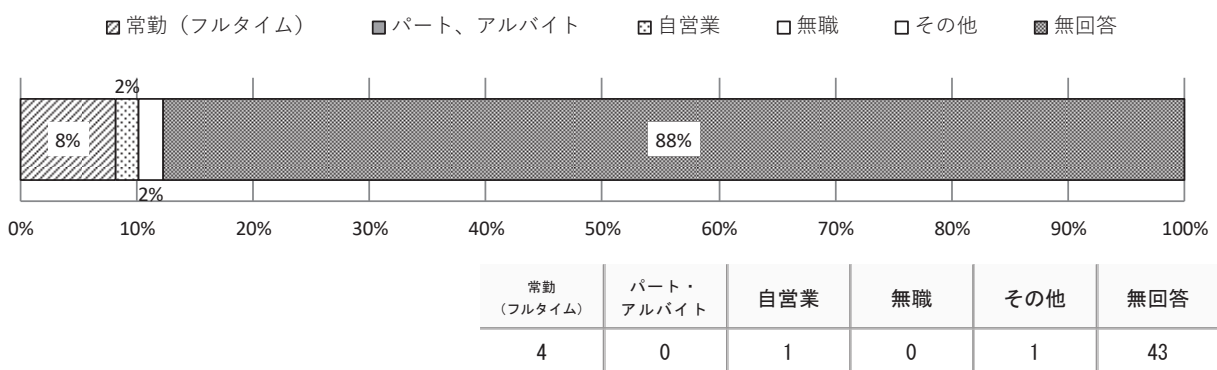
F 3. 保護者の勤務形態【父】



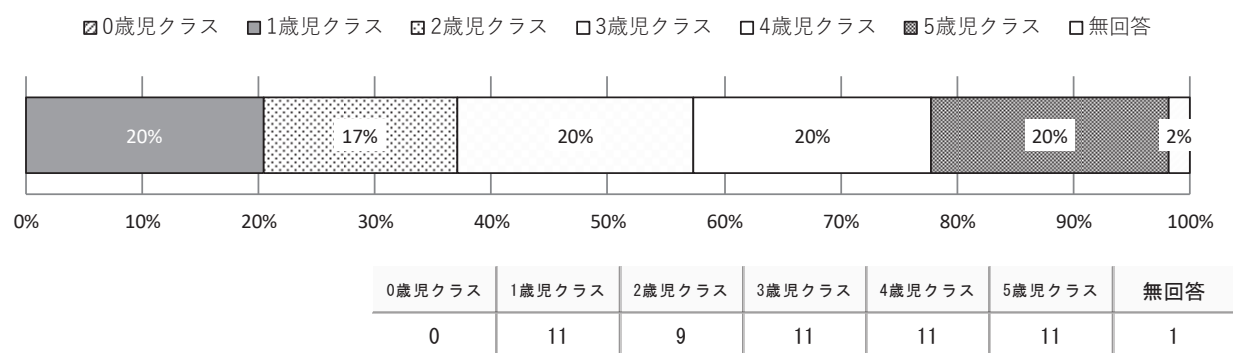
F 3. 保護者の勤務形態【母】



F 3. 保護者の勤務形態【その他の保護者】



F 4. お子さんが通うクラス（複数回答）



(5) 上萩保育園

調査対象者数	100 世帯
有効回答者数	80 名
回答率	80%
調査方法	郵送によるアンケート調査

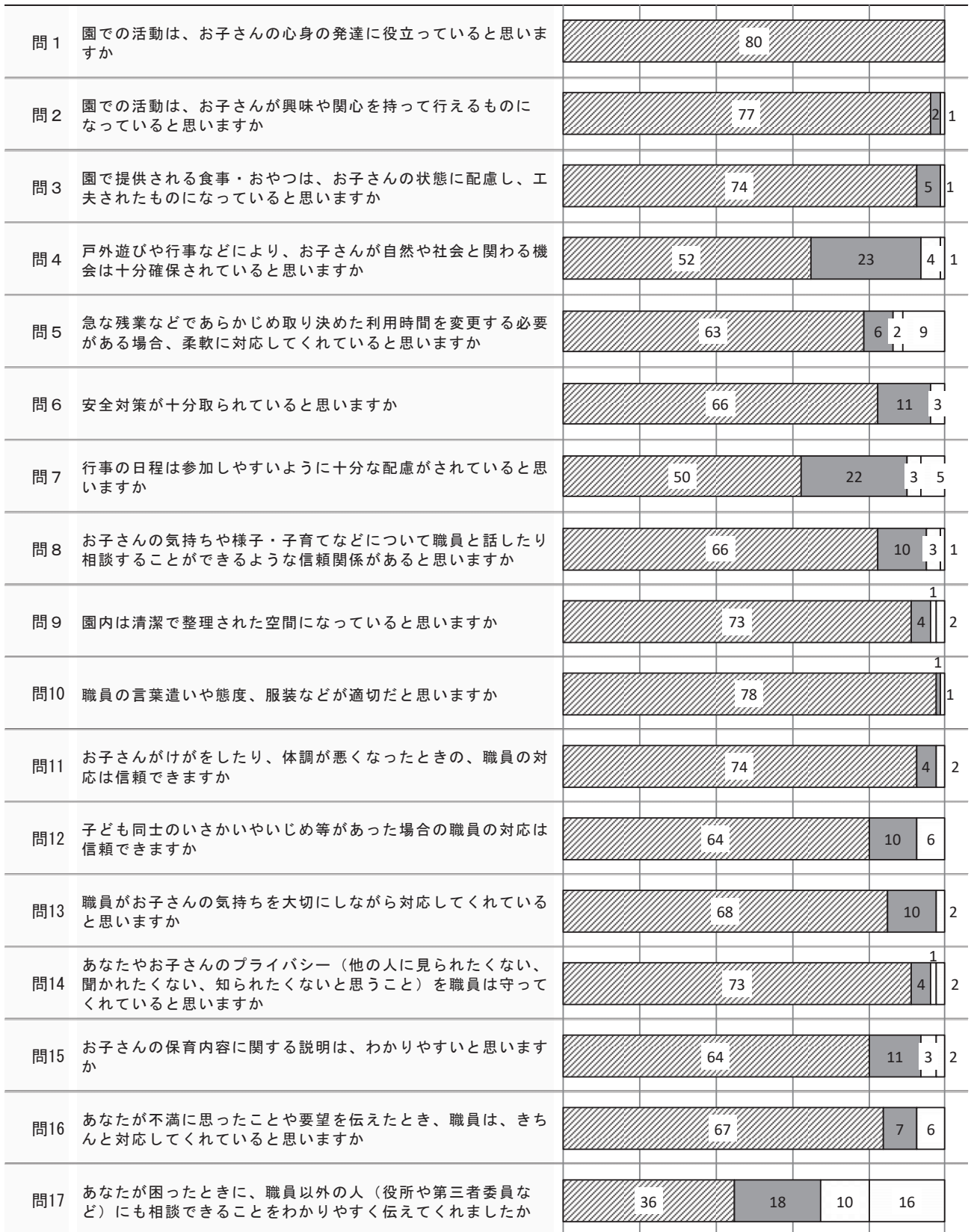
		実数				%			
		ど いち えら は い	い な い も	非 無 回 答 ・	該 当 ・	ど いち えら は い	い な い も	非 無 回 答 ・	該 当 ・
問1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	80	0	0	0	100%	0%	0%	0%
問2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	77	2	0	1	96%	3%	0%	1%
問3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	74	5	1	0	93%	6%	1%	0%
問4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	52	23	4	1	65%	29%	5%	1%
問5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	63	6	2	9	79%	8%	3%	11%
問6	安全対策が十分取られていると思いますか	66	11	3	0	83%	14%	4%	0%
問7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	50	22	3	5	63%	28%	4%	6%
問8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	66	10	3	1	83%	13%	4%	1%
問9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	73	4	1	2	91%	5%	1%	3%
問10	職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	78	1	0	1	98%	1%	0%	1%
問11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	74	4	0	2	93%	5%	0%	3%
問12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	64	10	0	6	80%	13%	0%	8%
問13	職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	68	10	0	2	85%	13%	0%	3%
問14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	73	4	1	2	91%	5%	1%	3%
問15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	64	11	3	2	80%	14%	4%	3%
問16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	67	7	0	6	84%	9%	0%	8%
問17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	36	18	10	16	45%	23%	13%	20%

「実数」 … 実際に答えた人の数

「%」 … それぞれの実数が有効回答者数に占める割合

☑ はい ■ どちらともいえない □ いいえ □ 非該当・無回答

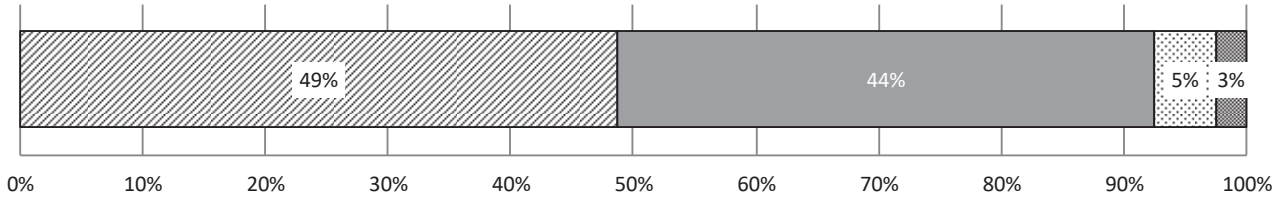
0% 20% 40% 60% 80% 100%



※数値は有効回答者数に対する割合

●総合的な感想

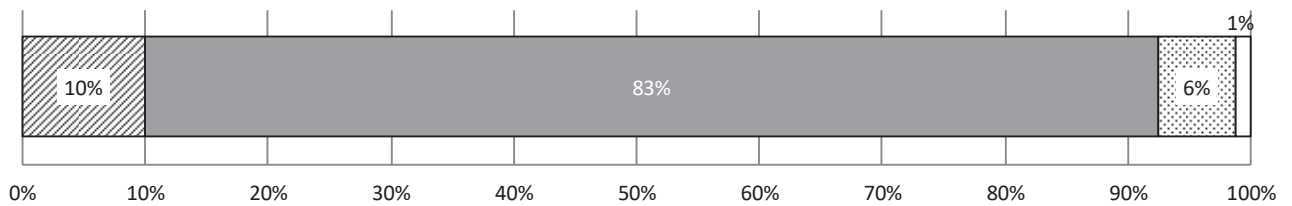
大変満足
 満足
 どちらともいえない
 不満
 大変不満
 無回答



大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
39	35	4	0	0	2

F 1. 調査票記入者

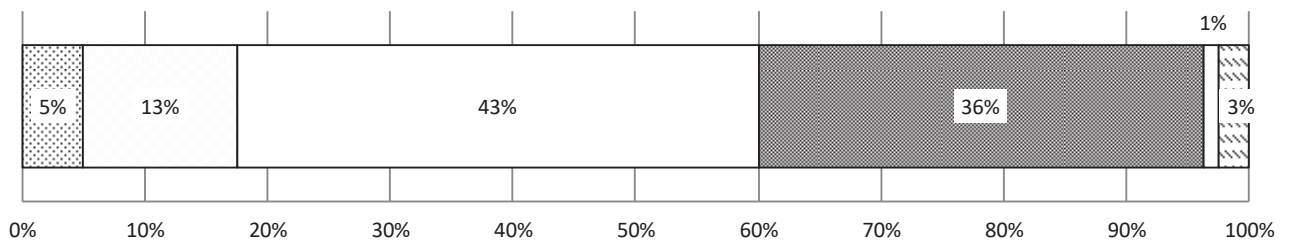
父
 母
 父母一緒に
 その他
 無回答



父	母	父母一緒に	その他	無回答
8	66	5	0	1

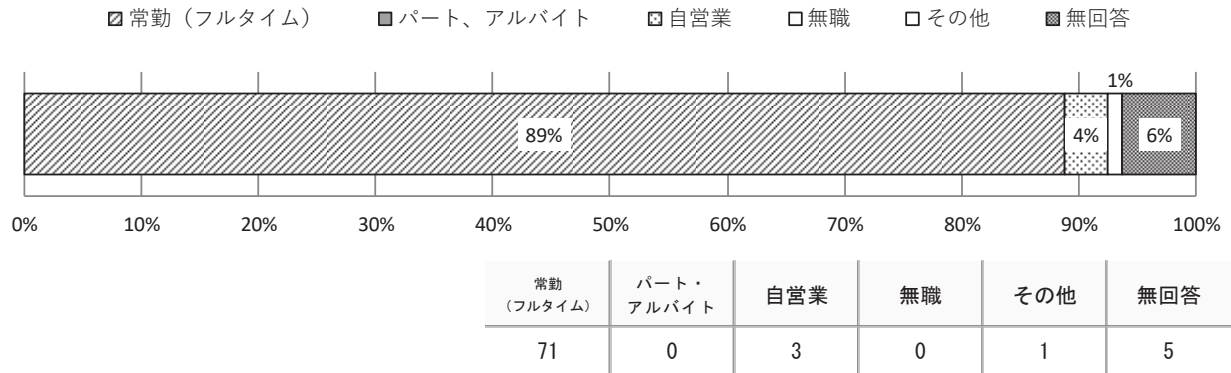
F 2. 記入者の年齢

20歳未満
 20～25歳未満
 25～30歳未満
 30～35歳未満
 35～40歳未満
 40～50歳未満
 50歳以上
 無回答

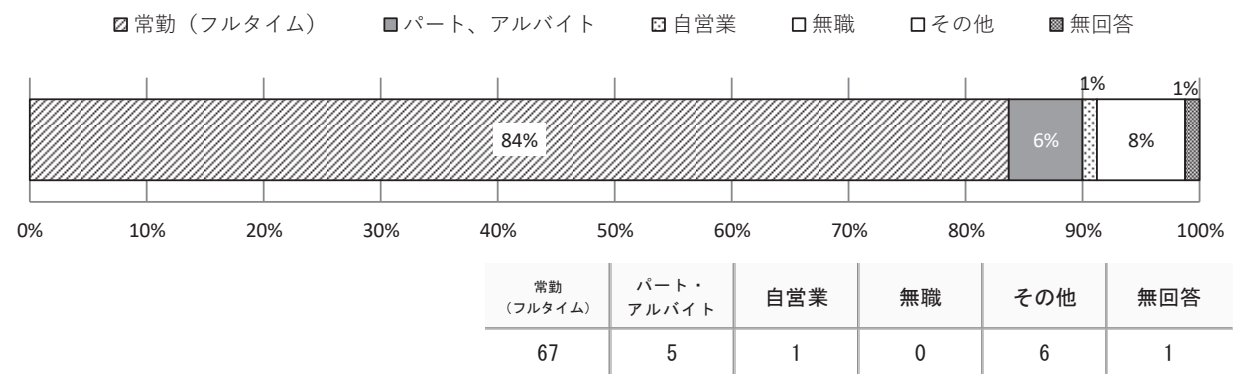


20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～50歳未満	50歳以上	無回答
0	0	4	10	34	29	1	2

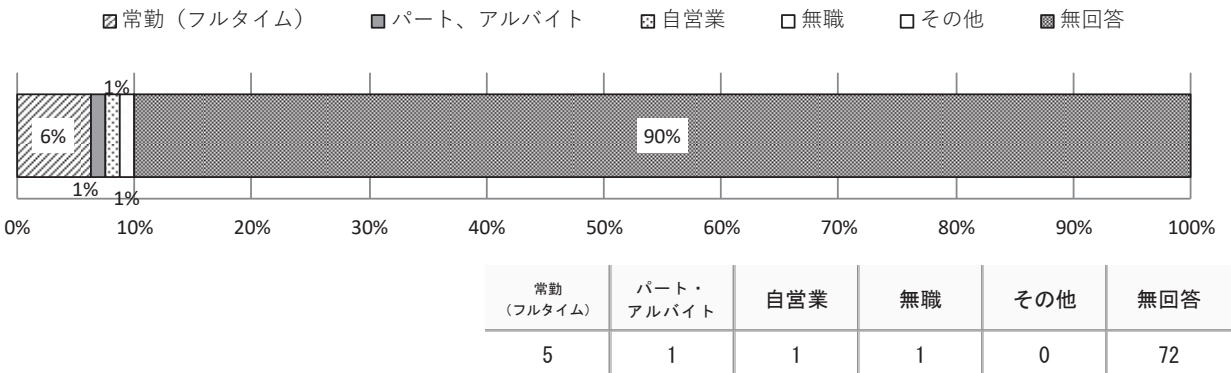
F 3. 保護者の勤務形態【父】



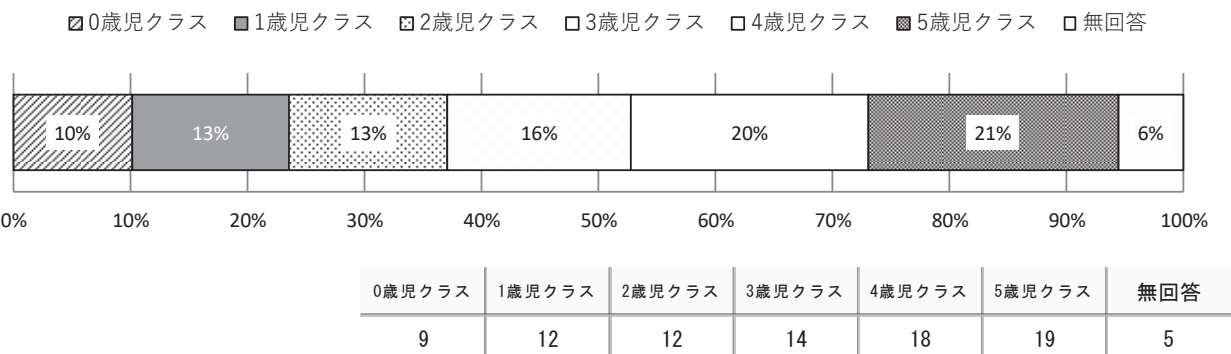
F 3. 保護者の勤務形態【母】



F 3. 保護者の勤務形態【その他の保護者】



F 4. お子さんが通うクラス（複数回答）



(6) 上高井戸保育園

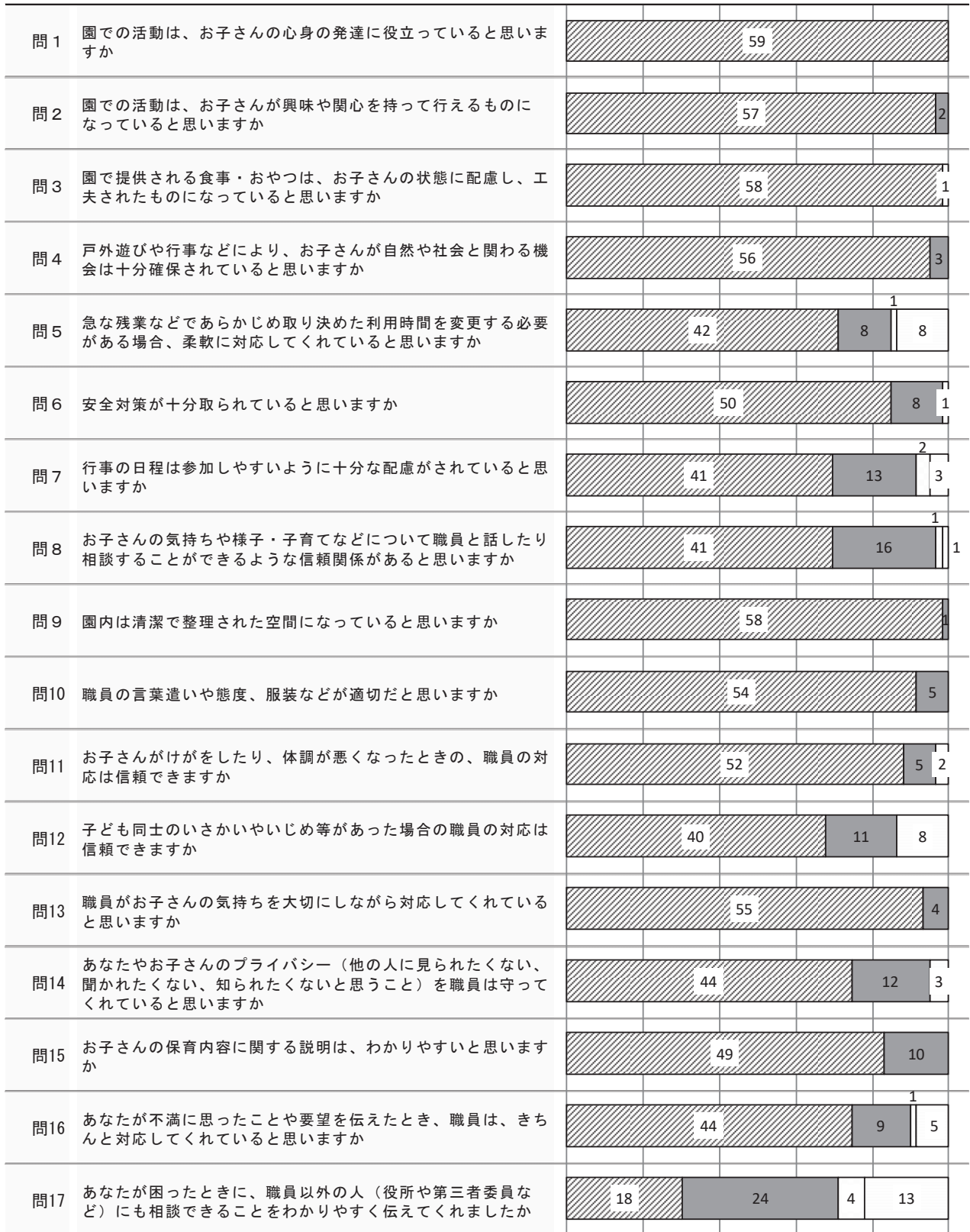
調査対象者数	68 世帯
有効回答者数	59 名
回答率	87%
調査方法	郵送によるアンケート調査

		実数				%			
		ど いち えら なと い も	い え	非 無 回 答 ・		ど いち えら なと い も	い え	非 無 回 答 ・	
問1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	59	0	0	0	100%	0%	0%	0%
問2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	57	2	0	0	97%	3%	0%	0%
問3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	58	0	0	1	98%	0%	0%	2%
問4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	56	3	0	0	95%	5%	0%	0%
問5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	42	8	1	8	71%	14%	2%	14%
問6	安全対策が十分取られていると思いますか	50	8	0	1	85%	14%	0%	2%
問7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	41	13	2	3	69%	22%	3%	5%
問8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	41	16	1	1	69%	27%	2%	2%
問9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	58	1	0	0	98%	2%	0%	0%
問10	職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	54	5	0	0	92%	8%	0%	0%
問11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	52	5	0	2	88%	8%	0%	3%
問12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	40	11	0	8	68%	19%	0%	14%
問13	職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	55	4	0	0	93%	7%	0%	0%
問14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	44	12	0	3	75%	20%	0%	5%
問15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	49	10	0	0	83%	17%	0%	0%
問16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	44	9	1	5	75%	15%	2%	8%
問17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	18	24	4	13	31%	41%	7%	22%

「実数」 … 実際に答えた人の数

「%」 … それぞれの実数が有効回答者数に占める割合

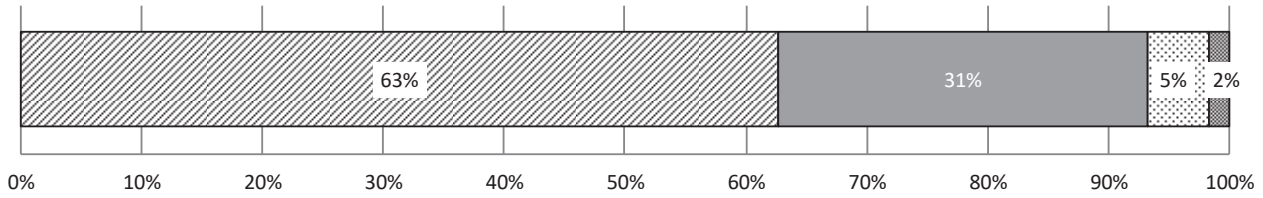
はい
 どちらともいえない
 いいえ
 非該当・無回答
 0% 20% 40% 60% 80% 100%



※数値は有効回答者数に対する割合

●総合的な感想

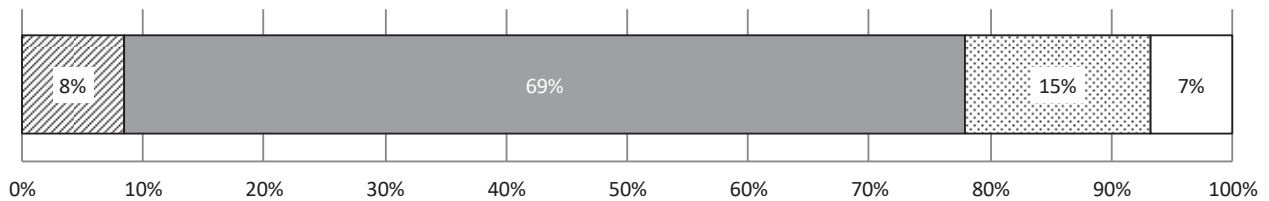
大変満足
 満足
 どちらともいえない
 不満
 大変不満
 無回答



大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
37	18	3	0	0	1

F 1. 調査票記入者

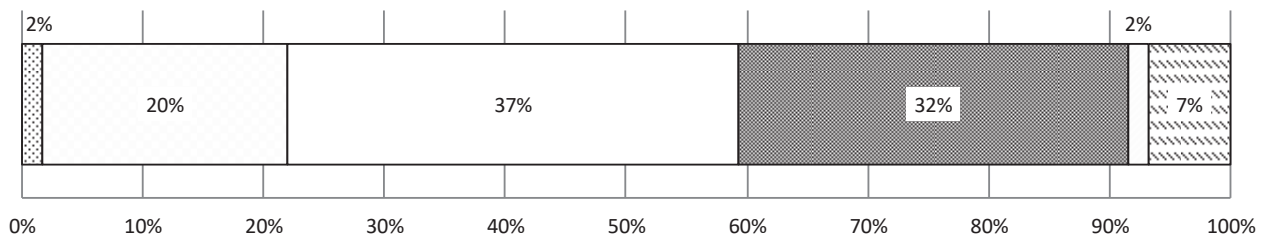
父
 母
 父母一緒に
 その他
 無回答



父	母	父母一緒に	その他	無回答
5	41	9	0	4

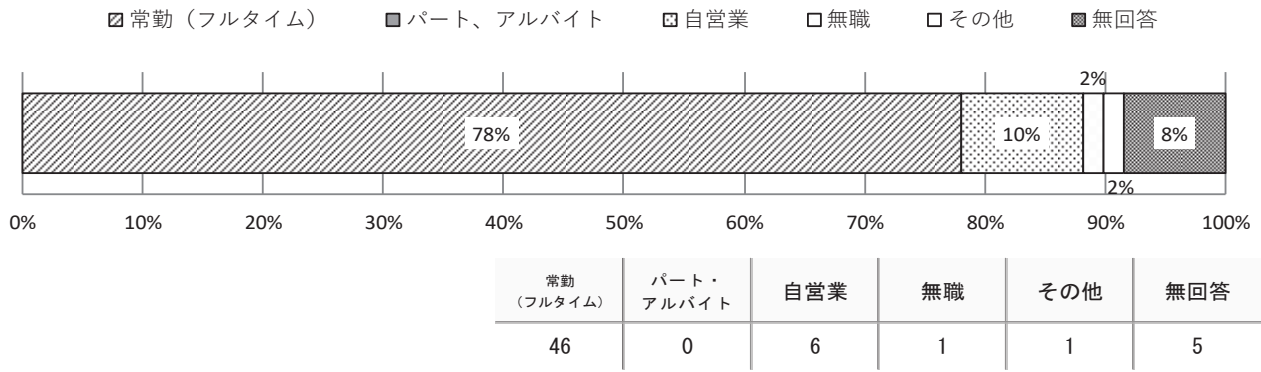
F 2. 記入者の年齢

20歳未満
 20～25歳未満
 25～30歳未満
 30～35歳未満
 35～40歳未満
 40～50歳未満
 50歳以上
 無回答

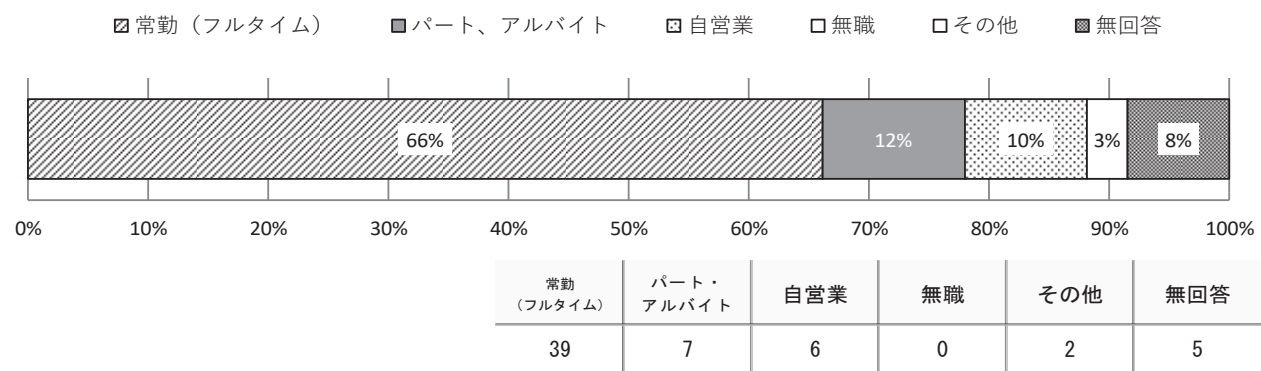


20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～50歳未満	50歳以上	無回答
0	0	1	12	22	19	1	4

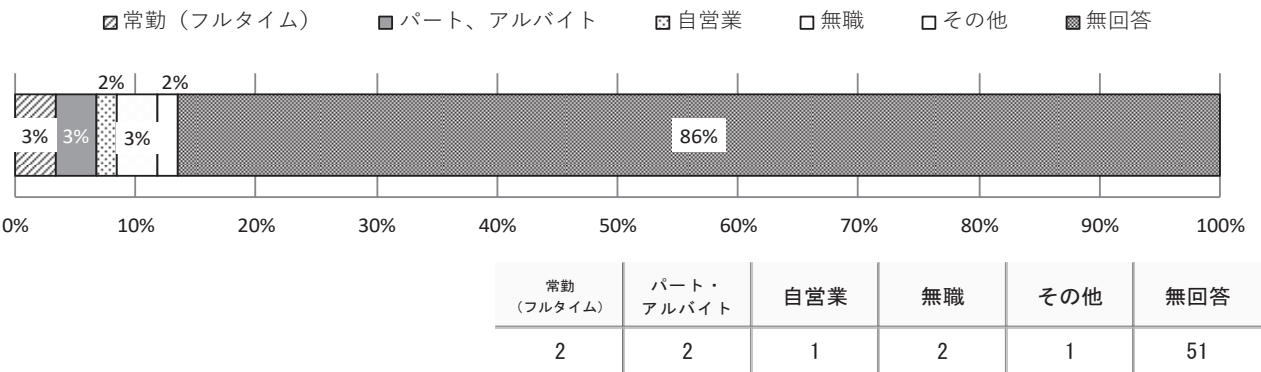
F 3. 保護者の勤務形態【父】



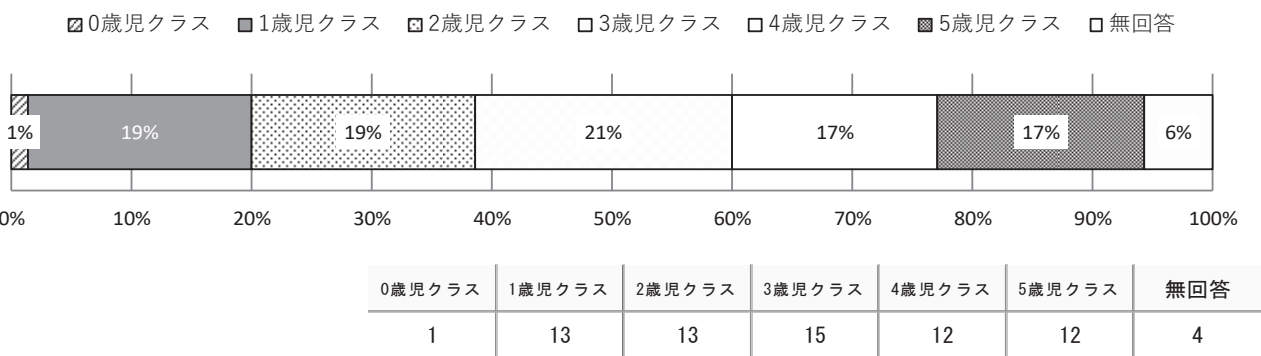
F 3. 保護者の勤務形態【母】



F 3. 保護者の勤務形態【その他の保護者】



F 4. お子さんが通うクラス（複数回答）



(7) 高井戸保育園

調査対象者数	82 世帯
有効回答者数	62 名
回答率	76%
調査方法	郵送によるアンケート調査

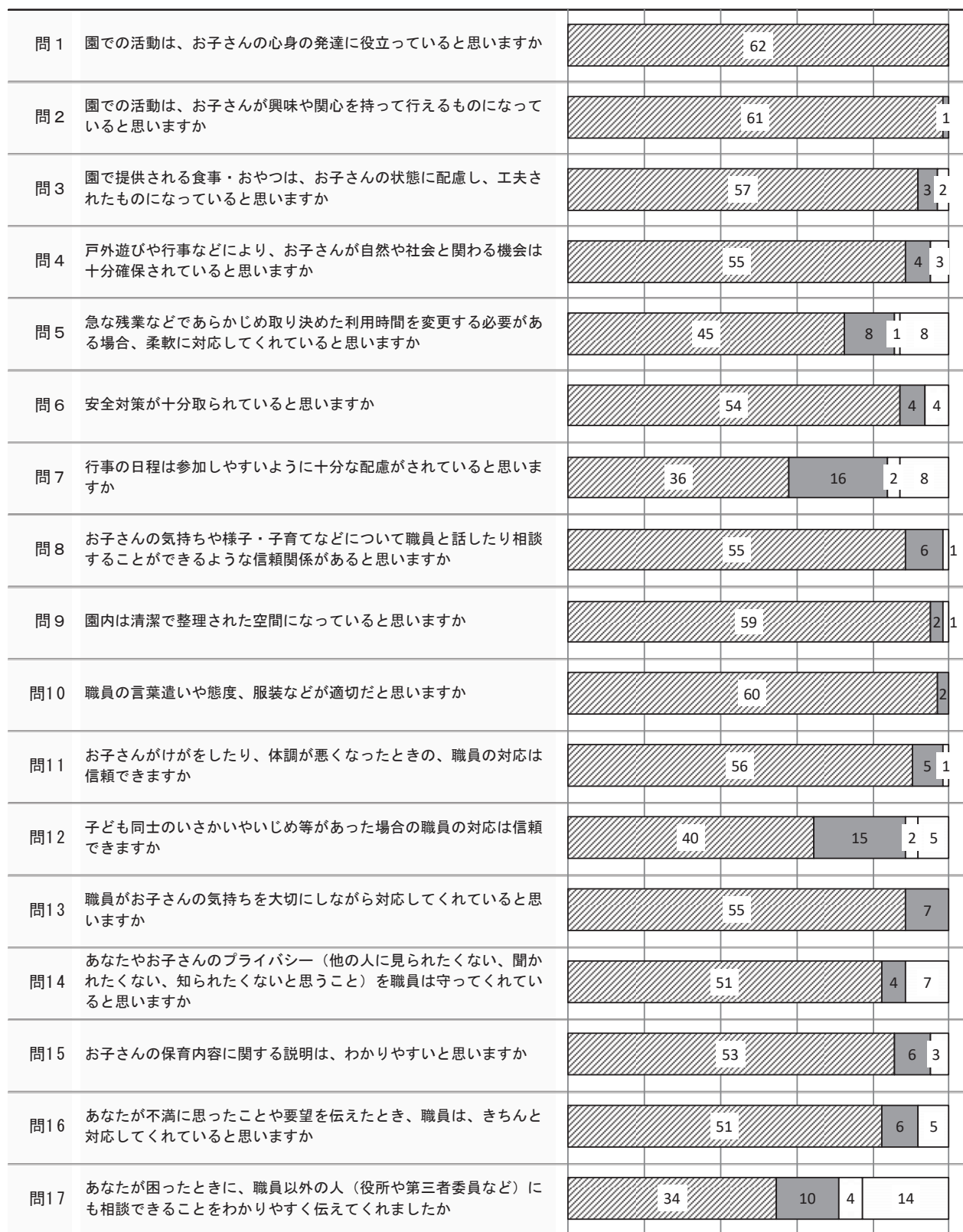
		実数				%			
		ど いち えら は い	い な も	非 無 回 答 ・	い え	ど いち えら は い	い な も	非 無 回 答 ・	い え
問1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	62	0	0	0	100%	0%	0%	0%
問2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	61	1	0	0	98%	2%	0%	0%
問3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	57	3	0	2	92%	5%	0%	3%
問4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	55	4	3	0	89%	6%	5%	0%
問5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	45	8	1	8	73%	13%	2%	13%
問6	安全対策が十分取られていると思いますか	54	4	4	0	87%	6%	6%	0%
問7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	36	16	2	8	58%	26%	3%	13%
問8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	55	6	1	0	89%	10%	2%	0%
問9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	59	2	1	0	95%	3%	2%	0%
問10	職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	60	2	0	0	97%	3%	0%	0%
問11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	56	5	0	1	90%	8%	0%	2%
問12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	40	15	2	5	65%	24%	3%	8%
問13	職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	55	7	0	0	89%	11%	0%	0%
問14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	51	4	0	7	82%	6%	0%	11%
問15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	53	6	3	0	85%	10%	5%	0%
問16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	51	6	0	5	82%	10%	0%	8%
問17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	34	10	4	14	55%	16%	6%	23%

「実数」 … 実際に答えた人の数

「%」 … それぞれの実数が有効回答者数に占める割合

■ はい ■ どちらともいえない □ いいえ □ 非該当・無回答

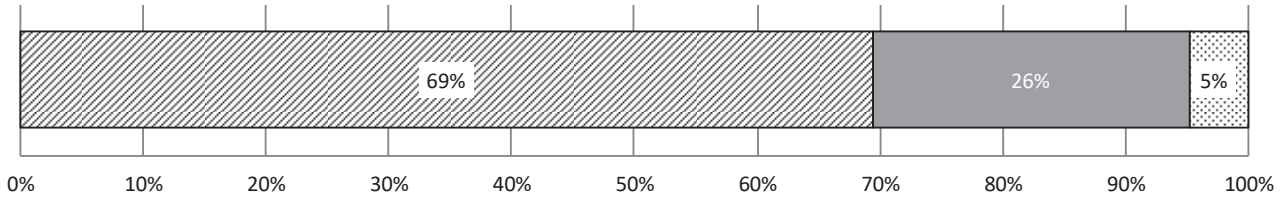
0% 20% 40% 60% 80% 100%



※数値は有効回答者数に対する割合

●総合的な感想

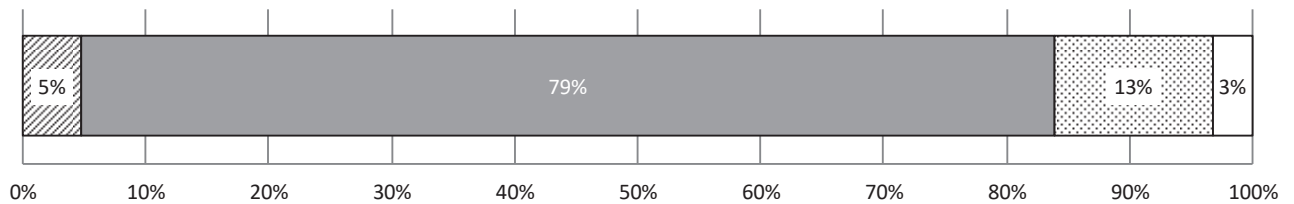
大変満足
 満足
 どちらともいえない
 不満
 大変不満
 無回答



大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
43	16	3	0	0	0

F 1. 調査票記入者

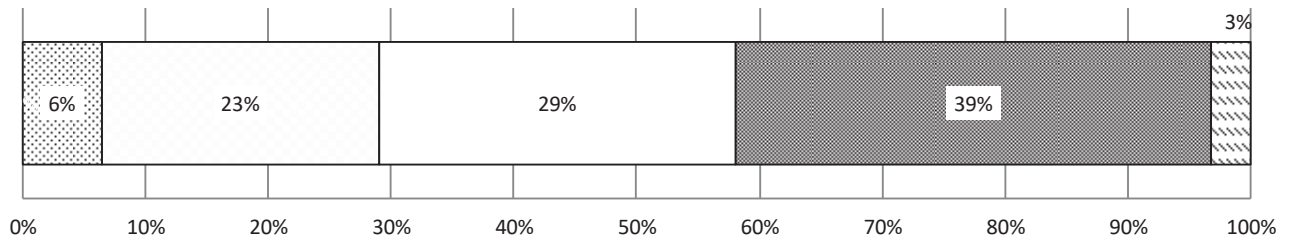
父
 母
 父母一緒に
 その他
 無回答



父	母	父母一緒に	その他	無回答
3	49	8	0	2

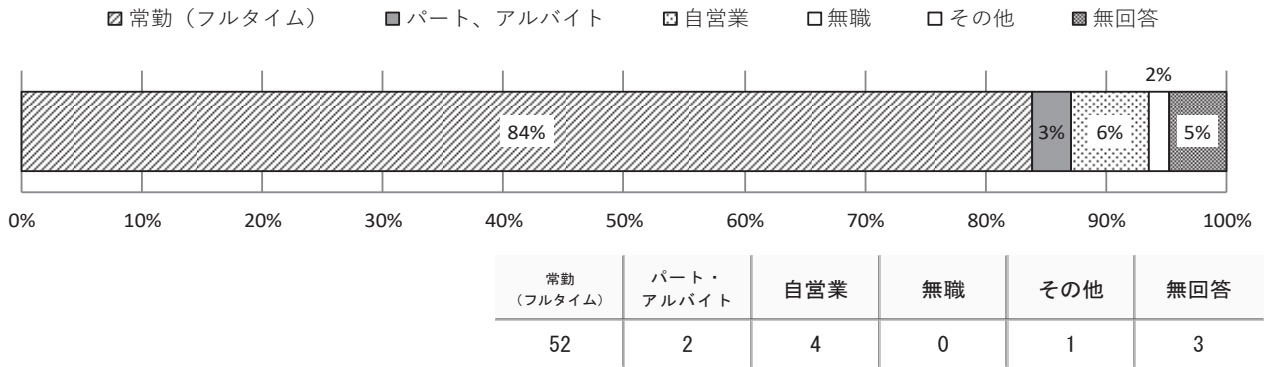
F 2. 記入者の年齢

20歳未満
 20～25歳未満
 25～30歳未満
 30～35歳未満
 35～40歳未満
 40～50歳未満
 50歳以上
 無回答

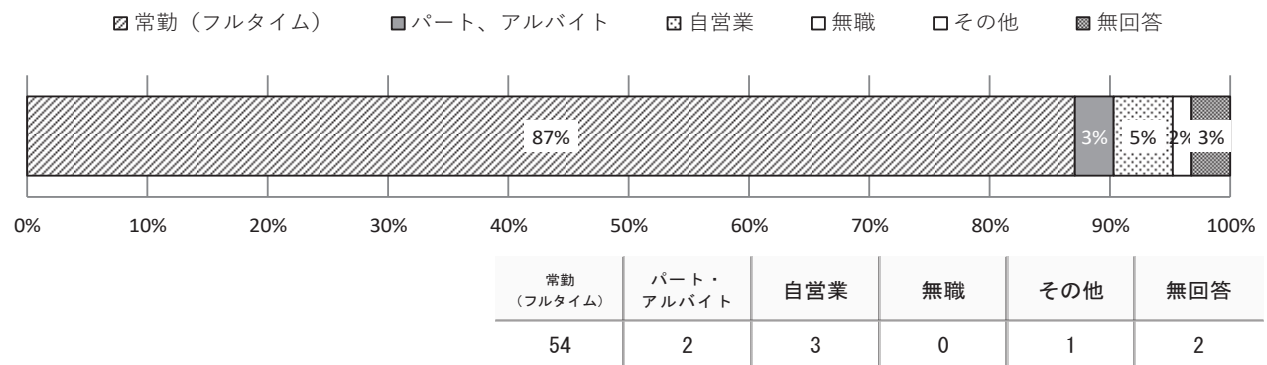


20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～50歳未満	50歳以上	無回答
0	0	4	14	18	24	0	2

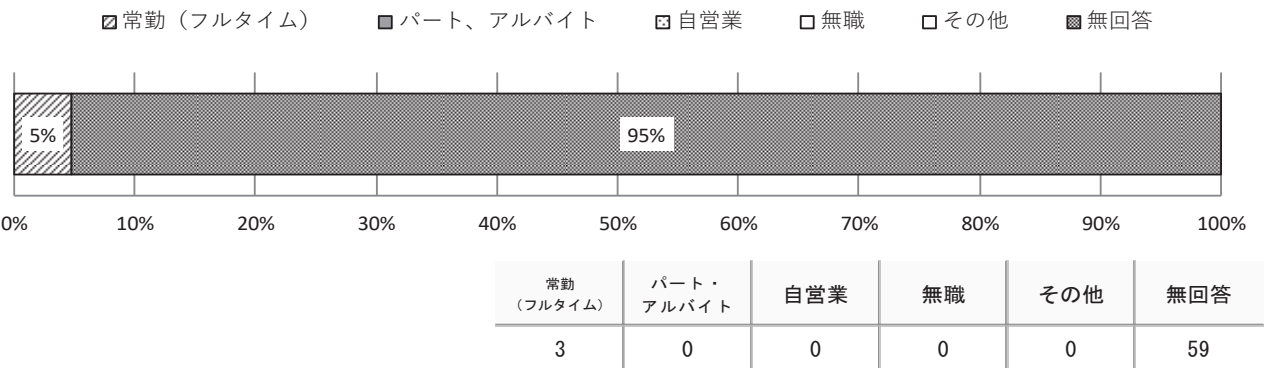
F 3. 保護者の勤務形態【父】



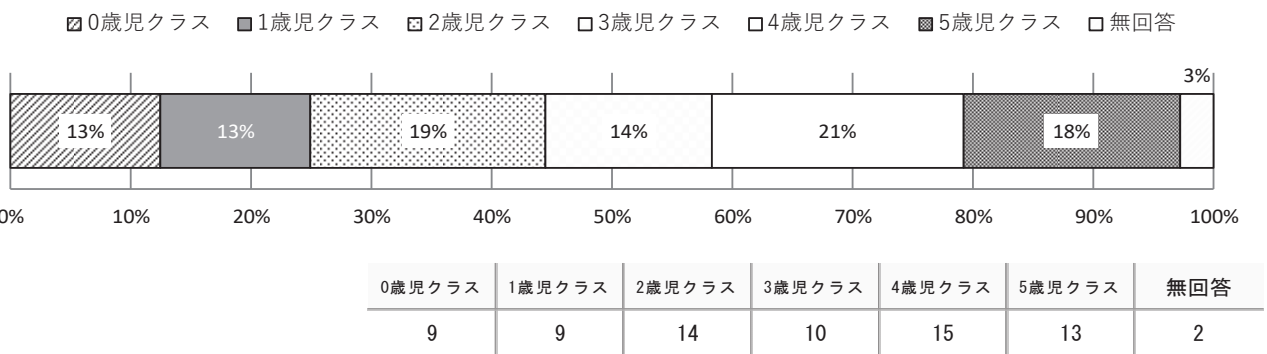
F 3. 保護者の勤務形態【母】



F 3. 保護者の勤務形態【その他の保護者】



F 4. お子さんが通うクラス（複数回答）



(8) 堀ノ内東保育園

調査対象者数	83 世帯
有効回答者数	57 名
回答率	69%
調査方法	郵送によるアンケート調査

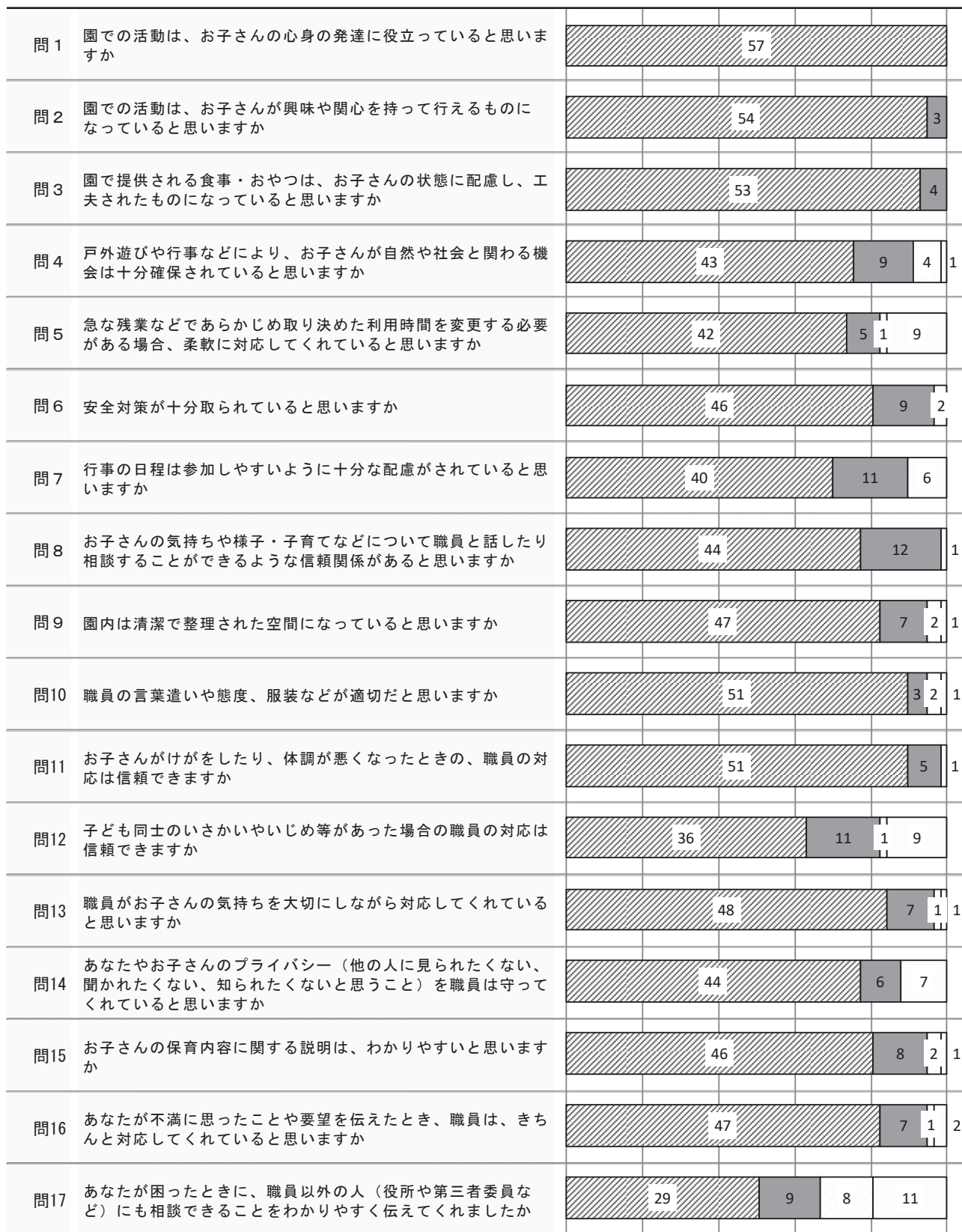
		実数				%			
		ど いち えら は い	い な い も	非 無 回 答 ・	い え	ど いち えら は い	い な い も	非 無 回 答 ・	い え
問1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	57	0	0	0	100%	0%	0%	0%
問2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	54	3	0	0	95%	5%	0%	0%
問3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	53	4	0	0	93%	7%	0%	0%
問4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	43	9	4	1	75%	16%	7%	2%
問5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	42	5	1	9	74%	9%	2%	16%
問6	安全対策が十分取られていると思いますか	46	9	2	0	81%	16%	4%	0%
問7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	40	11	0	6	70%	19%	0%	11%
問8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	44	12	0	1	77%	21%	0%	2%
問9	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	47	7	2	1	82%	12%	4%	2%
問10	職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	51	3	2	1	89%	5%	4%	2%
問11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	51	5	0	1	89%	9%	0%	2%
問12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	36	11	1	9	63%	19%	2%	16%
問13	職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	48	7	1	1	84%	12%	2%	2%
問14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	44	6	0	7	77%	11%	0%	12%
問15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	46	8	2	1	81%	14%	4%	2%
問16	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	47	7	1	2	82%	12%	2%	4%
問17	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	29	9	8	11	51%	16%	14%	19%

「実数」 … 実際に答えた人の数

「%」 … それぞれの実数が有効回答者数に占める割合

■ はい ■ どちらともいえない □ いいえ □ 非該当・無回答

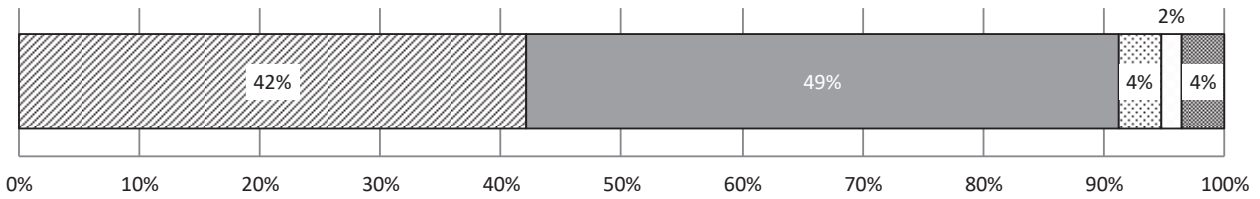
0% 20% 40% 60% 80% 100%



※数値は有効回答者数に対する割合

●総合的な感想

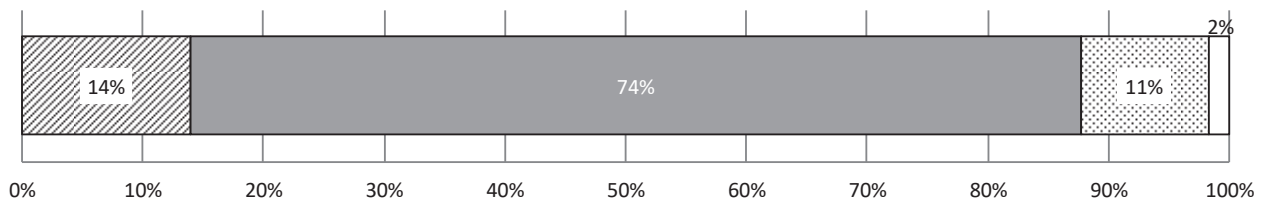
大変満足
 満足
 どちらともいえない
 不満
 大変不満
 無回答



大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答
24	28	2	1	0	2

F 1. 調査票記入者

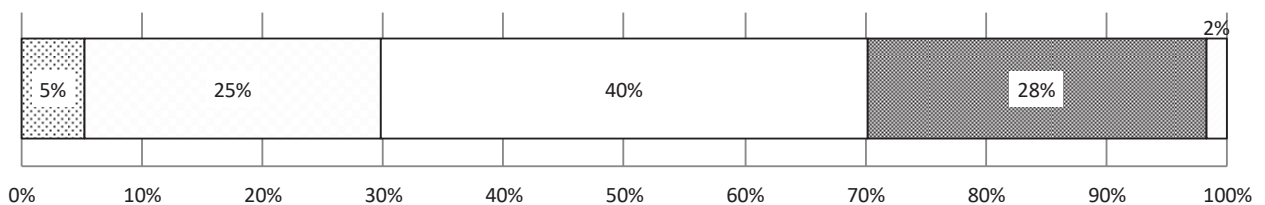
父
 母
 父母一緒に
 その他
 無回答



父	母	父母一緒に	その他	無回答
8	42	6	0	1

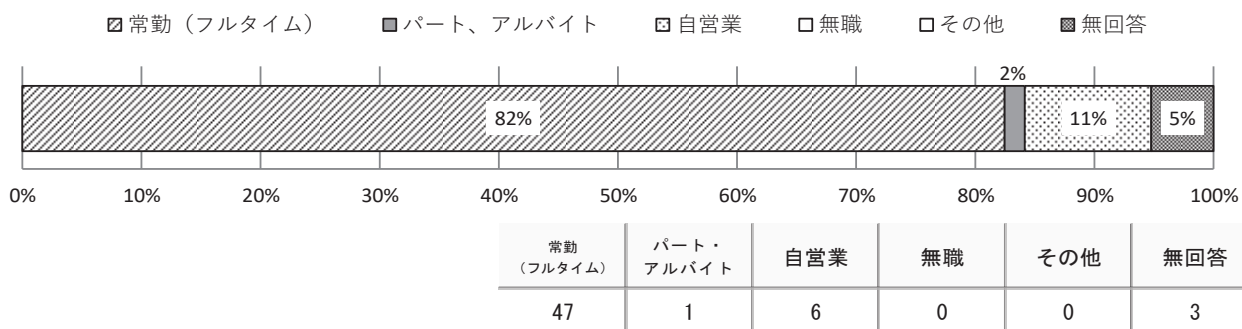
F 2. 記入者の年齢

20歳未満
 20～25歳未満
 25～30歳未満
 30～35歳未満
 35～40歳未満
 40～50歳未満
 50歳以上
 無回答

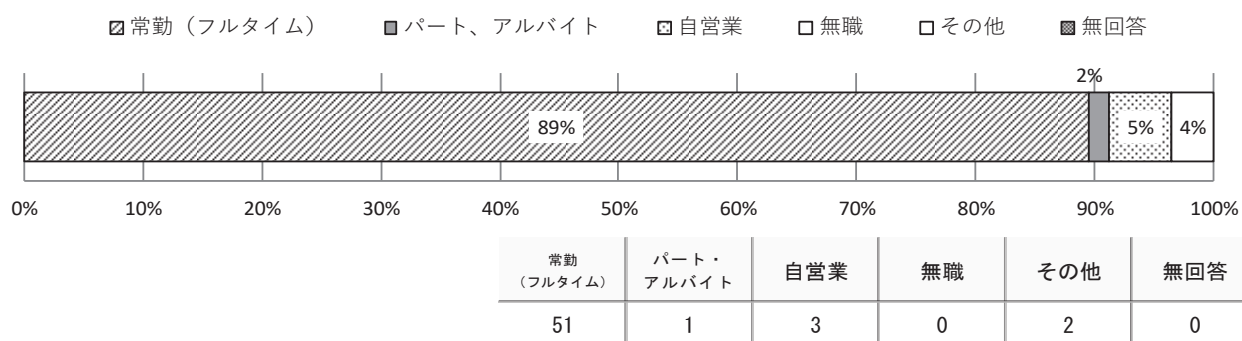


20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～50歳未満	50歳以上	無回答
0	0	3	14	23	16	1	0

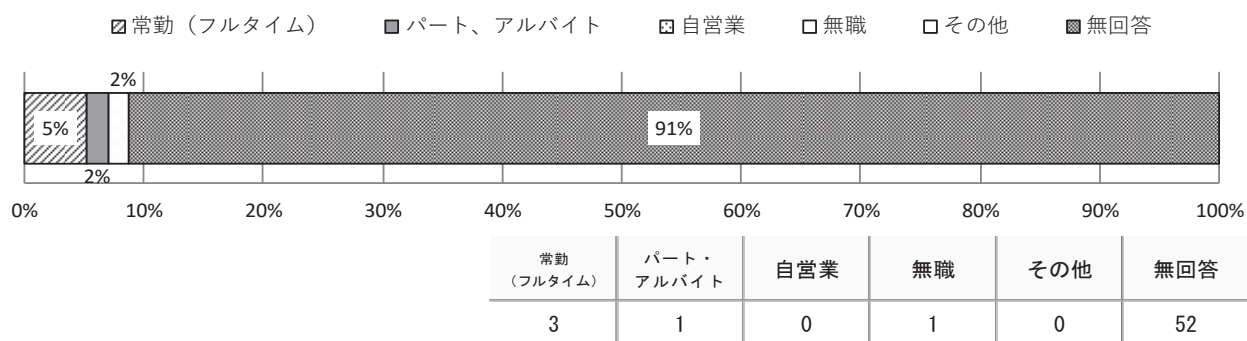
F 3. 保護者の勤務形態【父】



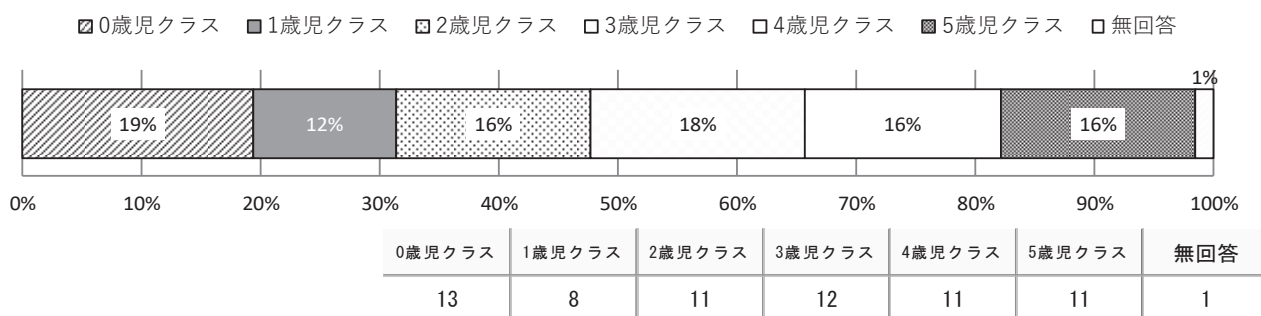
F 3. 保護者の勤務形態【母】



F 3. 保護者の勤務形態【その他の保護者】



F 4. お子さんが通うクラス (複数回答)



第二部 事業評価

1. 評価の概要

- (1) 評価の目的
- (2) 評点のつけ方
- (3) 訪問調査とフィードバック

2. 各保育園の評価結果報告書

(1) 和泉保育園	7 1
(2) 永福南保育園	9 5
(3) 大宮保育園	1 1 9
(4) 大宮前保育園	1 4 3
(5) 上荻保育園	1 6 7
(6) 上高井戸保育園	1 9 1
(7) 高井戸保育園	2 1 5
(8) 堀ノ内東保育園	2 3 9

1. 評価の概要

(1) 評価の目的

組織としてのマネジメント力がどのような状況にあるか、また、現在、提供されているサービスの質がどのような状況であるかについて、第三者評価機関が経営層及び職員の自己評価を事前に分析し、訪問調査を実施した上で合意により評価を行った。

カテゴリー 1：リーダーシップと意思決定

カテゴリー 2：事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

カテゴリー 3：経営における社会的責任

カテゴリー 4：リスクマネジメント

カテゴリー 5：職員と組織の能力向上

カテゴリー 6：サービス提供のプロセス

カテゴリー 7：事業所の重要課題に対する組織的な活動

(2) 評点のつけ方

上記カテゴリー 1～7（活動状況：今年度）の評点は評価項目ごとに、下記ルールに基づきつける。

評点基準 <カテゴリー 1～6>	
評点は、標準項目の実施状況を以下のルールに基づき、記号化したもので、評価項目ごとにつける。	
1 標準項目の実施が確認できた場合は○、未実施・確認不可の場合は●で表す	
2 ○及び●が混在する場合は、標準項目の順番にかかわらず、左端から○を配列し、●は右端に寄せて表す。	
3 「非該当」が選択された標準項目は、評点の構成要素からのぞく	
標語 <カテゴリー 7>	
目標の設定と 取り組み	<ul style="list-style-type: none">○ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった○ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みと 検証	<ul style="list-style-type: none">○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合も含む）○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の 反映	<ul style="list-style-type: none">○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

「標準項目」を確認することができる（できていることが確認できる）のは、以下の①～③すべてを満たした場合である。

- ① 事業所が該当事項を実施していること
（項目の示す内容が「できている」状態である）
- ② その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること
（偶然できているのではなく、再現性がある）
- ③ その根拠が示せること
（資料等で具体的に示すことができる）

（3）訪問調査とフィードバック

評価者による訪問調査及び評価結果のフィードバックは、下記の日程で行った。

保育園名	訪問調査日	フィードバック日
1 和泉保育園	令和2年10月	令和2年11月～令和3年1月
2 永福南保育園	令和2年10月	令和2年11月～令和3年1月
3 大宮保育園	令和2年10月	令和2年11月～令和3年1月
4 大宮前保育園	令和2年10月	令和2年11月～令和3年1月
5 上萩保育園	令和2年11月	令和2年12月～令和3年1月
6 上高井戸保育園	令和2年11月	令和2年12月～令和3年1月
7 高井戸保育園	令和2年11月	令和2年12月～令和3年1月
8 堀ノ内東保育園	令和2年11月	令和2年12月～令和3年1月

(1) 和泉保育園

調査対象

園児全世帯の保護者を対象とした(複数の在園児がいる場合は、最年少の児童に対しての回答をお願いした)。

調査方法

アンケート方式
園からアンケート用紙を配付してもらい、回収は評価機関へ直接郵送、もしくは園内に設置した回収箱へ投函とした。

利用者総数	69
利用者家族総数(世帯)	60
共通評価項目による調査対象者数	60
共通評価項目による調査の有効回答者数	47
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	78.3

利用者調査全体のコメント

調査対象世帯60世帯中、47世帯から回答を得ることができた。満足度が高かった項目としては、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」などがあげられる。
総合的な満足度では、「大変満足、満足」が45名、「どちらともいえない」が1名であった。「色々な活動を通して心身共に子どもの成長につながっています」「新型コロナ禍で制限がある中、子ども達が楽しめるように考えてくれています」「新型コロナ禍で安全対策をとってくれ、安心して預けることができます」「注意する所は注意し、良い所を見つけて褒めてくれるので子どもも伸び伸びと過ごすことができます」「悩みなど相談させてもらうことでいつも支えてもらっています」「子どもを可愛がり丁寧に接してくれ、子どもも保育園で楽しそうにしています」などのコメントのほか、「積極的に戸外遊びをしてほしいです」「保育士さんともっと話す時間があると嬉しいです」などがあつた。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	47	0	0	0
回答者全員が「はい」と回答している。 「歌やダンスや言葉、日々新しいことを覚えてきます」「保育園に通うようになってから、できることが増えました」「話せる言葉やできることが日に日に増えています」「植物や野菜を育て食べることが良い経験となります」「先生によって製作活動にバラつきがあると思います」などのコメントがあがっている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	46	1	0	0
46名が「はい」、1名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「帰宅すると楽しそうに園での活動の話をしてもらいます」「友達との関わりや一緒に遊ぶことで様々な体験ができ、楽しんでいます」「植物の水やりなど楽しみにしています」「泥んこ遊びが楽しそうです」「連絡帳を読むと、楽しそうに過ごしているのがわかります」「新型コロナ禍で保護者会もないので、どのような活動をしているか見えづらいです」などのコメントがあがっている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	45	2	0	0
45名が「はい」、2名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「子どもも満足してると言っています」「質も量も非常に良いと思います」「アレルギー対応がしっかりされており、メニューも豊富です」「野菜の手作りふりかけなど、とても工夫されていると思います」「おやつというより補助食といった栄養面をしっかりと考えて下さっている献立だと思います」「乳児の朝のおやつに市販のおやつは改善してほしいです」などのコメントがあがっている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	42	5	0	0
42名が「はい」、5名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「天気がいい日は外遊びをさせてくれています」「自然や虫との触れ合い、行事を行ってもらえています」「お散歩にも連れて行ってかれて、園庭で野菜や花を育てるなど十分確保されていると思います」「今年度は新型コロナ禍のため遠足などに行けず残念です」などのコメントがあがっている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	36	6	0	5
36名が「はい」、6名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「残業には対応してくれるが、緊急時の延長にも対応してもらえるとありがたいです」「概ね満足です。スポット延長をする場合は決まった時間に電話で連絡しないといけないのが不便です」「あまり利用したことがありません」などのコメントがあがっている。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	37	9	1	0
37名が「はい」、9名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「手厚くみてくれており、新型コロナ対策も安心です」「先生方の人数・遊具・おもちゃの使用年齢厳守など細かいところまで対策していると思います」「毎月防犯訓練をして、子どもも意識を持ってくれます」「園内の安全対策は問題ないと思うが、園と外を仕切る門や柵はもっと高さを出してほしいです」「門の鍵が少し心もとないです」などのコメントがあがっている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	33	9	1	4
33名が「はい」、9名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「とても配慮してくれています」「事前連絡がもう少し早いと助かります」「保護者会は平日なので休みを取らなければならない」「新型コロナを機に個人面談など、デジタル化を進めても良いと思います」などのコメントがあがっている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	42	3	0	2
42名が「はい」、3名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「心配なことなどノートに書いたり伝えると、いつも親切に対応してくれます」「気になることがあると教えてくれたり、家でも様子を聞いてくれて助かります」「送迎時に担任と話し、情報交換や困っていることの相談ができています」「もう少し園での様子を聞きたいが、忙しそうで聞きにくいです」などのコメントがあがっている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	43	2	1	1
43名が「はい」、2名が「どちらともいえない」、14名が「いいえ」と回答している。 「いつもキレイでとても清潔です」「何度も清掃・除菌・危険物撤去をしている印象があります」「清掃はこまめにきちんとやってくれているので問題ないが、建物や昼寝布団などの備品の古さが気になります」などのコメントがあがっている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	44	1	1	1
44名が「はい」、1名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「丁寧な言葉遣いで皆さん清潔な様子です」「しっかりされている」「優しいです」などのコメントがあがっている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	42	3	0	2
42名が「はい」、3名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「子どもに優しく、いつも安心できます」「ちょっとしたケガでも、きちんと報告・対応していただけるので安心です」などのコメントがあがっている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	39	3	1	4
39名が「はい」、3名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「ケンカなどがあった際はきちんと内容を報告していただけるので安心です」「些細なことがあった時でも報告してくれます」「子どもからの話では適切に対応してくれていると感じます。親向けにも話があると嬉しいです」などのコメントがあがっている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	44	2	0	1
44名が「はい」、2名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「よく受け止めてくれていると思います」「大人の事情を押し付けず、話を聞いたり促してくれます」などのコメントがあがっている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	40	4	0	3
40名が「はい」、4名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「あまりないですが、もしそのような場面に遭遇した場合は守ってくれると思います」などのコメントがあがっている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	39	5	2	1
39名が「はい」、5名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「毎回とても丁寧に説明していただき、情景が浮かびます」「連絡帳がなくなると細かい様子がわからないので、もう少し先生とお話できる機会があるとよいかもしれません」「3才児からは、貼り出し日誌でしか一日の状況がわかりません」などのコメントがあがっている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	39	6	0	2
39名が「はい」、6名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「兄弟がいる場合に両方の先生に言わないといけないのが大変だと思います」「特に不満はないですが、時間の件などは柔軟に対応してくれてると思います」などのコメントがあがっている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	17	18	4	8
17名が「はい」、18名が「どちらともいえない」、4名が「いいえ」と回答している。 「都度伝えてはくれませんが、区役所などに相談できると思います」「そのような相談はしたことはありません」「基本的に園内で解決しているため、今までは必要ありませんでした」などのコメントがあがっている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	全職員が園の目指す方向性を常に意識できるように理念・目標を事務所内に掲示している 園では杉並区が定めた「杉並区立保育園保育実践方針」に沿い、「子どもの最善の利益の確保」、「子どもの福祉の増進」という理念と「健やかな心とからだ」という目標を定めている。理念・目標は、職員がいつでも見ることができるよう事務所内に掲示されると共に、毎年度始めに行われる職員会議にて確認し合い、職員が職場において常に理念や目標を意識できるよう努めている。保護者に対しては、園のホームページ、「園のしおり」に記載された理念・目標と園が大切にしている保育の考え方を入園説明会と年2回開催される保護者会にて伝えている。 ワン・チームというスローガンを掲げ、職員が一丸となる園運営を目指している 園では今年度の目標として決定したスローガン「目指せ ONE TEAM!」を掲げている。一人ひとりの職員が自らの保育に対する思いや考えを出し合い、一丸となって取り組んでいる。しかしながら、新型コロナ禍のため多くの会議などの開催が困難な状況である。園長は保育所運営の課題を自覚し、園が目指している目標の達成のために開催が可能な定例会議、ミーティングにおいて目標やスローガンを全職員に示し、組織の長として事業所運営の牽引に努めている。 重要な案件は職員会議にて検討し、その内容とプロセスを関係者に周知している 重要な案件について、基本は職員より議題を出し定例会議にかけて検討している。内容によっては職員に議題を投げかけ、相談しながら決めていく場合もある。保護者には、年2回開催している「保護者会」にて園が目指していることや考えていることを伝えている。保護者会では最初に園の保育目標を説明している。園全体に関わることは園長が話し、クラスの年間のねらいや目指していることは担任から話している。今年度の重要な案件は、新型コロナ禍の影響もあり、すべて「お便り」と「子ども安全連絡メール(すぐメール)」で発信している。	

和泉保育園

カテゴリ2		
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
サブカテゴリ1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリ2の講評		
<p>区の指定する中核園として、地域が抱える課題の共有や解決に向けた意見交換をしている</p> <p>園では、保護者との対話の中からその意向を把握している。幼児クラスでは「連絡メモ」、乳児クラスは「連絡帳」でコミュニケーションをとっている。保護者からの意見や要望は必ず職員間で共有し、その内容が個別ケースか、園全体への要望かを見極めた上で園長が対応をしている。当園は区が指定する中核園になっている。中核園は地域における保育施設間の連携・情報共有、保育内容の向上に向けた役割を担っている。年3回主催する「地域懇談会」では、地域の公立私立保育園39施設が抱える課題の共有や解決に向けた意見交換をしている。</p> <p>区の策定した中長期計画・課の組織目標を踏まえ、園独自の保育計画を策定している</p> <p>園の単年度計画となる「係の目標シート」は、区子ども家庭部・保育課の中長期計画・組織目標を受けて毎年度初めに策定している。「全体的な計画」は、「杉並区立保育園保育実践方針」、園目標・方針・理念をもと決定している。園運営の柱となる計画は、「係の目標シート」、「各係の計画」、「リーダーの年間計画」となる。また、「全体的な計画」を基に、「年間指導計画」を策定している。計画は、期ごとに反省を踏まえた修正を行っている。</p> <p>保育計画は毎月、向上リーダーが中心となり活発な意見交換を経て見直しが行われている</p> <p>区では園長・主査と共に保育の柱として保育の質の向上を進めていく「保育の向上リーダー」を各園2名選出している。当園において保育計画の見直し・検討はこの「向上リーダー」が中心となっている。向上リーダーは職員の活発な議論を促すために会議の時間配分や進め方を工夫している。園で策定した計画は、毎年度(又は半期)で反省を行い、課題を抽出している。担当者ごとに課題について検討したものを職員全体で話し合い、次年度に向けての計画を策定している。今年度は、新型コロナ禍の影響により平常時と異なる変更・見直しが生じている。</p>		

カテゴリ3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ3の講評		
<p>公務員、福祉事業において必要な研修を受講し、理解度をテストや面接にて確認している</p> <p>全職員に対して公務員及び社会福祉事業に従事する者として必要な研修を実施している。研修には特別区研修、区人事課主催研修等があり、職員は公務員倫理、個人情報の保護等の研修を受講している。区からの通知文書(公務員倫理の保持、個人情報の保護等)は職員へ周知し、その遵守を図っている。今年度よりパート職員は会計年度任用職員となり、身分変更が行われた。会計年度任用職員への公務員倫理研修は、倫理保持に関する冊子を渡し、理解テストを実施している。さらに、園長は研修内容が理解できているか面接を行い、確認している。</p> <p>保護者と園のコミュニケーションツールとして「保護者メモ」を作成している</p> <p>園では、入り口に「保護者メモ」を用意している。保護者メモは連絡帳以外に気軽に保護者からの意見や要望を伝えることのできるコミュニケーションツールとなっている。メモは年度初めに園から保護者に20枚程度渡され、園に対して気づいたことや意見、苦情等を記載する。保護者はメモを直接職員に渡すか、子どもの持参する連絡袋に入れることが多い。記載されたメモは、その内容によってミーティング等で共有し対応している。園では保護者に対して心配なことや疑問を感じたときは、すぐに職員に伝えて欲しいことを常に説明している。</p> <p>中核園として地域の公立・私立の保育園に対して電子メールでの情報発信を開始した</p> <p>園では地域(平日)や保育施設(月～土)に園庭開放を行い、安全な遊び場の提供を行っている。園長は、地域のネットワーク会議や連絡会に参加し、情報共有や地域に根差した活動に参加している。幼保小連携事業として年長児が、就学前の顔合わせとして小学生との交流を図っている。中核園として、地域のつながりを深め、地域の施設で支え合えるような関係づくりをねらっている。公立・私立保育園39施設へ電子メールを利用したお便りの配布を始めた。地域の保育園との連携を深め、保育の相談が気軽にできる関係づくりを目指している。</p>		
カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>各種マニュアルを活用し、様々なリスクに対応できる体制を整えている</p> <p>園では、危機管理マニュアルを基に、事故・感染症・防災災害・情報セキュリティ対策を行っている。感染症の対応については、都や区の方針や通知を下に対応し、判断を迷う場合や個別の対応については、区の保育課と連絡をとり、助言を受けている。また、今年度の新型コロナ禍に対する園の対応は、「命を守ること・リスクを減らす対応」を優先に進めている。さらに、保護者の就労支援、子育て支援も行っている。感染症の予防については、保育課指導方針を基に対策を徹底すると共に、園独自の対策を考え実行し、感染防止に努めている。</p> <p>臨時休園等の重要な情報は区より直接保護者に電子メールが発信されている</p> <p>園からの情報は保護者に一斉に配信する仕組みがある。さらに、今回の新型コロナ禍による臨時休園等の重要な情報に関しては、区の保育課からの直接情報を配信し、速やかに周知することも可能となっている。「避難訓練」は毎月1回行い、併設されているゆうゆう館とともに隣接する公園に避難訓練をする「総合訓練」は年1回、10月に行っている。総合訓練の際、消防署の方に来ていただき講評を受けている。年に1回の救急法の訓練も消防署の方に来ていただき行っている。防犯訓練は最寄り警察署の協力の下、年3回行っている。</p> <p>区の情報セキュリティ管理基本方針に則り、個人情報管理を行っている</p> <p>区の情報セキュリティ管理基本方針に則り、個人情報管理を行っている。個人情報データの利用の際には記録簿を付け、施錠保管をしている。区が定めた管理機関等により、保存や廃棄を行っている。会計年度任用職員等を含む全職員に、採用時にこれらを説明している。実習生、ボランティアについては、事前オリエンテーションにて、個人情報保護遵守について説明している。情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準(部外秘)に則り、アクセス権等の設定をしている。</p>		
カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>肯定的な話をすることによって、お互いを認め合える環境づくりを心掛けている</p> <p>職員の人材育成に関しては「育成計画」を基に育成を進めている。人材育成に関わる担当者は、育成計画にて進捗状況を確認する。お互いの保育業務のことを伝え合うときに、肯定的な話をすることを心がけている。否定的な話ではなく、明日からの保育につながるような話をし、お互いを認め合えるような話し合いを目指している。当園は若手が多い職場のため、話し合いの持ち方を常に見直している。育成担当者は、区の保育課の育成担当者会議に参加し、育成の悩みや難しさなどを話し合い、情報交換する機会を設けている。</p> <p>新入職員(1年目)は先輩職員、2・3年目は主査よりOJTを受けている</p> <p>新人は採用から3年目までは、育成担当者を定め、保育士としての知識や実践の習得に取り組んでいる。1年目は一緒に組んでいる先輩職員が、2年目、3年目は主査が育成を担当している。新人は区の人材育成研修、保育課の実務研修等、様々な研修を受講しスキルアップを図っている。園内では保育実践に関わる園内研修・集団衛生に関わる研修などに参加し、知識と技術の向上に努めている。とくに、園内では実践による問題解決能力を向上させ、意識と保育力の向上を目指している。</p> <p>係活動の担当者を決め、一人ひとりが業務の中で改善の気づきを得るようにしている</p> <p>研修の受講を終了した職員は必ず研修の内容を報告し、園職員に学びの共有を行っている。研修出席者は研修内容をレポートにまとめ、事務所内に掲示をして職員が閲覧できるようにしている。職員はそれぞれ「係」の担当になっている。「環境係」、「図書係」等があり、係活動の中で園の様々な業務を分担している。当園は施設が老朽化しているので環境係に力を入れている。今年度からは環境係を園庭担当と室内担当の2つに分け両方の担当に主査が入り、危険な場所を見つけ改善する取り組みを進めている。</p>		

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1	
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
<p>「保育の質の向上を目指して、保育実践を見直し学ぶ」～より良い保育を提供するために実践力をつけよう～が前年度の重点目標であった。園ではこの目標を達成するための方法として「リズム・運動遊び・食べる機能を育てる(食育)について、具体的な実践方法を明確化すること」を掲げた。具体的には、リズムを学んできた職員を講師役にし、実際に身体を動かしながら学ぶ運動遊び、各クラスから取り入れている運動遊び、年間で取り入れたいものなどを書き出してもらい全職員で出てきた意見を確認しあった。食育については、栄養士・主査が中心となり話し合いをすると共に、どのように取り入れていくか乳児・幼児担任同士で話し合ってもらった。さらに、外部の講師を招き「食べる機能を育てる」ことを学び、職員のスキル向上につなげていった。園全体で、運動機能を高めるものにしてリズムを継続していくためには、継続して学び実践につなげていく必要がある。今後は園として、リズムをマニュアル化し、職員の異動や配置換えがあっても取り入れやすいやり方と環境(場所の使い方)の整備と調整を行い、計画して保育実践に繋がっていくようにする。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>昨年度初めて職員に「どんなことをしたいか」というアンケートを行った。アンケートの結果から職員は「学びたい。勉強したい」という意見が多くを占めた。そして学びたい事で多かったものがリズムと、運動遊びと、子どもの食事指導であった。研修を検討するにあたり現状を確認したところ、「リズム」に関しては未経験の職員がいたことがわかった。つまり、職員の「リズム」が統一されておらずばらつきがあった。個々の表現方法に差異があったため、やり方を統一した。若手の未経験の職員はこのリズムを学ぶことですぐに遊びに使えるようになってきた。また、運動遊びを広げられることにつながった。食育に関しては職員一人ひとりが課題を抱えていた。1歳児の担任はより良い援助の仕方、2歳3歳児の担任は、食べ方のマナーの伝え方について悩んでいた。研修では栄養士と主査が今まで自分たちが経験してきたこと、学んできたことを専門的な見地から話をした。さらに専門的な学びをしようということで、大学の講師を招き研修を行った。同じ研修を職員全員で学べた効果は大きく、すぐに実践に活かせるようになった。</p>	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「保育の向上を目指し、保育の理論や実践を確かなものにする～職員間の意見交換、保育理論の話し合いの充実～保育実践を語り合う中で、大切にしていくことを共有する～」が前年度の課題である。園では、若手職員と「指導計画」の話し合いを充実させるために、様々な会議運営方法を試みた。しかしながら若手職員からは、意見が出ない傾向があったため、事前にカリキュラムに目を通し質問などを持ちより意見交換が活発に行える方法に変えていった。話し合いを繰り返すうちに若手各自の悩みや思いを他職員の前で吐露できるようになっていった。話し合いのプロセスが保育実践の一つ一つの確認と若手職員の学びにつながっていった。また、職員全員で同じ研修を受けたことは、学びの共有になり話し合いの土台になることもあった。「日々の保育を大事にする」ことを最優先に考え、年度末に4・5歳児室を分けることにつながった。若手職員の増加と、来年度の職員の異動があることから、現在園で行っている保育を継承していくことが大事だと考えている。今後は行事の由来やねらい、日々の保育で継続して行っていることを話し合いの中で再確認していくことに重点をおくようにしたい。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行ってなかった(目標設定を行ってなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園では3年前から「指導計画」を充実させたい、真剣に職員同士で保育の話をして保育の質の向上につなげていきたいという考え方があったが、なかなか進まなかった。そこで園長は向上リーダーとともにどうやったらこの指導計画の話し合いが充実するかということを検討してきた。園長と向上リーダーは、何度も試行錯誤を行い、職員に事前に資料に目を通してもらい、会議で意見を言ってもらう方法や、課題だけをテーマとして話し合ってみたりする方法を試してきた。職員は最初は活発な意見がでなかったが、何度も話し合いを繰り返すうちに、若手職員も意見を発せられるようになってきた。しかしながら、議題によっては活発な意見がでず、話し合いが深まらない場合もあるため、今後も取り組んでいかなくてはならないと考えている。毎月この件については話し合いをしており、前期後期で反省を行い見直しを行っている。1年は持ち越さないようにしており、中間見直しにおいて軌道修正を行っている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学が要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>園の情報提供は区のホームページや保育施設ガイドブックなどで行われている 園の情報は杉並区のホームページや保育施設ガイドブック、園のしおりなどで提供されている。ホームページでは園の住所や電話番号、対象年齢、定員、保育時間、保育目標を伝えている。さらに、主な行事、地域の子ども対象のサービス、保育園の特色、保育園の見取り図と写真などを掲載し、園の取り組みも伝えている。保育施設ガイドブックにもこれらの基本情報を要約して掲載している。門の前の掲示板には、園庭開放や電話相談、子育て支援事業の情報を掲示している。現在は、新型コロナ禍によって、休止していることを伝えている。</p> <p>地域のネットワークに参加して情報交換を実施している 区の主管課に、中核園事業、延長保育事業、子育て支援、感染症の状況、施設管理関係などについて報告し、情報のやりとりを日常的に行っている。地域の懇談会に参加して情報交換すると共に、地域向けのお便りを発行し、地域とのつながりと連携を図っている。児童館や保健センターに保育士や栄養士が出向き、地域で子育て中の親子に、トイレトレーニングや離乳食について講演したり、地域の保育施設や地域の子ども向けの積み木で遊ぶ会などを開催している。</p> <p>見学日は土曜日に設定し、見学者用園概要案内を配付して案内と説明を行っている 見学者に園の新型コロナ禍における取り組みを説明し、見学日は土曜日に設定している。受付名簿に記入し、当日の案内が密にならないよう人数を制限して個別に対応するよう調整している。見学者には見学者名簿に名前や連絡先、体温、健康状態の記入とマスクや手の消毒をしてもらい、園概要案内を配付して園長や主査、経験のある保育士が対応している。廊下から保育室の環境構成や玩具などを見てもらいながら案内し、質問や相談にも丁寧に対応している。</p>		

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園前の健康診断や面談で子どもの発達状況や保護者の事情、意向を聞いている 新入園児の面接は平日に行い、囑託医による健康診断で子どもの発達状況を把握している。子どもの入園までの生活状況や健康状態、食事の状態などについて個別に保護者と面談して記録し、子どもに関する必要な情報を把握している。園長は家庭連絡票を基に、保護者の就労状況や子育ての意向などを聞いている。1、2歳児や食物アレルギーをもつ子どもや健康上の問題がある子どもの場合は、栄養士や看護師も面談に加わっている。</p> <p>保護者に入園説明会を開いて、園のルールやサービスについて説明している 土曜日の午前中に入園説明会を行っている。保護者に「保育園のご利用にあたって重要なお知らせ」や「園のしおり」などを配付している。園生活の基本的なルール、緊急時の対応、安全管理、給食や健康に関する事、個人情報の取り扱い、苦情・要望等の相談窓口などの重要事項について説明をしている。「保育園でのビデオ撮影や写真撮影について」も説明し、書面で同意を得た上で事務室に保管している。</p> <p>入園時に「慣れ保育」を行い、子どもや保護者が不安なく過ごせるように対応している 入園当初は保護者と相談して短時間の保育から始める「慣れ保育」を行っている。入園時に提出された家庭連絡票や入園までの生活状況、健康調査票、食事調査などの書類は支援に役立てる基礎資料としている。慣れ保育はおおむね1週間をめどに子どもの状況や保護者の事情を考慮し行っている。子どもの心身にストレスをかけずに園生活に入れるようにしている。1歳児、2歳児クラスは初日に保護者に食事を食べさせてもらい、食べさせ方や形態などを把握している。お迎え時に子どもの様子を詳しく伝え、保護者に安心してもらえるように努めている。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
3	個別状況の記録と計画策定		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
<p>「全体的な計画」を基に年、月、週の指導計画を作成し、個別の計画を作成している</p> <p>「全体的な計画」を基に養護と教育の領域を考慮して、年齢別に年間指導計画、月間指導計画を作成し、週案では具体的な活動を計画している。1歳児、2歳児は個別の指導計画を作成し、配慮が必要な子どもについても個別に指導計画を作成している。指導計画は年、月、週ごとにクラスや園全体で、向上リーダーや主査を中心に反省・評価を行っている。保護者には年度初めの保護者会で年間指導計画について説明している。今年度は年間のねらいや一年間の目標をクラスだよりで伝え、毎月のねらいや活動を園だよりに掲載している。</p> <p>日々の活動は保育日誌に記入し、一人ひとりの子どもの歩みは児童票に記載している</p> <p>子どもたちの日々の活動は保育日誌に記入し、1歳児、2歳児の連絡帳には子どもの園での様子を具体的に書くようにしている。一人ひとりが成長していく姿は、児童票の「保育の経過記録」に、1歳児、2歳児は2か月ごと、3歳児、4歳児、5歳児は期ごとに記載している。「主な発達のあらわれ」を参考にしながら、文章によるまとめを定期的に記載している。一人ひとりの子どもの「保育の経過記録」は一か所にまとめ、在園中の成長の記録が時系列で確認できるようになっている。</p> <p>朝夕の視診表や毎日のミーティングで、子どもに関する情報を職員間で共有している</p> <p>各クラスの朝夕の視診表に、子どもの契約保育時間と実際の登園・降園時間を記入している。連絡事項(鼻水がでる、庭で転び膝を擦りむき消毒したなど)、送迎の人を記入し、受け渡し時の情報の共有や伝達を行っている。出勤時間が異なる職員は、園日誌や朝夕の視診表でその日の子どもの様子を把握している。また毎日午後のミーティングを行い、園全体の連絡事項と子どもや保護者の情報を伝え職員間で共有している。新型コロナ禍の状況を見ながら職員会議を再開し、情報の共有をさらに図っていきたく考えている。</p>			

サブカテゴリ5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ5の講評		
<p>日常保育の中で子どものプライバシーを守り、羞恥心に配慮した支援をしている</p> <p>入園時に「個人情報の取り扱い」について文書を配付して説明し、「保育園でのビデオ撮影や写真撮影について」を含め、書面で同意を得ている。また、子どもの羞恥心に配慮し、オムツ交換や着替え、シャワー、プール遊びなど外部から見えないようにカーテンや目隠しをしている。着替えの時は一度に全部脱がずに順番に着替えたり、プール時はラップタオルを使用して着替えたりなどを指導している。5歳児はカーテンで男女別に仕切り着替えている。看護師は子どもにプライベートゾーンについて話し、子ども自身が意識できるよう支援している。</p> <p>子ども一人ひとりを受容し大切に保育に、取り組んでいる</p> <p>事務室に児童憲章が掲示され、子ども一人ひとりを受容し大切に保育が実践されている。年齢別保育内容には子どもの自主性を尊重した関わりが記載されている。「杉並区立保育園保育実践方針」に明記された基本的な考え方「子どものサインには全て意味があるとの捉え方」を大切にしている。子ども一人ひとりの表情、しぐさ、行動などから子どもの気持ちを知り、寄り添った関わりを丁寧に行っている。利用者調査でも94%の保護者が「子どもの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思う」と回答している。</p> <p>児童虐待のサインを見逃さないための知識を、職員間で共有している</p> <p>保護者とコミュニケーションを取り、家庭による異なる生活習慣や価値観を尊重するよう努めている。区で作成した「児童虐待対応マニュアル」を園で常時閲覧できるようにしている。児童虐待の発見、通報、対応についてはマニュアルに沿って行い、子どもや保護者に気になることがあった場合は園長に報告している。これまで、虐待が疑われる事例はないが、園での子どもの様子を注意深く見守り子どもと保護者の支援を行っている。園長は研修に参加して職員会議で周知し、職員が不適切な状況に素早く気づけるよう日々指導を重ねている。</p>		

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>区立保育園共通のマニュアルや園独自のマニュアルを整備し活用している</p> <p>区立保育園で共通の「杉並区立保育園保育実践方針」をはじめ、「危機管理マニュアル(災害、感染症、緊急時、食物アレルギーなど)」「児童虐待対応マニュアル」などを整備している。これらのマニュアルは事務室で保管し、いつでも確認することができるようになっている。園では独自に、「防犯マニュアルやヒヤリハットマニュアル、散歩時に関する確認事項、当番の仕事」などを作成している。対応がスムーズにできるよう、一部を掲示するなどして活用している。職員は気づいたことを発信し全職員で共有して改善策を考えている。</p> <p>保育書類や独自の手順書を見直し、次年度に向けて改善している</p> <p>年度末に年間を振り返り、全職員で保育書類や園独自のマニュアルを見直している。新型コロナ禍で区の指導を受け、朝の受け入れから夕方のお迎えまで一日の流れを見直している。登降園時の子どもの受け渡し場所、持ち物の準備の仕方などの変更を保護者に説明し協力を得ている。手洗いや排せつ、遊びが密にならないように工夫し、玩具の消毒や室内清掃の手順も決めている。見学希望者の受け入れも見直し、当園の感染症防止対応を説明している。体温や健康状態を記入してもらうようにしている。</p> <p>保護者や職員の気づきや意見を受け止め、改善や向上に取り組んでいる</p> <p>年度初め保護者に「保護者メモ」の用紙を配って意見を募り、寄せられた要望には個別に対応している。職員にも気づきや提案をもらい改善している。その一つは「行事の時の保護者の自転車利用について」である。利用者数が多く駐輪場の確保や自転車転倒などの安全対策がとれないことから、行事の参加には自転車の利用をやめていただくよう協力を依頼し浸透してきている。二つ目は「布団カード」の導入である。土曜日のシーツ交換時に「布団カード」を渡し、人員が少ない時の防犯対策にもなっている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
		35 / 35	
1 評価項目1			
子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(000000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>一人ひとりの遊びが充実するように、年齢に適した環境を工夫している</p> <p>乳児は一人ひとりの遊びが保障されることを大切に考え、互いに距離が保てるように棚で仕切りをつけた環境にしている。2歳児は簡単なパズル等を用意して集中して遊びこめたり、ミニカーなど動く玩具や積み木等創造的な玩具を揃えている。幼児は興味や関心を保育者が把握し、友達と関わりながら遊ぶ玩具を用意している。例えば、3歳児は量を用意し、手作りのレンジなどで、ままごと遊びに発展できるように工夫した環境になっている。今年度から環境係を室内と園庭に分けて環境を見直した結果、活動や整理整頓がしやすくなっている。</p> <p>子ども同士のトラブルは双方からの話を聞き、気持ちを代弁して解決を図っている</p> <p>トラブルが起きた時は年齢によって対応の違いはあるが、双方の子どもの気持ちをよく聞き、伝える力、考える力、他者の言い分を認める力が育つように支援している。トラブルの詳細は職員会議等で事例を取り上げ、対処方法などを話し合い、共通認識が持てるようにしている。受診するほどの怪我が起きてしまった時には、保護者に成長発達の過程での子どもの姿であることを説明し、防ぎきれなかったことを謝罪している。保護者会やクラスだよりなどで子ども同士の関わりの様子を伝え、その際にトラブルが起きた場合の園の対応の仕方を伝えている。</p> <p>年長児は小学校訪問等をして、入学に対しての不安感を軽減している</p> <p>近隣小学校とは毎年話し合いを重ね、年長児が入学に際して不安感を軽減できるよう工夫している。学校の図書室を利用したり、「わくわくプロジェクト」と名付けたイベントを実施している。他の保育施設と一緒に学校訪問をして、1年生の教室を訪れ、小学生と触れ合ったり、給食を食べたりしている。ランドセルを背負わせてもらうなどの体験学習を通して、小学校に対する不安が軽減され、期待を大きく膨らませることができている。保護者にも掲示日誌等で様子を伝え、保護者の不安も軽減できるようにしている。</p>			
2 評価項目2			
子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(0000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当
評価項目2の講評			
<p>登園時、保護者から家庭での子どもの様子を聞き、その日の活動に反映している</p> <p>家庭との連続性を大切に考え、登園時には家庭での子どもの様子を聞きとっている。また、連絡帳を参考に、健康状態を観察して顔色や熱、機嫌等から保育が可能かどうかの判断をしている。また、保護者からの伝言は朝夕視診表に記録し、伝達漏れがないようにしている。連絡帳等で睡眠時間や食事の摂取状況を把握し、その日の給食や午睡時間等に反映している。保護者には、生活リズムや体調を整えることの大切さを伝えている。これらは、日々のコミュニケーションと保護者会やクラス便りを通じて行っている。</p> <p>基本的な生活習慣を保護者と連携して取り組んでいる</p> <p>基本的な生活習慣の確立に向けては、乳児は連絡帳や保護者から口頭で家庭での様子を聞いている。園での取り組みは子どもの発達の状況を考慮して判断して、適切な時期に取り組むようにしている。保護者会やクラスだよりで事前に園の方法を周知している。衣服の着脱の方法やトイレトレーニングなどは家庭と園の方法が違うことで子どもが戸惑わないようにしている。家庭と園の認識の違いで、子どもに負担をかけないように配慮している。年齢に達したからと一斉に取り組むのではなく、個別に保護者に伝え無理をしないようにしている。</p> <p>降園時には保護者に子どもの1日の様子を伝えている</p> <p>降園時には保護者にその日の子どもの様子をクラス担任や当番保育士が伝えたり、連絡帳や掲示日誌(クラスの保育日誌)で伝えている。15時前に午後ミーティングを行い保護者からの連絡事項や体調、怪我等を報告しあい、保育者全員が情報を共有している。また、保育者からの伝言は朝夕ノート(朝夕視診表)に記入して、当番保育士から伝えるようにしている。怪我やトラブルを伝えるときは、担任、主査、園長のいずれかが直接保護者に状況説明や園の対応等を伝えている。</p>			

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している			評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている		○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている		○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している		○非該当
評価項目3の講評			
<p>子どもの主体性や自主性を尊重して、豊かな遊びが展開できるように環境を整えている</p> <p>保育者は子どもの気付きや興味、関心を遊びに繋げていけるような援助の仕方を意識して、遊ぶ様子を見守ることを大切にしている。室内では、子どもの目線で玩具が自分で選べるように棚の高さや場所を考慮している。子どもが自由な発想で遊びが広げられるようにしている。遊びの中から、考えたり、想像したり、人間関係を構築するような体験を重ねていくように、環境を工夫している。園庭の遊具は可動式にして、自由な空間を提供し、子どもの動きが決まったものにならないようにしている。</p> <p>戸外散歩や園庭遊びを通して四季を肌で感じることができている</p> <p>園庭には夏ミカンやが植えられ、秋になると枝一面に実を付けている。園庭に咲く草花も遊び道具の一つになっている。1年を通して園庭にやってくる虫たちは子どもたちが主体的に触れたり、観察したり、飼育にも発展している。園舎の隣の公園にも大きな金木犀の木が植えられ、良い匂いを放っている。散歩に出れば園とは違う自然に触れ、吹く風にも四季を肌で感じとることができる。季節に合わせた植物や野菜の栽培をすることから、四季の変化を子どもたちに知らせ、肌で感じさせている。</p> <p>子ども自身の体験から、気持ちを調整する力を育んでいる</p> <p>子ども自身が自我を主張するばかりでは人間関係がうまくいかないことを体験し、ルールの中で過ごすことが必要であることを知らせている。気持ちが抑えられない時には他の保育者の援助を頼み、クールダウンさせるために担任が静かに子どもに対応している。空いている部屋や時には事務室でクールダウンすることもある。日常生活の中で、手洗いやトイレの順番を守ることの大切さを教えている。カードや絵本を使い、視覚を通して理解できるように、看護師の健康教育の中で伝えることもしている。</p>			
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している		○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている		○非該当
評価項目4の講評			
<p>行事は日頃の生活や遊びから興味や関心を広げ、子どもが主体的に取り組んでいる</p> <p>日頃の生活や遊びの中から、子どもが興味や関心を持っていることを行事に繋げている。やりたい思いを全部出させ、子どもからの発想を大事に受け止め取り上げている。年長児クラスでは、子ども同士の話し合いの中で、発想やイメージを膨らませ、子ども主体の活動になるようにしている。こうした取り組みを保護者にも知らせてもらい家庭での話題にもなるようことで、子どもの励みになることから、掲示日誌(保育日誌)に子どもの姿や頑張っている様子を記載して、毎日張り出している。よい例や失敗例も取り上げ、学びに繋げている。</p> <p>みんなでやり遂げた喜びや達成感を味わう行事が実施されている</p> <p>5歳児は例年夏祭りでは、お神輿作りをして練り歩いていたが今年新型コロナ禍で、保護者を呼ばず、室内でお店屋さんごっこを開催した。話し合いから始め、それぞれのやりたいことを認め合い、作り上げている。5歳児の活動を見て4歳児もやりたいということで、役割交代して、4歳児がお店屋さん、5歳児が客になって楽しんだ。運動会では普段の、遊びの積み重ねや目的に向かって力を合わせて頑張ることの満足感や達成感を味わえるようにしている。取り組みの過程を年少児が見て憧れたり、年長児も見てもらうことを喜んでいる。</p> <p>行事への取り組み方や子どもの頑張る姿を保護者に知らせ、理解に繋げている</p> <p>年度当初保護者に年間行事予定表を配付し、予定を組んでもらっている。行事が近くなると、クラスでの取り組み方や、子どもの様子をクラスだよりや行事のおたよりで知らせている。毎日の送迎時に一言でも言葉を添えて、保護者にも楽しみにも知らせてもらっている。行事のねらいを基に、内容や取り組み方法について、プロジェクトチームを作り職員間で話し合っている。園の行事が出来ばえだけでなく、ねらいや子どもの頑張っている過程が大切であることを、張り出し日誌を活用して保護者に知らせている。</p>			

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当	
評価項目5の講評			
<p>保育時間の長い子どもが自分のクラスでなくても安心して過ごせるように配慮している</p> <p>保育時間の長い子どもは夕方は疲れが出てくるため、乳児は迎えが来るまで、慣れた保育者と保育室で、安心して過ごせるように配慮している。水分補給はこまめに行い、体調管理もしっかり行っている。毎日のミーティングで子どもの体調や変化を共有し、全職員が継続して配慮した保育ができるようにしている。看護師が常駐する園ではないので、全職員で、意識して子どもの状態を確認し、把握することが大切と考えている。天気の良い日は午後でも園庭に出て遊ぶなど、子どもたちにとって長時間でも楽しく過ごせるように工夫している。</p> <p>極力部屋移動を少なくして、安定して保護者の迎えが待てるように配慮している</p> <p>1. 2歳児は部屋移動を極力減らして自室で過ごせるようにしている。3歳児は18時になると2歳児室に移動する。4・5歳児は18時30分まで合同でホールなどで過ごしているが18時30分にはすべての子どもが2歳児室に集合して、異年齢児保育になる。2歳児室には延長用の玩具が置かれている。ゲームやトランプ、絵本など、机上で遊べる玩具などで落ち着いて遊んでいる。幼児には2歳児の玩具は目新しく、保護者の迎えが来るまで、好きな玩具を選び遊ぶことができている。</p> <p>長時間保育の子どもが保育形態に変化があっても落ち着いて過ごすことができている</p> <p>園の規模が小さく、通常でも園庭遊びは自然に異年齢児と一緒に過ごすことが多いため、日中は意図した異年齢児保育は行っていない。長時間保育で異年齢児保育の形態になっても子ども同士は自然に関わり合い、兄弟姉妹のように過ごしている。大きい子どもは自然に小さい子どもの世話をし、やさしい気持ちが芽生えている。小さい子どもは優しい年上の子どもの遊びに憧れを持って接し、良い関係がうまれている。ローテーションで当番職員が当たるが、いつも決まった会計年度任用職員の存在によって、子ども達に落ち着きと安定感を与えている。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当	
評価項目6の講評			
<p>区の統一献立の中で、子どもが楽しんで食事が取れるように配慮している</p> <p>区の統一献立表を使用している。委託業者が調理をしていて、園からの要望は快く聞き入れ、要望に応じようと努力する等、良い関係ができています。配慮が必要な献立(離乳食等)は栄養士、保育士と一緒に、切り方や大きさなどの確認をして提供している。子どもに出す前に園長は検食をして、味、硬さ、切り方などを確認し、必要であれば手直しをしてから子どもに提供している。行事食や子どもが選べずレオトおやつ・誕生日当日のランチプレートを提供している。栄養士と調理員は各クラスを回り喫食状況を確認している。</p> <p>アレルギー等、除去の必要がある場合には調理で対応し、誤食を防ぐ工夫をしている</p> <p>アレルギー等で除去の必要がある場合には、保護者から除去申し込み表を提出してもらっている。除去決定後は保護者と事前に献立表でアレルギーの有無を確認し、除去食や代替食を提供している。誤食がないように、全職員のミーティングで確認し、さらに提供前に調理員とクラス担当が口頭と目視で確認している。アレルギー食や代替食はトレーに除去食品名と子どものネームプレートを載せ、個別テーブルに配膳する。個別テーブルは他の子と離れすぎないように配慮している。月末に全職員と調理担当とで、献立表のチェックを行っている。</p> <p>野菜を栽培し、収穫の喜びや食べる楽しさを知り、食への関心を高めている</p> <p>幼児クラスは年間を通して、野菜の栽培をし、収穫や収穫物を食べる体験をしている。夏にはピーマン、ナス、オクラ、稲、じゃが芋を2種類栽培した。調理体験として、トウモロコシの皮むき、枝豆や空豆のさや剥き、さつま芋の茶巾絞り等をして、調理して食べる楽しさを味わっている。1昨年から、米作りに挑戦している。収穫した籾米を脱穀し、でき上がった米を炊いておにぎりにして食べる事ができた。栄養士は調理室前にボードを用意し、今日の献立の食材カードを作成して、年長児と一緒に貼りだし、楽しみながら食や食材への関心を高めている。</p>			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

自分で怪我や病気から身を守るために、健康教育を計画的に実施している
 連携園の看護師は当園においても健康教育を計画して実施している。風邪の予防についてや自分の体の仕組みなどを知らせ、自分で自分の身を守る方法を計画的に伝えている。クラス担任は日々の手洗いやうがい、衣服の調節、水分補給の必要性等を指導計画に盛り込み、計画的に指導している。自分の体調がおかしい時には保育者に伝えることが大事ということも、通常の保育の中で伝えている。また、看護師は健康教育の中で、プライベートゾーンについても子ども達にわかりやすく伝えている。

医療的なケアの必要な子どもについては、区内で行われている事業として捉えている
 当園には医療的なケアの必要な子どもは在園していないが、園長は実務研修を受け、実際の保育をしている園からの報告で、区内で行われている事業として捉えている。

感染症が流行した場合には情報を速やかに保護者に伝え、注意喚起を呼び掛けている
 集団感染防止対策として、感知情報を入手したときには、保護者にいち早く伝え、注意喚起を呼び掛けている。園内で感染症を疑われる状況が起きた場合には消毒や保育、連絡体制などのマニュアルを職員全員に周知して、誰もが対応できるように園内研修も実施している。毎月保健だよりを発行して病気予防や健康維持のための情報を保護者に伝えている。子どもの日々の体調管理は園と家庭が、互いに情報を伝えあうことで、連続性を持った健康管理になっている。SIDSについてはポスターを掲示して保護者に伝え、家庭での予防を喚起している。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

子育て支援の一環として、保護者同士が交流する機会の復活が望まれる
 園では年2回の保護者会で、自己紹介や保護者同士の会話が弾むように配慮している。また、夏まつりでは保護者の出店を園が支援し、運動会では保護者同士が楽しめるような保護者競技を用意している。同じ子育て中の保護者同士の交流によって、育児の悩みや子どもに寄せる愛情、成長などを喜ぶ気持ちを共感しあう機会となることを狙っている。新型コロナ禍の収束を待って、子育て支援の一環として、園主催の交流の機会が復活されることが望まれる。

保護者との信頼関係を深めるために、できる限り多くの会話に心掛けている
 日々の送迎時に、できる限り保護者との会話を増やし、コミュニケーションを図っている。保育者は今日の保育の様子を保護者に伝えることで、安心して園に子どもを預けてもらえるように心掛けている。また、保護者の思いを聞きとり、保育者が一方的に話さないようにして信頼関係を構築を目指している。今回の利用者調査の中で、「おさんの気持ちや様子などについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があるか」の設問に89%の人が「はい」と回答する等、高い評価が寄せられている。

保育参加や保育参観を実施して、保護者の養育力向上を図っている
 毎年、保育参加や保育参観を園の予定と照らし合わせて保護者の希望の日に実施してきた。保育参観や保育参加を通して、集団の中のわが子の姿や保育者の子どもへの関わり方等を実際に見てもらっている。行事後には保育者の意図や発達に合わせた関わり方を伝えて、保護者の参考にしてもらっている。保護者会では年齢の発達や育ちを伝え、見通しを持った育児が行えるように話をしている。保育参加や保育参観への参加者は多く、どうしても都合のつかない保護者には別途都合の良い日に参加を促している。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>図書館や併設の高齢者施設を活用して、公共施設の使い方などを学んでいる</p> <p>毎月1回5歳児を対象に、地域のお話ボランティアを利用して素話をしてもらっている。また、5歳児は地域の図書館を2ヶ月に1度ほど利用して本を借りることの他、公共施設を利用するときのマナーなどを学んでいる。併設している高齢者施設には幼児組が訪問して、一緒にゲームをしたり、手遊びや遊戯を披露したりして喜ばれている。児童館との交流も図っている。しかし、今年は新型コロナ禍で、実施することができていない。地域との交流は長く続いている活動であるため、新型コロナ禍の収束後には速やかに復活させたい交流である。</p> <p>地域の子育て中の親子に、園の行事や園庭開放などに参加を呼び掛けている</p> <p>例年、地域の子育て家庭に呼びかけ、園庭開放をしている。今年度は、新型コロナ禍のため実施を見合わせている。子育て支援については保健所の広報紙にも活動内容を掲載している。夏まつりや運動会等は地域に広く呼びかけて、例年は卒園児や在園児の兄弟やその友達の小学生など多くの人が来園してくれている。しかし、今年度は中止になっている。例年児童館の呼びかけで、商店街の人、地域の親子、保育園と一緒に参加する「ひよこの縁日」という行事に園はお店屋さんとして参加し、交流している。</p> <p>園の行事に地域の人の参加を呼びかけ、多くの人が参加している</p> <p>園の夏まつりや運動会等には地域の人に広く呼びかけて参加してもらっているが、今年は行事で園以外の人を誘うことは中止している。近隣の保育園とドッジボールの交流を行っているが今年はまだできていない。是非実現したいと、園では考えている。また、併設の高齢施設とは合同で避難訓練を実施している。子どもたちは園の職員以外の人との交流体験から、視野を広げ、生活の幅を広げることができている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている
タイトル①	区の共通マニュアルや園独自のマニュアルを作成し実情に応じた対応に活用している	
内容①	区立保育園共通の「危機管理マニュアル」が整備され、事件発生時や事故関連の対応、火災・地震等災害の対応、感染症の対応、食物アレルギー、与薬、保育園における衛生管理、園外保育などを掲載し、日常の業務対応に活用している。また、園の実情に応じた独自のマニュアル「散歩時の確認事項、当番の仕事など」を作成している。マニュアルは定期的に職員で見直している。事業手順を振り返って基本に立ち返り、定期的なマニュアルの刷新や日々の保育手順の追記などの工夫を行い、職員間の認識を高めることに役立っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル②	保育環境の見直しによって、子どもたちが遊びこめるよう取り組んでいる	
内容②	施設の作りや広さの課題があるなか、毎年工夫しながら環境作りに取り組んでいる。今年は環境係を室内と園庭とに分け活動がしやすくなった。園庭の整備によって年齢別の活動を保障することができるようになった。屋内においても乳児が興味ある遊具で遊び始めることができるよう距離をとり、幼児は友達と関わり合いながら遊びを拓げられる環境設定に取り組んだ。環境を変えることで子どもの成長にも変化があり、環境の見直しの大切さを学んだ。環境づくりから保育の見直しにまで発展できる機運が生まれてきた。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	2-2-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している
タイトル③	職員全員が一丸となって園を盛り上げていくために分かり易いスローガンを掲げている	
内容③	今年度課(園)の目標は、ラグビーワールドカップにて有名になった「ワンチーム」-「和泉の保育をつくりあげよう」、「一つの目標に向かって一丸となろう」、「職員ひとり一人が和泉の顔」を掲げている。これは園が大切にしている「子ども観」や「保育実践」を職員が一丸(同じチームの一員として)となって遂行しようと取り組んでいくためのスローガンである。この分かり易いスローガンを掲げたことにより若手職員もベテラン職員も常に園の目指す方向性を意識できるようになり、同じ園の仲間として共に目標達成への意欲が高まっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	4、5歳児の成長に合わせて保育室の使い方を柔軟に変更し、子どもにとって最適な保育環境を提供している
	内容	昨年度4、5歳児の合同保育の環境について話し合いを継続し見直している。職員は子ども一人ひとりの様子を把握し全体の動きも考慮しながら、「日々の保育を大切にしたい」という思いで話し合いを重ねてきている。今年度4月から、4、5歳児合同保育室を4歳児保育室に、ホールの一部を5歳児の保育室に変更して保育を実践し展開している。4・5歳児の保育を全クラスで検討することに繋がり連携を深めている。4歳児、5歳児共に子どもたちが遊び込むことができる時間と空間を保障し、子どもの自主性、自発性を尊重する環境になっている。
2	タイトル	野菜の栽培から調理までを実施して、子どもが食べることへの関心を高めている
	内容	年間を通して野菜の栽培をしている。夏野菜はピーマンやナス、オクラ、などを植えているがジャガイモは2品種と、稲を植えてご飯になるまでを体験させた。粃米は脱穀をして炊き上げ、一握りの米ができたがこれをご飯に炊いておにぎりを一口ずつ子どもたちで食べた。いろいろな野菜の栽培で収穫までの手入れの大変さや収穫の喜びを味わい、食べ物への感謝の気持ちを知ることができている。また栄養士は、食材カードを作り、毎日の献立にどのような食材が使われるのかを子どもと一緒に考えながら知らせ、食への関心を高めている。
3	タイトル	各担任は自粛期間中に園だより・保健だよりを持参し、子どもの自宅を全戸訪問した
	内容	園では新型コロナ禍による今年4月、5月の休園(自粛)期間中に、各担任が「園だより・保健だより」を持参し、子どもたちの自宅を全戸訪問した。各担任が持参したお便りの中には、手作りの「こいのぼりの折り紙」や、家でも遊べるように「牛乳パックのカエル」を入れた。保護者と子どもは担任の訪問に感激したという。訪問時に各担任は保護者に子どもの家庭での様子を聞き、保育に関する相談も受けた。自粛期間中であっても担任が子どもの自宅を訪問し、顔を合わせることでより関係性が深まった取り組みとして評価したい。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	苦情・要望等の相談窓口の保護者への周知に関して、さらなる充実が望まれる
	内容	今回の利用者調査では「外部の苦情相談窓口について」の保護者への周知度は、ほかの項目と比べて、「基本的に園内で解決しているため必要なかった」とのコメントも寄せられているが、苦情解決制度への理解が十分に浸透しているとは言えない結果が出ている。園の苦情相談窓口については「重要なお知らせ」に明記し、入園時や保護者会で説明している。玄関にもポスターを掲示している。今後は「重要なお知らせ」への記載を詳しくしたり定期的に園だよりで周知したりするなど相談窓口の周知に関して、周知方法のより一層の充実が期待される。
2	タイトル	保護者同士が交流して育児の悩みや子育てについて話し合う場の設定をして保護者が安心できる子育て支援が望まれる
	内容	園は保護者同士の交流については、保護者会で話が弾むよう工夫している。運動会の保護者競技では、楽しめる競技内容にしているので交流ができていると考えている。また保護者会後は保護者同士の交流の場として、ティータイムを設けている。保護者同士が交流することの必要性は、育児の悩みや子育てについての考え方を互いに話し合い、子どもへの愛情や成長を喜び気持ちを共感し合うことにある。子育てへの意欲や自信を膨らませるために、必要と考えられている。保護者が安心して子育てができるために、保護者同士の交流の場を設定することが望まれる。
3	タイトル	新型コロナ禍においても地域との連携を考えた中核園としての役割を期待したい
	内容	現在、新型コロナ禍のために、交流や事業が行えない状況にある。中核園としてスタートし、子どもや保育士等の交流の促進が求められているにもかかわらず、現在できない状況にある。交流やつながりなど直接的な交流が難しい中、お便りの毎月の発行や年3回の地域懇談会等の開催によって情報交換を行っている。新型コロナ禍においても中核園として保育施設間の連携・情報共有等の促進等、保育内容の向上に向けた役割を期待したい。

(2) 永福南保育園

調査対象

園児全世帯の保護者を対象とした(複数の在園児がいる場合は、最年少の児童に対する回答をお願いした)。

調査方法

アンケート方式
園からアンケート用紙を配付してもらい、回収は評価機関へ直接郵送、もしくは園内に設置した回収箱へ投函とした。

利用者総数

104

利用者家族総数(世帯)

86

共通評価項目による調査対象者数

86

共通評価項目による調査の有効回答者数

63

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

73.3

利用者調査全体のコメント

調査対象世帯86世帯中、63世帯から回答を得ることができた。満足度が高かった項目としては、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「職員の接遇・態度は適切か」「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」「施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか」などがあげられる。

総合的な満足度では、「大変満足、満足」が54名、「どちらともいえない」が6名、「不満」が1名であった。「先生方の人柄も良く、広い園庭を生かして伸び伸びと過ごせており満足しています」「家庭ではできない経験がたくさんできて、子どもは保育園が楽しいと話しています」「子ども達の気持ちへ寄り添い、保育をしてくれていると思います」「クラスの活動内容もよく練り準備してくれて、子どもの成長に大きくなっていると思います」「園庭で遊んだり畑で野菜を育てたりと自然に触れる機会が多くあります」などのコメントのほか、「学級日誌などで保護者が見て様子がわかる形のを頻りに更新してもらえたら嬉しいです」などの声も寄せられている。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	62	1	0	0
62名が「はい」、1名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「家では経験できない畑の作業や食育はとても良い経験です」「外遊びやプール遊びなど、家でできないことが体験できてとても良いです」「保育の一環で体作り体操やリズムなど取り入れています」「季節や時節に合った活動を提供しており、野菜作りや梅干し作りなども良いと思います」などのコメントがあがっている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	59	4	0	0
59名が「はい」、4名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「個々の子どもに対応して、その子の関心に合わせた働きかけをしてくれています」「保育園で学んだことから興味が広がることが多いです」「食育などは園でやったことと、家でのお手伝いにつながっていると思います」「園での出来事を楽しそうに話してくれます」「積み木や折り紙など、子どもの想像力が膨らむ遊びができるので、集中して遊んでいます」などのコメントがあがっている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	58	4	1	0
58名が「はい」、4名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「栄養士の先生による巡回もあり、子ども達の満足度も高いです」「好き嫌いが多くですが、園の給食だと食べているようです」「配慮が必要な子どもも丁寧に対応してくれます」「時々、色どりが良くないと感じることもあります」などのコメントがあがっている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	56	7	0	0
56名が「はい」、7名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「野菜の植ええなど貴重な経験をさせてもらえてありがたいです」「野菜を植えて育て観察して、その野菜を食べさせてもらいます」「戸外遊びは畑もあり、とても充実していると思います。行事がもう少しあると嬉しいです」「広い園庭や畑があるのありがたいです。外遊びが多いと嬉しいです」などのコメントがあがっている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	44	12	1	6
44名が「はい」、12名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「間際の連絡時も丁寧に対応してもらえます」「先生によって対応が違います」「そのような機会がありません」などのコメントがあがっている。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	50	13	0	0
50名が「はい」、13名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「先生方の目が行き届いていると思います」「十分取られていると思うが、建物が古いのが少し心配です」などのコメントがあがっている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	38	22	2	1
38名が「はい」、22名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「休みの調整をするために、面談などはもう少し早めに伝えてくれると嬉しいです」「昼間の保護者会の参加は難しいことがあります」「保護者会の後に子どもの歌などを聞く機会があるが、平日なので全員参加は難しいようです」などのコメントがあがっている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	54	8	1	0
54名が「はい」、8名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「子どものことをとても丁寧に見てくれ、何かあればすぐにケアしてくれるので信頼しています」「日々やり取りするノートが大変役に立っています」「お迎えの時にその日の様子を話してくれるので、こちらからも話しやすいです」「そこまで関係性を築く時間がないです」などのコメントがあがっている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	59	4	0	0
59名が「はい」、4名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「いつもきれいでありがたいです」「古いけど、とてもきれいにしています」「新しくはないが、よく手入れされていて清潔感があります」「園庭や園の周りを整備する方や保育室をきれいにされる方など、しっかりと人員として確保されていると感じます」などのコメントがあがっている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	61	2	0	0
61名が「はい」、2名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「どの先生も落ち着いていて安心します」「人によりバラつきがあると思います」などのコメントがあがっている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	61	2	0	0
57名が「はい」、5名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「園長先生と看護師の先生、担任の先生が三位一体でしっかりと対応してくれます」「看護師の先生と連携して適切に対応して下さるので安心です」「報告がない時があります」などのコメントがあがっている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	46	14	1	2
46名が「はい」、14名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「都度、お知らせしてもらいます」「学年が上がると一人の先生の負担が増えるため仕方ないのですが、以前よりも説明が具体的でなかった、見ていない場で起こることが増えたと思います」などのコメントがあがっている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	58	5	0	0
58名が「はい」、5名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「個性をよく理解して、長所を伸ばしてくれるような関わりをしてくれます」「子どもの話から先生を信頼している様子が伝わってきます」「日頃の話から、まだ話せない子どもの気持ちを汲み取ろうとされていることがわかります」「先生によって差があります」などのコメントがあがっている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	56	5	0	2
56名が「はい」、5名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 特にコメントはあがっていない。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	56	5	2	0
56名が「はい」、5名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「毎日やりとりするノートに詳しく書いてくれて、ありがたいです」「保護者会の内容も良いと思います」「連絡帳もお知らせボードもきめ細やかでほほえましいです」「お迎え時によく話してくれるので様子が伝わります」「もう少し説明がほしいです」などのコメントがあがっている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	49	8	0	6
49名が「はい」、8名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「先生方はとても丁寧に対応してくれます」「こまやかに対応してくれています」「疑問に思ったことを連絡帳に書いた際に、お迎えの時に口頭で丁寧に説明してもらい安心しました」などのコメントがあがっている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	21	23	8	11
21名が「はい」、23名が「どちらともいえない」、8名が「いいえ」と回答している。 「聞いたことがありません」「そういう機会が今までにない」などのコメントがあがっている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
		○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
		○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
		○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
		○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	
	評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている
		○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
		○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
		○非該当
	カテゴリ1の講評	
	「保育園のしおり」に記載された理念・方針・目標を入園説明会にて説明をしている 園では、「杉並区立保育園保育実践方針」に沿い、「子ども・保護者・職員がともに育ちあう保育園」という目標を定めている。園では、職員の理解を深めるために、保育方針・保育目標を廊下や園の掲示板に掲示している。同時に、年度当初に開催する「年間指導計画」の話し合い時に園の方向性を確認している。保護者向けには「保育園のしおり」に記載された理念・方針・目標を入園説明会にて説明をしている。園の「保育内容」については保護者会にてクラスごとに「年間指導計画」を配布し、内容を説明し、理解の浸透を図っている。	
	園長は園での指揮命令がトップダウンにならないように配慮している 園長は園での指揮命令がトップダウンにならないように、様々な会議体を組織し、業務範囲を示している。「定例会議」、「夜の会議」では全職員が出席、「乳児打ち合わせ」、「幼児打ち合わせ」では、担任、主査等が出席、「アレルギー打ち合わせ」では、園長の他担任、看護師、栄養士、調理師が出席している。園ではリーダー層の役割、事務分担任及び係分担任で各職員体制を明示し、理念・基本方針をふまえて年度当初に保育の計画を話し合っている。また、「係の目標」については決定過程を職員間で話し合い、行動していけるように心がけている。	
	重要な案件は、決定に至るプロセスを説明する機会を設けている 園における重要事項の検討や決定は手順が定められている。園長は、会議にて重要案件の決定について決定に至るまでの過程に職員が関わり、意見を出せる機会を設けている。重要事項が決定され、実行に移された後も見直しを行い、修正して行くための話し合いを設けている。年度末には、園庭門扉が老朽化の問題から、送迎入り口を事務室側への移動を決定した。この決定に際し、職員から出された意見を園としてまとめ、保護者には決定に至る経緯を説明する機会を設けた。保護者会では理解が得られるよう説明及び質問を受け付けた。	

永福南保育園

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
2 カテゴリー2の講評		
<p>保護者からの意見・要望はアンケートや行事の感想、日常の会話から把握に努めている</p> <p>園では、保護者からの意見・要望は、過去に受審した「福祉サービス第三者評価」結果や保護者会であがった要望や疑問を参考にしている。また、運動会・保護者会などの行事ごとに感想を受け取っている。日常的な保護者からの意見・要望・苦情は、0歳・1歳・2歳児は「連絡帳」にて把握している。3歳・4歳・5歳児は、紙片のメモである「保護者から連絡事項」にて連絡事項と共に意見や要望を確認している。担任は保護者との日常会話の中から意見・要望を聞き「保育表」に記載し、会議での検討資料としている。</p> <p>園では「杉並区環境マネジメントシステム」に従い、節電などの経費削減に努めている</p> <p>今年度より障害児指定園として、定員枠外で3名の障害児を受け入れる予定である。設備計画では、障害児を受け入れる特別室を改修工事で設置した。今年度は、医師による巡回指導も始まり、障害児保育の基礎を学ぶ研修も計画している。施設面では、老朽化のため門扉が開閉しづらくなり、門扉(出入り口)の変更を行った。門扉からの入り口への段差の改修を区に要望している。当面は、保護者、関係者に注意喚起をしている。また、園では「杉並区環境マネジメントシステム」に従い、節電などの経費削減に努めている。</p> <p>策定した計画は、進捗状況に応じ見直しを行いながら目標達成に向けて取り組んでいる</p> <p>園では、年度当初に策定した計画に基づいて、進捗状況に応じ見直しを行いながら、目標達成に向けて取り組んでいる。「係の目標」は年度途中において中間反省を行い、その進捗状況を検討している。また、「全体的な計画」によって、年度ごとではなく随時保育の内容が日々の実践に沿っているかを確認している。「年間指導計画」は、1年を4期に分け、「保育目標」との整合性を確認している。「月の指導計画」、「週案」は中間反省を行い、進捗状況の確認と、計画の見直しをしている。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ3の講評		
<p>園では職員に対して「確認テスト」を実施し、法・倫理・規範の遵守に努めている</p> <p>職員は区が実施する集合研修に参加している。研修には特別区研修、区人事課主催研修等があり、職員は公務員倫理に関する研修、人権に関する研修、個人情報の保護に関する研修等を受講している。また、区から発出される公務員倫理の保持、個人情報の保護等の通知文書は、全職員へ回覧・周知している。さらに、園では職員に対して「人権に関する確認テスト」を実施するとともに、毎年7月に実施される職員個別ヒアリングにおいても公務員倫理等についての理解度を確認している。</p> <p>玄関には「ハートキャッチ箱」という意見箱を設置し、要望をくみ取る努力をしている</p> <p>園では、「重要なお知らせ」に苦情・要望の相談窓口は園長・主査、区役所(区政相談課・保育課)であることを明記している。また、「苦情調整委員制度」のポスターを玄関に掲示するとともに、案内リーフレットを置いている。「重要なお知らせ」、「苦情調整委員制度」の内容は入園説明会で保護者に説明している。当園の玄関には「ハートキャッチ箱」を設置し、保護者からの要望をくみ取る努力をしている。保護者から寄せられた意見・苦情・要望は「職員会議」において検討し、速やかな回答・解決を図っている。</p> <p>新型コロナ禍においてもできることを探し、考え、実行しようと努力している</p> <p>園長は「園長会」、「行政連絡会」や「地域ネットワーク会議」へ参加して、地域の情報を把握している。例年は、近隣の特別支援学校の4歳5歳児が当園に来園し、園児と年6回交流している。地域の子育てネットワーク事業の参加、活動を通じて地域の課題を・解決に取り組んでいる。また、公立保育園として、園庭開放、ふれあい保育、育児相談、夏のボランティア、読みきかせ活動などに取り組んでいる。園では現在、新型コロナ禍においてもできることを考え、年度後半にかけての実施を計画している。</p>		
カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>想定されるリスクに対してはそれぞれ優先順位をつけて備えている</p> <p>園では様々なリスクに対してマニュアルを策定し、想定されるリスクに対しては、ガイドラインや訓練計画を作成し、実践している。今年度は新型コロナ禍での感染症予防対策を最優先事項としている。区の「新型コロナウイルス感染症資料」に則り職員・保護者にマスクの着用を求め、アルコール手指消毒と検温を実施している。同時に、「玩具、施設の消毒方法資料」を基に感染予防対策を講じている。なお、PCR検査対象者が出た場合の対応は、「対応フローチャート」を作成している。</p> <p>事故を未然に防ぐこと、事故が生じた際にできる限り最小限に抑えることを徹底している</p> <p>園では、事故を未然に防ぐこと、事故が生じた際にできる限り最小限に抑えることを徹底している。ヒヤリハットの共有は「園日誌」を用い、昼ミーティングにて職員全員に周知し、全職員は必ず毎日「園日誌」に目を通し情報共有をするよう意識づけしている。また、事故発生の場合には、「事故報告書」を作成し、職員会議で再発防止策を検討している。「避難訓練実地計画」、「防犯訓練マニュアル及び年間計画」を定め、訓練後に「報告書」を作成、課題を抽出し、次回の訓練の改善に活かしている。</p> <p>園では区が定めた「情報セキュリティ管理基本方針」に則り、個人情報保護に努めている</p> <p>個人情報の取り扱いについては「重要なお知らせ」にその対象となる範囲が示されている。さらに、個人情報を用いる場合には事前に同意を求めることを明記している。園では区が定めた「情報セキュリティ管理基本方針」に則り、個人情報の管理は記録を付け、施錠保管管理をしている。また、情報の種類内容によって管理する職員の範囲を限定している。情報を使用する際は、都度開錠し管理簿に記入することが徹底されている。一方、実習生やボランティアには、事前オリエンテーションにて個人情報保護を説明している。</p>		
カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p> 人員が必要な際には区担当課と相談し手立てを講じている 園の正規職員は区が募集・採用している。また、園で必要なパート、アルバイト職員等は会計年度任用職員として園長が面接を行い、採用の可否は区が行っている。園では、朝夕保育時間と土曜の人員は、「朝夕保育報告・土曜日人数報告」を用いて必要な人員数を区に報告している。その際、人員が必要な場合は、区担当課と相談し、希望を提出する等の手立てを講じ、不足の無いようにしている。園長は区から配属される人材を、経験年数や年齢のバランスを考慮して園内の適所に配置している。 </p> <p> 園長は職員が一人で悩みや困りごとを抱え込まないように「相談役」を作っている 園長は常に職員ひとり一人の就業状況に留意している。職員の休憩時間の確保や繁忙期における業務量を職員の様子と毎日のミーティング、「園日誌・職員体制表」にて常に把握し業務のバランスを考えている。また、クラスや職員に業務量が偏っている場合には、フリー職員や会計年度任用職員を配置して業務分散を意識した運営に努めている。園長は職員が一人で悩みや困りごとを抱え込まないように、いつでも相談できる「相談役」を作っている。その場合、園長が相談を受け、チームで対応する場合もある。 </p> <p> 年間の研修計画を立て、外部の講師による研修も実施している 園では、「実務研修計画」を作成し、職員の能力向上のための目標・研修目標を定めている。研修計画には園長をはじめとした全職員の研修目標が決まられ、保育理論をはじめとした職位に必要な研修テーマが決まっている。研修は大学教授等の外部講師も予定されており、今年度から障害児指定園の職員として身につけておくべき内容も盛り込まれている。園では、研修後の報告・学びの共有を図るために、事前に会議の議題に「研修後報告」を入れて周知している。研修受講者は会議での発表を意識しながら研修を受講している。 </p>		

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>園では、子どもの生活や遊びを豊かに展開されるように安全な「保育環境」を維持することを重点目標として掲げた。そのため、「屋外」「屋内」と「出入口」の環境整備に組織的に取り組んだ。屋外では職員が安全点検を行い、危険箇所を示す死角マップを作成し、掲示して、注意喚起をした。屋内では、「幼児のトイレ」が拳がった。4・5歳児室は幼児トイレと位置が離れているため死角場所となる。次に、「出入口」の問題解決を図った。園庭に接する門扉が老朽化に伴って開閉が困難になり、開放された状態のままになっていたことがセキュリティ上の問題になっていた。</p> <p>これらの取り組みの結果、屋外の危険個所に子ども近づかないように、「茂みの手前にネットを張る」、「定期的に低木の剪定」を行い、見通しを良くした。屋内は、対応策として午前の入室・午睡前に「トイレ番」を作り見守ることにした。つぎに、「出入口」の門扉は保護者に注意喚起をしたが改善されなかった。そのため、職員で検討した結果、出入口の変更によって、事務所側の門扉から登降園を行うことにした。出入口の変更を保護者に周知し、施錠で安全性を高めた。さらに、変更の経緯を保護者に丁寧に伝えた。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>当園は、自然が豊かな環境に恵まれている特長がある。園庭が広いことで職員の目が行き届かないことが、課題として認識されていた。昨年度、園では、「環境整備」を重要事項と捉え、その改善に取り組んだ。そこで、「室外の課題」、「室内の課題」と「出入口の課題」を掲げた。この課題は、リスクマネジメントの観点から、早急な対策と改善が必要であった。「室外」では「死角マップ」を作成した。「屋内」では、幼児トイレの見守り強化を図った。また、「出入口」では、保護者の送迎ルートの変更を行った。前年度に残されたいくつかの課題への取り組みの検証結果、区に改修要望を出すとともに、「安心安全な環境の中で、また明日遊ぼうと思える保育園を目指す」を係の目標に掲げて改善を試みてきた。環境整備という課題について、園ではPDCAサイクルを繰り返すことによって継続的に課題を改善している。</p>	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

園長は職員が「自分の保育の課題に自ら気づくこと」と「職員間のコミュニケーションの深化」を目標として取り組んだ。園長は職員に「振り返り記録」の作成を提案した。「振り返り記録」は作成後、園長に提出し、職員会議で個々の「振り返り記録」内容をグループ討議した。グループ討議では肯定的な意見交換をルール化した。カリキュラム検討会議の時間を使い、乳児・幼児各1例振り返りの事例検討を行った。さらに、全職員が自分の記録を語り、他の職員から感想や意見を聞く機会を持った。その過程で、振り返りの時間が足りないという意見がでたため、月カリキュラムの方法を改善して振り返りの事例検討時間を確保することとした。この工夫で、余裕を持って討議を行うことができた。その結果、保育士と子どもの信頼関係が大切であることや、それがきちんと築かれていることを認める機会となった。「保育者が受け止めたことが子どもの自信につながり、やがては、自己肯定感が育ち自己主張のできる大人になる」という話し合いになった。「振り返り記録」を基に行う討議によって、子どもの育ちを皆で深く話し合えるようになった。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

新たにメンバーに加わった若手職員への、ベテラン職員からの保育の継承と職員の連携は、組織として重要課題である。全職員が子どものことを理解し、共通認識をもち保育計画を立てるためには自己の振り返りや職員同士の意見交換、助言が必要である。園長はこの課題解決のために「振り返り記録」の作成と討議を導入した。この方法によって、職員間の卒直な意見交換の活発化と、職員間の信頼感が醸成された。職員アンケート結果からも「毎月振り返りを記入し、自分の保育を振り返る機会を作った。職員同士の話し合いを持つことで子どもの姿の共有、思いの共有をすることができている」との意見があり、実践の効果が表れている。「振り返り記録」の実施・実践討議を行う中で、他の職員から若手職員への肯定的な助言、適切な援助について話し合いがなされている。また、ベテランの保育士の新たな気づきにもつながっている。この取り組みによって「保育の質の向上」につながってきた。今年度は、新型コロナ禍の下、取り組みが遅れているが、6月、7月と各職員が振り返り記録を提出し、少人数でのグループ討議を8月より開始している。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
サブカテゴリ-1の講評		
<p>区のホームページに各園の情報が掲載されており、当園の特長も伝えられている</p> <p>当園の情報は、区内のすべての保育施設の中に区のホームページ上に掲載されている。園の規模、アクセス、遊具、保育目標や保育園の特色など基本事項を見ることができる。また、内容が変更になった場合は、最新の情報に変更している。年間行事予定やふれあい保育など区で統一した内容も併せて知ることが可能となっている。当園に関心のある保護者は、園の持つ特長がわかり、自分の子どもが遊ぶ姿が目に見えよう内容を工夫している。</p> <p>入園希望者の見学は、予約により調整して行っている</p> <p>秋になると見学希望の申し込みが多くなるが、園では9月より月に数日見学日を決め、午前中に40分程の見学を、2、3組ずつ受けている。対応するのは園長が主査だが、説明の内容によっては看護師や栄養士が対応することもある。見学者の数によっては月の見学日の調整を行い、1日に受け付ける組数を調整するなど、希望者に不満の出ないよう対応している。来園者にはパンフレットを用意し案内すると同時に、園の玄関には各クラスの前日の様子を掲示されており、園の様子を知ることができるよう工夫されている。</p> <p>園庭の開放を年を通して行っており特長のある園の魅力を開示している</p> <p>広い園庭は園児の遊びの場だけではなく、緑に囲まれ自然と触れ合える場となっている。草や虫などに触れ様々な知識の宝庫となっている。また、各種の野菜などの栽培の場ともなっていて、自然の恵みを体感できるようで、食育の一助となっている。嫌いな野菜も自分で作ったことで、おいしさを感じられていると考えている。園庭は年間を通じて一日一時間程開放し、園がいかにか子どもたちにとって自然と触れ合える環境であるか、近隣の住民だけでなく将来自分の子どもをどこに預けるかの保護者の選択の一助となっている。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得ようとしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>保育体験を通して自宅での生活を園でも継続できるよう工夫している</p> <p>入園当初に保護者に、保育参加や参観をしていただく機会を作っている。職員にとって初めて預かる児童が、親からどのような食事の与え方をされているか、家での生活習慣などを学べる機会にもなっている。半日間の体験ではあるが保護者が子どもを預けることに安心していただける機会ともなっている。慣れ保育も保護者の就業事情に合わせて、最長で一週間ほど対応している。期間も保護者の職場復帰に合わせて調整している。</p> <p>入園前の詳細な聞き取りで児童票を作成し、職員会議で園内共有している</p> <p>子どもの入園が内定した保護者には「新入園児健康調査表」を送り、園医の健康診断と入園児面談をするときの問診票として持参していただいている。園医はその調査表をチェックし、その後、園長と看護師が面談をするときに発育の経過、予防接種、既往歴等健康調査表に沿って確認をしている。健康診断の結果、入園が決定すると、クラスごとに入園説明会を行い、今年度は1人ずつ面談によって、重要なお知らせ、園のお知らせに基づいて説明をし、必要な書類にサインをいただいている。</p> <p>小学校就学に向けて引継ぎのため、子どもの状況を伝えている</p> <p>年長児になると近隣の小学校との交流などを行っている。入学先の小学校が決まると、園では子どもの育ちを記載した「保育所児童保育要録」を作成して直接持参し、学校長(または副校長)に子どもの育ちについて丁寧に伝えている。園から巣立つ子どもが小学校でも元気で過ごせるように、担任は子どもの特性などを丁寧に伝えている。</p>		

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
<p>「全体的な計画」を基に、各指導計画が作成されている</p> <p>「全体的な計画」は「杉並区立保育園保育実践方針」「保育所保育指針」に基づき、園独自で作成している。養護と教育の領域を考慮して、各年齢別に子どもが育ってほしい姿を記載している。「全体的な計画」から「年間指導計画」を作成し子どもの成長を見ながら「月の指導計画」及び「週案」「日案」に連携させている。保護者には「年間指導計画」は、通常年度当初の保護者会で説明しているが、今年は園だより、クラスだよりでその内容を伝えている。</p> <p>児童のための毎年1年間の、指導計画を工夫している</p> <p>「月の指導計画」や「週案」について検討するカリキュラム会議に向けて各職員は質問や要望、意見、疑問に思うことなどすべて事前にまとめて会議の効率化を図っている。保育者だけでなく看護師や栄養士全ての職員が指導計画に関心を持って、意見を出し合えるようにしている。担当職員は自分のクラスへの質問や疑問が把握でき、それに対応する回答など準備ができ会議が効率的に運営できるようになった。それらによって、職員からの声が多く寄せられ、計画案によりふくらみができている。</p> <p>年間指導計画の見直しも、工夫により行えている</p> <p>新型コロナ禍のため、会議時間の確保が困難な中で、9月になって、夜の会議を行うようになった。また、保育が順調に行えるような工夫をした。毎日の昼のミーティングも、短時間ではあってもアレルギー食などについての話し合いや、各クラスの報告を行い、子どもたちの健康や生活などについての検討を繰り返した。児童票の「保育経過記録」には1・2歳児は2か月ごと、3・4・5歳児は期ごとに記載している。これらの記録によって、一人の子どもの在園中の記録が確認できるようにしている。</p>			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和りとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>保護者が満足できるような、子どもの呼び方にも工夫をしている 入園時から児童の名前の呼び方を保護者からの聞き取ることによって、児童への呼びかけ時には「ちゃん」または「くん」なのかを保護者に確認し、職員間で徹底するようにしている。こうすることで、家での生活と園での生活が、本人にも違和感のないものになるようにしている。これから自我に目覚めていく年代に、抵抗を感じないようにし、今後の児童の心の成長にも活かされていけるよう工夫している。</p> <p>幼いころから個人のプライバシーを大切にしている教育をしている 子どもたちの羞恥心に対して、乳児の頃からいろいろな場面を伝えている。おむつ交換は囲いのある場所で行い、トイレトレーニングを始める頃にはプライベートゾーンに触らない、お漏らしをしたときは部屋でパンツを脱がないなど、何が恥ずかしい事を説明している。看護師はプライベートゾーンについて話をし、見せてはいけないことを伝えている。プールや水遊びの時には外部からの遮蔽や着替えのときの手順など教えている。</p> <p>障害児指定園としてふさわしい園内教育を行っている 園では実務研修だけでなく、各職種内でも専門研修にも力を入れて、行っている。言動についてや放任などの研修も今後の課題となっているが、障害児指定園の指定を受け、園内の研修でも障害の勉強をしたり、外部講師による発達障害についての研修を、他の園と2園合同で行ったりするなど、指定園としてふさわしい園となるようさまざまな努力をしている。そのため、現在通園している対象児童は、明るく園生活を送っている姿を見せていて、職員が努力、工夫をしていることを見ることができた。</p>			

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化		5/5	
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリー6の講評			
<p>保育の実践に欠かせないマニュアルは完備されており、そこに従って行動している</p> <p>マニュアルは完備されており、さらに、区のものだけでなく独自のものも作成されている。見直しも職員間の話し合いの中で行われており、個別の子どもに対するものに工夫を感じられ、実際の現場に沿ったものを作ろうとの考えが見えている。当園で一番良いことは、職員が保育に対して、同じ考え、理想像についての方向を目指していることにある。そのために、マニュアルが現場にうまく利用され、職員の保育への共有を感じることができる。</p> <p>職員が受ける研修が園の中で共有され、意味のあるものになっている</p> <p>職員が受けるさまざまな研修を、他の職員と共有できることが少ないことが多い中、当園ではなんとか時間を調整し、職員全体が共有し園全体のスキルアップすることを目指している。いろいろな会議の場を利用して、研修の報告をし、感じたことなどの発表により、発表者は勉強したことの再確認ができ、他の職員が実際に研修を受けたかのような体験をしている。そのことで、研修を受けられなかった職員にも伝わるため、一つの研修も、何倍にも活きていると思われる。</p> <p>保護者からの意見や意向は日常会話やアンケートなどから把握して反映させている</p> <p>保護者の意向や意見は保護者会、行事の後のアンケート集約、園便りに寄せてくれるコラムなどから収集して知らなっている。また毎日の送迎時の保護者との会話からも把握している。特に行事については終了後のアンケートから保護者の意見を聞くことができているため、次の行事に活かしている。子どものことだけでなく、園についての要望なども日常のやり取りから聞いている。様々な場面で保護者からの声をできるだけ多く聞くようにして、保育の理念や目標を実現できるようにしている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
		35 / 35	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(000000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>生活環境や発達状況から一人ひとりのこどもの全体的な姿をつかみ保育を行っている</p> <p>入園面接で入園前の生活を把握し、入園後は個人面談を適宜行っている。保育による子どもの成長の変化を把握して、保護者と連携を取りながら、共育を目指している。また、日々の一人ひとりの子どもの成長の様子は、児童票をはじめとするそれぞれの記録簿に記録し、クラス会議や定例の職員会議等で全体に伝え、情報の共有化を図っている。特に遊びのコーナーでは乳児の月齢差や子どもの成長に合わせた遊びを用意し、担当する保育者が見守る傍で自分の気持ちを受け止めてもらいながら気に入った玩具で遊んでいる。</p> <p>日々の遊びを通し自然に異年齢交流等が行われ、互いを尊重する心が育まれている</p> <p>子どもたちは、天気が良ければ広い園庭で遊ぶことを習慣にしている。朝の打ち合わせが終わると、職員は率先して庭の整備にかかり、子どもたちが夢中になって遊び始めるよう手入れをするのが日課になっている。各クラスの子どもたちが次々と園庭に出て遊び出すため、異年齢のクラスの子どもも自然に交わる。そこで職員が仲立ちをしながら、3・4・5歳児の子どもは1・2歳児の子どもたちを自然に受け入れ面倒も見、異年齢児交流ができています。なお、外国籍の子どもの習慣の違いを認め合い、互いを尊重する気持ちが育っている。</p> <p>配慮が必要な子どもについても、共に成長できるよう援助している</p> <p>配慮が必要な子どもも、クラスの大切な一人だということを保育者が態度や言動で示し、共に成長できるよう援助している。また、枠外であっても援助が必要となるケースもあり、巡回相談等の事前相談を考えている。5歳児については連携している小学校と年間計画を立て段階的に交流を進めている。5歳児は小学校と交流し、就学に向け楽しみに待つ気持ちが育ってきている。保護者に向けて、就学に向けた情報を伝える。入学予定校へは保育要録を送り、支援シートの活用も行っている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(0000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当
評価項目2の講評			
<p>登園時子どもの受け入れの際に、保護者に家庭での様子や健康状態の確認をしている</p> <p>登園時、受け入れ担当者は保護者や子どもと挨拶を交わしながら、子どもの全体的な様子を目で確認している。同時に、家庭での健康状態等を口頭でさらに確認している。その際、0・1・2歳児は連絡帳の記載事項を再確認する形で機嫌の状態、食事の摂取量、お腹の状態、睡眠時間などを聞き取り、視診表に転記している。視診表は、朝のうちに各クラス担任に連絡され、朝礼時、全体で確認し職員全体がいつでも見ることができるよう事務所の所定の場所に置くようにしている。</p> <p>基本的な生活習慣の大切さは連絡帳やクラスだより等でポイントを押さえ日々伝えている</p> <p>入園してきた子どもの家庭には、年度当初最初の保護者会や個人面談を随時行ってきた。しかし、今年は新型コロナ禍により区から登園自粛要請が出され、協力した家庭も多く登園児が数少ない日々が続いた。この状況で、例年通りの行事実施は見通しの立ちづらい状況であり、春の保護者会や個人面談は中止となった。0・1・2歳児に関しては、連絡帳を通して通常より密に連携を取り、さらに、園長による保護者支援を、日々直接行う対応をしている。また、園だより、クラスだよりを利用して、園の情報を丁寧に発信している。</p> <p>午睡時の時間の取り方は保護者の意向をくみとり、個々に対応をしている</p> <p>午睡を含む休息の時間帯は、子どもの状況を見ながら配慮をしている。5歳児は1月から就学に向けて午睡時間を短くし、最終的には無くしていく予定としている。また、早めに目覚めた乳児や就学を備えた5歳児は早めに起こし、空いている保育室を活用して他児の睡眠の妨げにならないよう工夫をしている。降園時には朝夕保育表・連絡帳記載以外のエピソード等も保護者に伝え、きめ細やかな配慮をしている。</p>			

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがまよりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもが自分から遊びを選び、楽しんで過ごせる環境設定をしている</p> <p>各クラスの保育室は、年齢に合った玩具や、ごっこ遊び、絵本、積み木のコーナーが設定されている。子どもたちは、自分から遊びを選び、じっくり落ち着いて遊べるようにコーナー毎に区切られ環境設定がされている。0・1・2歳児は、少人数でそれぞれの子どもが興味を持ったコーナーで担当保育者が寄り添っている。日々の遊びから、好みの玩具やコーナーも次第に決まり、愛情たっぷりな保育者の姿からも自分を出して喜んで過ごしている。</p> <p>保育者が一緒に遊び個々に応じた援助をし、子どもが共に遊び出せるようにしている</p> <p>乳児期より保育者が愛情豊かに受容的・応答的な関わりをし、子ども同士も心地よい関わりが経験できるよう援助している。幼児期には子どもが自ら活動に入ってこられるように、子ども同士のイメージの共有を図るよう援助をしている。ごっこ遊び、見立て遊び、絵本やお話の世界から発展する言葉遊びなどを進めている。さらに、劇遊びでは、様々な遊びの経験から一人ひとりが楽しんで活動できるよう、発表する機会を持っている。幼児は、自分の好きな遊具を選んだり、積み木を作りが継続的にできることが保証されている。</p> <p>四季を通し自然豊かで広々とした園庭環境を、存分に生かした活動をしている</p> <p>戸外の環境は全保育室からすぐ園庭に出ることができ、実体験に根差した保育が計画されている。保育者自身が子どもの発見や気づきに共感することを土台に、ワクワクする楽しい保育が展開されている。園庭は、遊具・芝生・草花らなどがある自然が豊かな環境である。子どもたちは、この環境で伸び伸びと身体を動かし、虫を捕まえ、土や砂の感触を味わい、草遊びを行い五感を育む体験をしている。この自然との豊かな触れ合いを通じて保育目標の「自然に親しみ豊かな感性・感動する心」が育まれている。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>行事を通し協力し、やり遂げる達成感を感じ、子どもの自信につながっている</p> <p>子どもたちは、行事を通して友達と協力し、目標を持って取り組んだ結果、やり遂げた達成感になって自分自身の励みになっている。同時に、自信にもなっている。毎年開催している園行事には、プール開き、夏祭り、おじいちゃん・おばあちゃんと遊ぼう会、運動会等がある。5歳児クラスは、それぞれの行事で活躍する場面が多く、中心となって取り組んできたが、今年は大部分の行事が、規模を縮小して開催にこぎつけるよう模索をしている。これらの状況は、園だよりを通じて保護者に説明し、今年度の取り組みを伝えている。</p> <p>行事を通じて地域の方々をお招きし、園児との交流を深めている</p> <p>園行事では保護者と共に、地域のネットワーク関連機関や地区の小学校、他園、地域住民など、普段から交流している方々に都合がつけば来ていただけるようご案内を出している。今年度は、行事自体が大半が取りやめになり、形を変えたクラス単位や時間差で保護者にも来ていただき、子どもたちの成長の様子を見ていただく形を考えている。園内では、子どもの状況に合せ、うがい、手洗いは徹底して行う他、日々の生活(園内での)は三密を避け、建物環境は全職員で感染予防対策を徹底し、消毒を行っている。</p> <p>行事の準備・実施日程や子どもの取り組み状況を、保護者に早めに伝えている</p> <p>保護者には園だより、クラスだより、掲示日誌等で、子どもの姿や保育のねらいなど園の様子を知らせている。さらに、子どもの育つ様子を分かりやすく伝える工夫をしている。また、行事を控えた子どもの状況は写真掲示が子どもの表情も含め分かりやすく、保護者からは好評である。早めに行事日程をお伝えし、保護者が予定を組む際の見通しに役立っているようである。今年は、年度の半ばまで予め組んだ予定は流れているが、年末のお楽しみ会は子どもの劇があり、今から楽しみにされている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当	
評価項目5の講評			
<p>保育時間の長い子どもが、落ち着いて過ごせるよう室内の工夫をしている</p> <p>月極の延長保育児が減り、スポット保育の利用が増えているため、その日のメンバーにあった遊具を設定できる工夫をしている。室内は、子どもがリラックスして過ごせるように畳をおき、目隠しカーテンなど取り付け、ふいにのぞかれない配慮をしている。室内も広い空間に少人数で過ごしていることで、ゆったりした雰囲気でも過ごしている。また、迎えに来た保護者が遊びの妨げにならない室内環境の工夫をしている。迎えの際の連絡事項の確実な伝達のため、短時間勤務の職員への日頃の子どもの特徴や、保育上の留意点を伝える時間の確保が、課題となっている。</p> <p>保育時間が長くなる中で、保育形態の変化に左右されない環境整備をしている</p> <p>長時間、異年齢合同で過ごす部屋には木製遊具や机上遊びの環境を整えている。あらかじめ、何をして過ごしたいか子どもにたずね、希望する遊具をすぐ取り出すようにしている。主に折り紙・塗り絵・パズル類、積み木などである。延長保育の子どもの姿を共有して、その都度適した遊具など環境設定を工夫している。また、迎えに来た保護者が遊びの妨げにならない室内環境の工夫をしている。迎えの際の連絡事項の確実な伝達のため、短時間勤務の職員への日頃の子どもの特徴や、保育上の留意点を伝える時間の確保が、課題となっている。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当	
評価項目6の講評			
<p>子どもが落ち着いて楽しく食事ができるよう、各テーブルに保育者が付き見守っている</p> <p>子どもが座る各テーブルには保育者が付き、食事をする子どもの適切な援助や見守りを行っている。給食の味付けやメニューに工夫を凝らしているが、ミーティングでその日の献立について保育者から調理職へ意見を伝えている。調理室では子どもの健康状態に合わせて味付けを薄味にしたり、食材を柔らかめに仕上げるなど配慮をしている。今年度は、新型コロナ禍に伴い大半の行事の取り止めや会食を伴うものも中止となり、内容変更に取り組み日々であった。</p> <p>食物アレルギー(体調不良を含む)や異文化に対応した、食事を提供をしている</p> <p>食物アレルギーのある子どもが入園した場合は、入園面接後、保護者と栄養士が直接話し合い、除去の必要がある食材のリストと除去申込書の提出をお願いしている。後日除去献立表を園から受け取り、確認後子どもの給食が開始される。給食の提供時、トレーやプレート等他児と異なる色付けされた食器や名札など一式揃え、誤食のないよう配慮している。文化の違いによって除去が必要な子どもの場合は保護者からの意向を受け対応する。また、体調不良の子どもには保護者に確認しながら提供している。</p> <p>夏野菜中心に多様な野菜を育て収穫し、調理してもらい給食として食べている。</p> <p>食育年間計画に基づき、園では2歳児から5歳児までの子どもたちが畑づくりから始まり、いろいろな野菜を子どもたちが栽培し、収穫している。園には園庭のほか、本格的に畑が作られており、子どもたちは栽培から収穫まで体験している。野菜が育つまでの草むしり、水やりなどによって、食への関心や食べ物を大切にする事を知り、食育が推進されている。しかも、これらの作業は健康的で頼もしく、保護者にはこの様子が、写真掲示され報告がされている。しかしながら、調理保育は三密の心配等から、停止されている。</p>			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている		○非該当
評価項目7の講評			
<p>子どもが自分の健康や安全に関心を持って行けるよう、健康教育をしている</p> <p>園の保健計画に基づき、看護師は各クラスの、朝の集会などに入り健康教育を行っている。3・4・5歳児のクラス単位でその成長の様子に合せ、イラスト等を使い説明をしている。その際に、自分の体は大切なものであることが、遊びや生活の場面でわかるようしたり、体の使い方やけがをしない注意のしかたなど伝えたりしている。また、安全教育として、散歩で戸外を歩く際に、信号のある道とない道での気をつけるポイントや体の動かし方などを折に触れ伝えている。</p> <p>医療的ケアが必要な子どもに専門機関との連携を取りながら対応している</p> <p>杉並区保育園障害児医療的ケア実施要領に沿って受け入れをし、専門機関との連携をとる予定となっている。今年度から障害児指定園になったこともあり、今後は障害児の受け入れが予測される。常に健康状態を留意する子どもの入園する可能性があるため、その際のさまざまなケースを想定して職員は学びを深めている。</p> <p>保護者と連携し、子どもの健康維持に向けた取り組みをしている</p> <p>乳児は朝の健康観察及び保護者から口頭又は連絡帳から健康状態を把握している。幼児は朝の健康観察や検温など聞き取りを行っている。長時間保育の子どもが多いため全職員が対応にあたることもあり、情報共有のしやすいシステムにして連絡がもれないようにしている。今年度は、新型コロナウイルス禍でのウイルス予防対策も合わせて朝の受け入れを視診表を使って行い、登園直後に手洗い、うがいが習慣化している。園舎内のウイルス対策として保育室や厨房などは部署ごとに薬剤等で拭き、それ以外は看護師が消毒剤を使い拭き取りをしている。</p>			
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		○非該当
評価項目8の講評			
<p>保護者へは、子育てや就労の個々の事情に配慮した援助を行っている</p> <p>個人面談などは事前に日時を調整できるようにし、または適宜相談を受けるようにしている。また、保護者会後の時間を30分利用して交流の機会を持っている。しかし、今年度は新型コロナウイルス禍で大半の行事が中止となり、後半も状況を見ながら形を変え密にならないことを前提に保護者支援をしていく予定である。保護者の状況はそれぞれ異なり、朝夕の限られた時間に伝えあい、しかもソーシャルディスタンスを守るという条件の下、保護者の悩みを聞き、答えを出すようにしている。</p> <p>保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている</p> <p>保育参観・保護者会・個人面談などを計画的に設けている。乳児は日々の様子を連絡帳を活用し、応答性のある関わりをしている。保育参観は、園での子どもの姿が自然な形で見られ、保育者の動きは何を配慮したものか一つずつ納得し、感動する場面が見られる。保護者会では、子育ての悩みにはそれぞれ共感をし、子育て仲間意識も生れる。保護者の中に子育ての先輩者による説得力ある話に納得するなど、有意義な時間になっている。従来であれば今年も同様な行事展開が繰り返しているはずが、今年は困難な状況である。</p> <p>個人面談の際に発達の目安に「しろつめくさ」を活用して、話し合っている</p> <p>個人面談の際に、「しろつめくさ」という園独自の年齢ごとの発達の目安が記載された表を活用して話し合い、保護者会後の子どもと触れ合い遊びをしている。保育参加を通じて、園生活での子どもの様子や保育者の援助の様子を見ることができる。実際に、他の子どもと関わる機会を設けて集団保育を理解するために、保育者の方から促すようにしている。仕事の都合で保護者会に参加できない場合のビデオ視聴の要望が出ているが、保育者のコメントなしでは園の意向が伝わらないとして、実現できていないことが今後の課題と捉えている。</p>			

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>小学校の体育館を使用した「夢パラダイス」では、園と園の父母会から出店している</p> <p>当園は、児童館を中心とする地域ネットワーク事業に参加している。小学校の体育館を使用した「夢パラダイス」では、園からと父母の会から出店し、多くの参加者がいる事業となっている。地域の保護者がネットワーク事業に関心を寄せて、子どもが達成感を持てる機会となっている。さらに、地域の団体が連携を深める目的を持った、子育て支援イベントとなっている。園は、これらの事業に参加して地域の一員としての交流を図っている。一方、5歳児は就学を前にして、近隣の小学校と交流して、期待を膨らませている。</p> <p>園の行事に地域の人参加を呼びかけたり地域の資源を活用したりしている</p> <p>夏祭り・運動会などの園の行事にはポスターを作成し近隣の乳幼児の参加を呼びかけている。今年は、地域の方々とは少し距離をとっていた。当園の立地している周辺には、区立の大規模公園やグラウンドなどが数多くあり、神田川を見下ろす遊歩道を通じて散歩コースには事欠かない。子どもたちは園庭遊びだけでなく、地域の資源を活用した取り組みもしている。また、併設の児童館や公共的施設の児童との交流によって、子どもたちの地域での生活の幅を広げている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル①	「振り返り記録」を用いて全職員のチームワークの強化と保育の質向上に力を入れている	
内容①	園では、全職員のチームワークの強化と「保育の質向上」に力を入れている。その一つに、職員自らの保育実践を見直すために「振り返り記録」を作成している。この記録を基に、職員同士で話し合い、子どもへの理解が深まっている。振り返りの時間を多く持つことによって、子どもの成長の共有につながっている。さらに、職員同士のコミュニケーションの深化によって、チームワークの強化になった。話し合いの過程では、相手の意見を肯定的に受け止める努力をしてきたことも、成果の一つである。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-5-1	子どものプライバシー保護を徹底している
タイトル②	園は子どもの羞恥心に配慮し、子ども一人ひとりの尊重にも力を入れている	
内容②	子どもの羞恥心に配慮した取り組みに力を入れて、0歳児から2歳児の保育室には、衝立で仕切られたオムツ交換エリアを設けている。その結果、ほかの園児の目からは見えないようにしているとともに、見学者からも見えづらくなっている。また、3歳児になると、シャワーの時にはプライベート部分についての説明をし、意識する事を教えている。5歳児からは、衝立を立て着替えをさせている。保育者は、子どもたちを呼び捨てにしないなど、子どもの気持ちに寄り添うよう努めている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-2	子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている
タイトル③	障害児指定園になり、建物の一部を改修し受け入れる準備をしている	
内容③	障害児指定園になり、建物の一部を改修し対象児が静かに過ごせる特別室を用意している。障害児の受け入れと共に、常に健康状態を留意する子どもが入園してくる可能性も想定している。様々なケースを想定して職員の学びを進め、杉並区保育園障害児医療的ケア実施要領に沿って受け入れ専門機関と連携をとる準備を進めている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園独自の「爪切りデー」を定めた結果、子ども同士の遊びの中で生じる深いひっかき傷事故が減ることにつながった
	内容	園では「爪切りデー」という日を週2回定めている。爪切りデーは保護者と共に登園してきた子どもの爪の伸び具合を職員が確認し、伸びている場合には保護者にその場で切ってもらい取り組みである。この爪切りを行うことにより、子ども同士の爪のひっかき事故で深い傷になることは減った。結果として、保護者同士のトラブルも減ることとなっている。リスクを想定し、リスクが起こった場合の損害を最小限に食い止めるための爪切りデーは、事前にリスクを回避するための措置として十分に機能している。
2	タイトル	登園自粛の解除後、園はそれまでできなかった、子どもたちの活動量を増やす事を中心に、さまざまな取り組みを行った
	内容	子どもたちは、登園自粛期間中あまり外にでられず、活動量が少なくなっていた。当園も自粛期間の解除後は、職員が工夫をして子どもたちのために、広い園庭を利用した遊びや、ホールを使った年齢ごとの活動を行った。また、密をさけるため園外への散歩にも力を入れ、天候には左右されるが、可能な限り近くの広い公園まで行って遊んだり、運動をしたりした。クラスごと、または半分、最大子ども達の半数は園外に行った。残りの子ども達は、密を避けて、園庭で通常通り過ごした。
3	タイトル	食についての関心を深めるため、2歳児～5歳児の子ども達が夏野菜を中心に食材の栽培をし、収穫した野菜は給食の食材にしている
	内容	園舎の前には広い園庭があり、その奥には、畑がある。ここで、2歳児～5歳児は夏野菜を栽培している。毎年、子どもたちはいろいろな野菜を栽培し、収穫している。その中で、植物が育つ過程を観察したり、草むしり、水やりなど世話をしたりで、食への関心や食べ物を大切にすることを学ぶようになり、食育につながっている。その積み重ねの中で、嫌いな野菜を食べる意欲となっている。一連の子どもたちの様子は、それぞれのクラスから写真掲示で保護者に見てもらい、どの顔も満足感に満ちている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	新型コロナ禍の収束後を見据えて、区立保育園として実行したい地域交流の計画立案に期待したい
	内容	新型コロナ禍の影響により登園自粛後、水遊び・プール遊びや夏祭りの行事を中止又は縮小された。園庭開放、ふれあい保育、育児相談、夏のボランティア、読みきかせ活動、近隣の特別支援学校との交流なども例年と異なり実施できていない。来年度から、区立施設再編整備計画により、併設の児童館が委託となり学童保育のみの事業に変わる予定である。今後、地域での区立保育園が果たす役割は見直していく必要がある重要な時期でもある。新型コロナ禍の収束後に備えて、地域交流のためのプランを立て、準備しておくことを期待したい。
2	タイトル	広い園庭を利用して、子どもたちが自然の中での活動や触れ合いを日常的に行うため、計画的な環境整備が求められている
	内容	杉並区の保育園情報からリンクする当園の特色は、自然あふれる広い園庭や安心できる遊歩道、近くの広い公園への散歩など、特長の多い園である事が記載されている。実際に当園では、自然を生かした保育に取り組んでいる。しかしながら、畑の草取り、樹木の剪定、害虫の駆除、日よけネットの設置など子どもたちが生き生きと遊び込める環境にするためには、園庭での危険回避のための点検が必要となっている。子どもたちの元気な声や姿を見るために、職員による計画的な環境整備が求められている。
3	タイトル	スポット保育の利用が増えてきている中で、その日のメンバーに合った遊具で待つことなく遊び始められるよう期待したい
	内容	長時間保育の子どもには遊具で遊び込めるよう、その子どもの好む遊具を提供している。今年度は、スポット保育利用児が増えた結果、延長保育利用時の遊具では不足する事が明らかになった。スポット保育の利用児が日々異なれば好まれる遊びや遊具も異なっている。何より長時間、園で過ごす子どもが楽しく過ごせる場の保障を守るために、遊具整備一覧表を全クラス連携で急ぎ作成したり、園内の連携で乗り越えたりする事によって子どもたちが、待つことなく遊び始められるよう期待したい。

(3) 大宮保育園

調査対象

園児全世帯の保護者を対象とした(複数の在園児がいる場合は、最年少の児童に対しての回答をお願いした)。

調査方法

アンケート方式
園からアンケート用紙を配付してもらい、回収は評価機関へ直接郵送、もしくは園内に設置した回収箱へ投函とした。

利用者総数

82

利用者家族総数(世帯)

66

共通評価項目による調査対象者数

66

共通評価項目による調査の有効回答者数

50

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

75.8

利用者調査全体のコメント

調査対象世帯66世帯中、50世帯から回答を得ることができた。満足度が高かった項目としては、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」「施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか」などがあげられる。

総合的な満足度では、「大変満足、満足」が46名、「どちらともいえない」が2名、「不満」が1名であった。「いつも自由気ままな子ども達を笑顔で見て下さり、ありがたいと思っております」「子どもと家庭全体を丸ごと見守ってくれていることが伝わるので、信頼して預けています」「信頼できる先生達が子ども達に対して、その時期に興味のあることや、遊びを活動に取り入れてくれるので、子どもは毎日登園するのを楽しみにしています」「遊びを工夫してもらい、子どもは楽しんでます」などのコメントのほか、「手紙など含めて連絡事項が全体的にわかりにくいです」「新型コロナ禍の影響もあり、先生方と話す時間もあまりないので不安です」などの声も寄せられている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	49	1	0	0
49名が「はい」、1名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「集団での活動はお互いに良くも悪くも刺激し合い役に立っていると感じています」「他の子どもとの関わりがとても役立っています」「いっぱい友達と遊び楽しんでいるようで、生き生きとします」などのコメントがあがっている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	46	2	1	1
46名が「はい」、2名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「毎日楽しい、と言っています」「おたよりや日誌で楽しそうな話を知らせてもらっています」「先生方が毎日何をして子どもたちと遊んでいるか口頭で話してくれます」などのコメントがあがっている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	47	2	1	0
47名が「はい」、2名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「家よりもよく食べている様子です」「量やサイズ、味はよく考えられています」と思います」「量が足りない時もあるようで、おかわりできるとありがたいです」などのコメントがあがっている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	34	12	4	0
34名が「はい」、12名が「どちらともいえない」、4名が「いいえ」と回答している。 「厳しい状況の中でできる限りのことはしてもらっていると思います」「コロナの影響で散歩が減り残念ですが、園庭で季節を取り入れた遊びをしています」「野菜を育てたり公園に行ったり自然によく関わらせてもらっているが、コロナの影響もあり、社会との関わりは減りました」などのコメントがあがっている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	36	5	1	8
36名が「はい」、5名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「とても柔軟に対応してくれています」「電話1本で快く受けてくれています」「いつ使うかわからない延長のチケットを事前に購入しなければならぬ点に多少の不満はあります」「対応が先生により異なります」などのコメントがあがっている。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	42	7	1	0
42名が「はい」、7名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「部屋のレイアウトなど手作りで色々な対策が取られていると思います」「玄関の門のかんぬきが故障している点が気になります」「門扉や入口の施錠をしない保護者もいるので、注意の呼び掛け以外の対策が必要と感じます」などのコメントがあがっている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	28	17	1	4
28名が「はい」、17名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「保護者会や行事の多くは平日なので、調整をするのが大変です」「年間行事は早め出して、保護者会や面談などは1か月以上前に知らせてほしい」などのコメントがあがっている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	42	8	0	0
42名が「はい」、8名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「とても話しやすい先生方です」「細かい変化や様子も伝えてくれるので信頼しています」「学年が上がるにつれ、忙しそうで声をかけづらい」「先生によるのが困ります」「親も先生も忙しく、なかなかゆっくり話すような時間は取れていません」などのコメントがあがっている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	46	3	1	0
46名が「はい」、3名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「いつもきれいです」「古い建物ですが、お掃除などとても丁寧に行き届いています」「とても古い園ですがきれいです」などのコメントがあがっている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	45	3	2	0
45名が「はい」、3名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「とても丁寧だと思います」「良い方ばかりです」「一部の職員の話し方や態度が気になります」などのコメントがあがっている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	46	2	0	2
46名が「はい」、2名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「すぐ知らせてくれます」「熱が出たら事務所で寝かせてくれ、付ききりになってくれるなど感謝しています」などのコメントがあがっている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	40	6	0	4
40名が「はい」、6名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「双方の気持ちを汲んでくれていると思う」「子ども同士のことなので、よくわかりません」などのコメントがあがっている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	45	4	1	0
45名が「はい」、4名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「親でも気づきにくい視線で寄り添ってくれています」「子どもが楽しそうに帰ってくるのでそう思います」「学年が上がると一人ひとりじっくり対応するのは難しいと思います」などのコメントがあがっている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	43	4	0	3
43名が「はい」、4名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 特にコメントはあがっていない。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	46	2	1	1
46名が「はい」、2名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「掲示板に毎日書いてくれます」「送迎時なども特に説明はありません」などのコメントがあがっている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	35	9	3	3
35名が「はい」、9名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「特に不満を伝えたことはありません」「話しづらく伝えられないこともあります」「先生同士の連携が取れていないように感じるのがたまにあります」などのコメントがあがっている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	19	11	8	12
19名が「はい」、11名が「どちらともいえない」、8名が「いいえ」と回答している。 「保護者会などで伝えられています」「そこまで困ったことはありません」などのコメントがあがっている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	園の理念や基本的な情報をホームページや園内の掲示などによって伝えている 園では理念・基本方針から、「健康で元気な子ども」「友だちとの関わりを楽しめる子ども」「自分で考えて行動する子ども」「心が豊かな子ども～興味・関心を持ち、好きを見つけられる子ども～」の4つの大切な事として掲げている。園内では、年度初めの会議において年度計画の説明をする際に職員に周知している。同時に、児童憲章と共に掲示して職員や訪問者に常に目に触れるようにしている。保護者に対しては入園説明会において「入園のしおり」、「重要なお知らせ」などで説明している。	
	園長は管理層として園の目指す方向性を示し、園の運営に反映させている 園長は園の目指す方向性を定め、その実現に向けて先頭に立って実行をしている。区の関係部署と協力して「杉並区立保育園保育実践方針」や「保育所保育指針」の原則に従って、業務を推進している。年度の目標、計画の作成にあたり、職員の意見を取り入れながら決定し、全体での共有を図っている。職員配置と園の職務分担を決定し、当保育園の課題及び自らの役割を認識し、安全の確保及び職員の能力向上の機会を与えるなどを行っている。同時に、公立保育園として、求められる機能の発揮に努めている。	
	重要な案件については定められた手順に沿って決定され、周知されている 重要な案件は職員会議においてそのプロセスと共に全職員に伝えている。迅速に伝達が必要な案件については、職員会議だけでなく、昼のミーティング時間を利用して職員に伝達している。一方で、全員で集まれる時間がなかなか取れないことから、会議の欠席者には職員室のホワイトボードに記入して全員に周知を図っている。保護者に関わる事項は、年2回の保護者会、毎月発行する「えんだより」等、文書の掲示を行っている。緊急時には「すぐメール」を利用して、区又は園から配信している。	

大宮保育園

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
2 カテゴリー2の講評		
<p>保護者の意向はアンケートや保護者会などによって把握されている 保護者の意向は、毎日の連絡帳や登降園時のあいさつなどで把握している。また、保護者会や保育参加時、個人面談などからも把握している。行事後のアンケートについては、整理した後に職員間で回覧を行っている。保護者会への出席率は高く、園では映像の使用や寸劇、ゲームを取り入れたりしながら保育園への理解を図っている。職員の意向は、職員会議や個々の職員へのヒアリングなどから捉え、第三者評価の「職員自己評価結果」から傾向をつかみ、運営の参考にしている。</p> <p>保護者や職員の意向を取り入れて年度の計画を策定し、見直しを行っている 園では、幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」を意識した保育の計画的な実施に努めている。各指導計画や行事分担表などを作成して園の活動の全般を決定し、実行に努めている。また、計画の策定は、前年度の計画の振り返りや保護者アンケート、職員による検討などに基づいて行われている。さらに、保護者に対して、園だよりなどにより具体的な活動を伝えている。一方で、計画の円滑な実行については、予定された行事が、新型コロナ禍の影響により中止または縮小になるなどの現状となっている。</p> <p>3年後の園舎新築と民営化に向けて、着実な準備が進められている 3年後には園舎新築と同時に、民営化されることが決まっている。それまでに、現状での問題点や課題を解決しておくことを目標としている。また、これまで園として大事にしてきた事を、新たな事業者にもしっかりと引き継いで行く方向で考えている。計画の透明性を図るために、保護への説明は、今後機会を設けて行うことを予定している。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>子どもの権利を守るために、児童憲章の周知や研修などを実施している</p> <p>年度始めの職員会議で、公務員倫理とともに児童憲章などを職員に周知し、虐待などに関する定期的な研修への参加を促している。会計年度任用職員に対しても、面接時に職員が周知すべき点として伝えている。また、保護者に対しては児童憲章を「重要なお知らせ」の中に明示したり、事務所に掲示するなどして周知を行っている。子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動については、職員同士も互いの保育、姿を注意し合い、小さなことでも声に出して確認するようにしている。</p> <p>子どもの最善の利益を守るため、保護者が相談しやすい環境づくりを行っている</p> <p>苦情は園長・主査及び区の保育課などを窓口としているほか、「苦情調整委員制度」を設置し、ポスターでの掲示や入園説明会で説明するなどして周知を図っている。また、「ご意見箱」を設置し、提出された苦情や要望に対しては園長を中心に対応を行っている。虐待や虐待が疑われるようなケースについては、区や関係機関と連携しながらマニュアルに沿った対応を行うこととしている。園では子どもの最善の利益を守るため、保護者が相談しやすい環境を作り、場合によっては相談を提案するなどして保護者支援を積極的に行っている。</p> <p>園の専門性を活かした地域貢献、取り組みを行っている</p> <p>園では、地域の連絡会や地域懇談会などに参加し、協働して地域の課題解決に取り組む体制を整えている。また、体験学習などを積極的に受け入れ、事後の感想などを園全体で共有して保育の見直しに活かしている。地域への貢献事業としては、園庭開放、ふれあい保育、緊急一時保育などの子育て支援事業のほか、すくすく(児童館行事)への参加などを行っている。園では、園庭開放の利用が少ないことから、今後、児童館の地域事業への参加や散歩先での案内の配布など、地域住民への呼びかけを積極的に行っていく予定である。</p>		
カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		
		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>危機管理マニュアルが整備され、定期的な研修を実施している</p> <p>危機管理対策として区による詳細なマニュアルが整備されている。また、新型コロナ禍への対応では、保育室の密対策、園庭の時間差利用、密にならないようして食事をするなど、区のガイドライン以外の園独自の対策を講じている。事業継続計画(BCP)では、区によって整備されたマニュアルに基づき、職員や保護者に周知を行い、理解して対応できるように取り組んでいる。さらに、その都度発生箇所や時間などを変えた避難訓練を毎月実施しているほか、防犯対策として、警察署と連携して防犯訓練を実施している。</p> <p>事故報告書の整備やヒヤリハットを整備し、再発防止に努めている</p> <p>事故防止対策として危機管理マニュアルの中に、対応の手順が定められているほか、事故報告書などの書式が整備されている。また、園日誌にヒヤリハットや施錠の確認のチェックなどを記載して、職員全員が共有することで、より注意を高めている。さらに、事故発生時は速やかに職員全体で要因を分析、再発防止を実施している。新型コロナ禍やインフルエンザの感染防止として、職員のマスク着用、手洗いの励行やその後のアルコール消毒、室内の湿度管理等に注意を払っている。</p> <p>個人情報保護の趣旨に基づき対応を図り、職員・保護者への周知を行っている</p> <p>個人情報の保護については、法の趣旨を踏まえ、入園説明会において、保護者に説明し同意を得ている。また、特に保護者によるビデオ撮影や写真撮影については注意を促している。職員は区の研修を全員受講し、個人情報保護に関する基本的なルールを身に付けている。パソコンなどの情報機器については、職員ごとにID・パスワード管理を行っているほか、USBメモリーの使用制限などのセキュリティ対策を行っている。</p>		
カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		
		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		
		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
		3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー5の講評		
<p>目標管理シートを基に、区の人材育成計画に基づいて研修を実施している</p> <p>職員の採用及び異動は区が行っており、園に赴任した職員の効果的な配置に努めている。また、保育向上を目指すリーダーを2名置き、0歳児クラスから5歳児クラスまで横断的にフォローアップが行える体制となっている。研修は、杉並区人材育成計画に基づいて行われており、園では目標申告シートや研修報告書、園長との個別面談を通じて、職員の意向を把握し研修計画を立案している。面談は常勤職員が年2回以上、会計年度任用職員については年1回実施している。また、新人育成担当を任命するなどして、若手の保育士の育成に力を入れている。</p> <p>職員の学びの共有化によって、協働意識の高まりがみられる</p> <p>職員アンケートの中で、「職員同士高め合えるように主体的な会議を進めてきている」「職員会議や定例会議等を活用して職員の学びを共有して、組織力のアップにつながる課題を持ち互いに向上していきたい」というコメントが見られた。組織としての協働意識の高まりがみられ、園運営に活かすことができている。</p> <p>職員会議でのグループ討議が職員の人材育成の場となっている</p> <p>園では、保護者との対話の中で、自分の考えを自分の言葉でしっかりと伝えていくことができることが必要と考えている。そのため、園内研修や職員会議において、少人数でのグループ討議により、発言の機会を多く持てるようにして成果をあげている。大きな会議の中でも、一人ひとりが自分の意見を発言することを積み重ねていくことによって、園全体の活性化が図られ、さらに、保護者に対しても自信を持って対応ができるようになっていく。今後も保育の向上に向けて継続的に実施していく予定となっている。</p>		

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p> <p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>園では、「より効果的に会議を進める」というテーマから、全職員が問題意識を持って会議に参加し、互いの意見をくみ取りながら会議を進めていくことを課題とした。</p> <p>現状では、会議で意見を出す職員は限られており、参加者が自分の思いや考えを出して語り合う雰囲気を十分に作り出すことができていないことから、園長、主査、リーダーを交えて、園内研修としてグループ討議を進めることの検討を行った。</p> <p>グループ討議では、大勢の前で話す事が苦手な若手の職員と、ベテラン職員等を組み合わせた5～6人のグループを編成して実施した。さらに、年間を通してテーマの決定から話し合いの仕方などについて、各グループで決定し、年度の最後には、グループごとにまとめの発表会を開催することとした。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>取り組みでは、少人数での話し合いとしたため、一人ひとりが十分に話をすることができ、相互理解が深まった。</p> <p>グループ討議を進める中で、自分の言葉でしっかりと意思を伝え、会話をすることができるようになり、若手の意識の変化や実際の保育にも変化が見られるなど、今後につながる成果が見られた。</p> <p>今後も、全体の大きな会議の場でも、互いの意見が忌憚なく言い合える、思いをしっかりと伝え合うことを目標に、取り組みを継続することとしている。</p> <p>相手の話を受容的に受け止め、そこで、専門職の立場から方向を明確に伝え、実行していくことは専門職としての基本的なスキルであり、人材育成の場面で一連の研修が行われ成果が確認できることは評価できる取り組みとなっている。</p>	

評価項目2
 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

園では、「カリキュラムの打ち合わせを深める」というテーマを掲げ、限られた時間の中で、ポイントを絞って各クラスの課題取り上げ、討議を通じて園全体のもとして共に考えていくことを課題とした。
 現状においては、各クラスから提示されるものの、その内容についてはあまり議論がされず、そのクラス内だけの問題として終わってしまう傾向があった。
 取り組みとして、
 ①園全体のカリキュラムを早めに発行し、各担任が前もって検討を行う時間の確保を行った。
 ②討議では、付箋を使うなどしてポイントを出し合いながら議論を進め、場合によってはクラスに持ち帰って再検討を行って再度持ち寄った。
 上記の方法などにより、カリキュラムを全体の議題として検討を進められるようにした。また、そのために専用ノートを作るなど、各月の議題を明確にして継続的な話し合いができるようにした。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

昨年からの取り組みの結果、職員間でも話しあえたため、個々の職員がカリキュラムを読み込んで検討に参加し、話し合いを深めて行くことができるような仕組みになった。職員全員が共通の問題意識を持ちながら課題を考えることができるようになり、目指していた、各クラス単位の取り組みから、園全体で共有する機運が生まれた。
 昨年度の取り組みを検証した結果、カリキュラム発行日から検討日までの期間に余裕を持たせるために、日程の見直しをした。その検証結果を踏まえて、今年度も取り組みを継続して行く予定とした。現在までは、各保育者がじっくりとカリキュラムを読み込んで検討に参加し、話し合いを深める姿勢が生れている。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>利用を希望する保護者らが知りたい基本的情報はホームページから収集できる</p> <p>園の規模、設置者、遊具、保育目標や保育園の特色など基本事項に関しては区が作成したホームページで見ることができる。年間行事予定やふれあい保育など区で統一した内容を、各区立保育園のホームページにアップしている。園内保育室、子どもの遊ぶ姿など10枚近いスナップ写真を載せている。内容が変わった場合は区のホームページ担当に連絡をして最新の情報に変更している。最近では園の門の形状が変更になったため、建物の外観写真を新しいものに変更している。</p> <p>園独自で作成されている園のしおりは毎年職員間で見直し、わかりやすいものになっている</p> <p>入園予定の子どもの保護者に渡す園の内容を説明した冊子としては区で作成した「重要なお知らせ」と、園独自で作成した「園のしおり」がある。「重要なお知らせ」は開園時間、運営方針、利用開始及び終了、保育料、1日の流れ等の一般的な区立保育園に関する情報が掲載されている。園の目標、行事、食育活動、健康管理やお散歩マップ等より具体的なサービス内容を掲載した「園のしおり」がある。「園のしおり」は毎年見直しをし、より分かりやすく保護者に伝わるようにしている。</p> <p>見学の希望者については、個別の状況を勘案して対応している</p> <p>今年は新型コロナ禍のために見学者も制限してきたが、10月から受け入れを始めている。毎月、園長及び園の予定を考慮して見学可能な日程を決めておき、問い合わせがあった場合は、希望者に日にちを選択してもらい見学者名簿に記載している。予約制で1日2名、概ね30分程度で園長が案内、説明をしている。保育園概要をもとに定員とクラス、職員数、保育時間、保育目標等を伝えながら各クラス入り口まで行く。各クラスの週のねらいと遊びや日々の写真が掲示してあるため、関心のある保護者は熱心に見ている様子がある。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>入園時面談と入園説明会で子どもと保護者の状況を把握し、保育時間も決めている</p> <p>子どもの入園が内定した保護者には「新入園児健康調査表」を送り、園医の健康診断と入園児面談をするときに記載し、持参してもらっている。園医はその調査表をチェックし、その後園長と看護師が面談をするときに出産歴、発育の経過、予防接種、既往歴等健康調査表に沿って確認をしている。健康診断の結果、正式に入園が決まると入園説明会をクラスごとに実施しているが、今年度は新型コロナ禍のために1人ずつ面談をしている。重要なお知らせ、園のお知らせに基づいて説明をし、必要な書類にサインをもらっている。</p> <p>子どもの慣れ保育は子どもの様子と保護者の状況に合わせて実施している</p> <p>慣れ保育に関しては、保護者の就労状況が優先され、経過を見ながら決めている。登園初日には、保護者に昼に再来園をしてもらい食事をする様子を見てもらっている。食事がきちんと取れれば大丈夫だと園では考えている。子どもが無理なく園生活に入れるように行っているのが慣れ保育である。子どもの不安と保護者の不安もあるため、園ではできるだけ保護者の不安軽減となるように不安の要素を取り除くように努めている。食事、睡眠の様子を見ながら、保護者の就労状況を考慮して園では慣れ保育を進めている。</p> <p>小学校就学に向けて丁寧な引継ぎをして子どもの状況を伝えている</p> <p>年長児になると近隣の小学校の教室を見学したり、学芸会や展覧会を参観するなど小学校と交流をしている。入学先の小学校が決まると、園では子どもの育ちを記載した「保育所児童保育要録」を作成して小学校へ直接持参し、学校長(または副校長)に丁寧に伝えている。園から巣立つ子どもが小学校でも元気で過ごせるように、担任は子どもの特性などを丁寧に伝えている。</p>		

サブカテゴリ3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリ3の講評		
<p>「年間指導計画」に基づいて子どもの成長に合わせて月及び週の計画を導き出している</p> <p>「全体的な計画」から各クラスは「年間指導計画」を作成し、子どもの成長を見ながら「月の指導計画」及び「週案」を作成している。「週案」は2週間分をクラスごとに掲示し、保護者に週のねらいと遊びがわかるようになっている。毎回「週案」を見て子どもの遊びの様子に関心のある保護者は、どのように遊びが展開するのか期待して子どもと話をしているという。「月の指導計画」は各クラスに掲示し、保育内容や保育のねらいを保護者に伝えている。</p> <p>毎月、毎週の指導計画作成に関しては全ての職員の意見や質問に対応して作成している</p> <p>「月の指導計画」や「週案」について検討するカリキュラム会議に向けて各職員は質問や要望、意見、疑問に思うことなどをすべて書き出し、事務所にあるホワイトボードにクラス別に貼っている。保育士だけでなく看護師や栄養士全ての職員が指導計画に関心を持って、付箋で伝えるようにしている。担当職員は自分のクラスへの事前質問や疑問が把握でき、それに対応する回答など準備ができ会議が効率的に運営できるようになった。それ以前に職員からの声が多く寄せられ計画案にふくらみができている。</p> <p>子どもの日々の状況の情報共有のために受託簿の存在は大きい</p> <p>受託簿の様式を統一してわかりやすく様式変更をした。延長保育の子どもの引継ぎが正確にできるように、ミーティング時に職員間で共有している。保護者への連絡も漏れなくできるように、子どもの登園、降園時間を記載し家庭からの連絡事項、クラスからの連絡事項を明記し、当番保育士が保護者に伝えている。特にけがをした場合は、保護者に状況を報告し、丁寧に説明している。職員は受託簿だけがについて確認し合い、翌日は必ず保護者に家での様子やけがの状態を聞き取るようにしている。</p>		

サブカテゴリ5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ5の講評			
<p>様々な場面で、羞恥心に配慮をした保育をして一人ひとりの子どもに向き合っている</p> <p>子どもの羞恥心に関しては、乳児の頃から子どもに対してどのようなことに配慮をして自分を守っていくのかということを様々な場面で伝えている。乳児のおむつ交換もトイレ内の囲いのある場所で行っている。トイレトレーニングを始める頃には他の人のプライベートゾーンに触らない、お漏らしをしたときは部屋でパンツを脱がない、裸で走り回らない、トイレドアを開けたまま使わない等、具体的に伝えている。看護師からもプライベートゾーンについて話をし、大切なことを伝えている。</p> <p>子ども自身が大切にされているというメッセージを職員は常に発信している</p> <p>職員は日々の子どもの関わりの中で、子どもが肯定感を感じられるように声掛けをしている。常に子どもに対して、自分は大事にされていることを伝えている。笑顔を見せてくれる子どもに「笑った顔がかわいいよ」など心で思うだけでなく、言葉を使って伝えるように努めている。例えば、子どもが「友達が積み木を壊した」と言ってきた場合、「優しく教えてあげよう」と子ども同士で人を思いやる気持ちを育て、良いところを認めるように教えている。</p> <p>虐待防止についての学習は継続して実施して、虐待に対して敏感になって保育をしている</p> <p>虐待防止についての研修は、毎年必ず1人は受講をして、園内で研修報告をして職員間で共有をしている。何が虐待になるのか認識するために全国保育士会が作成したチェックリストを参考にし、意識して子どもの様子を観察している。子どもの毎月の身体測定時や春・秋の健診時には看護師が留意している。また毎日の着替えの時にも注意深く皮膚観察をし、僅かな異常があれば写真に撮り保護者に確認をしている。「児童虐待対応マニュアル」によって、いつでも確認できるようになっている。</p>			

サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー6の講評		
<p>区作成のマニュアルと園独自に作成した業務マニュアルに基づいて保育をしている</p> <p>区では保健業務、保育園給食、給食の衛生マニュアルなど保健衛生に関する基本的なマニュアルを作成して、区立保育園の保健衛生に関して統一したものになるようにしている。保育サービスに関しては園独自の対応があり、必要に応じて作成し、職員間で共有をしている。業務的なマニュアルとしては、朝・夕延長保育や仕事内容など、具体的な動きを載せている。また、不審者の侵入などに対応した防犯防災マニュアルも保育園の地理的な考慮をして作成されている。テーブルの消毒、おむつの廃棄処理などの手順書も多く作成し、業務の統一性を図っている。</p> <p>サービスに関してのマニュアルの見直しは職員からの意見を参考にしている</p> <p>園庭遊び、プール、水遊びの時の写真の取り扱い等のマニュアルは活動に合わせて見直しをし、適切に対応できるように職員間で話し合っている。遊びに関しては、年齢や個人差を考慮し、大まかな約束の確認のもと、経験を拡げている。またサービスに関しては「月の指導計画」、「週案」があり、定期的に見直して次の計画に繋げているが、子どもの成長に合わせた見直しという点で、一般的なマニュアルとは異なっている。園で作成したマニュアルの見直しや新たな作成に向けて職員間で情報を共有しつつ検討している。</p> <p>保護者からの意見や意向は日常会話や園便りのコラムなどから把握して反映させている</p> <p>保護者の意向や意見は保護者会、行事の後の反響の集約、園便りに寄せてくれるコラムなどから収集して知らなっている。また毎日の送迎時の保護者との会話からも把握している。特に行事については終了後、保護者の意見を聞いたうえで検討し、次の行事に活かしている。子どものことだけでなく、園についての要望なども日常のやり取りから聞いている。様々な場面で保護者からの声をできるだけ多く聞くようにすることで、保育の理念や目標を実現できるようにしている。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	
		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもの育ちの様子や生活環境から一人ひとりの全体的な姿を把握し保育を行っている</p> <p>入園面接時、保護者から出された健康調査票・食事調査・入園までの生活情報等の提供資料と聞きとりを行っている。この情報から子ども一人ひとりの発達を把握し、子どもにとって必要で適切な援助を行っている。保育方針は「子どもを肯定するあたたかなまなざし…」「発達段階を捉えながら、その子にあった援助…」「保護者と信頼関係を築き…」とある。園はそれぞれの子どもに合った援助を保護者と協力し共育てを目指し、その結果満ち足りた子どもたちの表情に表れている。</p> <p>環境の工夫は、日々の保育の積み重ねでの子どもの表情や動きから生まれている</p> <p>日々、月々、季節の中で一人ひとりの子どもの育ちの様子を見ながら環境を工夫し整えている。各年齢の発達状況に寄り添い、さりげなさを演出した場で見られる、ありのままの子どもの表情や動きをじっくり観察し、子どもの喜ぶことや好きなことの把握に努めている。子どもが遊び込める場が必要なことを話し合い、子どもにとってワクワクする魅力的な空間を室内や戸外に作っている。さらに、保育者は実践の集大成として具体的な年間反省をまとめ、次年度の計画に活かしている。</p> <p>5歳児は近隣小学校と交流の機会を持ち、小学校就学への円滑な接続につなげている</p> <p>小学校の教師や学童クラブの指導員との相互理解や連携を図っていくようにしている。また、地域ネットワークの学校とのつながりを持って行くよう努めている。5歳児は小学校へ出向き、児童と交流することにより、就学期への期待が高まり小学校の具体的なイメージが持てるようになっている。園からは、保育要録を入学予定校へ送り、就学支援シートの活用もしている。5歳児の保護者には就学に向けた園の取り組みや小学校入学に向けた保護者への説明を早めに取り組み、不安のないようにしている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当	
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当	
評価項目2の講評			
<p>登園時に、前日の家での子どもの様子を確認している</p> <p>朝の受け入れ時には保護者と子どもに挨拶を交わし、子どもの健康観察をしっかり行っている。保護者から前日帰宅後から朝までの子どもの機嫌や食事の状態等を聞き、受託簿に記録をつけている。園では朝・夕保育の当番は、できるだけ担任がクラスに残るようにしている。日中の様子を伝えたり保護者からの質問にも対応することで、保護者が安心して子どもを預けられるようにしている。このように、登園時の対応は多岐に渡るため、保育者は必要な情報を迅速にポイントを押さえた聞き取りができるよう、保育力の向上に努めている。</p> <p>発達に応じた基本的な生活習慣の大切さを伝え、子どもに身につくよう援助している</p> <p>子どもの成長・発達は個人差があることを保護者に伝えている。園では0・1・2歳児には日々取り交わされる連絡帳を使い、「年間指導計画」「月の指導計画」を基本に毎月配布しているクラスだよりも折りに触れ、基本的な生活習慣の大切さを伝えている。新型コロナ禍の環境のなか、新年度がスタートして間もなく登園自粛を区から伝えられた。夏までは個人面談や保護者会も実施できず、必要な情報のみならず保護者との連携がしにくいのが現状である。感染症対策をしっかり行った上で、保護者との連携に対する取り組みを模索しているところである。</p> <p>午睡(休息を含む)の時間帯は子どもの状況に配慮し、個々に対応している</p> <p>午睡の時間は横になり体を休める時間ということを基本にし、個別の対応をしている。4、5歳児は、夜眠りにつくのが遅くなるので午睡を短くしてほしいという要望が出るが、個々の対応で基本全体が起きるまで静かに過ごすようにしている。午睡時にはSIDS(睡眠時無呼吸症候群)を防ぐため0歳児から5歳児まで呼吸の状況を確認し、子どもの名を入れたクラス単位の表にチェックをし、異常の有無を確認している。0、1歳児はうつ伏せ寝を避け、鼻をふさがない仰向け寝を徹底し、うつぶせ寝になった場合は必ず仰向けに直している。</p>			

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがまじりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>年齢に応じ、少人数に分かれて保育をすることで遊びの拡がりを見せている</p> <p>区は「杉並区立保育園保育実践方針」を打ち出している。その流れを汲み、0・1・2歳児クラスの低年齢の子どもは月齢が同じくらいの人数に抑え、少人数に分かれて保育している。その結果、子どもが安定し、心身ともに成長すること、子どもの姿が予測でき、遊びがより広がるようにしていることが確認できている。これらの関わりの積み重ねで自主性が育ち、動(戸外遊び)・静(室内遊び)で子どもがじっくり遊んでいる姿が見えている。園は「全体的な計画」で年齢ごとの姿を教育の5領域に即し、捉えて、日々の保育につなげている。</p> <p>子どもが集団活動に主体的に関わり、言葉による伝え合いができるよう援助している</p> <p>日々の活動計画を作成するに当たって、子どもが興味や関心を持ち、みんなと一緒に協力したり満足感や喜びが味わえるように配慮している。集団活動では、人に対する思いやりや信頼が芽生え、その大切さや楽しさを理解できるように、実際に見せて興味を持てるように援助している。また、集団の中に入り込めない子どもに対しても日常的な関わりの中で、子ども同士が声をかけあえるような環境づくりに心がけている。このような取り組みの中から、子どもたちが自発的に行動する事につながっている。</p> <p>園外活動は散歩のねらいを設定し、自然に触れられるような場所に出かけている</p> <p>地域には11か所ほど子どもが遊べる公園がある。しかし、新型コロナ禍により登園自粛という事態が発生し、6月に新たな歩みをスタートさせたところである。登園自粛期間の子どもたちは、家の中で過ごしていたため、どこにも出かけることができなかった。結果、明らかに活動量が減ったことにより、脚力が落ちていたことが4歳児クラス、5歳児クラスの子どもたちで顕著に目立ち、まずは近場を歩くことから開始している。1、2歳児の子どもたちも手つなぎ散歩をして体力作りに参加している。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>行事の実施にあたっては、子どもたちが意欲的に参加できるよう行っている</p> <p>行事は日常の保育の延長線上にあると捉え、子どもが興味を持ちながら意欲的に参加できるように導入方法を工夫し、様々なプランを用意している。また、年齢に応じた行事への取り組みを考え無理なく楽しんで参加できるような形を工夫している。今年は新型コロナ禍の中で様子を見ながら行事の変更をしている。従来、運動会は3・4・5歳児クラスの3クラスが主体で取り組んでいたが、今年は時間を区切って小運動会とし、三密を避けるためクラス単位で別々に実施した。そのことについては、クラスだよりや園だよりで、細やかに保護者に知らせている。</p> <p>行事内容により参加年齢を確認し、子どもが満足感を味わえる内容を考え実施している</p> <p>夏の行事である縁日ごっこも取り組みを縮小し工夫して実施した。小さな縁日ごっこは、お面やさんやおまけのおやつがつく屋台があり、子どもが満足感を味わえる楽しい内容になっている。これらの状況は各クラスの掲示日誌や写真付きの園だよりで保護者に伝え、子どもたちの輝く笑顔を見てもらっている。本来の行事の形を変えたスタイルで子どもを喜ばせ、工夫を凝らした取り組みはその時の社会環境に柔軟な対応をしている事を物語っている。保育者達の熱意の結集であることがうかがえる。</p> <p>クラスだよりや掲示日誌で子どもの様子を知らせ園の情報を提供している</p> <p>行事実施にあたり、園で子どもたちが行事の中のどのような場面で番があり、どんなことを練習しているのか幼児クラスだより等を通し保護者に伝えている。家庭でも行事のことを話してもらえよう、情報を提供している。これは、行事の準備や実施にあたって、子どもが意欲的に取り組めるよう、保護者の理解や協力を得る事につながっている。家庭で話題にすることで、子どもたちは頑張ろうという気持ちになって行くよう園の願いが込められている部分でもある。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>室内に休息コーナーを作り、じっくり遊べる場所を提供している</p> <p>保育時間の長い子どもが落ち着いた雰囲気の中で、楽しく安心して過ごすことができるように配慮している。子どもが、布団に横になって休息し、ほっとできるようなスペースを作ったり、他児に邪魔されずにじっくりと集中して一人遊びを楽しめるようなコーナーを作ったりしている。担当保育者は、日中の活動を把握したうえで、それとなくコーナーで遊ぶ子どもの様子を確認し、安全を確保されているか、異変はないか見守りし、全体を注視しつつ様子確認をしている。</p> <p>朝・夕、延長保育の部屋は固定し、移動する時間も統一している</p> <p>延長保育の部屋は固定し、決められた時間帯以外で移動する事のないように、直前まで延長保育の利用児は本来の保育室で過ごすようにしている。朝・夕保育、延長保育に関する確認事項は年度ごとに新たに掲示し、保育者に周知、徹底している。子どもには安全に楽しく遊べる玩具を提供している。職員は正規職員と会計年度任用職員で構成し、できる限りいつも同じ保育者と過ごせるよう配慮している。それにより、子どもの気持ちの安定と、落ち着きに繋がっている。</p>		
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもが、ゆったりとした雰囲気の中で楽しく食べられる環境を作っている</p> <p>ゆったりと楽しい雰囲気づくりに努め、区立保育園共通の献立表に基づく栄養バランスの取れた給食を提供している。行事食は子どもたちは楽しみにし、ランチ皿を使用している。掲示日誌で保護者にその様子を報告している。新型コロナ禍による登園自粛要請で家庭で過ごす時期もあったが、6月からは通常通りに戻った。しかし、新型コロナ禍の影響で、三密を避けた食事風景となっている。今年も3・4・5歳児は人参・トマト・ピーマン・さつま芋・苺・アスパラ・ジャガイモを栽培及び収穫し、給食に提供する事によって、食材に触れて関わる機会を与えた。</p> <p>食物アレルギーを含む体調不良の子どもや、文化の違いに応じた食事提供をしている</p> <p>食物アレルギーを持つ対象児には、医師の指示書に基づく食物除去献立を作成し、保護者に連絡を取り、食物除去献立連絡用献立表の内容確認をしてもらい、調理に当たっている。園では日々の給食提供にあたり、調理師・栄養士・対象児クラス担任保育士が常に連携し、定期的に進度会議やアレルギー会議を行っている。誤配膳・誤食の防止を徹底し、継続をしている。異文化による食事の対応や体調不良の子どもに向けたおやかゆなども対応し、それぞれの保護者への子どもの摂食状況などを伝え様子確認をしている。</p> <p>食育基本計画に基づく食育活動を年間を通し活発に取り組んでいる</p> <p>栄養士・調理師と連携して食育活動を行う他、食への関心が深まるように様々な野菜や果物、花も園内で栽培している。食育活動は年間計画があり、それに基づき3、4、5歳児は活動している。しかし、新型コロナ禍の状況の中、調理活動はできず、行事も変更や時間短縮で行事食も様子見の状態であるが、毎年取り組む野菜の栽培は行った。園庭には人参・トマト・ピーマン・アスパラ・さつま芋・ジャガイモ・苺が見事に育ち、給食として出され、子どもたちは美味しく食べる事ができた。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>看護師の作成する健康教育計画は、育つ子どもの基礎とし大きな指標となっている</p> <p>看護師が受け持つ園の「健康教育計画」は、「全体的な計画」や「年間指導計画」の中の保育所保健の立場からの子どもへのメッセージになっている。5歳児になると、保育園での1日の活動を言葉で直接伝えられるようになる。毎月の身体計測や朝の集会の折、担任と連携を取り、自分の体調や身体の仕組みなど具体的に話すようになる。自分の身体を守る大切さを知り、園庭や散歩先でどんなことに気をつければ、けがを防げるかを学んでいる。看護師は各年齢や季節に応じた内容を子どもたちに分かりやすく興味を持てる話にして伝えている。</p> <p>支援を必要としている子どもに専門機関等の連携に基づく対応をしている</p> <p>当園には医療的なケアが必要な子どもは在園していないが、園長は実務研修を受け、実際の保育をしている園からの報告で、区内で行われている事業として捉えている。</p> <p>子ども一人ひとりの健康維持にむけ、家庭との連携を図っている</p> <p>年間を通して全園児の健診を行い、子ども一人ひとりの健康維持に努めている。年2回、園医による内科健診を全園児が受け、耳鼻科と眼科の健診を3・4・5歳児対象、歯科健診は全園児対象に実施している。5歳児は眼科健診前に視力検査を受け、健診後、結果を保護者に伝え必要に応じてそれぞれの主治医での受診をすすめている。SIDS対策に関して入園時に、その取り組みを説明している。関連ポスターが届いた時は園入口の保健コーナーに掲示し、知らせている。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の就労の状況や子育ての悩みに寄り添い、支援している</p> <p>保護者の子育てや就労等の個々の事情に配慮し支援を行っている。昨年度までは保護者会の合間を利用してお茶会を催したり、行事に参加してもらったり交流を深める機会を設けていた。今年度は新型コロナ禍の影響により、1回目の保護者会は開催できなかったが、「子育ての悩み」や「工夫している事」を子育て経験をしている保護者からの情報提供によって紙上での保護者会を開いたクラスがあり、従来にない柔軟な対応を行った。保護者の持つ閉塞感に少しでも対応し、信頼感を深める新たな取り組みが好感を呼ぶ形になっている。</p> <p>保護者との関わりを深めるため、連絡帳のみならず、園だよりを工夫している</p> <p>保護者との関わりを深めるために、個人面談、連絡帳での相談などを実施してきている。個人面談では事前に子どもの成長に関してポイントを置いたアンケートを配布し、話し合いの中で共有を図っている。連絡帳に於いても、受けた質問等になるべく迅速、丁寧に反応している。園だよりの内容については様々な工夫を加え、保護者が投稿する欄を設けて、共感を深めている。各「クラスだより」は玄関に全クラスを掲示し、保護者が園全体に関心を深めてもらえるようにしている。今年度は保護者への連絡ツールとして特に重点的に発行している。</p> <p>保護者参加の行事で子どもたちの園での姿に触れ、保護者の交流の機会になっている</p> <p>保護者が、子どもの園での様子を確かめられる行事として、保育参加や参観がある。保育参加を通して、保護者は自分の子どものみならず、他の子どもとの関わりを発見できることもあり、多数の参加を受けている。また、行事を通して保護者同士がお互いに連帯感を育み交流につながる機会となっているが、今年は残念ながらこれらの実施は難しく、新型コロナ禍の収束が待たれる。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>日常的に地区の公共資源を利用して、子どもたちが様々な体験をしている</p> <p>園では地域のさまざまな資源を活用して子どもたちが、体験や交流を日常的に行っている。近隣の公園での自然との触れ合いや、居合わせた他園の子どもたちとの交流をしている。図書館を利用した図書の選定などによって、年長児は就学に向けて地域を知ることなど、多様な体験をしている。子ども達は散歩時には交通ルールを守ることを教わったり、また訪れた施設でのマナーを守る事を覚えたりする機会となっている。当園の園庭を開放して、近隣の小規模園の子ども達が遊びに来るなど、活発に資源を利用し合っている。</p> <p>園の運動会等に近隣園の園児が参加したり、小学校の行事に5歳児が参加したりしている</p> <p>園が主催する運動会や人形劇に近隣園の園児が参加し、共に行事を楽しんでいる。5歳児は普段から交流をしている地区の小学校の展覧会や学芸会に招かれ、小学校生活を体験している。また、近隣園との定期的な交流を行っている。園は、保育実習生、職場体験実習生を受け入れて、子ども達が毎日の保育者以外の人たちと触れ合う機会を設けている。特に5歳児にとっては就学に向けてさまざまな人々との交流を通じて、地域での生活の幅が広がることを期待している。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-3-2	全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している
タイトル①	職員から意見や質問等を付箋に書いて貼りつけ、会議の効率化につながっている	
内容①	定期的を実施している月のカリキュラム会議前に、全ての職員からの意見、質問、要望等を付箋に書いてもらうようにした。簡潔な文、明確な内容で職員からの意見を事務所内のホワイトボードにクラス別に貼りつけ、クラス担任職員は意見や要望に対応して計画を作成し直している。カリキュラム会議では寄せられた意見等に対応し効率的に会議が進行するようになっている。職員も、付箋に書く、という気軽さもあって柔軟な発想ができて多様な意見を出しやすくなり、意見収集方法を変えた効果は大きく会議運営も効率的になった。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル②	グループ討議を活性化するための取り組みによって、人材育成に役立っている。	
内容②	専門職である保育士は、必要なスキルの一つとして「保護者との対話の中では自分の考えを、自分の言葉でしっかりと伝えていくことができる事」がある。そのような人材を育成するために、職員会議の中で、少人数でのグループ討議を持つことにより、発言の機会を多く持てる場面作りを行っている。特に若手の職員については、この訓練によって保護者の方々と同じ目線で会話し、子育ての感覚が生れるよう、育成を図ることが目的である。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル③	近隣園の子どもたちを園の運動会や人形劇観劇に招き、交流をしている	
内容③	近隣園と普段から交流し、園行事の運動会や人形劇観劇に子どもたちを招き、共に楽しい時間を過ごしている。他園の園児との継続的な関わりによって交流が深まることを願っている。さらに、5歳児は地域の図書館に図書を選定に出向き、まとめて貸し出し分を送ってもらったり、地区の小学校との交流をする中で、学芸会や展覧会に招かれたりして、楽しむ姿がある。5歳児は就学時期を控え地域のことや人々を知ることによって視野が広がる機会になっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	開園以来50年経過し、地域に根差した園の良い点が引き継がれている
	内容	1970年に開園し、今年で50周年を迎える当園は、3年後には園舎立て替えによる複合施設内に入居する計画になっている。そのため、来年年明けには仮園舎に引っ越し、完成を待つ事になる。当園は、区内においても、閑静な地域で、子育てがしやすいと言われている地域に立地している。入園前の見学者も多く、事前見学の要望も多くあり、沢山の質問もいただいている。また、同一施設内の児童館と連携し、地域の子育ての拠点となって役割を發揮している事は、この地域に根ざした園であることを物語っている。
2	タイトル	指導計画のほかにクラスごとに日々の保育の内容を記録し写真と一緒に掲示して保育内容をわかりやすく保護者に伝えている
	内容	クラスごとに月の指導計画、週案を部屋の入口に掲示している。それに加えて、玄関正面に各クラスだよりを保護者が一度に見られるようにまとめて掲示している。0歳児のクラスには子どもの寝顔と母と子どもの写真を貼り、幼児クラスは「張り出し日誌」と名付けた当日の子どもの遊びの様子を写真入りで伝えている。「子どもが最近読んでいる本」や「人気の遊び」の展示も好評で、保護者からのコメントも多数ある。日々の子どもの様子をわかりやすく保護者に伝えて喜ばれている。
3	タイトル	登園自粛で子どもたちは外に出られず、登園再開後脚力低下を心配して近場歩きから地道に体力作りをしている
	内容	子どもたちは登園自粛期間中、外に出られず室内だけで過ごし登園してきた時には特に4・5歳児の脚力の低下が見られたため、子どもたちの健康づくりを進めている。当初は梅雨の時期に入り様子を見てまずは近場歩きから始め、次第に散歩に移り、現在では1・2歳児の子どもたちも手つなぎ散歩で参加するようになっている。夏場は、プール遊びができない代わりに、様々な水遊びの経験の中で発散した。秋になると散歩のねらいを設定し、自然の変化も楽しみながら本格散歩に移行してきている。体力も次第に戻ってきていることがうかがわれる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	当園の運営母体が変わっても、地域の子ども子育ての中心となっていくことを期待する
	内容	園は地域における保育の中心となってきた。地域と連携して子育てのニーズに応じて、幼保小連携全体会議への参加、地域懇談会を通して中核園をサポートしてきた。しかしながら、当園は施設としての老朽化によって、建て替えの計画が進行しており、同時に、運営の民営化が予定されている。園として運営母体の変更や、建て替え時の仮園舎への引っ越しなどで、保護者への不安感解消が急務となっている。日頃現場で保護者（利用者）と接触するのは当園の職員であり、より良い方向で移行される事を期待する。
2	タイトル	近隣に暮らす未就園児が利用できる「ふれあい保育」などの情報提供を積極的に行って、保育園の特性を活用することが望まれる
	内容	今年は新型コロナ禍により、積極的に近隣の未就園児親子の受け入れができなかった事情はあるが、10月から見学の受け入れも再開したことから、保育園の特色を活用した地域貢献事業でもある「ふれあい保育」や、園庭開放をするように情報提供をしていく時期だと思われる。この事業は、当園の子どもと一緒に遊び、給食を食べて保育園生活を体験したり、保護者は育児の不安などを相談したりすることができる。この情報を園の掲示板に掲示し、周辺の行政機関にチラシを置いてもらうなどの発信をしていくことが望まれる。
3	タイトル	子どもの身体作りの基本は0歳児の時から始まっており、5歳児まで計画性と連続性を持って取り組んで行くことが重要である
	内容	区から登園自粛要請を受け、協力した家庭の子どもたちは活動量の減少による脚力の低下を心配した。それを補うため、園は「歩くこと」をいち早く実施したことは賢明な判断であったといえる。全身の鍛えは0歳児から5歳児まで計画性と連続性をもって取り組んで行くことが重要であるため、これらの取り組みは、巧技台を含め、年齢に合わせた体力作りによって行うことができる。公立・私立の別なく都内の保育施設では数多く実践されている。園としては是非とも情報を集め、実践への研究を望みたい。

(4) 大宮前保育園

調査対象

園児全世帯の保護者を対象とした(複数の在園児がいる場合は、最年少の児童に対しての回答をお願いした)。

調査方法

アンケート方式
園からアンケート用紙を配付してもらい、回収は評価機関へ直接郵送、もしくは園内に設置した回収箱へ投函とした。

利用者総数

73

利用者家族総数(世帯)

73

共通評価項目による調査対象者数

73

共通評価項目による調査の有効回答者数

49

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

67.1

利用者調査全体のコメント

調査対象世帯73世帯中、49世帯から回答を得ることができた。満足度が高かった項目としては、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」「子どもの気持ちを尊重した対応がされているか」「職員の接遇・態度は適切か」などがあげられる。

総合的な満足度では、「大変満足、満足」が48名、「どちらともいえない」が1名であった。「先生方は子ども達に寄り添って保育してくれ、子ども達も楽しそうです」「手作りのおもちゃや園庭の遊具など工夫を凝らし制作してくれ、子どもも飽きることなく遊んでいます」「園庭で泥んこになったり、野菜や果物を育てたりして自然と触れ合えているようです」「子どものことを第一に考え細かいところまで報告してくれて満足です」「職員は皆さん丁寧で熱心に仕事をされていて、安心して子どもを預けることができ感謝しています」などのコメントのほか、「先生と少し話や相談できる時間があると嬉しいです」「遊具を導入してほしいです」などの声も寄せられている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	49	0	0	0
回答者全員が「はい」と回答している。 「集団生活を通じて、社会性などが養われていると感じます」「親だけでは話さない言葉や歌が、子どもから出てくるのが素晴らしいです」「集団生活を通して、たくさん学んだり感じたりしていると思います」「大勢の人と関わっているので言動がしっかりしてきました」などのコメントがあがっている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	49	0	0	0
回答者全員が「はい」と回答している。 「歌やダンスなど楽しそうに披露してくれます」「野菜を育てて食べたりしているのが良いと思う」「泥遊びや虫を触ったり、とても興味を持って行っています」「リズムックや雨の日の板を使って作るすべり台、色水遊びなどが大好きです」「一つひとつ興味を持って取り組めるようになっていると思います」などのコメントがあがっている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	47	2	0	0
47名が「はい」、2名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「毎日完食しているようで、好き嫌いもなく育っています」「残さずに食べているので、子どもが食べやすいものになっていると思います」「家庭では作ることのないメニューもあって助かります」「野菜を食べてくれるようになりました」「おやつはおにぎりが多い印象なので、もう少しバリエーションが増えるともっと良いと思います」などのコメントがあがっている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	41	6	2	0
41名が「はい」、6名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「よく自然と関わっていると思います」「広い庭で朝晩遊べ、菜園での収穫など家庭では難しい経験をたくさんできています」「外にお散歩もよく行くので、踏切や電車なども知っています」「新型コロナ禍で散歩ができない中、園庭で工夫して遊ばせてくれます」「戸外遊びがもっとあっても良いと思います」「行事が少ないように感じます」などのコメントがあがっている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	44	4	0	1
44名が「はい」、4名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「柔軟に対応してくださって、とてもありがたいです」「あらかじめ連絡すればいつも助けてくれます」「特に軽食の対応が柔軟です」「以前、迎えが15分程遅れた時は柔軟に対応してくれました」「先生により対応が違います」などのコメントがあがっている。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	44	4	1	0
44名が「はい」、4名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「避難訓練、防犯訓練を定期的に行っていて参加したこともあります」「危ない箇所について伝えると安全対策をしてくれました」「出入口(庭)への門は人によってきちんと閉めないこともあるので、早急に対応してほしいと思います」などのコメントがあがっている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	34	9	3	3
34名が「はい」、9名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「平日の行事もすぐ前から日程が決まります」「事前にお知らせがあります」「平日開催は働いている親には厳しい時もあります」「面談や保護者が平日の昼過ぎ頃から開催なので、もう少し遅めの時間帯だと大変ありがたいです」「プリントで日程が分かるのはいいので、オンラインでもわかると便利です」などのコメントがあがっている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	45	4	0	0
45名が「はい」、4名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「とても丁寧に対応してくれます」「いつも1日の様子を話してくれて悩み事も相談でき、信頼できる存在です」「相談しやすい雰囲気をつくってくれています」「個人面談でじっくりお話できました」「お迎えと個人面談の時しか時間がないので、もう少し話せる時間があればいいと思うこともあります」などのコメントがあがっている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	46	3	0	0
46名が「はい」、3名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「いつも保育士の方などが、きれいにしてくれているので安心できます」「新型コロナ前から土曜日や平日のお迎え時におもちゃをきれいに拭いてくれています」「先生方がとても丁寧に掃除してくれています」「整理はできていると思いますが、子ども達の人数に対して手狭に感じます」などのコメントがあがっている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	48	0	0	1
48名が「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」の回答はみられなかった。 「皆さん服装は動きやすく身軽です」「丁寧に話をしてもらっています」「明るい先生方です」「名札が見にくいです」などのコメントがあがっている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	45	2	0	2
45名が「はい」、2名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「小さなケガでも申し伝えなどでお知らせしてくれます」「家では嫌がるのに絆創膏や冷やすのもきちんとしてくれます」「丁寧に教えてくれます」などのコメントがあがっている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	40	7	0	2
40名が「はい」、7名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「細かく見てくれていると感じます」「お友達への対応の仕方など指導してもらっています」「職員によって違うので、名前の開示の有無の統一をしてほしいです」などのコメントがあがっている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	48	1	0	0
48名が「はい」、1名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「信頼しています」「連絡帳には親も気づかない細かい子どもの気持ちを書いてあります」「子どもは先生方をとても信頼していると感じます」「子どもがどう思うか、共感しながら見守ってくれている感じが伝わります」「時々送迎の時に、少し対応や言葉がけの気になる先生を見かけます」などのコメントがあがっている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	41	6	0	2
41名が「はい」、6名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「内容によっては他の人と距離をとったり、きちんと配慮してくれています」「以前よりも提出した書類が他の人から見えないように置くなど気を使っていると思います」などのコメントがあがっている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	43	6	0	0
43名が「はい」、6名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「丁寧に教えてくれます」「いつもその日に起こったことなど知らせてくれます」「お迎えに行くと、元気でしたよ、としか伝えられず、子どもの様子が今一わかりません」などのコメントがあがっている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	42	4	1	2
42名が「はい」、4名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「要望をよく聞いてくれます」「不満を感じたことは特にはないです」「まだわかりません」などのコメントがあがっている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	16	14	8	11
16名が「はい」、14名が「どちらともいえない」、8名が「いいえ」と回答している。 「チラシを渡されたのですが、聞けばきちんと教えてくれると思います」「相談したことはありません」「その様な話を聞いたかどうかは、記憶にはありません」「もしかして書面でお知らせしてくれているのかもしれない」などのコメントがあがっている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	評点(〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	評点(〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	評点(〇〇)・非該当1
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input checked="" type="radio"/> 非該当
	カテゴリ1の講評	
	<p>児童憲章、保育理念を園の事務所内に掲示し、全職員が意識できるようにしている</p> <p>児童憲章、保育理念を事務所内に掲示し職員が目につくようにしている。新規採用者、新しく当園に異動してきた者に対しては、保護者に配布する「園のしおり」を使用して児童憲章、保育理念、保育目標を伝えている。保護者には入園説明会、前期保護者会にて伝えている。当園の保育理念は、「園の子どもが喜んで登園し、安全で楽しく過ごせる保育園」、「保護者の方が預けて良かったと思える保育園」、「一人ひとりを大切に、自分は愛されていると感じられる保育園」、「保護者の方と子どもの成長を共に喜び、共に育てる保育園」の4つを掲げている。</p> <p>園長は園の目指す方向性を年度当初に開催する年間指導計画の話し合い時に伝えている</p> <p>園長は自らの役割と園の目指す方向性を毎年度当初に開催する保育の「年間指導計画」の話し合い時に全職員に伝えている。また、半期毎の職員会議において、自らの反省と役割を改めて全職員に対して述べている。園長は主査・向上リーダーと共に、園の目標である「子どもも保護者も職員も笑顔あふれる保育園」の達成を目指している。目標を達成するために半期、通期と期日を定め、「保育の質の向上、危機管理と安心安全のための取り組み、働きやすい職場づくり、公立保育園としてできること」を全職員と共に話し合い、園運営を牽引している。</p> <p>保護者に確実に伝えたい事柄は事務所だよりを作成し、手渡しをしている</p> <p>重要な案件は職員会議においてそのプロセスと共に全職員に伝えている。迅速に伝達が必要な案件については、職員会議のみならず昼のミーティング時間を利用して職員に伝達している。欠席している職員への伝達は、会議録を利用している。保護者に伝達する重要な案件は、毎月発行している「園だより」と年2回開催する保護者会にて伝達している。保護者に確実に伝えたい事柄や緊急を要する伝達に関しては、園長名にて「事務所だより」を作成し、配布している。新型コロナ休園中は各クラスだより・事務所だよりを各家庭に配布した。</p>	

大宮前保育園

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>園では保護者会の開催に際し、各クラスにおいて事前アンケートを取っている</p> <p>保護者の意向は連絡帳や職員との日々の会話の中から把握している。当園では行事等においてアンケートは取っていないが、各クラスにおいて保護者会の開催に際し、「保護者会ではどんな事を聞きたいか」、「どんな事を悩まれていますか」といった質問を付した事前アンケートをとっている。常時保護者からの意見を募集するために「父母会意見箱」を保護者の目に付きやすい場所に設置している。保護者からの意見・要望は園長・主査・向上リーダーが課題や問題点を把握し抽出したものを職員会議において検討し、解決のための方策を決定している。</p> <p>園長は地域懇談会やネットワーク事業に参加し、園運営に必要な情報収集をしている</p> <p>園長は、区主催の地域懇談会、区立保育園長会、地域小学校区におけるネットワーク事業に参加し、園運営に必要な情報交換・情報収集をしている。また、区から発出される通知・通達や福祉事業概要、福祉計画、総合計画などからも区立保育園の現状と課題、今後の方向性を把握するよう努めている。特に中核園を中心とした地域懇談会においては保育園の抱える共通課題などについて密な話し合いができており、園運営に活かされている。得た情報は職員会議などで情報伝達し、職員間で共有している。今年度は新型コロナの影響で会合の開催が少なくなっている。</p> <p>区の中長期計画を基に園の全体の計画を策定し、年度・月の計画に落とし込んでいる</p> <p>区では中長期計画となる「杉並区保健福祉計画」(2018～2021年度)、「杉並区子ども・子育て支援事業計画」(令和2年度～6年度)を策定している。区が策定した「杉並区立保育園保育実践方針」を基に、園ごとの理念や目標に基づく「全体的な計画」を策定している。「全体的な計画」を基に「年間指導計画」、「月間指導計画」を策定している。園の目標は毎年度当初に「係(園)の目標シート」を区保育課の組織目標を踏まえ策定している。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評			
<p>公務員として遵守すべき倫理、人権についての研修等に参加し職員間で共有している</p> <p>公務員として職員に対して公務員倫理の保持、社会福祉事業に従事する者として必要な研修を実施している。区立保育園の職員として求められる高い使命感や倫理観、様々な人権問題への理解などを身に付け、区民の視点に立った職務遂行を行う職員として区が主催する公務員倫理研修、人権に関する研修に参加している。研修参加者は研修参加後に報告書を作成し、職員間でその内容を共有している。新規採用者に対してはその都度、園マニュアルを使用したオリエンテーションを行っている。区から発出される遵守事項の通知文書は職員へ周知している。</p> <p>保護者からの意見・要望・苦情は毎日のミーティングにて検討され園日誌に記録される</p> <p>苦情・要望等の相談窓口は、「園のしおり」の中の「重要なお知らせ」に明記している。お知らせでは、保育園に関する意見・要望等は園長・主査、区役所(区政相談課・保育課)であることが記載されている。保護者には入園説明会にてこのことを説明している。苦情調整委員についてはポスターを掲示しリーフレットも入口に用意している。担当が聞いた保護者からの意見・要望・苦情は、毎日昼の時間帯に行われているミーティングにおいて共有・検討され、記録として園日誌に記録される。すぐに解決ができないものは職員会議等にて検討される。</p> <p>地域に開かれた保育園を目指しているが、新型コロナ禍の中関わり方の方法を模索している</p> <p>地域の中で開かれた保育園として、園庭開放、ふれあい保育、見学者の受け入れ、講演依頼などに応じている。在宅で育児をしている親子の支援をしている(園見学時の質疑・園庭開放など)ネットワーク事業や地域懇談会の中で、区立園としての存在をアピールすることで関連機関との関わりを深めている。今後はさらに近隣施設との交流を深め、区立園として職員交流・園児の交流等の役割を果たしていくことを考えている。現在、新型コロナ禍における制限があり、先が見えない中、地域支援をどのように行っていくかを模索している。</p>			
カテゴリ-4			
4	リスクマネジメント		
サブカテゴリ-1(4-1)			
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>様々なリスクに対応できるように各種マニュアルが策定されている</p> <p>区作成の危機管理マニュアルに則り、園では「危機管理マニュアル」、「情報セキュリティ実施手順」「園のマニュアル」等を作成し、想定できるリスクに対して速やかに対応できるようにしている。BCPについては、「震災復興マニュアル改訂福祉作業部会」において相談受付・保育可能施設把握・人材確保・保育の再開についてマニュアル等を作成・検討している。事故、感染症などが発生した場合には速やかに情報を共有し、再発防止に努めている。園マニュアルに則り、課に報告が必要なものは速やかに報告を上げることになっている。</p> <p>計画を策定し、訓練を行い防災・防犯に常に備えている</p> <p>「避難訓練年間計画」を策定し、毎月訓練を実施している。訓練方法には「図上訓練」、「実地訓練」、「総合訓練」、「救急法訓練」等があり、想定される火災、地震等に備えている。園では米・乾麺・菓子などの2～3日分の備蓄食料品を備えている。携帯ラジオ・カセットコンロなども準備している。「危機管理における防犯訓練実施計画書」を作成し、園庭不審者侵入想定訓練、散歩先での不審者対応、朝夕保育時の防犯訓練などさまざまな場面を想定した訓練を行っている。</p> <p>区の情報セキュリティ基本方針に則り、個人情報等の管理を行っている</p> <p>園では、「区個人情報保護条例」、や「情報セキュリティ基本方針」に則り、個人情報の管理を行っている。パソコンにおいては、情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。また、保育課内については、情報セキュリティマネジメントにより情報の管理を行っている。USBメモリ等の情報資産については、日常的に施錠して管理している。使用する際は、都度開錠し管理簿に記入することが徹底されている。行事等で撮影した写真データの扱いは区の規定、ルールに則り体制を整備している。</p>		
カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー5の講評		
<p> 人員配置は経験年数や年齢を勘案して行っている 正規職員は区が募集・採用し、パート、アルバイトの面接は園長が行っている。今年度よりパート職員は会計年度任用職員となり、身分変更が行われ正規職員と同等の扱いとなった。人員配置は、経験年数や年齢のバランスを考慮して行っている。朝夕保育、産休、退職等で人員が必要になる際には区に必要な人員数を報告し、増員の希望を提出している。区では異動意向調査、退職意向調査により、年度における人員の配置数を勘案している。会計年度任用職員は、保育課にて勤務実績を考慮した能力実証を行い、再度の任用(更新)を行っている。 </p> <p> 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 職員の定着に向け、「妊婦への勤務軽減」、「リフレッシュ休暇取得の推進」、「有給休暇取得の推進」、「新規採用者の区全体の歓迎」、「職場を離れての職員間の交流」等の福利厚生取得を推進している。若手職員には経験していない業務(事務分担・行事等)を積極的に経験してもらうようにしている。自分の業務以外に新しい仕事を任せられた若手職員は役割を与えられたことで業務に対する意欲が高まっている。若手職員の達成感と共に自信をもって業務にあたる姿が見られるようになった。園長は職員が些細なことでも相談できるように心がけている。 </p> <p> 研修受講者は研修受講後にレポートを作成し、内容を職員ミーティングにて共有している 園では各々の職員の意向を確認し、保育の連続性を大切に職員配置を行っている。職員研修は、個人の興味、関心、経験を基に区の保育課主催の実務研修等に参加している。研修の受講者は受講後に研修レポートを作成し、職員ミーティングにおいて研修報告を行っている。共有された研修内容は職員の学びに役立っている。また、職員が学びたい事をグループ討議で深め、自らのサービスの向上に繋げている。 </p>		

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p> <p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>前年度迄の課題について職員にヒアリングを行ったところ、「保育を楽しむ」というキーワードが出てきた。なぜこのキーワードが出てきたかを検証すると、職員は目標ありきの保育実践になり、「こうしなければならぬ」という視点が多く、保育を楽しめていない現状があった。子どもを主役に、子どもに寄り添い、目の前にいる子どもたちをどう日々楽しませるか、そして保育士自身が日々どう楽しんでいくかを積み重ねていくことで、保育が豊かになっていくと考えた。そこで園内研修のテーマに「子ども達に還元できる事」を掲げ、話し合いばかりではなく、実践することを意識して取り組んだ。その結果として、昨年度の取り組みの成果として「子どもたちが中に入って遊べる木製の小屋を職員が作製したこと」、「それぞれの保育士が知っている手遊び・体操・絵本など保育技術をお互いに見せ合い共有すること」ができた。今年度の実践では前期に「シャワーのように噴き出すホースの作製」、「段ボールを利用して小さな部屋のようなついたての作製」を行った。後期には前期の保育の振り返りと保育実践方針に則って「当園の保育が成り立っているか」について園長は主査、リーダーと共に検証している。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input checked="" type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>職員会議における園内研修の中で「子ども達に楽しい遊び場を還元する取り組み」をした。木製の小屋作りや各々の保育士が持っている保育技術(手遊びや体操等)を学びあうことで、従前、保育について話し合う園内研修をしていた時と比べ保育士達の意識高揚が見られた。このことによって保育士は子どもたちが日々保育園での生活を「どうすれば楽しく過ごせるか」という視点で見ることができるように変容した。このことは保育士が「どうしたら保育を楽しむことができるのか」という視点につながった。つまり、職員笑顔が増えると子どもたちの笑顔も増え、表情が豊かになるということを実感している。このことは副次的な効果も生み、園内研修を通してより職員間のコミュニケーションが円滑に取れるようになり、他クラスと協力しあい、声をかけあってスムーズな運営ができるようになった。このことをきっかけとして園長、主査は職員からの相談に気軽に乗れるようになり、全職員で保育の質向上を意識できるようになっている。職員の「保育を楽しむ」ことが、子どもの姿を通し職員間のコミュニケーションを深め、それぞれの保育観を共有することにも繋がり、チームワークの向上につながっている</p>	

<p>評価項目2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>前年度の重要課題の一つに「働きやすい職場作りをする」があった。当園の特徴は規模が小さく、職員配置数も少ない。近年、若手が多く配置され、同時に職員自らも子育てと仕事の両立をしている。園では職員同士がお互いに助け合い、補い合って保育を行っていきと共にチームワークを上げていく必要があると感じていた。園ではこの課題を解決するために職員全員が就業時間内で保育事務や保育準備が完了できるように一人ひとりが意識を高め効率よく取り組める配慮を行い、日々の業務を職員自身が考え、実行できる体制とした。このことにより職員自身が園全体の体制を把握できるようになり、お互いをフォローしながら保育を行うという気持ちの余裕ができた。気持ちの余裕ができることにより、他クラスの保育にも関心を持ち、応援・助け合う場面が増え、さらに時間を捻出できる機会が増えてきた。また、他クラスの保育や状況が見えることで、それぞれの課題に対して迅速に対応することができるようになった。時間を要するクラス行事に際しては、事務所・フリー職員・他クラス担任もアイデアを出し合い、手伝いに入る場面が生まれ、園全体で盛り上がる行事へと変化している。</p>	
<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>職員に子育て世代が多く配置されていることから、働き手の生活と仕事の調和であるワークライフバランスが重点課題となっている。職員全員が就業時間内で保育事務や保育準備を完了させ帰宅できるようにするために、園では、業務の見直しをしている。業務を効率化できるものとしては、事務作業に関することが多い。業務効率化にはできるものとできないものがあると園長は認識しているが、園では業務効率化の具体的な取り組みとして、文書で伝えるような出来事について、写真を撮ることにより一目でわかるように変更したり、同様の内容を重複して記載しなくてはならない書類を一本化する試みを行っている。このことにより、一人ひとりが効率よく業務に取り組めるようになった。さらに、なるべく残業をしなくても良いように、仕事が残っている職員がいれば他の職員(フリーの保育士)が手助けに入って、業務を就業時間内に終わらせるようにしている。以前までは、クラス行事はクラスの担当者だけで行うものであるという職員の認識があったが、今では園全体の出来事として認識されている。チームとして職員同士が助け合うことにより、各職員の業務の負担感が軽減され、園としての一体感を醸成している。</p>	

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	○非該当	
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	○非該当	
サブカテゴリ1の講評		
<p>ホームページや園独自のしおりを通じて情報発信をしている</p> <p>区のホームページを通じて、園舎の概要や定員、アクセス、保育時間等の基本情報の発信を行う。また、園の目標や一年を通じての主な行事の取り組みを伝えている。さらに、園の特色として土の園庭に紅葉を楽しめる木々や果実のなる木々があり、四季の移り変わりが楽しめる事、近隣の公園への散歩等自然環境に恵まれていることをPRしている。食事や遊びの様子を各年齢を踏まえて写真入りで紹介する等、園のイメージがわかる内容になっている。園庭開放やふれあい保育の案内も記載され、地域の子育て世帯への呼びかけを広範囲で行っている。</p> <p>貼りだし日誌や月の指導計画を保護者の送迎時に見やすい位置に掲示している</p> <p>様々な掲示物は保護者送迎時に目にしやすい場所に集約し、保護者が見落とさないように目の高さを揃えるなど工夫が見られる。保育関係の掲示とその他様々な機関からの情報提供の掲示を分けて張り出すなど、園舎の構造上狭い空間ではあるが、よく考えられている。保護者にお知らせの掲示場所は、朝夕送迎時の挨拶場所にも近いので、掲示物を見ながら保護者に丁寧な説明や対応ができるようになっていく。さらに、貼りだし日誌、月の指導計画は都度入れ替え最新の情報を発信している。</p> <p>見学希望者の電話問い合わせには随時対応し、できるだけ希望に沿っている</p> <p>入園申し込みが始まる時期は見学希望が多くなりその需要を受け入れ、希望を聞きながら日程調整を行うなど柔軟な対応をしている。園見学時には、園のしおりを配布し概要を説明する。見学時間はできるだけ午前中に設定し実際の保育を見てもらいながら園の保育方針や大切にしている事などを丁寧に伝えている。同時に子育て支援関係の広報誌の配布や園庭開放の情報を伝え、ふれあい保育の案内なども行っている。今年度は新型コロナ対策でマスク着用、見学の人数制限、時間の見直しを行うなど対応の変化があるが理解をもらっている。</p>		

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望が決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>新入児面接や説明会では重要事項や園の基本的事項を説明している</p> <p>新入児面接は、事前にスケジュールを組み、限られた時間の中で面談や健康診断が効率よく行えるようにしている。面談では園の基本的情報及び個人情報の取扱い苦情等に対応する窓口、緊急時対応をしっかりと伝えている。また家庭連絡票、入園までの生活状況票、食事調査票等への記載と聴き取りを通して、発達状況、健康状態の把握と同時に家庭での生活の様子や保護者の子どもへの関わり方や意向などを掴むようにしている。写真撮影や画像提供書に関しても丁寧な説明をして同意を得るようにしている。</p> <p>慣れ保育は子どもの状況や保護者の就労状況等を配慮して個別対応を行っている</p> <p>保護者の事情や子どもの様子を面接時からしっかりと掴み、慣れ保育は無理なく進めている。特に1歳児クラスは全員が新入児のため、年齢的発達を考慮し、保育初日は食事まで親子で過ごしている。その中で、保護者から日常の話を聴いたり、食べさせてもらいながら園の様子も理解してもらおう等コミュニケーションをとっている。一人ひとりの慣れ保育の状況が、どの職員でも共有できるようにスケジュール表を作成している。それを見れば個々の状況が一目でわかるようにし、どのクラスの職員でも新入児に対しての意識を持てるようにしている。</p> <p>卒園、転園時には必要な情報を作成提供しており、不安なく引き継げるようにしている</p> <p>5歳児の保護者会では小学校や児童館の職員を招き、学校や児童館の実態や状況に関して話をしてもらうなど就学の不安解消に努めている。保護者からも話を聞くことができよかったですと好評である。合わせて卒園児の就学先には「保育所児童重要録」の写しを送付して、卒園児個々の状況を引き継いでいる。卒園後も運動会や夏祭りなど園の行事に招待し、卒園後も交流を大切にしている。</p>			

サブカテゴリ-3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリ-3の講評		
子どもの生活、心身の状況を見守りや保育日記に記録し常に把握している 保護者記入の「入園までの生活状況」やアンケートなどで入園前の成育歴や健康状態、アレルギーの有無等を把握し児童票に記録している。入園後は日々の体調や家での過ごし方、食事、睡眠、体温状況等に関して、乳児は複写式の連絡帳で状況を把握し、幼児は受け入れ時に口頭で聞き取っている。一日の保育の様子や健康状況は保育日記や健康カードに記録している。子どもの発達状況を乳児クラスは毎月、幼児クラスは期ごとに児童票に記録し、成長の変化が記録を通して把握できるようにしている。		
年間計画、月の指導計画、週案を担当者が子どもの状況に応じて作成している 基本となる園の全体的な計画は、職員全体で毎年確認し、職員間で共通認識がもてるようにし、事務所に掲示している。年間指導計画は、クラスの状況や子どもの実態を把握して担任が話し合い、作成している。半期反省を行い、後半のより良い保育の展開に繋がるようにしている。乳児クラスは個々の指導計画を毎月立案し、一人ひとりの育ちの過程を大切にしている。幼児はクラスとしての育ちを週案や月の指導計画の中で展開し、配慮が必要な児に対しては個別対応で計画を作成している。子どもの状況やクラスの様子は伝え合い共有をしている。		
保護者会や個人面談を通じて一年間の保育の取り組みを丁寧に説明している 年度当初の保護者会においてクラスの年間計画を配布している。その中で、クラスとして何を大切に年間計画を立てているのか、遊びや生活面においての職員の関わり方等をわかりやすく丁寧に説明している。個人面談も保護者の就労状況を考慮してスケジュールを立てているので、100%の参加率である。貼りだし日誌や月の指導計画のファイリングなどの開示等、保護者掲示がきちんと整っている事や保護者に対しての日ごろの声掛けが多いので、保育に対しての理解に繋がっている。		

サブカテゴリ5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ5の講評		
<p>個人情報の取扱いに気を付け、子どもの羞恥心に配慮した環境構成をしている</p> <p>保護者会で写真撮影、画像データについて説明し、承諾書を提出してもらっている。児童票、名前記載書類、SDカード等使用後は返却簿に記入をし、鍵付きの書庫に保管をしている。また、羞恥心への配慮としておむつ交換は決められた場所で行い、周りから見えないようにしている。園庭での水遊び時期は、外部から見えないようにシャワーカーテンで対応をしている。看護師より健康教育の一環として幼児向けにプライベートゾーンの話をし、体の「下着で隠れているところは大事」という意識を高め、裸になり着替えないようにしている。</p> <p>子ども一人ひとりの意思や思いを尊重する保育を行っている</p> <p>子どもに対して「その子の気持ちや思いを受け入れてから対応する」ことが実践に結びつくように職員間で話しあっている。丁寧な言葉掛けをし、呼び捨てはしないことも徹底している。一人ひとりの子どもの誕生日を大切にしている。幼児クラスでは誕生日当日皆の前で紙粘土で制作したケーキを使い児を祝い担任がお気に入りの絵本を読むなど特別感を演出している。保護者にも写真撮影したその様子を掲示して知らせている。一年に一度の誕生日を皆で大切にしている事が、日常の中の保育でも一人ひとりを大切にしている事に繋がることを伝えている。</p> <p>子どもや保護者の様子に気を配り、虐待の早期発見や対応を心掛けている</p> <p>区、主催の「虐待に関して」の研修に積極的に参加し、学んだ内容を職員間で共有している。また「虐待マニュアル」を全職員がしっかり読み込み、気になる事例がある場合は一人で解決しようとせず、速やかに園長に報告し、マニュアルに従った他機関との連携がとれるように常にシミュレーションをしている。現在そのような事例はないので、見落としてしまうことがないように日々の中で子どもの様々な変化や朝夕の保護者対応のやり取りの中で小さな変化でも気づくように心掛けている。</p>		

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>各種マニュアルが整備され設置場所も明確で職員が適時活用できるようにしている</p> <p>区立保育園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」「実践の手引き」「危機管理マニュアル」等が整備されており、会議や保育運営を計画するうえで大切な手引きとなっている。また保管場所を事務室の一角にまとめて設置しているので、誰でもすぐに見ることができ、クラス会議、全体職員会議等で活用ができるようになっている。園独自のマニュアルも整備し日常の保育や園の行事への取り組みにおいて活用している。共通マニュアルをしっかり活用することにより、職員間の意思の統一にもつながっている。</p> <p>マニュアルの見直しは職員会議で子どもや保護者の現状に合わせて行っている</p> <p>年度末にかけて定期的にマニュアルの確認と点検を行っている。特に園独自のものは定期的な振り返りを行うことにより、当年度の保育の反省や気づきも明確になり、そこを踏まえて次年度の保育計画の展開に活かされている。また、日常的な保育展開の中で、見直しや確認が必要な場合はその都度、昼ミーティングやクラス会議等の中で話し合い、改善している。保育の体制確認や環境整備確認も主査がリードしながら行い、現状の保育に合わせた保育展開を行っている。</p> <p>研修計画が整い職員の専門知識向上や保育内容の充実に繋がっている</p> <p>経験年数に応じた研修計画もしっかり確立しているので、職員の一人ひとりの状況に合わせた研修が受けられる体制になっている。研修で学んだことは会議などで伝え合い、共有している。研修を通じて区内保育施設の他職員とも学びあい、保育の質を高めることができる。また、主査と保育士一人ひとりが保育の振り返りを適時行うことにより、保育の見直しや確認ができ、視野が広がり保育に対する自信にも繋がっている。研修で得た知識と重ね合わせ保育水準のアップになっている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 35/35	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(000000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>連絡帳や家庭からの聞きとり等により、子どもの全体的な姿を把握している</p> <p>子ども一人ひとりの発達の状態を把握するために、家庭からの聞きとりや連絡帳などを参考にしている。送迎時に積極的に保護者とコミュニケーションをとり、家での様子を聞きとっている。園での様子、家庭での様子で把握した情報から、一人ひとりの子どもの全体像を把握して、子どもの発達に応じた支援ができるようにしている。また、指導計画作成に反映している。発達の経過は児童票等に記録している。幼児クラスは全員に個別的な指導計画はないので、一人ひとりの子どもの課題や変化の見落としがないようにしたいと園では考えている。</p> <p>発達の過程で起きるトラブルはその都度保護者に伝え理解が得られるように配慮している</p> <p>発達の過程でトラブルは起こりがちであることを予め保護者に伝えて理解を得るようにしている。トラブルの発生を防ぐために、なるべく小集団で過ごせるように一人ひとりが落ち着いて過ごせる環境作りをし、遊びこめるように配慮している。トラブルが起きた際には双方をすぐ引き離すのではなく、子どもの思いを汲み取ったうえで、双方の気持ちを代弁したりして、相手の気持ちに気付くように対応している。トラブルが起きた際にはその都度保護者に状況を伝えている。</p> <p>連携小学校との交流事業を体験して、就学に際しての不安感を軽減している</p> <p>年長児は就学が近くなると不安感で不安定になる子どももいる。園では年3回連携している小学校と交流している。学芸会や運動会など、学校行事の見学に出向いたり、2年生と一緒に遊ぶ機会を作って、小学校への不安が軽減されるように配慮している。保護者の方も不安感が募らないように年度初めの保護者会に小学校の先生を招いて、学校とはどのような所か、何を準備すればいいのか等の話をしてもらい、安心して就学が迎えられるようにしている。園は就学先1校ずつ保育要録を持参して、子どもの姿などの申し送りを行っている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(0000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当
評価項目2の講評			
<p>前日の子どもの様子が引き継げるように、家庭での状況を保護者に確認している</p> <p>家庭との連続性を大切に考え、園は前日の子どもの様子を家庭から引き継げるように、保護者に聞き取った前日の様子を受託簿に記載している。受け入れの保育者は、受託簿を確認し、乳児クラスは連絡帳にも目を通したうえで、受け入れている。受け入れの際はしっかり視診をし、クラス担任に引き継いでいる。新型コロナ禍のため、プールカードを検温カードに代替して、プール後にも使用している。登園の際は、様子を聞きとるとともに、親子ともが気持ちよく1日のスタートが切れるよう、温かい雰囲気を受け入れられるように心掛けている。</p> <p>基本的な生活習慣の確立は保護者と連携して行っている</p> <p>保護者会で年齢に応じた生活習慣の話をして、その大切さを伝えている。一人ひとりの発達に合った方法で援助をしている。家庭のやり方と園のやり方に違いがある場合には子どもが戸惑い、不安感を持つことになる。特にトイレトレーニング等は適切な発達段階でない場合に取り組むことで、子どもに無理強いした結果、かえって意欲をそいでしまうことになる。子どもに負担をかけてしまうことがないように気を付け、保護者と連携して、同じ時期に同じ方法と一緒に取り組めるようにしている。</p> <p>降園時には保護者に1日の子どもの様子を丁寧に伝えている</p> <p>クラス担任は連絡事項や体調などは伝達漏れがないように、受託簿にメモしたうえで口頭で引き継いでいる。乳児には連絡帳があり、伝達事項は連絡帳に書いているが、幼児にはないので、重要な連絡事項は紙面に書いて保護者に手渡しができるようにしている。当番保育士は、伝言漏れがないように十分気を付けるとともに、その日の子どもの様子を一言添えながら、一人ひとりに挨拶をして送りだすようになっている。担任以外が当番の時でも、子どもの状況を把握し、伝えられるように、日頃から細かい変化についても職員間で情報を共有することを心掛けている。</p>			

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>日頃から、子どもの発語に耳を傾け、話すことを楽しめるように配慮している</p> <p>保育者は日頃から子どもの言葉に耳を傾け、話すことを楽しめるようにしている。言葉の出始める頃は子どもの思いを言葉に代えてあげるなどして、言葉が出やすいように配慮している。楽しいつぶやきや子ども同士の会話などをクラスだよりに掲載して、保護者に紹介し、楽しさを共有している。話したい気持ちを尊重し、じっくり子どもと関わることから、子どもは自分の思っていることや感じたことを言葉で発することができるようになり、伝わることの喜びと共に、話すことの楽しさから、言葉に対する感覚が養われている。</p> <p>戸外散歩を楽しみ、四季の移り変わりを肌で感じられるようにしている</p> <p>子どもたちは年齢によって散歩の目的が違って、時には交通ルールを学ぶためだったりもするが、たいていは園とは違う周りの風景に新鮮さを感じたり、開放感で楽しい気持ち味が味わえている。自然に恵まれた地域で春の草花を摘んだり、夏には昆虫が出てきて、虫に興味を持つ子どもも多い。秋には緑だった木々が色づき、葉を落としてくれる。木の実や落ち葉を拾ってきて、イメージを膨らませて製作物に取り組み楽しさがある。散歩によって、四季の変化や風を肌で感じとることができる。</p> <p>ルールのある遊びを取り入れ、自分の気持ちを調整する力を育てている</p> <p>年齢に応じてルールのある遊びを取り入れ、ルールを守ることで楽しく遊べたり、友だちと協力して作り上げることの楽しさを経験できるようにしている。遊びの中でルール違反が起きた時のトラブルでは、すぐに止めるのではなく、互いの気持ちが出せるように保育者は話し合ったり、口添えをしたり、互いに相手の気持ちに気付けるようにしている。こうした体験を重ねる中で、何がいけなかったのかに気付き、ルールを守る大切さと、自分の気持ちを調整する力を育てている。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>日々の保育の積み重ねの中から、子どもたちが進んで取り組める行事を実施している</p> <p>行事は日々の保育の積み重ねや子どもの興味や関心のあることを保護者に見てもらい、一緒に楽しみたいという気持ちから意欲的に取り組んでいる。今年は新型コロナ禍で例年通りにはいかなかったが、子どもにとっての行事を考えた。行事によって子どもは大きく育つことを考慮して、夏まつりは保護者を呼ばず、子どもたちだけでヨーヨーの日、ボーリングを楽しむ日など1日で終わりにせず、楽しい日が続けた。運動会では半年の成長を保護者に見てもらうことで、子ども達の意欲と頑張る気持ちを高めていった。</p> <p>みんなで力を合わせてやり遂げることで、達成感が味わえる行事作りをしている</p> <p>当日までの経過を大切にしている。夏まつりでは毎年長児が神輿を製作している。当日までの見通しを立てて取り組んだ。段ボールで屋根をつけ、神輿の周りに鈴をつけて立派な神輿ができてきた。訪問時、10月なのに玄間に神輿が飾られ、祭りの余韻がまだ残っているようであった。子どもたちは苦勞して神輿を作ったが、室内での夏まつりであったため担ぐことはできなかった。しかし、大事に飾られている神輿に、達成感と共に、協力して作り上げた満足感を味わうことができていた。</p> <p>年度当初行事について保護者に理解を得られるように説明をしている</p> <p>入園説明会で、年間行事の説明をし、理解を得られるようにしている。例年保護者に参加してもらう夏まつりや(今年は新型コロナ禍のため保護者は中止)運動会は、子どもの取り組みの経過を保護者に園だよりやおたよりで知らせている。家庭でも話題にしたり、子どものやる気を高めるように配慮している。運動会当日は保護者に見てもらうことと、保護者と一緒に競技に参加して楽しい思い出作りができるようにしている。保護者は年度当初に行事日程がわかることを喜んでいて、保護者会や面談などの行事日程も土曜日開催を望んでいる。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○非該当
評価項目5の講評			
<p>保育時間の長い子どもが安心して過ごせる環境を設けている 保育時間の長い子どもが心身共に休める、寛ぎのスペースを設けている。園の延長保育時間は1時間であるが利用者も多くないのが実情である。夕方になると寂しくなってしまう子ども出てくるが落ち着いた環境の中で、保護者の迎えを待つことができるように配慮している。当番職員の外に、いつも同じ会計年度任用職員が傍に寄り添っているために、安心して過ごすことができている。朝・夕の玩具はその時間帯だけ使う普段は出さない特別の玩具を用意して、遊びに変化が持てるように工夫している。</p> <p>極力部屋の移動を少なくして、落ち着いて過ごせるようにしている 保育時間が長い子どもが過ごす部屋を度々移動することは極力減らし、慣れた部屋で過ごせるように配慮している。自分のクラスでの保育を基本にして、人数が少なくなるにしたがって少しずつ他クラスと一緒に、負担なく長時間保育へ移行している。園の子どもたちは、17時45分まではどのクラスも自室で過ごしている。17時45分になると1歳児は2歳児室へ、3歳児は4・5歳児室に移動して3クラス合同で過ごす。18時30分には延長保育利用の子どもは少なく、該当児の部屋で環境を変えることなく保育を行うこともできている。</p> <p>保育時間の長い子どもは異年齢児保育の形態で安心して過ごすことができている 朝・夕保育や延長時間帯だけ使用できる玩具を用意して、遊びに変化が付けられるようにしている。日中使用したものを継続して使いたい時には、柔軟に対応している。延長時間帯は異年齢児保育の形態であるが幼児は日常的に交流しているため、特に意識することはなく、ごく自然に縦割り保育の良さが発揮されている。保育者は異年齢児合同になった時に、それぞれの遊びが保障されるように見守りながら安心して過ごせるようにしている。時には保育者も一緒に遊びに加わり、楽しく過ごせるように配慮している。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当
評価項目6の講評			
<p>手作りの衝立を作成し、安全に注意しながら楽しく食事ができるように配慮している 食事コーナーを設定し、決まった時間に余裕を持って準備し、食事ができるようにしている。新型コロナ禍で、飛沫防止のために、手作りで衝立を作成している。顔が見えるように、透明のアクリル板にしているため、圧迫感がない。自由遊びでも密にならないように使用している子どももいた。身体に合ったテーブルや椅子を用意し、姿勢よく座れるように配慮されていた。また、献立は区で統一された表を使用し、日々の喫食状況を確認して月2回同じ献立があるので、1回目の反省点を考慮して切り方や味付け、食具を変える等工夫をして2回目に提供している。</p> <p>マニュアル及び除去申請書を基に、アレルギー児が誤食をしないように努めている 現在該当する園児はいないが、対応については、区のマニュアル及び医師の食物除去申請書を基に、除去食を提供する。また、誤食を防ぐために、アレルギー食はトレーの色及び食器を他児と分け、すぐに区別がつくようにしている。誤食を防止するためのマニュアルが用意されているため、マニュアルに則って食事を提供する。アレルギー食はクラス担任が調理室に取りに行き、調理員とアレルギーの確認をしたうえで、クラスでも確認して子どもに提供する。体調不良の子どもには体調にあった食事内容を園長が判断して、対応することがある。</p> <p>野菜の栽培や調理体験、栄養士による食育の話をして、食への関心を高めている プランターでトマト、ピーマン、ナスなどの夏野菜を栽培した。また、畑もあり、さつまいも、スイカ、トウモロコシを育てている。収穫物に触れたり調理してもらい、食したりするほか、トウモロコシは乾燥させて、ポップコーンを作り、素材からの変化を子どもたちに見せている。栄養士は3食食品群の話をして、バランスよく食事をすることの大事さを伝えている。調理体験(クッキー作りやパン作り、焼き芋等)で、作る楽しさと食べる楽しさを味わわせ、食への関心を高めている。</p>			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>散歩やリズム遊びを通して体幹を鍛え、怪我に繋がらないようにしている</p> <p>子どもたちが健康で過ごせるように、環境を整備している。また、自分の体に興味が持てるように、連携園の看護師が、健康教育を実施している。幼児は自分の健康の変化がわかり、保育士に伝えられるように促している。散歩やリズム遊びを通して、体幹を鍛えることで、大きな怪我に繋がらないような体力づくりをしている。保護者にも、小さな怪我の積み重ねが大きな怪我の予防に繋がることを伝え、理解を得られている。感染症対策のために、正しい手洗いの方法やうがい、汗をかいたり、汚れたら自分から着替えることを日々の保育の中で伝えている。</p> <p>医療的なケアの必要な子どもについては、区内で行われている事業として捉えている</p> <p>園には医療的なケアの必要な子どもは在園していないが、園長は実務研修を受け、実際の保育をしている園からの報告で、区内で行われている事業として捉えている。</p> <p>健康に関する情報は保護者に速やかに伝え、連携して子どもの健康維持に取り組んでいる</p> <p>身体測定や各種検診の結果は健康カードに記入して保護者に伝えている。感染症が発症した場合には掲示をして周知している。感染症に関しては入園のしおりにも詳細に記載している。保健だよりを毎月1回発行し、感染症情報や生活リズムを守る大切さ、手洗い、うがい、爪切り等、家庭で必要な保健関係の記事を掲載している。また、乳幼児突然死症候群(SIDS)についてはポスターを掲示して家庭での予防を喚起している。園では1・2歳児の午睡チェックを10分毎に行っている。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の個々の事情を把握して、的確な対応ができることを期待する。</p> <p>入園前の面談や家庭連絡票などで、家庭の状況を把握している。入園後も日常の会話などから、配慮すべきことはないかを気にかけている。保護者からの相談や要望には速やかに対応することを心掛けている。日々の職員のミーティング等で、職員間でも情報は共有できるようにして、クラス担任がいなくても、職員誰もが同じように対応できるように心掛けている。保護者の個々の事情にできる限り配慮しつつ保育を行っているが、様々な家庭を対象にしている中、それぞれの事情を把握し、的確な対応を心掛ける必要があると園では考えている。</p> <p>保護者同士が交流できるように保護者会の後に懇親の時間を設けている</p> <p>園には保護者によって自発的に運営されている父母の会がある。父母会が充実するように要望に応えたり、相談に乗っている。また、同じ子育て中の父母同士が気軽に話ができたり、同じ悩みを話し合っ子育てへの自信や意欲を持つことができるように、園で主催する保護者会の後、懇親の時間を設け、保護者同士が交流を持てるように配慮している。父母会でも独自に懇親会を設けたり、ラインで連携を図ったりする機会を設けている。園として、保護者同士が交流する機会が持てるように配慮している。</p> <p>保護者に保育参加や行事への参加を求め、子どもたちの成長を感じてもらっている</p> <p>保護者に保育園で過ごす子どもの姿を見てもらうために保育参加を実施している。実際に、集団の中のわが子と友達との関わり方を見てもらい、自分の子ども以外の子どもの姿に触れたり、関わることで、子どもへの理解や関心を高める体験ができている。一方で保育者の子どもへの関わり方を実際に見て子どもへの理解や学びを得るきっかけになっている。保育参加は、ほぼ全員の保護者が体験している。また、行事への参加も呼びかけ、行事までの経過を日々伝え成長する子どもの姿を実感してもらう機会としている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の高齢者施設や児童館に行って多様な体験をしている</p> <p>保育園と併設された高齢者施設がある。今年は新型コロナ禍でなかなか訪問できないが、例年は折に触れ施設を訪問して高齢者と交流を深めている。核家族化が進み、家庭に高齢者がいる家庭も少なくなっている中での交流は、子どもにとっても、様々な文化に触れることができ、視野を広める体験をすることができている。地域には公園や図書館もある。図書館に行って、公共施設のマナーを知る体験もできている。また、清掃局があり、ごみ収集の仕方等、様々な体験学習をすることができ、子どもの生活の幅を広げることができている。</p> <p>園庭開放などをして、地域の子育て支援に取り組んでいる</p> <p>園庭は、活動によりクラスが使用する日が決まっている。水曜日は乳児が園庭を使える日であるため、地域の子育て家庭の親子に園庭を開放している。近隣の保育室にも声をかけて、園庭で自由に遊んでいるが、今年はコロナ禍で園庭開放ができていない。例年は焼き芋会等にも声をかけて、大勢で行事を楽しんでいるが新型コロナ禍が収束しないため、寂しい年となっている。園見学に来る親子が遊んで行く場合もある。ふれあい保育は地域の子育て支援の一環として実施している。保育園生活を体験しながら親子が楽しく過ごせるよう企画している。</p> <p>地域のネットワーク事業に参加して、情報交換や意見交換等をしている</p> <p>小学校区の地域ネットワーク事業に参加して情報交換や意見交換をしている。ネットワーク事業は地域の児童館や保育園などがネットワークでつながり、共通の課題や互いの事業に協力している。その一環として、児童館に通ってくる子育て中の親子が参加する乳児グループへ園から職員を講師として派遣し、子育ての仕方や子育ての悩みなどの相談に応じている。近隣施設との交流を深め、区立園としての役割を果たしていこうと、職員交流や園児交流などを考えているが、新型コロナ禍が収束するまでは思うような取り組みにはならないのが現状である。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル①	野菜栽培から、調理体験までを通して、子どもが食への関心を高めている	
内容①	スイカやサツマイモなどを植えたりして、収穫を楽しんでいる。特に、トウモロコシは、収穫したものを乾燥させてポップコーンを作り、食べる体験もしている。プランターにはトマトやナス、ピーマンなどを栽培し、水やりなどの世話をしている。栄養士を中心に、調理体験(クッキー作りやパンづくり等)もしている。栽培する体験や調理する体験を通して子どもたちは食への関心を高めている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている
タイトル②	園生活のスタートである1歳児の慣れ保育を状況を考慮し、丁寧に行っている	
内容②	定員14名の1歳児の慣れ保育の開始に当たり、面接時に生活リズム、育ちの状況をしっかり掴む事と同時に、保護者の育児休業の取得状況を聴き取り把握していく。14名の新入児が同時に慣れ保育をスタートするのではなく、育児休業取得状況を考慮してスタート時期をずらすなど工夫している。保護者とは面接時に1歳児の特徴や慣れ保育の大切さを知らせ、一人ひとりに合わせた進め方の理解を得る。また慣れ保育初日には保護者と共に食事まで過ごし、園の様子を見て感じて知ってもらえるよい機会とし、保護者との信頼関係の構築の第一歩としている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	2-2-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している
タイトル③	目標シートにおいて半期ごとの見直しを行い、その達成に向けて取り組みを行っている	
内容③	今年度、園が掲げている目標の一つに、「働きやすい職場づくり」がある。これは、前年度の重要課題の一つでもある。職員の年齢構成は、子育て世代の若手が多く配置されている。職員自らも子育てと仕事の両立をしていることにより、働き手の生活と仕事の調和であるワークライフバランスが重点課題となっている。職員同士が助け合い、各々の業務負担を減らすことが働きやすい職場となり、職員の定着につながる。園では職員全員が働きやすいと思える職場になることを目標とし力を入れている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	できないのではなく、できることから始めるという職員同士の意見から5日間の夏祭りが行われた
	内容	新型コロナ禍において行事が中止されている中、園では7月に5日間の「夏祭り」を実行した。保護者は参加せず、日常の中での行事として行った。職員は新型コロナ禍の中、できないと簡単にあきらめるのではなく、どうしたらできるかを一人ひとりが考えたという。園庭と施設内にお店をつくり、金魚すくい、輪投げ、ボーリング等子どもたちが喜ぶ遊びを行った。子どもたちは喜び、その反響が保護者に伝わり職員は保護者からの感謝の言葉をかけられたという。イベントを通して職員同士の絆が一層深くなったことが窺えた。この取り組みを高く評価したい。
2	タイトル	園庭の豊かな自然に恵まれた環境の中で、季節の移り変わりを肌で感じとることができる
	内容	近隣に散歩に出かけ、自然物や様々な素材に触れる経験をしている。また、園庭にも時期が来ると、枝一面に実を付けるミカンの大きな木やプランターに季節が感じられる花や野菜を育てている。散歩でも園庭でも豊かな自然の環境の中で子どもたちはのびのびと遊ぶことができる。花や木に寄ってくる昆虫に夢中になったり、水たまりの氷や霜柱に冬の寒さを実感している。保育者は日々の保育の中で、身の回りの自然の変化に気付かせ、四季を肌で感じとることができるように配慮している。
3	タイトル	職員会議が充実しており、クラス保育計画や子ども一人ひとりの育ちを職員間で共有をしている
	内容	毎日行われるミーティングでは、日常的な事や些細なことを各クラスが報告しあい、その日のうちに様々な状況に対応できるようにしている。月の指導計画や週案などのカリキュラムはクラス会議で年齢に応じた遊びの計画、生活面の援助、関り方を話し合い、一人ひとりの子どもに関しては発達状況や育ちの状況を確認しあい、個人計画を作成する。全体会議ではクラスごとの目標や取り組みを伝え、意見交換が活発に行い、その評価を翌月の計画に反映している。貼りだし日誌や月の指導計画の掲示を通じ保護者との保育の共有を図っている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	地域の中で開かれた区立保育園として近隣施設との交流を深めることを期待したい
	内容	園は園庭開放やふれあい保育の実施、見学者の受け入れ、講演依頼などネットワーク事業や地域懇談会の中で、関連機関との連携を深めているが、一方で、近隣施設との交流が弱いように思われる。「杉並区立保育園保育実践方針」にもあるように、区立園として区全体の保育の質の維持向上を図っていくため、これまで蓄積してきたスキルを地域の施設に還元していくことが求められている。新型コロナ禍における状況の中で困難であるものの、地域の中で開かれた区立保育園として近隣施設との交流に期待したい。
2	タイトル	新型コロナ禍で休園を余儀なくされた保護者との交流の機会を工夫されることが望まれる
	内容	園は保護者とのコミュニケーションを大切にしてきた。新型コロナ禍で、登園自粛している家庭に保育者は園だより等を持って自宅を訪ねている。さまざまな場面を想定して、保護者家庭を訪ねて郵便受けに園だよりを投函するだけに留めた。今回の利用者調査では、保護者総合意見で「送迎の際に必要な最低限の会話と挨拶しかない」「在宅＝自宅待機と保護者個々の状況ももう少し確認して対応していただきたかった」等の意見もあり、日々の家庭の状況の把握がこの状況の中で不十分ではないかと思われる。保護者との交流の機会を今以上工夫される事が望まれる。
3	タイトル	アセスメントの定期的な見直しを行うことにより、保護者の意向や職員の意見を客観的に捉え、より充実した保育展開に期待をする。
	内容	保護者と職員の信頼関係は構築されているが、行事などの取り組みや園運営に関しての聞き取りに関してが少なく感じ、アンケートの実施など保護者が何を求めているか、どのような事を思っているかをより深く掘り下げていき、次への取り組みに活かす工夫が期待される。職員会議や研修を通じて同じ課題に対して定期的な振り返りを行うシステムを構築し、一層の意識向上、共有性の高まりを望み、また様々な年代の職員や働く時間帯の異なる職員がいる中での効果的な会議の開催、有効的な時間の使い方を工夫していく必要があると感じる。

(5) 上荻保育園

調査対象	園児全世帯の保護者を対象とした(複数の在園児がいる場合は、最年少の児童に対しての回答をお願いした)。		
調査方法	アンケート方式 園からアンケート用紙を配付してもらい、回収は評価機関へ直接郵送、もしくは園内に設置した回収箱へ投函とした。		
利用者総数	119		
利用者家族総数(世帯)	100		
共通評価項目による調査対象者数	100		
共通評価項目による調査の有効回答者数	80		
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	80.0		

利用者調査全体のコメント

<p>調査対象世帯100世帯中、80世帯から回答を得ることができた。満足度が高かった項目としては、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「職員の接遇・態度は適切か」「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」などがあげられる。</p> <p>総合的な満足度では、「大変満足、満足」が74名、「どちらともいえない」が4名であった。「保育園のおかげでしっかり成長しており、毎日楽しそうに登園する姿を見て感謝しています」「食事に関する要望に柔軟に対応し、心身の発達となる活動を行ってくれ助かります」「子どもが安心してゆったりと過ごせている感じが伝わり安心していきます」「日頃の園での様子も毎日伝えてくれ、身の回りの指導もしてもらい助かっています」「新型コロナの影響で変則的なことが多い中、対応が素早く安心して預けられます」「先生方の声かけや様子から子どもへの愛情が伝わり、安心して子どもを預けられます」などのコメントのほか、「子どもの安全のために、出入り口の鍵など改善をお願いします」などの声も寄せられている。</p>

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	80	0	0	0
<p>回答者全員が「はい」と回答している。</p> <p>「友達との関わりや先生との関わりの中で、コミュニケーション力や社会性の発達に役立っていると思います」「歌や踊り、かけっこ、縄跳びなど友達に刺激を受けながら、できることが増えています」「集団生活でたくさん刺激をもらい、リトミックも体の発達につながっていると思います」などのコメントがあがっている。</p>				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	77	2	0	1
<p>77名が「はい」、2名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。</p> <p>「プログラムがあっても強制ではなく、やりたいことがある子にはやりたいことをさせる余裕があり、見守られていると感じます」「先生方が工夫してくれているので、いつも楽しんでます」「家ではできない泥や水あそびができて助かります」「友達と積み木遊びに夢中になって毎日遊んでいるようです」などのコメントがあがっている。</p>				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	74	5	1	0
<p>74名が「はい」、5名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。</p> <p>「バランスが素晴らしく、自宅の食事よりよく食べているようです」「魚なども食べやすいように工夫がされているようで、レシピも参考にになります」「いつも給食、おやつを楽しみにしています」「もう少し彩りがあると一層おいしく頂けると思います」「おやつはしっかりしたものが多く嬉しそうです」などのコメントがあがっている。</p>				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	52	23	4	1
52名が「はい」、23名が「どちらともいえない」、4名が「いいえ」と回答している。 「新型コロナ前は、遠くの公園まで歩き交通ルールを学び虫を育て芋を焼くなど、子どもらしい関わりが多くあると感じました」「新型コロナの影響で散歩や行事が少なくなり残念です」「コロナの影響で散歩がなくなり、園庭での外遊びが多くなりました」などのコメントがあがっている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	63	6	2	9
63名が「はい」、6名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「急な電話でもすごく良く対応してもらってます」「連絡するとすぐに対応して用意してくれているので安心しています」などのコメントがあがっている。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	66	11	3	0
66名が「はい」、11名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「二重、三重にロックがかけられており、保育士の数が多く確認する目も多いので安全と感じます」「いろんな条件下の避難訓練をされています」「安心して保育をお願いします」「園の門の鍵がダイヤル式の鍵で、門の高さも低いので不安です」などのコメントがあがっている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	50	22	3	5
50名が「はい」、22名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「園だよりやクラスだよりで知らせてもらい、事前に予定を把握できます」「前もってお知らせがあります」「保護者会や行事が平日なので、土日や夕方からだと参加しやすい」などのコメントがあがっている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	66	10	3	1
66名が「はい」、10名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「先生方は話しやすく、何でも相談できる雰囲気です」「連絡帳のやりとりや送迎の際など、こまめに話ができます」「先生方には安心感があり信頼しています」「話す時間があまりないので、子どもの園での様子をほとんど聞けません」などのコメントがあがっている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	73	4	1	2
73名が「はい」、4名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「朝は掃除機をかける方や洗濯をする方がいて、週末はおもちゃもきれいにする方もいるので安心しています」「毎日掃除や消毒してもらっています」「古いですがきちんと整理され、ゴミなども落ちていません」などのコメントがあがっている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	78	1	0	1
78名が「はい」、1名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「皆さんきちんとされています」「いつも丁寧です」「特に気になりません」などのコメントがあがっている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	74	4	0	2
74名が「はい」、4名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「十分過ぎるくらい気に掛けて対応してくれています」「親身になってくれ、子どもも安心しています」「担任の先生に会えない時は、うまく引き継ぎされていないこともあります」などのコメントがあがっている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	64	10	0	6
64名が「はい」、10名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「信頼できます。特に今まで何もないのも先生のお陰です」「子どもの気持ちを先生が聞いてくれています」「いじめなどなかったが、あっても先生がきちんと対応してくれると思います」などのコメントがあがっている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	68	10	0	2
68名が「はい」、10名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「一人ひとりに合わせて対応してくれています」「よく聞いてくれています」「担任が減り、一人ひとりをじっくり見てもらえない感じがします」などのコメントがあがっている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	73	4	1	2
73名が「はい」、4名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「十分に配慮してもらっています」「他の保護者がいる時は家庭の話は出ないので、気を使ってくれていると思います」などのコメントがあがっている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	64	11	3	2
64名が「はい」、11名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「毎日の日誌が楽しみです」「日誌にその日の様子を書いてあります」「連絡帳がなくなり、個人の保育内容をあまり把握する機会がありません」「新型コロナの為説明会がなかったのでわかりません」などのコメントがあがっている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	67	7	0	6
67名が「はい」、7名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「保護者会などで対応してくれます」「細かなことまで対応してくれます」「面談なども行ってくれました」「不満を伝えていません。伝える場がありません」などのコメントがあがっている。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	36	18	10	16
36名が「はい」、18名が「どちらともいえない」、10名が「いいえ」と回答している。 「これまでそういった場面がありませんでした」「今のところ園の先生方に相談して解決しています」「知りませんでした」などのコメントがあがっている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
		○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
		○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
		○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
		○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	
	評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている
		○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
		○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
		○非該当
	カテゴリ1の講評	
	理念や方針について、職員や保護者の理念が深まる取り組みをしている 「児童憲章」、「保育理念」、「園目標」、「園方針」を掲示し、職員の理解を深めている。「園目標」は、年度末に見直し、年度初めの職員会議で新たな職員で確認している。また、年度途中でも適宜検討し園が大切にしていることを具体的な事例を通して検討している。保護者には、「園概要」、「重要なお知らせ」、「園のしおり」を用いて入園説明会や保護者会等で説明している。今年は新型コロナ禍のため、入園説明会を簡易的に実施することとなった。また、園では園の目標(係の目標シート)を作成して園における一年間の目標を明確にしている。	
	園長は職員の判断を尊重しながらも最終責任は自分にあることを示している 「保育理念」、「園目標」、「園方針」、「園が大切にしていること」は、園長・主査が中心となって職員に伝えている。また、向上リーダーとの連携により広く職員からの意見を取り入れることも伝えている。園長は常に職員に声掛けを行い、一方的に職員に指示命令をするのではなく、現場の声を丁寧に聞き取り、都度適切なアドバイスをを行っている。現場では、職員の判断を尊重して、最終責任は園長であることを伝え、どの時点で自らが登場するかを考えながら、職員の成長を見届けている。	
	園での決定事項は、そのプロセスも開示しながら関係者に周知している 園からの情報発信は、区から保護者向けに発信される情報と、園の判断で保護者にわかりやすく伝えるものがある。情報は「保健便り」や「園便り」を用いる方法と、電子メールを使う場合がある。重要な情報は、その理由も含めて伝えている。今年度は、感染防止対策から年間行事予定の変更が多く、変更理由等を含めてお知らせしている。園から保護者への情報は、区からの情報表現を変えずに伝えている。重要と思われる箇所については、文字を大きくしたり、太字で強調するなど、わかりやすく伝えることに努めている。	

上荻保育園

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>園では、保護者との日常的なやり取りの中から意見・要望を把握している 保護者の意向等は、「保護者会事前アンケート」、「乳児連絡帳」、「園だよりアンケート」を用いて把握している。また、クラス担任が日常的なやり取りの中から保護者の様子を見て、都度声かけを行い意見を聞いている。幼児クラスは連絡帳がないが、「メモ」を用いて対応している。また、送迎時にはクラス担任はかなりの時間を保護者との会話に当てている。運動会や保護者会後には、感想を寄せてもらい意見を把握している。「園だより」については、年度末に意見を募集して編集に活かしている。</p> <p>職員からの園運営に対する意見は、職員会議のテーマとして取り上げている 「職員会議」、「個人面談」にて、園運営について職員の意向を把握している。また、日々の業務の中から園長、主査が職員に直接確認することもある。園運営の意見等は、基本的に職員会議のテーマとして挙げている。園運営に関する議題は、その内容によって区に挙げることで、園で解決できることを園長が選択し検討している。保護者と直接接している職員は保護者の思いを汲み取り、会議等でその思いを共有できるようにしている。園では大勢の若い職員がいることから、会議においてはそのプロセスを理解できるよう努めている。</p> <p>園では、区の指針に則り、毎年度の単年度計画を策定している 区では中長期計画となる「杉並区保健福祉計画」、「杉並区子ども・子育て支援事業計画」を策定している。園の年間計画は、「杉並区立保育園保育実践方針」に則って目標を決めた上で、各クラスが子どもの状況、状態に応じて年度初めに立案している。「係の目標シート」は、区の保育課の方針に従って、園が目指している事を目標として記載している。当園は「障害児指定園」であるため、園長は公立15園の指定園の園長が集まる会議に月2回参加し、各指定園の状況も把握しながら計画を作成している。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一人としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		○非該当
カテゴリ-3の講評			
<p>公務員として遵守すべき倫理について、研修や区からの通知にて常に意識している</p> <p>区では「個人情報保護」や「公務員倫理」等の研修を行っている。園では、新任職員を区の研修に派遣し、研修を受けた職員は帰園してから他の職員にも研修内容の共有している。会計年度任用職員へは、区の実務研修への参加や、園長が「子どもへの接し方一緒に働く皆様へ」、「会計年度任用職員研修資料」、「保育所保育指針」等の資料を用いて園内にて研修を行っている。園内研修では、自分たちの「保育のあり方について語り合う」といったことをテーマに研修を行っている。今年度から障害児指定園となり外部講師を招く予定である。</p> <p>保護者からの苦情・要望は、その背景と意図を聞き取っている</p> <p>保護者の苦情、意見、要望は、クラス担任がまず把握し、園長、主査が迅速に対応し、職員全員がミーティングや会議等で共有し今後の園での対応を考えている。例年は、入園説明会や保護者会で、心配なことや疑問は、すぐに職員に聞いていいということを説明している。保護者の苦情は、その背景と意図を聞きとり、保育園の考えも同時に伝え解決して行くようにしている。「保健福祉サービス苦情調整委員制度ポスター」を事務所前に掲示し、「苦情調整委員制度チラシ」、「重要なお知らせ」を用い入園説明会で説明している。</p> <p>積極的に地域の保育園との交流・連携を図り、区立保育園としての役割を果たしている</p> <p>園長は「園長会」、「地域行政連絡会」等に参加し、地域の待機児童情報をはじめとした様々な情報を収集している。当園は、公立保育園として地域の保育園との連携を重視している。平常時においては、園庭のない他園に園庭開放や水遊びの場の提供を行っている。歯科健診、眼科健診及び耳鼻科健診は、他園の子どもと合同で健康診断を行っている。区からの指導のもと看護師が他園に視力検査のアドバイス等や子どもの健康の相談に乗っている。今年度は、これまで行っていた近隣施設との交流ができない中、連携の手立てを検討している。</p>			
カテゴリ-4			
4	リスクマネジメント		
サブカテゴリ-1(4-1)			
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている		○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している		○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる		○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている <p style="text-align: right;">評点(0000)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
想定される様々なリスクについて、マニュアルを定め実地訓練をしている 「危機管理マニュアル」、「上荻保育園マニュアル」等をもとに事故、感染症、災害、情報セキュリティ、防犯対策を定め、対応を行っている。また、「園年間避難訓練実施計画」を定め、日常の備えと非常時の備えを想定して訓練を実施している。例年は、集団での感染症の予防について保護者の協力連携のもとに拡大を防いでいる。震災への対策、情報セキュリティ対策は、区の方針に則り、園の工夫を加えて対応している。入園時には、保護者に「子どもを地震から守るために」を配布・説明している。		
事故発生時には原因を分析し、再発防止に努めている 例年の「ノロウイルス対策」では、看護師が職員に対して実習を行い、どの職員でも対応・連携できるようにしている。事故発生時には、保護者に発生状況を説明するとともに、園においての再発防止策を伝えている。あわせて、区に事故対応の報告を行い原因分析や対応策を検討し、職員全員で共有している。事故に至らない事も、必要に応じて「ヒヤリハット報告」に記録し、職員間で共有・対策を講じている。今年度は「コロナ感染予防対策資料」に則り、区からのお知らせや保育園の対応についての連絡を保護者に行っている。		
個人情報の保護に関しては細心の注意を払い、その運用方法を定めている 区が定めた「情報セキュリティ管理基本方針」に則り、個人情報の管理は記録を付け、施設の上、保管・管理をしている。個人情報の保護については、会計年度任用職員を含む全職員に採用時に説明している。実習生やボランティアについては、事前オリエンテーションにて説明している。個人情報の管理は情報の種類や内容によって範囲を限定している。文書は施錠して管理しているため、使用する際は、都度開錠し管理簿に記入することが徹底されている。行事等で撮影した写真データが記録されているSDカード等は、別途作成した規則に則り運用している。		
カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている <p style="text-align: right;">評点(00)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している <p style="text-align: right;">評点(00)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリ5の講評		
園での人員配置は、全体のバランスや職員の経験を考慮して行っている 正規職員は区が募集・採用しており、会計年度任用職員の面接は園で行っている。区から配属される人材を、経験年数や年齢のバランスを考慮して園内の適所に配置している。保育、産休、退職等で人員が必要になる際には、区保育課と相談し、希望を提出する等の手立てを講じ、不足の無いようにしている。人員配置に関しては全体のバランスや経験を考慮して、数年先を見通した配置をしている。区内異動については、区保育課が意向を聞き取っている。区では異動意向調査、退職意向調査により年度における人員の配置数を勧告している。		
園長は全職員とのヒアリングを実施し、職員の不安や悩み事を解決する努力をしている 園長は、「園長ヒアリング計画」を基に、全ての職員に対し個人面談をしている。全職員50名の職員間の仕事内容や関係性について、園長や主査が日頃から聞き取り、クラスリーダーが状況を把握し、職員全員が当園で気持ちよく働けるように調整をしている。クラスでの打ち合わせや、職場内討議では互いに否定をせず、意見交換ができる関係作りを目指している。園長は、日常的に職員に声掛けを行い、職員が日頃の不安や悩みごとを相談しやすい雰囲気や心掛け、明るい職場づくりに努めている。		
園長は常に職員とのコミュニケーションをとることで、職員の変化を把握している 園長は、「職員の話聞くこと」を常に意識している。その日のことはその日のうちに、ミーティングで報告するよう伝えている。また、個々の職員が気付いたことは、些細なことでも伝え合い、ミーティングや定例会議の議題に入れて検討し、改善にあたっている。日常的に子どもの姿を話し合い、子どもの成長の姿や気になる姿を職員同士で伝え合うことが保育の視点を広げることに役立っている。課題への対応は、毎月の指導計画の話し合い時に、質問や意見交換の場をもって解決の方向性を示している。		

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

【課題・目標】

昨年度、「全体的な計画」についての見直しを行うことを、重要課題とした。
6年間の継続した保育のために、「ねらいや大切に育てたい子どもの姿の共有や職員間の共通認識をもっていくこと」、「計画が実態に合って活用されるように、内容や項目そのものも見直していくこと」とした。見直しにあたり、現状の「保育計画」を見直し、「当園ではどんな子どもに育てたいか」、「健康とはどんなことを意味するか」との課題を設けた。

【取り組み】

課題について職員アンケートを行い、主なテーマである「健康」と「環境」から話し合いをはじめ、「全体的な計画」を見直した。
見直した結果の検証のため、職員会議の中でグループ討議を行い、職員同士で保育の連続性や、目指したい10の姿について学び合い、各々の持つ思いを共有した。

取り組みの結果、検討した内容をまとめ、子どもたちは当園で卒園するまでに育て欲しい姿を「養護」と「教育」に反映した。
「ねらい及び内容並びに配慮事項」には、年齢ごとに、3月までに育て欲しい姿を職員間で話し合った意見をまとめ、計画に反映させた。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

0歳から卒園するまでの大きな流れの確認のために、「全体的な計画」の見直しを目標として、取り組みを行い、検証に至り、さらに実践の継続をしている。
見直しにあたりプロジェクトチームを結成、話し合いは職員会議とグループ討議にて実施した。会議の結果を持ち帰り各自考えたものを次回の会議にて発表し、検討することを繰り返した。
「全体的な計画」を見直しにあたって、「幼児期の終わりまでに育てほしい姿10項目」や「教育、保育において育みたい資質、能力の3本の柱」を再確認し、「表現」「食育」「散歩」についても引き続き内容の確認を行っている。今年度は就学に向け、連続性をもった「子どもの育ち」を保障していけることと、計画の書式を見直す計画である。
この課題について、各職員が真剣に取り組み、話し合いのきっかけになったことは取り組みの効果といえる。

<p>評価項目2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p>	
<p>【課題・目標】 園では保育理念と保育目標の見直しを行った。令和2年度から障害児指定園となるため、今までのもので良いのかを職員で話し合った。 【取り組み】 当園の保育目標「心身共に 健康で よく遊べる子ども」について意見を出し合った。障害児指定園となり、これまでの目標等について見直しを検討した。 その結果、保育目標の意味と内容を捉え直した。「心身共に健康」とは、どんな障害が、疾患のある子ども、その子どもにとって健康がベストな状態で保育園生活を楽しく過ごせることが大切である、という職員間での共通認識が醸成された。その他の目標も、子ども一人ひとりの状況を把握し、その子どもにとってどうであるかを大切に保育していくことを、職員間で確認し今年度の保育園の理念、保育目標に活かしている。 職員全員が共通認識を持ち、より良い保育を目指し、「全体的な計画」「環境」「運動遊び」という3つのプロジェクトを立ち上げ、活動を継続していくことにした。</p>	
<p>目標の設定と 取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p>	
<p>保育理念と保育目標の見直し、あるいは理解を深める取り組みは、当園が障害児指定園になることがきっかけとなった。これらを課題としてあげたことは、当園のおかれた状況を考えると、その必要性が考えられる。 保育理念や保育目標の背景を捉えるために、話し合い、検討を重ね一定の結論に達した。今年度は、前年度理解を深めた内容を実践する年となっている。多目的室を廃止し、特別室を設置するなどの施設の変化や、定員の変更に伴い、園内のさらなる環境整備と運用の見直しが必要になっている。 保育理念と保育目標に対しての理解を深める取り組みは今回の課題のみならず、当園で保育を行う職員にとってかけがえのないものになった。</p>	

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>様々な媒体により、保育を必要としている保護者に情報発信をしている</p> <p>ホームページ、区が発行している保育施設ガイドブックや広報誌、区のホームページなど様々な媒体により、保育を必要としている保護者に園の情報を発信している。園では地域の子育て世帯に向けた「すくすく広場」を月に1~2回開催し、園庭開放を行っている。また、保育士、看護師、栄養士が子育てや子どもの健康管理、離乳食などの相談に応じ、子育てに関する様々な情報提供をしている。すくすく広場の情報は、近隣の施設や病院等に年間予定表を記載したポスターを掲示して情報提供している。</p> <p>ホームページでは、園の環境や子どもの遊びの様子がわかるように工夫している</p> <p>園のホームページには、保育時間、延長保育、年間行事、園の特色、「すくすく広場」の情報などを掲載している。園の環境や子どもの遊びの様子がわかるような写真も入れている。園長は区の担当部門に園の状況を報告している。また、近隣の小学校、児童館、保健センター、各町会関係、地域懇談会で近隣の私立園とも情報交換している。区が発行している保育施設ガイドブックには5か国語の表示があり、保育園だけでなく様々な子育てに関するサービスや情報など、多様なニーズに応えた内容が掲載されている。</p> <p>園見学は感染症対策をした上で、環境や保育の様子がわかるように対応している</p> <p>見学の問い合わせには職員が対応し、水曜日の午前中に、予約制で実施している。10時から11時まで5名ずつ、15分程度実施しており、新型コロナウイルス感染症対策をした上で、密を避け、外から園舎内を見学してもらうなどの工夫をしている。見学の際には、保育の様子や製作物などが見えるように配慮している。0歳児室は外からは見えないため、写真などで環境がわかるように説明している。どうしても日程が合わない方には、個別対応をしている。見学時には園の特色や取り組みなどを伝え、保護者からのさまざまな質問に応えている。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>保護者には個別面接と説明会を行い、安心して入園できるようにしている</p> <p>入園が決まった保護者には個別面接と説明会を行っている。2月は身体測定や入園時健診のほか、入園までに準備するもの(個別のシーツや掛布団カバーなど、サイズが決まっているものは保護者に作成をお願いしている)について説明している。3月の説明会では、個人情報に関する事項や入園後のルール、緊急時の取り決めなどを伝え、個人面接も実施している。面接は保育士が行い、必要時には栄養士や看護師も同席して内容を聞き取り、児童票に必要事項を記載している。</p> <p>「慣れ保育」で子どもの様子を見ながら、無理なく新しい環境への適応を支援している</p> <p>子どもが、園という新しい環境に順応するために「慣れ保育」をしている。おおむね1週間程を目安に短時間から始め、子どもの様子を見ながら無理なく予定の保育時間まで延ばしている。育児休業中の保護者など、個々の意向に合わせた保育時間を設定し、ゆっくりと実施することもある。0歳から2歳児までは、初日は保護者も一緒に過ごし、家庭での保育の状況や、子どもが落ち着く対応・好きな遊びなどを職員に伝えてもらっている。保護者が昼食の介助を行い、その様子を見ることで、家庭での食事に関する情報を収集し、園での保育に反映させている。</p> <p>途中転園児への支援を行い、卒園後も継続した関わりを大切にしている</p> <p>途中転園する子どもは、前日にクラスの掲示板でお知らせをし、クラス毎にお別れ会をしている。お友だちが描いた絵やカードをプレゼントし、次の生活へ向けエールを送っている。公立間の転園では保護者の承諾の上、児童票などの情報提供を行い、スムーズな移行への支援をしている。進学へ向けて、年長児は近隣の小学校見学を4回程行い、さらに行事にも参加することで小学校への期待を膨らませている。卒園式は、園のホールで実施し、保護者も参加して成長を共に喜んでいる。卒園後も運動会やきょうだい児のお迎えなどで継続した関わりがある。</p>		

サブカテゴリ-3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリ-3の講評		
<p>各クラスのカリキュラムを全職員が確認し、全体で検討・共有している</p> <p>園では職員で「全体的な計画」、「室外環境」、「室内環境」の3つのプロジェクトを分担し、良質な保育に向けた検討を重ねている。「全体的な計画」プロジェクトでは、計画のポイントを明確にし、各年齢別に子どもに育てほしい姿を記載している。年度末には、「全体的な計画」を基に「年間指導計画」を立案し、「月の指導計画」、「週案」、「日案」へとつないでいる。月に1回カリキュラム会議を開催しており、事前に各クラスのカリキュラムを全職員が確認して意見や質問などを聞き、全職員が全体のカリキュラムを共有している。</p> <p>子どもの個別の発達や状況について、打ち合わせの中で共通理解を図り計画作成している</p> <p>「月の指導計画」・「個別指導計画」では、子どもの姿から次につなげていくことや、経験させたい内容などを考え、課題の検討や振り返りの中で見直しを行っている。乳児クラスでは毎月「個別指導計画」を作成している。また、特別な配慮が必要な子どもについては「姿と配慮」を作成している。乳児・幼児それぞれの打ち合わせを月2回持ち、職員間の共通理解の中で個別の計画作成につなげている。今年度は障害の子ども3名を受け入れており、職員は、医師と心理の巡回指導で専門家とも連携し、子どもの特性に合わせた計画を作成して実践している。</p> <p>保護者会、個人面談、クラスだよりで指導計画のねらいや内容を伝えている</p> <p>年度初めの保護者会で「年間指導計画」を配布し、行事予定などを知らせている。クラス毎に保護者同士が交流しやすい雰囲気づくりに配慮している。子どもの発達の様子や園の保育について映像でも伝えている。家庭と園の情報交換を目的にして個人面談を年に1~2回実施し、保育計画に反映している。毎月発行の「園だより」や「クラスだより」でも指導計画のねらいや内容を伝えている。日々の子どもの様子は受託簿や保育日誌に記録し、午後のミーティングで、保育体制、午前中の活動、保護者対応、健康状態、怪我の報告等の共有が行われている。</p>		

サブカテゴリ5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ5の講評		
<p>入園時に個人情報の取り扱いについて保護者に説明している</p> <p>園では入園時に「重要なお知らせ」として、入園後のルールを伝える冊子を配布し、個人情報の取り扱いについても触れている。園のしおりの中でも、ビデオや写真撮影時の配慮事項を説明しており、その理由や取り扱い、留意事項等についての区担当部門からの書類も添付している。園内での写真撮影や販売、保護者向けの画像提供などは個別に意向を確認している。個人情報の取り扱いに留意して保育が提供できるように努めている。療育機関との連携についても、保護者の要望を確認し、同意を得た上で専門職と連携し、必要な支援につないでいる。</p> <p>保育の中で子どもの羞恥心に配慮した環境整備をし、子どもにも働きかけている</p> <p>子どもの羞恥心に配慮して保育をしている。おむつ交換時は、他の子どもの視線を避けたスペースを利用している。2歳までのオープンなトイレは衝立などで目隠しをしている。おもらしの際の着替えの場所についても、3歳以上では扉のあるトイレを利用している。夏のプールの時期の着替えの際は、上下別々に着替えできるように子どもに声掛けをし、着替えの際はラップタオルなどを使っている。園庭のプールは外部からの視線を避けるために、葎簷や遮光カーテンで天井から覆っている。</p> <p>子ども一人ひとりの気持ちを大切にされた保育と、虐待防止の取り組みをしている</p> <p>子ども一人ひとりの気持ちを大切にされた保育に取り組んでおり、思いを代弁したり、気持ちを受け留めたりして、子どもが納得できる対応をしている。園には様々な国籍の子どもが在籍しているが、保護者との信頼関係を築きながら、個別の対応をしている。虐待防止についても、職員が必要な研修を受講している。子どもの心身の状況を観察して虐待の疑いがある場合には、子ども家庭支援センターや児童相談所など関係機関と連携している。</p>		

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー6の講評			
<p>基本的マニュアルをクラス毎に備えており、いつでも確認できるようにしている</p> <p>園の基本マニュアルとして、保育理念・目標、保育方針、役割分担表等の事項をまとめたファイルをクラス毎に備えている。それを会議の時に活用したり、わからないことがあれば直ぐに確認できるようにしている。変更・改訂に備え、原簿は職員室で閲覧できるようにしている。業務手順は、各職員に配布している。また、会計年度任用職員の仕事内容や、保育の変更事項なども適宜修正して周知している。新人職員の育成のために、複数担任のクラスに配属して育成担当者からのOJTを受けながら、わからないことは直ぐに聞ける環境を整えている。</p> <p>新型コロナ禍において、保護者からの問い合わせに統一した対応ができるようにしている</p> <p>今年度は、新型コロナ禍において園としての対応を区保育課とも連携して検討し、保護者からの問い合わせに対して、統一した対応ができるようにしている。保護者から質問が多く寄せられることが予想される場合は、ミーティングや会議の中で周知し、全職員が同じように回答できるようにしている。決定事項は園日誌や会議録に記載し、必ず確認ができるようにしている。</p> <p>インクルーシブ保育に関する検討を行い、保護者からの意見や要望も把握している</p> <p>障害児の受け入れ園として、保育の理念・目標を職員間で話し合い、インクルーシブ保育について検討を重ねている。子どもが落ち着いて過ごせる特別室を設置しているほか、職員の提案を反映して室内環境の改善を図り、棚やマットなどの位置を変更している。また、保護者会事前調査は年2回クラス毎に実施しており、保護者の意見をクラス運営などに反映している。保護者参加行事後のアンケートや、園だよりに関するアンケートもあり、保護者に結果を知らせるとともに、次年度の内容に反映させている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 35/35	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(000000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもの年齢を考慮した玩具を用意し、遊びや製作が細切れにならない配慮をしている</p> <p>園では、室内・室外環境プロジェクトを立ち上げ、定期的に環境の改善に取り組んでいる。子どもの年齢を考慮して、遊具を用意し、子どもが手に取って使いやすいように配置している。例えば、積み木遊びが続けられる環境のまま降園し、翌日も継続して遊べるように配慮している。製作物の保管のために、個別のファイルや引き出しを用意して、塗り絵や製作の続きができるようにしている。こうした配慮により遊びが細切れにならないため、子どもの落ち着きと安定に結びついている。</p> <p>インクルーシブ保育を実践しており、配慮を要する子どもに必要な対応をしている</p> <p>当園は本年4月より障害児指定園になり、インクルーシブ保育を実践している。障害を持つ子どもも、他の子どもと同じ年齢のクラスで、仲間として一緒に過ごしている。また、保育課からの巡回相談員は、保育士に対応の仕方をアドバイスしている。保育士は他園の障がい児指定園研修に参加する等、研鑽に努めている。また、職員会議においてグループで話し合う機会を設けている。職員一人ひとりが配慮を要する子どもに、共通認識を持って対応ができるようにしている。</p> <p>トラブルが生じた時には、子どもの気持ちを汲んで対応を図っている</p> <p>子ども同士のトラブルが生じた時には、お互いの行動にはそれぞれ理由があるとの視点に立ち、子どもの気持ちを汲んだ言葉かけを心掛けている。年齢によって子どもにわかる言葉で話し、時には互いの気持ちを代弁するようにしている。保護者に対しても子どもの心伝えることを意識している。状況説明をするときは、保護者の視点に立って説明をしている。施設見学や入園説明会、保護者会では、子どもの発達の姿と共に、子ども同士の育ちの過程で、トラブルが起こりがちであることを説明し、理解を得られるように努めている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(0000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当
評価項目2の講評			
<p>基本的な生活習慣の確立の大切さを保護者に知らせ、理解を得るように努めている</p> <p>基本的な生活習慣の確立は園だけで行えるものではなく、家庭との連携が必須になってくる。園では指導計画を基に、年齢や発達を考慮し、保護者会やクラスだよりで取り組みの時期などを伝えている。乳児は連絡帳や口頭で、情報共有を行っている。例えば、トイレトレーニングは1歳になった時点でクラスで一斉に始めるのではなく、子ども一人ひとりの身体機能の発達に合わせている。時期を見極め、家庭と連携して同じ対応ができるようにしている。子どもに無理強いしたり、不用意なストレスを与えないように配慮している。</p> <p>子どもの年齢に合わせて、午前寝、午睡などの長さを考慮している</p> <p>0歳児などはまだ生活リズムが定まっていないので、連絡帳や保護者の伝言などを参考にして、午前寝や午後寝、午睡時間等の配慮をしている。朝遅くまで寝ていた子どもはなかなか寝付けられない場合もある。寝られない時には家庭との連続性を配慮しながら、布団に横になり休息を取らせている。早く目覚めてしまった場合には、起きて静かに過ごせるようにしている。就学が間近になった年長児は、クラスの状況や個々の子どもの状況に応じて少しずつ午睡時間を減らしていくように配慮している。</p> <p>降園時には保護者に今日の保育の様子やエピソードなどを伝えている</p> <p>降園時には、保護者に子どもの健康面や、遊んだ時のエピソード等を伝えるようにしている。乳児は個別の連絡帳を活用し、保護者から伝えられる家庭での様子に返事をするとともに、園での様子を伝えている。連絡ノートを手渡ししながら保護者と直接話を交わすようにしている。幼児は掲示日誌を読んでもらい、保育の様子を伝えている。怪我による通院や日中の様子等で担任が直接伝える必要がある場合は、担任や園長が迎えを待って対応するようにしている。伝達漏れがないように、積極的に保護者との連携が取れるように努めている。</p>			

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>絵本の読み聞かせなどから、言葉に対する感覚が養われるようにしている</p> <p>言葉でのやり取りの面白さや、自分の気持ちが伝えられたことの嬉しさなどが味わえるようにするために、絵本の読み聞かせの機会を多く取り入れている。今年度は新型コロナ禍により実施できていないが、園には、絵本の読み聞かせや素話をしてくれるボランティアがそれぞれ月1回程度来園している。地域に住む元保育園長が保育時間中に行う「お話くに子さん」や、夕方に来園する「パパ読み隊」が活動している。こうした活動の中で子ども達が落ち着いて座り、人の話を聞く態度が培われたと園では感じている。また、人に話して伝わる楽しさも味わっている。</p> <p>植物や昆虫と触れ合う遊びの機会があり、散歩には目的を持って出かけている</p> <p>園庭にはさまざまな植物を植え、事務所前にビオトープを作って子どもの目線で楽しめるような遊びの工夫をしている。子ども達は植物やビオトープに寄ってくる蝶の幼虫を観察したり、友達が持ってきた鈴虫やカブトムシ等を大事に飼育している。自然を意識した散歩は年長児は2km、4歳児は1.5km、3歳児は1km先の目的地まで歩けるように目的を決めて、徐々に歩く距離を延ばしている。散歩で行く公園の写真ファイルが作られており、目的地の公園の特色や遊具、遊びのねらいなどが記載された資料を活用している。</p> <p>子どもが決まりについて考え、自分の気持ちを調整できるようにしている</p> <p>保育士は子どもが、何故きまりを守らなければならないのか考えるように働きかけている。きまりを守ると、友だちと楽しく遊べることを伝え、自分の気持ちを調節できるような言葉がけをしている。乳児・幼児共に指導計画に自己コントロール欄を設けている。「ルールを守って遊ぶと楽しい」という経験を積み重ねていけるように、一緒に遊んで援助したり見守っていくようにする、「友達と楽しく関わる経験を積み重ねて、見守られる中で子ども同士のやりとりができるようにしていく」ための力を育てる計画を立てている。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>行事は子どもが興味や関心を寄せることを取り入れた内容にしている</p> <p>「行事ありき」ではなく、子どもの遊んでいる姿や興味・関心を持っていることを取り入れ、行事に発展させている。毎年、子どもに合わせてテーマを決めている。例えば、「友達と祭りの雰囲気を楽しもう」とテーマを決め、職員が店番をして、子どもたちを存分に楽しませる夏まつりを実施した。その結果、新型コロナ禍でも、子どもが楽しめる行事を実施することができている。行事プロジェクトも設置されており、子どもにとってどのような発展が望めるのか、子どもに無理はないのか等、常に子どもの視点に立った行事のあり方を検討している。</p> <p>運動会や表現遊びなどで、子ども同士が共感や葛藤を体験できている</p> <p>表現遊びなどの取り組みの中で、子どもが共感したり葛藤を経験しながら行事に取り組んでいる。年長児が協力して神輿作りをした際には、飾り付けがうまくいかない時の葛藤や、でき上がった時の達成感を通じて、子どもが大きく成長している。また、3歳児は定期的にリズム遊びをしていたが、うまくできた時に褒められる経験を繰り返している。そのうちに、あまり参加しなかった子どもも、ピアノが鳴ると自分から出てきて参加するようになるなど、全員でリズム遊びができるようになった。無理強いしない取り組みは子どもに自信と達成感を味わわせている。</p> <p>行事の様子は写真を活用し、ドキュメンテーションで保護者に伝えている</p> <p>今年度は、新型コロナ禍により保護者が行事に参加する機会も減っているため、園では活動の様子をクラスだよりや掲示日誌で保護者に伝えている。さらに、写真を活用して行事の様子をドキュメンテーション(日々の保育の記録法)でも伝えている。自分の子どもだけに目が向けられがちな保護者に対して、他の子どもや他クラスにも関心を持ってもらうような発信の仕方を心掛けている。子どもにとって何が大事で、何故それに取り組んでいるのか、をわかりやすく伝えるようにしている。また、送迎時にも子どもの活動の様子を口頭でも伝えている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○非該当
評価項目5の講評			
<p>保育時間の長い子どもが、好きな遊びをしながらゆっくり過ごせるように配慮している</p> <p>保育時間の長い子どもが、落ち着いて過ごせるように配慮し、子ども自身がやってみたい遊具や遊びの設定をしている。できるだけいつも決まった職員が傍にいて、一人ひとりの遊びや関係性を継続的に見守っている。早朝・夕方の延長時間には、日中の活動からの興味の継続なども保証できるように、クラス担任と連携を取っている。夕保育の園庭での遊びの時に、子どもの体調がすぐれない、または、外に出たくないなどの様子が見られた時には、子どもの気持ちに寄り添いベランダや室内で遊ぶなど、個別に対応している。</p> <p>夕方の子どもの部屋移動を少なくして、落ち着いて遊びが継続できるようにしている</p> <p>夕方の保育では、極力自分のクラスで過ごすようにしているが、18時25分以降は、幼児は3歳児室で、乳児は2歳児室で保護者の迎えを待っている。18時30分には補食を食べて、迎えが来た時に空腹でぐずることのないようにしている。乳児には乳児専用の選番用玩具が用意されている。例えば、型はめやパズル等、机上で遊べる玩具がある。各クラスのままごとコーナーを充実させ、最後まで自分のクラスで遊び込める環境を提供している。</p> <p>早朝・夕保育は異年齢児で過ごし、自然な形で子ども同士の良い関係ができています</p> <p>日々同じような顔ぶれで、夕方の時間を過ごしている子どもたちは、日中の保育の中でも自然な形で触れ合うことができています。園庭で、乳児は顔なじみである年長児を見つけると満面の笑顔を浮かべて近寄っていき、年長児は優しく名前を読んだり、声をかけたりするなど。兄弟関係のようなつながりができています。保育時間の長い子どもは自然な形で異年齢児保育を体験し、幅広い人間関係が構築されています。また、当番の保育士や職員と穏やかに過ごす中で、優しさと思いやりの心が育っている。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当
評価項目6の講評			
<p>座る場所を固定し、足置きを調節するなどして落ち着いた食事環境に工夫している</p> <p>食事の際は、子どもが安心できるように、座る場所を固定し、いつも同じ場所で食べるようにしている。食事の環境を大事にして、椅子やテーブルの高さを年齢や発達に合わせている。例えば、微妙に足がぶらぶらと遊んでしまう場合には、足置きを置いたり、座面をマットで調節したりしている。テーブルの位置が子どもの動線を邪魔しないか、子どもに十分目配り・気配りのできる位置にあるか等、保育士は常に考慮している。食事に専念できる落ち着いた雰囲気が保てるよう、環境づくりを心掛けている。</p> <p>アレルギー児の食事については、誤食をしないように気を配って提供している</p> <p>アレルギー児の除去食や代替食については、食物除去連絡票を保護者から提出してもらい、除去または代替食で対応している。月1回アレルギー会議を行い原因食材の確認をしている。アレルギー児の給食は必ず正規の保育士が調理室に取りに行き、調理員と一緒に原因食材の除去食または代替食を呼びあげ、確認して自室に持ち帰り、配膳をしている。アレルギーとは違うが、身体の具合の悪い子どもの場合にも、食材の柔らかさや大きさ等消化の悪いものを除去して提供することもある。</p> <p>野菜の栽培や調理体験を通して食への関心を高める取り組みをしている</p> <p>栄養士が子ども達に食材や栄養の話、食育の話をして、食への関心を高める取り組みをしている。今年度はカブとサツマイモを栽培している。収穫した野菜は子どもたちの意向を聞いて、カブは食事に出したり調理活動で使い、サツマイモはスイートポテトを作るなどの体験をした。味、香り、色、変化などを5感で感じられることや、食材の変化などに気付かせ、自分たちで作った物を味わう感動等を実感させている。</p>			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが自分で自分の身を守るように、看護師が健康教育をしている</p> <p>看護師が健康教育を行い、危険なことから身を守ることや、風邪予防、プライベートゾーンの話等をしている。子どもがわかる言葉で、わかりやすく伝えることを心掛けている。地震の際に身を丸め、物陰に隠れる話をした時には、「ダンゴ虫のポーズ」と一言いっただけで、頭を隠して身を丸めてしゃがみ込む様子が見られたという。普段見慣れている虫を思い起こして行動が取れたようである。また、小さな怪我から子ども自身が学ぶこともあると考え、怪我をした時に痛かったことを受け止め、次に気を付けるように言葉をかけている。</p> <p>医療的なケアの必要な子どもについては、受け入れができるように備えている</p> <p>当園には医療的なケアの必要な子どもは在園していないが、区立園には統一の「杉並区保育園障害児医療的ケア実施要領」があり、医療的ケアの受け入れを行っている園がある。園長は実務研修を受け、受け入れに必要な知識を得ている。実際に保育をしている園からの報告も参考にしながら、区内で実施されている事業として捉えて、いつでも受け入れることができるよう備えている。</p> <p>保護者と連携して、子どもの健康の維持に向けて取り組んでいる</p> <p>入園前には個人面談を行い、生活リズムの話や健康の話をしている。また、入園後は保健だよりを月1回発行して、感染症の予防対策や健康維持のための情報を提供している。乳幼児突然死症候群(SIDS)については年度当初にチラシを配付して周知を図っている。体調不良の子どもの場合には、早めの休息や主治医による受診を依頼するなど、集団での感染拡大予防に協力を仰いでいる。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者からの子育ての悩み相談には丁寧に対応し、必要な手立てを講じている</p> <p>保護者個々の事情を考慮し、保育時間を決めている。保護者の繁忙期には保育時間の変更や子育ての悩みなどを担任や園長、主査が聞きとり、困っている状況を受け止め、必要な手立てを講じている。送迎時や連絡帳から保護者の悩みや困りごとをキャッチしたときには声をかけ、話を聞きとり、受け止めている。送迎時にはクラス担任だけでなく、当番保育士や園長、主査などが園でのエピソードを話し、安心して保育園に預けられるように取り組んでいる。</p> <p>子どもの発達や育児などについて保護者と話し合い、共通認識を持って取り組んでいる</p> <p>送迎時での会話、連絡帳の記入、個人面談での話などを通じて子どもの発達や育児などについて、理解ができるように話をしている。保護者会では年間の保育計画を基に、子どもの発達と保育について説明し、共通認識を持てるようにしている。また、話し合いのテーマの希望を募り、保護者が共通して抱える問題について一緒に話し合う時間になっている。幼児クラスには連絡帳がないので、自由に書けるメモ用紙を用意し、記入された育児の悩みや質問などに対して丁寧に対応している。</p> <p>保育参加や保育参観の機会を随時用意して、必要な対応を図っている</p> <p>園は子どもの様子を知ってもらうことや他の子どもに目を向け、共に育ちあえるようにと考え、保育参観、保育参加の機会を随時設けている。保育参加や保育参観の後には面談を実施している。子どもの発達について保護者が心配している場合には、必要に応じて個人面談を行い、心配事を共有できるようにしている。しかし、今年度は新型コロナ禍により園内の保護者の立ち入りを制限し、保育参観や参加ができない状況にある。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>近隣の児童施設や図書館などを利用して公共施設の利用の仕方などを体験している</p> <p>園と同じ建物の中に、児童館が併設されている。子どもたちは児童館と交流したり、近隣の図書館(工事及び新型コロナ終息後に再度利用予定)を利用したりして、公共施設の使い方など体験している。また、近隣には大きな公会堂があり、影絵などの公演を他園の子どもたちと一緒に見たりする機会もある。近くの認証保育園と交流して、その子どもと一緒に遊んで仲間作りができるなど、子どもの体験の幅を広げることができている。公共施設の人との関わりの中で、社会への関心を広げ、ルールを知ることにつながっている。</p> <p>園の行事や園庭開放には、地域の子どもを招いて交流をしている</p> <p>例年、夏まつりでは近隣の保育施設を、お神輿の応援や見学に誘っている。運動会には小学生用のプログラムを用意して、参加を呼び掛けている。このほか、園庭解放や水遊び場の開放には地域の小規模保育施設を招いて、同じ年齢の子ども同士と一緒に安心して遊べる環境を提供している。当園の子どもたちも地域の人と触れ合うことで、人とのさまざまな関わり方に気付き、社会とのつながりが意識できるようになっている。今年の交流は新型コロナ感染予防のため、まだ実施ができていないが、園庭開放は近隣園に対して行った。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	2-2-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している
タイトル①	昨年度見直した「全体的な計画」の着実な実施に取り組んでいる	
内容①	園では、保育の質の向上(発達を支える保育力の向上、主体性を育む保育環境の構築)、人材育成(職種や働き方の違いを超えて、保育園の職員としてのスキル向上)、地域保育への協力・連携と公立の保育資源の還元、を重要事項として掲げて、その実行に努めている。また今年度は、昨年度見直した「全体的な計画」を着実に実行するとともに、その中の「表現」「食育」「散歩」について内容を充実させることを重視している。さらに、全体的な計画の中に、「就学に向け連続性をもった子どもの育ちを保障して行く」ことを追加することにも力を入れている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-3-2	全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している
タイトル②	各クラスカリキュラムは全職員が確認の上、意見や質問などを出し合って検討している	
内容②	月に1回カリキュラム会議を開催する際に、事前に各クラスの分を提出し、全職員が確認して意見や質問などを出し合い内容を検討している。全職員が全体に目を通し、内容を検討する機会を持つことで、0歳から5歳までのクラスの様子や取り組みを共有している。各クラスの課題についての検討を行い、質問や意見交換をするなかで、さまざまな視点から課題解決に向けた提案が出されている。職員間で日常的に子どもの姿を話し合い、成長の姿や気になる事を伝え合い、保育の視点を広げ互いに学び合えるような取り組みをしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル③	特別な配慮が必要な子どもはインクルーシブ教育で共に育ちあえるように心掛けている	
内容③	園は今年度から障害を持つ子どもの指定園になっており、巡回相談や巡回指導で保育士は対応の仕方についてアドバイスを受けている。同年齢の子どもと同じクラスで過ごし、一緒に遊んで仲間として助け合ったり、成長を認め合ったりする関係性を大事にしたインクルーシブ教育をしている。子ども達は、障害を持つ子どもに対して、その子の個性として受け止め、自然に受け入れている。また、他児と同じ行動が取れない時も複数担任であるため、一人別行動が取れる体制になっている。共に育ちあう教育・保育が展開できるように心掛けている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	歩くことを大切に考えた散歩は、計画的に距離を延ばして子どもたちの体力増進を図っている
	内容	新型コロナ禍による登園自粛によって、子ども達は家庭にとどまり、運動不足が顕著になっていた。したがって、登園再開後には体力(特に脚力)の低下が想定された。体力をつけるために、歩くことを大切に散歩の日を積極的に計画している。年長児になったら3km先の公園まで、4歳児は1.5kmの公園まで、3歳児は1km先の公園まで、と目標を設定し、楽しみながら徐々に距離を延ばしている。自然を意識した取り組みも行い、同時に、昆虫を見つけたり、きれいに色づいた落ち葉や木の実を見つけたりもしている。
2	タイトル	駅から近い公立保育園としての役割と責任を常に意識し、近隣の保育園が抱える園庭や医療についての課題に対して積極的に協力している
	内容	当園は駅から近いエリアに立地しているが、近隣の認証保育園・保育室には園庭が無い施設が多い。当園では、区の指導の下、公立保育園として地域の保育園との交流・連携を重視し、その責任と役割を果たしている。平常時は、近隣園に対して見学会の実施、園庭の開放、水遊び場の提供をしている。また、当園で実施する歯科健診、眼科健診及び耳鼻科健診では、他園と合同で実施している。さらに、区からの指導のもと、園の看護師が他園に行き、健康相談等のアドバイス等も実施している。公立保育園としての役割と責任を果たしていることを高く評価したい。
3	タイトル	職員が手作りした散歩先マップ集には、「公園の特色」、「遊具の種類」、「遊びのねらい」を職員が撮影した写真と共に記載されている
	内容	園には子どもが散歩で行ける地域の公園情報が「散歩先マップ集」というタイトルで1冊のファイルにまとめられている。そこには、「公園の特色」、「遊具の種類」、「遊びのねらい」が撮影された写真と共に記載されている。新任職員には貴重な資料となっている。また、このマップは中核園にも貸し出され、「おさんぽまっぷ」としてまとめられて荻窪地域の園で共有されている。当園の職員によって少しずつ情報を集めてきたこの資料は、大切に引き継がれ、現在も新たな公園が追加されている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	新型コロナ禍による中でも可能な、職員間のコミュニケーションや会議の工夫をしていくことが期待される
	内容	当園では、職員間の日常的なコミュニケーションや話し合いを重視し、会議の場などで意見を検討し合うことを重ねてきた。例えば、今年度から障害児指定園となるに当たって、施設基準に満たす整備や職員体制の増強、指定園化に向けた「全体的な計画」「保育理念・保育目標」の見直しなどに多くの時間を割いてきた。しかし、新型コロナ禍によって、十分なコミュニケーションや話し合いの機会が減少している。会議の参加人数の設定や開催回数・時間の工夫など、新型コロナ禍でも可能なコミュニケーションのあり方の工夫をしていくことが期待される。
2	タイトル	保育環境の整備に向けた取り組みの継続と、保護者からの要望による「入り口の施錠方法の検討」に期待する
	内容	当園では、職員を「全体的な計画」、「環境」、「運動遊び」の3つのプロジェクトによって割り振って、良質な保育に向けた検討を重ねている。「環境」においては、室内と園庭に分けてプロジェクト活動を行い、職員間で話し合いを行い、不用品の整理を含めて、それぞれの成果を上げてきた。これらのプロジェクトの継続と、入り口の施錠についての改善要望(保護者アンケートによる)など、安全に関わる環境整備も併せて検討される事が期待される。
3	タイトル	新型コロナ禍で保護者との会話が減っている中でも、園の様子、子どもの様子等をこまめに伝える工夫を検討していくことが期待される
	内容	これまでは送迎時の保護者対応で、園の保育内容などを話すことを心掛けてきたが、今年度は新型コロナ禍によって長い時間保護者と話すことは少なくなっている。今回の利用者調査では保護者の園に対する満足度は大変高いものとなっているが、その中で、「先生との会話が減ったように感じ、個人的なことが分かりづらい」等があり、類似意見も多く寄せられている。新型コロナ禍で保護者との会話が減っている中でも、園の様子、子どもの様子等をこまめに伝える工夫を検討していく必要があると思われる。

(6) 上高井戸保育園

調査対象	園児全世帯の保護者を対象とした(複数の在園児がいる場合は、最年少の児童に対しての回答をお願いした)。		
調査方法	アンケート方式 園からアンケート用紙を配付してもらい、回収は評価機関へ直接郵送、もしくは園内に設置した回収箱へ投函とした。		
利用者総数	81		
利用者家族総数(世帯)	68		
共通評価項目による調査対象者数	68		
共通評価項目による調査の有効回答者数	59		
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	86.8		

利用者調査全体のコメント

調査対象世帯68世帯中、59世帯から回答を得ることができた。満足度が高かった項目としては、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか」「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」などがあげられる。

総合的な満足度では、「大変満足、満足」が55名、「どちらともいえない」が3名であった。「イベントが盛りだくさんで満足しています」「季節の行事や英語・茶道などの課外活動も充実しており、家庭ではできない経験もたくさん身に付いてありがたいです」「子どもに対する先生の人数も多いため、細かいところまで良く見てくれていて安心です」「食育として調理や食材に関わらせてくれ、子どもも楽しそうです」「若い先生が多いが、子どもが懐いているので安心です」「アプリで毎日の様子の配信があり、楽しみにしています」「セキュリティもしっかりしていて、園内も清潔です」などのコメントがあがっている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	59	0	0	0
回答者全員が「はい」と回答している。 「友達と遊ぶことの楽しさ、関わり方を学んでいると思います」「体を動かしたり制作や読み聞かせをしてもらい、バランス良く成長を促してくれています」「広い教室やホール・庭で沢山活動したり特別授業等もしてもらい、とても刺激になっているようです」「リトミックや英会話など小さなうちから様々な体験をさせてくれ大変ありがたいです」「色々なプログラムを考えてくださり、子どもの世界がとても広がっていると感じます」などのコメントがあがっている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	57	2	0	0
57名が「はい」、2名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「水遊びやリトミックなど楽しい様子が伺えます」「特別教室・食育・行事などは子ども自身とても楽しみにしながら登園しています」「リトミックや英語・体操などはもちろん、日々の遊びも良く工夫され子どもは楽しんで取り組んでいます」などのコメントがあがっている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	58	0	0	1
58名が「はい」、「どちらともいえない」「いいえ」の回答はみられなかった。 「栄養のバランスが取れており、食べる楽しみや喜びを感じられる内容だと思います」「子どもが興味を持って食べられる工夫をされています」「郷土料理や絵本の内容に基づいたおやつなどの食事を出してくれるので、子どもも喜んで毎回完食しています」「アレルギーがある子どもも安全に給食が提供されています」などのコメントがあがっている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	56	3	0	0
56名が「はい」、3名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「園庭や近隣の公園・遊歩道などで、木の実や花など季節ごとに自然のものに触れているようです」「公園に出かけたり、園庭で野菜を育てたりしてくれています」「園で育てている作物が収穫できると、給食に出してくれたり観察させてくれたりします」「多いとは言えませんが、安全面に配慮しての判断もあるかと思うので、あまり気になりません」などのコメントがあがっている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	42	8	1	8
42名が「はい」、8名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「アプリや電話などで連絡すると快く応じてもらえ、ありがたいです」「18時以降の急な残業でも、延長保育を利用させてくれてありがたいです」「笑顔で柔軟かつスムーズに対応してくれます」などのコメントがあがっている。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	50	8	0	1
50名が「はい」、8名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「先生の目が行き届いており、ケガをしても詳細がわかり安心です。また常に看護師もいるので適切な処置がされています」「対策はもちろんですが、先生方一人ひとりの意識が高い」「外からよく見えるので心配もあります」などのコメントがあがっている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	41	13	2	3
41名が「はい」、13名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「土曜の日程や午前・午後の割り振りなど配慮されていると思います」「年間行事・月のおたよりで事前のお知らせが徹底されているので心配ないです」「月初や月末、金曜日などの行事が多少調整が難しいです」などのコメントがあがっている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	41	16	1	1
41名が「はい」、16名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「日頃から話しやすい雰囲気があり安心しています」「子どもや親の気持ちに寄りそう雰囲気で接してくれるので信頼しています」「連絡帳や先生との会話で、いろいろ話をしています」「ゆっくり話す時間はあまりとれないように感じます」「幼児クラス以上になると、なかなか伝え合う時間がありません」などのコメントがあがっている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	58	1	0	0
58名が「はい」、1名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「いつもきれいでピカピカで気持ちがいいです」「こまめに整理整頓されていると思います」「専属の職員がいるのでいつも清潔に保たれています」などのコメントがあがっている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	54	5	0	0
54名が「はい」、5名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「子どものお手本になると思います」「先生方は皆、挨拶など気持ち良い対応です」「制服があり、統一されているので清潔感があります」「人によります」などのコメントがあがっている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	52	5	0	2
52名が「はい」、5名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「細かく様子を伝えてくれ、助かります」「小さな変化やちょっとしたケガも経緯や対応まできちんと報告してくれます」「今年から看護師が常駐してくれ、子どもも信頼しているようです」「クラスの先生だけでなく他のクラスの先生にも情報が伝わっていて、保育園全体でケガや体調不良後の様子を気にかけてくれ嬉しいです」「担任の先生が帰宅された後の引き継ぎが、あいまいなことがあります」などのコメントがあがっている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	40	11	0	8
40名が「はい」、11名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「先に自分達で解決できるように対応していると思います」「丁寧すぎる程こまやかに対応してくれます」「そのようなことがまだありません」などのコメントがあがっている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	55	4	0	0
55名が「はい」、4名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「子どもの様子をよく見てくれていることが、送迎時の会話でよくわかります」「子どもが先生に寄せる信頼・甘えなどを見ると、日々丁寧に向き合ってくれているのが伝わります」「園児の性格にあわせて指導がされています」「子どもの気持ちを聞き出しながら、進められていると思います」などのコメントがあがっている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	44	12	0	3
44名が「はい」、12名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「職員間には必ず情報が共有されると思うが、外部に漏れたりはないと思います」「朝送る際人が多いと、その場では話にくいと思います」などのコメントがあがっている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	49	10	0	0
49名が「はい」、10名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「日々の登降園時に十分な説明があり、アプリやお便りでも伝えてくれます」「連絡帳や降園時の説明だけでなく、おたよりやアプリの日報などでわかりやすく伝えてくれます」「少し説明不足と感ずることがあり、別の先生に確認し直したことがあります」などのコメントがあがっている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	44	9	1	5
44名が「はい」、9名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「すぐに会議などを開き、その結果もきちんと説明があります」「わからないことは質問して、ちゃんと回答をもらえています」「人によります」などのコメントがあがっている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	18	24	4	13
18名が「はい」、24名が「どちらともいえない」、4名が「いいえ」と回答している。 「定期的にお便りのお便りがきます」「特にお話ししないで」「あまり知りませんでした」「こうした状況にあったことがないが、園の玄関の目につくところに行政のチラシが置いてあるので良いと思います」などのコメントがあがっている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	評点(〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	評点(〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	評点(〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
	カテゴリ1の講評	
	<p>ホームページや保護者会などによって園の理念の周知が行われている</p> <p>法人では「健全な成長と限りない能力の開花」を事業の理念に、「自主自立と友愛によって平和な未来を築くことに意欲的な人間を育む」ことを保育教育の目標として、E.S.H(E: 保育環境の整備、S: 社会貢献、H: 人の質向上)の充実を運営目標として掲げている。法人理念と保育・教育目標はホームページに掲載され、また、保護者に対しては、入園面接や年2回の保護者会などで説明している。職員に対しては、職員会議等で周知を図っているほか、保育運営基本ガイドの全職員への配布や職員名刺に印刷して配布するなどによって周知している。</p> <p>園の目指す理念の実現に向けて経営層のリーダーシップが発揮されている</p> <p>経営層及び園長は、職員配置や園の職務分担を決定し、保育の理念や方針の原則に基づき、リーダーシップの発揮に努めている。園が目指す理念やビジョンの実現に向けて、職員会議などで職員に保育運営ガイドを活用して伝えている。また、様々な勉強会・研修会などにおいても園が目指していることを繰り返し伝えており、クラス担任や各係など職員間の役割分担を明確にして、責任をもって業務に取り組める体制を整備している。重要な案件については、職員会にて説明すると共に、経営者自ら率先することで職員に模範を示している。</p> <p>重要な案件に対する決定の手順が定められ、決定事項の周知を行っている</p> <p>重要な案件の検討や決定については、最重要案件は評議員会、業務執行案件については理事会において審議・決定を行い、運営上の事項は職員会議によって討議され、決定内容と経緯は職員会議などを通じて職員に伝えられている。毎月の園長会はオンラインによって実際されており、課題の討議のほかマニュアルの修正・チェックなども行われている。利用者・保護者に関する決定事項は、ホームページや園内掲示のほか、保護者会、保育支援ソフトのアプリケーション(アプリ)などを使用して伝えてられている。</p>	

上高井戸保育園

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
2 カテゴリー2の講評		
<p>面談やアンケートなどによって保護者や利用者の意向の把握が行われている</p> <p>保護者の意向は入園時の面談や年2回の保護者会、個別面談や連絡帳、登降園時の会話などによって把握している。また、入口に意見箱を設置しているほか、年間を通し個人面談の機会を設け、保護者と丁寧な話ができるようになっている。さらに、行事毎に利用者アンケート調査も実施している。把握された意見や要望については対応できることはすぐに反映している。職員に対しては、定期的に「職員満足度調査」を行い、意向を把握・検討している。また、会議の際に意見や提案を出しやすくして全員で話し合える機会を作っている。</p> <p>地域のネットワークへの積極的な参加を通じて現状把握を行っている</p> <p>園では、杉並区社会福祉協議会が主催する地域公益活動のネットワークづくり連絡会や富士見丘小学校地域子育てネットワーク連絡会、富士見丘中学校地区地域教育連絡協議会、保育園地域懇談会など地域の多くの連絡会に参加し、地域福祉ニーズや事業動向情報を把握している。福祉事業全体の動向については、区の事業概要や保健福祉計画のほか、東京都社会福祉協議会などから情報を入手している。</p> <p>中長期計画を策定し、着実な実行を行っている</p> <p>法人では「風の森アクションプラン2025」として、法人の中長期計画を策定し、また、年度事業計画及び年度収支予算を策定している。計画では、短期・中期・長期とそれぞれの期間に応じて目標を設定し、短期・中期計画では課題を明確化している。園では収支状況などの経営課題を、法人本部と連携しながら必要に応じて職員会議において検討を行うなど計画の確実な実行に努め、計画管理の水準向上を図るとしている。保護者に対しては、年2回の保護者会、クラスだよりを通して年間の目標と毎月の目標を知らせ、事業の透明化に努めている。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ3の講評		
<p>守るべき倫理の周知を図り、虐待防止に向けて様々な対応を行っている</p> <p>園では、「Picoナーサリー保育士マニュアル」に、職員の行動規範やマナーを掲載し、倫理や規範、取るべき行動などについて周知を図っており、行動規範は職員の名刺にも印刷し、常に意識するようにしている。子どもの気持ちを傷つけるような言動、あるいは虐待の防止については、虐待対応マニュアルを整備すると同時に人権擁護のためのセルフチェックリストの活用や外部研修の職員会議での報告などによって周知徹底を行っている。また、虐待を受けている疑いや虐待の事実を把握した際の関係機関との連携体制を整えている。</p> <p>苦情解決の周知に努め、把握された申し出に対して迅速な対応を行っている</p> <p>苦情解決制度については、苦情対応ルールに苦情受付窓口を明記するとともに、苦情対応のルールの配布やホームページへの掲載などによって、苦情解決制度を利用できることを知らせている。また、玄関に「ご意見伺い箱」を設置している。さらに、法人の第三者委員3名を委嘱しており、うち一人は法人の監事の弁護士であり、園の事情を正確に把握して対応ができる体制となっている。保護者からの意見・要望は、連絡帳や口頭で伝えられることが多いことから、申出があったときは、園長に速やかに報告するようにしている。</p> <p>子育て支援事業など地域貢献に努め、地域のネットワークづくりに参加している</p> <p>園では、地域公益活動として、地域の乳幼児のいる家庭向けの子育て講座や子育て広場での無料の出前保育の実施、「子育てメルマガ」の定期的な発信など、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みを行っている。また、学生ボランティアや中学生職場体験、アフタースクールの小学生などを受け入れている。さらに、区の社会福祉協議会が主催する地域公益活動のネットワークづくり連絡会に参画するなど地域と協働できる体制を整備している。</p>		
カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>リスクの優先順位を計画化し、様々な防災対策を講じている</p> <p>園では、「危機管理マニュアル」を整備して危機管理の基本理念と基本方針を明示し、事業所をとりまく様々なリスクについて優先順位に応じた必要な対応を行っている。防災対策では、自衛消防隊の編成と任務を玄関に掲示し、防災訓練などを計画的に実施しており、さらに、今年度は不審者訓練を2回実施し、うち1回は地元警察との協力のもと実施訓練を行うなど、安全・安心の確保に努めている。また、「災害対応マニュアル」に基づいて「事業継続計画」(BCP)を策定し、3日分の食料の確保、園児、従業員分確保するなど具体的な対応を図っている。</p> <p>「危機管理マニュアル」を整備して事故防止に努めている</p> <p>「危機管理マニュアル」が整備され、事故などの発生に備えるとともに、発生した場合は、原因の分析を行い再発防止に努めている。また、アレルギー対応のフローチャートや幼児突然死症候群のお知らせの掲示、アプリを活用した情報提供に努めている。ヒヤリハットは年間15件程度で、確認後に印をつけるほか、園長会で全園の分をまとめて報告する仕組みとなっており、事故報告書は受診したものを区に提出している。新型コロナ対策では、マスクや消毒液の確保を行うと同時に、オンラインでの説明会や少人数での見学会の実施などの工夫を行っている。</p> <p>個人情報の保護及び情報管理が適正に実施されている</p> <p>個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、職員に対して「個人情報保護方針及び規程」を周知し、「情報公開規程」に基づいた運用を行っている。保護者に対しては、入園前に個人情報保護方針の手紙を配布して同意を得るなどしている。実習生、ボランティアにはオリエンテーションで周知し、誓約書を得ている。情報の管理については、備え付け帳票リスト及び保存年限の基準を定め、園と本部が連携して毎年の運用を図っている。電子情報は、パソコンに職員一人ひとりの「パスワードを設定」しアクセス制限を実施している。</p>		
カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>必要な人材が確保され、人事考課制度やキャリアパスが導入されている</p> <p>人材採用活動は年間を通じて行われ、必要な人材が十分に確保されており、園の大きな特徴となっている。園内の配置は、面接で把握した本人希望、経験などのバランスを考慮し適材適所の配置を行い、業務分担表を作成して役割や仕事内容が明確になるようにしている。また、人事考課制度のほかキャリアパスを導入し、業務上の目標や自己の成長目標を立てて達成に励んでいる。新人の育成では、職員配置の基本的な考え方として、経験者と新卒者を組み合わせることで、相互に刺激を受けて成長できる場を作ることとしている。</p> <p>オンライン研修の導入など効果的な研修が有用性を発揮している</p> <p>園では、「人材育成計画」を策定して、キャリアアップ研修プログラムを活用するなど、キャリアパスと連動した研修を行っている。また、本年度から「個人別研修計画」を策定し、個人別面談の内容や職員の希望、研修参加報告などを考慮して計画的な研修を行っている。研修は年8回のスキルアップ研修とオンライン研修の2種類の研修を柱にして実施しており、オンライン研修では200～300種類の講座が系統的に用意され、業務やスキルの標準化に大きく貢献しており、また、特に新型コロナ禍においてその有用性を発揮している。</p> <p>定期的なアンケートによる職員の意向把握や福利厚生の充実に努めている</p> <p>園では、定期的な職員満足度アンケートや個人別面談などによって、職員の意識を把握し、また、自由な話し合いの場づくりに努めるなど、一人ひとりの仕事の質とやる気の向上に取り組んでいる。さらに、チーム活動を奨励するため、園内研修として、職員会議後にテーマを選んでグループ討議を行っているほか、「自主保育活動研究チーム活動支援規程」を設け、勤務時間外に行う保育研究チームの活動に対して手当などを含めて支援を行っている。法人では勤続2か月から5日間の有給休暇が取得でき、また、有給取得率もほぼ100%となっている。</p>		

カテゴリー7	
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
<p>【課題・目標】</p> <p>園では、保護者とのより良好な信頼関係を築き、維持していくために、さらなる取り組みが必要であるとし、園の基本方針である「子育て家族のとの信頼関係を強固に構築する」ことを重要課題として、「保護者とのコミュニケーションを強化する」ことを目標として取り組みを行った。</p> <p>【取り組み】</p> <p>目標の実現に向けて、意見箱や送迎時の会話、行事アンケートなどで保護者からの相談・意見などがあった場合は、クラス会議あるいはリーダー会議において討議・検討を行う仕組みを整備した。実際の取り組みとして、「子どもの普段の様子が見られる機会を作って欲しい」という要望については、希望制で保育見学期間を設けることとし、また、6月中旬からの水遊びの要望に対しては、実行プランの検討を行い来年度からの実施の決定などがある。中でも、子どもの普段の姿が見たいという保護者の要望については、子どもたちから保護者の姿が見えないように保育室の窓に目隠しを貼り、小さな穴から見学するなど工夫して実施した。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>園では、保護者の希望や要望に対して、討議の時間を設定することにより、保護者の意向や要望についての理解が深まり、迅速に対応することができるようになった。</p> <p>また、意見への対応にとどまらず、保育参観の例にみられるように、意向の実現に向けて様々な工夫を行うことで、職員の一層の気づきと専門性の発揮に繋がっており、保護者とのコミュニケーションの一層の深まりや保護者の園の保育や保育士の専門性への理解に繋がっている。</p> <p>園では、今後、こうした取り組みによって得られた経験を地域とのコミュニケーションづくりにも拡大していきたいとしており、期待される。</p>	

評価項目2
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

【課題・目標】

園では、地震・火災の避難訓練は毎月行っているため、職員もスムーズに対応することができているが、不審者訓練については実施回数が少なく、また女性が多い職場であることなどから、さらなる訓練の実施が必要であると考えた。そのため、不審者対応について、いざという時にどの職員も対処できるようにすることを目的に防犯の心構えと実際の対応を学ぶことを目標にした。

【取り組み】

7月と10月に2回にわたって不審者訓練を実施した。1回目は職員で実施したが、2回については、高井戸警察署防犯課の指導の下で実施した。

訓練の実施に際しては、不審者が園に侵入した時の動きや心構えを確認するため、合言葉やその意味についての確認も丁寧に行った。2回目の不審者訓練では警察官が不審者役を演じて、佐須股を使用するなど実践的な訓練を行った。その後、園児向けのDVDによって、実際に不審者に声をかけられたり連れて行かれそうになった場合の対処方法の指導を受けた。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

「安心・安全な園運営」を目指して不審者対応訓練を2回に分けて実施した。警察の方立ち合いの2回目の不審者訓練では、園児も参加して、佐須股の使い方の確認やDVDを使っての学習など、実践的な訓練を行うことで、不審者対応への注意喚起と、実際の行動について改めて確認した。

今後、新入職員の意識づけや継続勤務職員への防犯対策の確認として継続的に訓練を実施していく予定であり、さらに、防犯対策のみならず、安心安全な設備とは何かについて、話し合いを持ち、日々の安全チェックリストなどの見直しも図っていく予定としている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>法人のホームページで理念や教育プログラム、保育園のようすを情報提供している</p> <p>法人のホームページでは、園案内として、教育理念や教育目標、教育方針を紹介しているほか、より具体的に教育プログラム、年間行事、1日の流れなどを紹介している。また、園庭や保育室など当園の園内のようすを写真で紹介。運営法人は地元で70年の歴史を持つ幼稚園を運営してきた学校法人が設立した社会福祉法人であり、専門講師による絵画、体操、英会話、茶道などを特別教育として取り入れていることを紹介している。子育て世代では生活必需品といって良い、スマートフォン向けでも閲覧できるようになっている。</p> <p>オシャレなデザインで簡潔でわかりやすいパンフレットを作成して配布している</p> <p>子育て世代に訴求するオシャレなデザインのパンフレットを作成。「しなやかな心を育み人生を豊かに歩む力を育てる」ことを大切にし、「健全な成長と限りない能力の開花」を理念とし、法律で定めている人員の1.5倍以上の保育士を配置し、家庭的な雰囲気をつくることに力を入れていることなどを簡潔に説明するだけでなく、「使用後のおむつはどうするのか?」「車で送迎可能か?」など利用希望者からよくある質問をQ&A形式で紹介。パンフレットは区役所でも入手できる。</p> <p>定時見学会以外に、随時対応も行い新型コロナ禍でオンライン開催も試行した</p> <p>見学会は6月から毎月3回ずつ開催してきた。予約はホームページから行うことができ、デジタル世代の保護者には便利であった。設定した日程や時間で都合がつかない場合は、随時対応するなど見学会対応や希望者の問い合わせは最優先で対応している。令和2年は、新型コロナ禍で見学会が開けなかったが、秋から少人数グループ単位として再開。オンラインでの見学会を企画したり、園内の様子をバーチャルリアリティで見られるようにしたりした。接触を避けるため質問・相談は電話で受けるようにするなど、感染症予防への取り組みを示した。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>入園時の保護者面談で重要事項について丁寧に説明し、同意を得ている</p> <p>入園時の保護者面談では、入園のしおり(重要事項説明書)を用いて、個別に丁寧に説明している。しおりには、毎日のプログラム、登園時、降園時のルールや出欠の場合の連絡方法、延長保育、登園時に必要なものなど日常の保育についてのほか、災害等の場合の緊急時の対応、苦情の連絡先も説明している。職員により説明に差が出ないように、職員用のしおりの重要か所の色を変え、事前に打ち合わせをして共有している。面談終了時に保護者の同意を得ている。面談時に、アレルギーの有無、睡眠の姿勢など園児の個別情報を聞き取り記録している。</p> <p>慣れ保育の日程は、子どもや親の状況をみて個別に対応している</p> <p>慣れ保育の目安は、1歳児が5日間、2歳児は3日間で徐々に保育時間を伸ばして行っていく。保護者の復職時期や就労状況、子どもの集団保育の経験や慣れ具合などをみて、個別にスケジュールを組み対応している。入園式翌日から通常保育となる3歳児以上の子どもでも、初めての集団生活で不安がある場合は、個別スケジュールを組んで慣れ保育を行っている。朝夕の受け入れ、引き渡し時に園と家庭のようすを細かく伝え合うほか、年間を通じ個人面談の機会を設けることで、情報の共有を密にし、子どものストレスが減るように工夫している。</p> <p>就学前教育と小学校教育の連携を計画に位置付け、取り組み始めている</p> <p>令和元年、当園では初めて卒園生を小学校に送り出した。就学に向け、年長クラスは保護者会や個人面談で、保護者の不安や心配に寄り添うようにした。近隣の小学校のイベント時に遊びに行くなど子どもがスムーズに学校に移行できるよう体験も行った。今年も、5歳児の保護者全員に面談の実施を予定している。卒園後も様子がわかるよう運動会では、卒園生向け競技を行う予定だったが規模が縮小されたため実現できなかった。就学前教育と小学校教育の連携ができるようにすることを5歳児の「全体的な計画」に位置付けている。</p>		

サブカテゴリー3		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	12/12
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリー3の講評			
<p>「全体的な計画」をもとに、年、月、週単位で計画を策定し、適時、評価、反省している</p> <p>法人の理念である「健全な成長と限りない能力の開花」を最上位の目標とし設定した保育方針、保育目標に基づき、毎年度、「全体的な計画」を策定している。「全体的な計画」に基づき、養護や教育のほか、食育も加え各分野ごとに子どもの年齢毎にすり合わせ目標を設定し、年間指導計画を策定。5歳児では、小学校接続も目標としてあげている。毎月1回の会議で、その時の子どものようすに配慮した月次指導計画を策定、それをもとに週次計画をつくっている。計画は終了時に自己評価、反省を行い、次の計画策定に活かしている。</p> <p>計画は保護者会で説明、毎月策定される月次計画は、お便りで保護者に伝えている</p> <p>クラス便りでは、年間のねらいと、月ごとのねらいを保護者に伝えている。入園直後の1歳児クラスの4月のねらいは、保育園の環境や生活リズムに慣れる、好きな遊びを見つけ、自ら遊ぼうとする。保育士に対して親しみをもち、積極的に関わろうとする、の3項目で、保護者にわかりやすい目標設定と言葉使いになっている。年2回の保護者会でもプロジェクターや資料をつかって説明している。担任がつくった週次計画は、各クラスに貼り出されており、パート保育士にも共有されている。</p> <p>クラスを超えて職員の情報共有がさらに進むよう、今年度から昼ミーティングを開催した</p> <p>各クラスでは、園児の個別担当はつくらずに、担任全員で情報を共有できるように、クラス全体で会議を行い記録や指導案を作成している。今年度からクラスをまたいで毎日の情報共有が密になるように、午睡の時間を利用して、昼ミーティングを実施するようにした。各クラスから1人ずつが参加し、その日の各クラスの保育の様子、伝達事項を共有。出席しなかった職員にも書類で共有した。延長保育で、担任不在時の引き取りにおいて、伝達事項に漏れがないように引き継ぎ簿をつくっている。会議簿を回覧によって、情報は全保育士間で共有できている。</p>			

サブカテゴリ5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ5の講評		
<p>着替えのときには、一枚ずつ取り替え、全裸にならないよう配慮している</p> <p>園では様々な場面で、子どもたちの羞恥心に気を使って日頃の保育を行っている。着替える時には、順番に着替えるように指導し、全裸にならないよう配慮している。おむつ替えの時に、他の子どもに気づかれにくいよう大きな声で言わないようにして、決められた場所で行っている。保育園は都営住宅の中にあり、園庭が通路に面していることから、プライバシーに配慮して、プール遊びの際には、上下が隠れる水着、または、上半身にTシャツを着て遊ぶようにしている。</p> <p>職員が多くゆとりがあり、子ども一人ひとりひとりに向き合うことを可能にしている</p> <p>保育士の各クラスの配置人数が国基準より多いだけでなく、特別教育の時間には、専門の講師も現場に入っている。そのため、1日の記録を終わらせて、定時で帰宅できる環境があり、保育士にゆとりがあり、子どもたち一人ひとりに向き合う保育を可能にしている。「定時で仕事を終了できるように代わりの人が保育に入ってくれる」「幼児でも二人担任で、休んでもフォローしあえる」「保育現場から離れて休憩がとれる」など、職員からも労働環境に対する評価は高く、質の高い保育に繋がっていると考えられる。</p> <p>虐待対応はマニュアルを作成、外部研修を受け職員で共有している</p> <p>外部研修を受けた職員が、会議で学んだことを報告したり、報告書を閲覧したりしている。法人が作成した虐待対応マニュアルがあり、事務所の中の職員がいつも手に取れる場所に保管しており、必要な時に閲覧できる。現在、多様な保育事業としては、延長保育のみを行っており、育児困難家庭への支援は行っていないが、公的な施設であり、開園から一定時間も経過していることから、地域課題を探り、積極的に解決に向けて取り組んでいく必要があると思われる。</p>		

サブカテゴリ-6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-6の講評		
<p>各種マニュアルが整備されており、いつでも職員が閲覧できる場所に保管されている</p> <p>保育士に関しては、法人としてPicoNursery保育士マニュアル、保育運営基本ガイドがある。前者はマナーについて、後者は保育内容、給食、安全・衛生・健康管理、個人情報・情報公開・職員配置、苦情対応、保護者とのコミュニケーションなどに関するマニュアルである。社会情勢や保護者の希望により、毎年見直されている。このほか、危機管理・健康管理マニュアルとして、災害対応、けが・事故対応、不審者対応、散歩対応など12種類のマニュアルがあり、いつでも閲覧可能な場所に保管されている。</p> <p>保護者からの意見や改善提案を見過ごさず改善につなげる仕組みがある</p> <p>令和元年度からは、行事アンケート結果や、日常の連絡ツールである連絡帳や送迎時の保護者との会話などから意見があった場合、職員会議にあげるかをクラス会議、リーダー会議で議論するようにした。玄関に意見箱を設置し、無記名でいつでも園に意見がしやすいようにした。投函があった場合は、伝達だけに終わらずに、職員会議で実現できるか、その場合どうできるようにするかを議論することとした。普段の子どもの様子を覗き見できる新しい保育見学会の開催につながった。保護者の評判もよく、サービス改善に効果があった。</p> <p>マニュアル化できない「保育」の質向上に向け、職員教育に力をいれている</p> <p>「保護者への対応」などはマニュアルで、標準化を図ることはできるが、保育の質の向上にはつながらない。法人が最も力をいれているのが人材育成である。法人では、職員に期待することとして、保育に関する質を高める不断の努力を続け、プロと呼ばれるのに相応しい保育士になることをあげている。2020年度の事業計画では、職員の専門知識の向上、幅広い人間性の成長を運営目標に位置付けた。これまでも独自のスキルアップ研修を行ってきたが、今年度からはオンラインで個人の適性にあった研修を立案、実施できる体制を整えた。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
		35 / 35	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(000000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>週次指導計画を策定しクラスごとに子どもの発達や状況を各会議を通して共有をしている</p> <p>毎週策定している子どもの成長に沿った週次指導計画を毎日の屋ミーティング、リーダー会議、全体職員会議を通して全園児に関して情報共有をして保育をしている。屋のミーティングには各クラスから出席できる保育士が参加しており、クラスごとの活動や共有すべき情報を日々伝えて全体的な姿を把握できるようにしている。クラスでは、子どもの発達や興味を把握して、毎週遊びのねらいなどのもとに週次指導計画を策定して、保育室に掲示している。利用者調査の「保育内容に関する説明はわかりやすい」との回答は83%にのぼる。</p> <p>主体的に活動できるように職員配置のメリットを活かし子どもの関心を引き出している</p> <p>園の職員配置は規定の1.5倍となっており、この余裕を持った配置を活用して子どもとの関わりを深めて主体的に活動できるように働きかけている。おもちゃを始終出しておけないため、子どもは遊びを創出し、自然発生的に関心のある遊びが生まれている。例えば美容師さんごっこがある。ポリ袋をケープにして客と美容師のやり取りをするなど、遊びが充実できるような保育に取り組んでいる。子どもの発想から様々な遊びが生まれ、子どもの感性や独創性を伸ばす保育を心掛けて、余裕の中で子どもの成長、発達に取り組んでいる。</p> <p>自然体で異年齢児保育ができており、互いに思いやる心を育てている</p> <p>新型コロナ禍で区からの指導もあり、積極的な異年齢児保育はできていない。現在は朝、夕の合同保育で自然に異年齢児保育となっており、その機会を大切にしている。朝7:30~8:00、夕18:00~19:30までがクラス交流の時間になっている。兄弟がいない子どもは遊びが豊かになり、年下の子どもとの交流で接し方を学べる機会となっている。年齢の異なる子どもと関わりながら相手を思いやる気持ちが芽生え、年上の子どものすることを真似るなど成長段階でお互いに学びの多い時間になっている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(0000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当
評価項目2の講評			
<p>保育園と家庭での生活が連続性があるように情報共有、伝達は日々行っている</p> <p>日中の保育園生活、夕方から朝登園までの家庭生活に連続性があるように、園では様々なツールを使って子どもの様子を知らせている。朝登園した時に保育士は子どもの顔色、様子を観察し健康か、傷はないか声をかけながら確認をしている。子どもの午睡中にクラスごとに保育の様子がわかる写真とコメントをアプリを使って保護者に配信している。夕方のお迎え時にはその日の子どもの様子を口頭で伝え、乳児には連絡帳でも様子を伝えている。お迎え時に担当の保育士に会えない場合は引き継いだ保育士が伝えて子どもの生活に連続性を持たせている。</p> <p>子どもの状況、家庭の事情を勘案し食事やトイレトレーニング等への助言をしている</p> <p>園での子どもの姿を口頭で日々伝えており、園便りなどを通して食事や健康面の情報を保護者に伝えている。給食便りでは栄養士が「お子さんとのご飯の時間について」ちょっとしたアイデアを出して、子どものマイナスにならないように助言をしている。食生活が乱れていると思われる保護者には子どもの好きなレシピを作って渡している。トイレトレーニング中の場合は連絡帳や口頭で保育園での状況を伝えて、連続性をもってつながるようにタイミングの大切さを引き継いでいる。基本的な生活習慣については保育園、家庭と協力のもとに支援をしている。</p> <p>午睡時間を調整するなどして個々の子どもの生活のリズムに配慮している</p> <p>朝の子どもの様子や保護者からの情報で十分睡眠がとれていないことがわかると、保育士は睡眠の時間の確保を考慮して保育をしている。食事がすすむと早めに午睡に入ること多い。また年長クラスは小学校進学を控えていることから、保護者と相談しながら夏頃から徐々に午睡時間を減らし、横になっても眠らないようにしている。子どもの1日を考えて、生活のリズムが崩れないように必要な休養や午睡時間を入れながら保育をしている。家庭の生活習慣は子どもへも影響しており、保護者と情報共有をして園と家庭で一緒に取り組めるように助言をしている。</p>			

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの自主性を尊重して、遊びこめる時間を大切にしている</p> <p>保育士は経験から子どもが興味を持つことを知っており、年齢に応じた玩具などを手に取れる場所に置いておき、例えばブロックなど、やりたい気持ちになるように働きかけている。それが自主性や自発性につながっている。自由遊びの時間の中で、ブロックに夢中になっているが、時間がきて中断せざるを得ない場合、保育士はそのブロックを壊さずに保管して置き、次の遊びの時に続けられるようにしている。子どもが興味を持って遊べるように、子どもの気持ちを尊重し、遊びこめる時間を大切にしたい保育をしている。</p> <p>子どもは好きなゲームをしながら他児に興味を持ち、認める気持ちを育んでいる</p> <p>子どもは様々なことに興味を持ち取り組んでいる。近年は椅子取りゲーム、フルーツバスケットや神経衰弱などのゲームに関心があり、大好きなものひとつになっている。椅子取りゲームでは、なかなか椅子が取れずに悔しい気持ちになる子どももいるが、そんな子どもの気持ちを察して、一所懸命に応援している。自分が椅子をとるだけでなく、椅子が取れない友達を認めて応援をする。他児に興味を持つことから始まり、保育士が仲立ちをしながらか他児との関わりを心地よいものにして、自然と集団の中で自ら関わるようになっていく成長を支援している。</p> <p>子どもの発達に合わせた特別教育プログラムを取り入れて子どもの興味を広げている</p> <p>園では専門講師を招いて、専門でなければできないカリキュラムを組んで、5つの特別教育プログラムを提供している。それぞれ目的をもって行っている。リトミック、体操、英会話、絵画指導、茶道に子どもは毎月1～2回参加し、子どもの知的好奇心に働きかけさまざまな潜在能力を引きだし、才能を伸ばす機会になっている。日本の文化に触れる茶道は、同法人の幼稚園内にある茶室へ散歩がてら出向き、わかりやすい言葉で茶道と共に挨拶の仕方、和室での座り方、おもてなしの心を学び、床の間の意味を知るなど興味の幅を広げている。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>自然に親しみながら、収穫の喜びを感じる行事を実施している</p> <p>園の近くには玉川上水があり、上水沿いの散歩道や近くの公園は四季の移り変わりが感じられる自然豊かな地域になっている。散歩の途中で落ち葉やドングリを拾い、製作に活用するなど子どもは自然を楽しみ、行きかう地域住民と挨拶を交わし、行事への協力、参加をスムーズにしている。自然の楽しみ、収穫の喜びがわかる芋ほりは、収穫した芋を味わうという2重の楽しみになっている。毎年芋ほりの時期になると、同法人内の幼稚園が所有しているバスを借りて近隣市に出かけている。行事ごとに「今の子どもたちの姿」から「ねらい」を考えて立案している。</p> <p>地域の商店街や消防署の協力を得て行う行事を楽しんでいる</p> <p>子どもが衣装を作って商店街をパレードするハロウィンのは、商店街だけでなく近隣の企業や消防署の協力を得て実施している。事前に消防署などにお菓子を渡しておき、子どもは手作り衣装を身につけてお菓子をもらいに行く。企業や消防署の職員もハロウィンの衣装を着て出迎えてくれて交流をしており、地域と共に行う行事の一つになっている。また縁日や餅つきに近隣住民も参加して、一緒に子どもの成長を見守る地域性がある。地域と一緒に子育てをしている環境があり、行事後の振り返りは次に活かせる話し合いになっている。</p> <p>新型コロナウイルス禍で制限を設けながら開催した運動会に対して保護者からの反響は高かった</p> <p>今年度は新型コロナウイルス禍で多くの行事をとりやめ、子どもの送り迎えの形も制限された状況で保育をしてきた。秋になり、子どもの成長を見てほしいと考え、安心、安全に運動会を行う工夫をしての開催を決定した。参加できる家族は2名まで、近隣住民は招待しない、競技も新型コロナウイルス禍に配慮し少なくするなどぎりぎりの中での開催だったが、行事終了後の保護者のアンケートでは沢山の感謝の言葉をいただいている。いつも保護者からの感想、意見、要望に耳を傾け次につなげるステップにしているが今回は開催への感謝が大多数だった。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○非該当
評価項目5の講評			
<p>できるだけ長く自分のクラスで過ごすようにして合同保育の楽しみも設けている</p> <p>ある程度の人数に減少するまではなるべく長く、自分のクラスで過ごすようにしている。延長保育担当職員には漏れないようにクラス担当職員から引継ぎ簿と口頭で子どもの様子を伝え、子どもがゆったりした気持ちで合同保育に移れるように配慮している。延長保育担当職員の1人は子育て支援のパート職員で固定されており、そこにシフトで職員が交代で配置されている。日頃から長時間保育の子どもと意図的に関係性を構築する機会を持ち、担任以外の職員が合同保育時間の担当になった場合でも不安がないように年度当初から取り組んでいる。</p> <p>合同保育を行う部屋は家庭的な雰囲気ですっきり過ごせる環境整備をしている</p> <p>合同保育の部屋は家庭的な雰囲気ですっきり過ごせるようにカーペットを敷くなど工夫をして環境整備をしている。子どもはカーペットにごろんと寝転がったり、職員とマンツーマンの遊びをしたり、膝の上で絵本を読んでもらうなど安心感のある時間はやすらぎにつながっている。子どもが順次降園していく中で、不安な気持ちにならないように職員は常に寄り添い、合同保育では自分のために絵本を読んでもくれる、特別な玩具で遊べるなど楽しみもある。いつも同じ職員がいることで子どもは安心感をもって過ごせるようになっていく。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当
評価項目6の講評			
<p>行事食や郷土料理を取り入れて子どもが食に関心をもち楽しめるように援助をしている</p> <p>子どもの年齢に応じた机と椅子を用意し、個々の子どもに合わせて足置きや背もたれで調整して、落ち着いて食事ができる環境整備をしている。子どもの発達に合わせて食材の大きさを変えたり、季節や行事が感じられる献立や郷土料理、世界の国の料理や絵本に出てくる料理など趣向を凝らしている。由来を聞いて食事が楽しいものと感じられる工夫をしている。毎日昼食とおやつを玄関に展示して、子どもとの会話のきっかけ作りにもなっている。残菜調査から選んだ人気のある献立は、レシピにして保護者が自由に持ち帰ることができる。</p> <p>毎月食育を行い、子どもが食べる楽しみを得られるように取り組んでいる</p> <p>栄養士と保育士が相談をして毎月食育を実施している。箸の持ち方やマナー教室、手作り味噌作りなどのほかにプランターで野菜を栽培したり、部屋の中でキノコを育てたりしている。毎日水をやりながら野菜の成長を楽しみに観察をしながら興味や愛着を持つようになっている。自分たちで育てた野菜を調理して食べているが、苦手な野菜も自分たちが育てたことで食べる効果もある。給食便りでは、食材をテーマにしたお話をストーリーメニュー物語として連載し、絵本に登場する料理を再現するなど子どもの食への関心を高めている。</p> <p>アレルギーのある子どもに対して、医師の意見に沿って丁寧に対応している</p> <p>アレルギーのある子どもについては主治医から「アレルギー疾患生活管理指導表」を提出してもらい、アレルギー病型、原因食物、除去根拠、園での生活上の留意点など詳細な診断と指示を受け、それをもとに保護者に確認して対応している。保護者とのアレルギー面談内容は記録として残しており、献立についても除去や代替メニューで対応して、その都度保護者の確認を得ている。食事の場面では、アレルギーのある子どもはトレイやエプロンの色を変え、配食時は調理員、保育士が再確認し席を少しずらして間違えないように工夫をしている。</p>			

7	<p>評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>感染症予防は日常となり、手洗い歌で手を洗うなど指導は徹底している</p> <p>新型コロナ禍の中、従来よりも感染症予防の取り組みは厳重となっている。手洗いは乳児クラスの子どもの一人ひとりに丁寧に伝え、幼児クラスの子どもの看護師がついて伝えている。手洗い手順を絵に書いて貼りだし、手洗いの歌を歌いながら手を洗うと手首まできれいに洗えるようになっている。子どもは真剣に、しっかり手洗いをしている。万が一、感染症が出た場合はアプリで情報を発信して全保護者に一斉に伝達ができるしくみがある。新型コロナ禍の影響で保護者が園内に入れられない等平常と異なる環境の中で子どもの健康を守っている。</p> <p>看護師と連携して子どもの健康管理、情報共有をしながら保育をしている</p> <p>入園前にそれまでにかかった子どもの病気やアレルギーの有無などについて聞き取っており、毎月の内科検診でも看護師は園医と連携して健康管理をしている。園では看護師が子どもの健康に関して日々活躍している。眼科健診等専門医の健診時の付き添い、日々のけがや体調変化への対応、身長・体重測定記録、嘔吐処理など看護師の職務は広く、保育士や保護者と連携して子どもの健康管理や健康維持につとめている。毎月「保健だより」を発行して、感染予防や投薬など最新の情報提供をして注意を喚起して子どもの健康を守っている。</p> <p>SIDSについては職員間でも共通認識を持ち、子どもの健康維持に努めている</p> <p>乳幼児突然死症候群(SIDS)に関しては保護者の関心も高いため常に玄関にお知らせを置いてある。保育士も午睡チェックで予防に努めている。SIDSについては職員間でも予防のために日々チェックをして注意をしながら見守る体制ができています。午睡が始まると、室温・湿度を確認し、顔色・呼吸・熱感・体位を1、2歳児10分おき、3歳児は30分おきに観察し記録している。また日常生活で子ども自身が身を守ることができるように毎日遊びの前に遊び方や注意事項を伝えて安全に対する意識付けを行っている。</p>		
8	<p>評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇〇)</p>	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の状況、家庭の事情に合わせて柔軟な対応をして保護者の負担軽減に配慮している</p> <p>入園前の面談等で家庭の状況や家庭事情を把握し、いくつかの会議を通して職員間で共有をしている。延長保育や土曜受け入れなど柔軟な対応をして保護者の負担軽減に協力をして、子育て支援をしている。日々の何気ない会話の中から子育てへの不安を感じたときは、子どもの発達や成長に関して共通認識を持てるような会話をつないで、保護者から安心して話をしてもらうように働きかけている。毎日の送迎時に話をする機会を意図的に作りながら、保護者との関係構築につとめて細かなことでも話ができ、保護者の不安軽減になるようにしている。</p> <p>年度初めの保護者会で自己紹介等話す時間をとり、お互いを知る機会にしている</p> <p>毎年、年度初めの保護者会ではゆっくり時間をとって保護者の自己紹介や子育ての悩みを話す機会を作っている。他児と比較して心配し、年齢に応じてできないことを悩むことがないように保育参観や行事の際にも保護者同士の交流の機会も作っている。専門的な相談機関に行くまでもないが日々気になる事がある保護者は多く、同じ立場で話をして自分を納得させたり、保育士から助言をもらうなど日常的なやり取りで安心し、前に進む力を与えられている。園は保護者の子育て支援として有効に機能している。</p> <p>毎日保育支援ソフトで子どもの様子を配信するほか、送迎時には必ず会話を交わしている</p> <p>園から子どもの毎日の姿を保育支援ソフトアプリで発信して保護者に日常を伝え、日々の活動への理解を深めている。アプリだけでなく、登園時や降園時には保育士は保護者としっかり目を合わせて会話をし、その日の子どもの様子を口頭で伝えている。降園時に担当の保育士が不在の場合は引継ぎ簿に記録された内容を保護者に伝えている。乳児の場合は連絡帳のやり取りがあり、毎日保護者と文章で交換している。園からの情報、子どもの様子は伝えられており、利用者調査からも園への信頼感やわかりやすい説明が評価されている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>都営住宅の1階にあるメリットを活かして住民との交流は身近なものになっている</p> <p>園は都営住宅の1階にあり、その掲示板を活用して園の行事の案内やチラシを貼ったり、自治会長への発信もあり、日頃から気にかけてもらっている。保育士は法人カラーの制服があり、散歩の途中でもすぐにごこの保育園と地域住民にはわかっており、お互いに挨拶を交わしている。園の周辺は住宅に囲まれており、閑静な道や玉川上水沿いは自然に恵まれた環境にもなっている。住民だけでなく地域から保育補助のためにボランティアも来園して活動しており、昭和36年開園という歴史の長さも地域に根付いている一因と思われる。</p> <p>園の行事に協力してもらったり参加してもらうことで日常的なつながりは強まっている</p> <p>今年は新型コロナ禍のために極端に縮小して開催した運動会であるが、例年は地域住民や入園前の子どもを持つ保護者などを招待している。近隣住民や商店街と一体となって行っているハロウィンやクリスマスや餅つきには地域住民が参加して子どもは楽しい時間を過ごしている。近くの保育園や小学校とも交流をするなど保育園以外の人との交流も活発である。保育園だけでは体験できないことを地域住民の協力を得て経験し、子どもは生活の幅を広げている。園としては地域に発信をして、今以上に関わりが増えるような取り組みを考えている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している
タイトル①	ICT化の取り組みに力を入れ、新型コロナ禍の基、有効性を発揮している	
内容①	園では、いち早くICT化への取り組みを行っており、インターネットを利用した会議や研修システム、保育支援ソフトのアプリを導入している。アプリでは、保護者への迅速な連絡が可能となるほか、日々の保育の様子を動画で保護者や祖母、祖父など離れた家族にも配信している。とりわけ、今年度は新型コロナウイルス感染予防の為、予定していた保育参加・参観は実施できなかったこともあり、保護者の評価は高い。さらに、研修システムも含め、いずれも現在の状況への対応としての有効性を発揮している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	2-1-1	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している
タイトル②	職員の意向把握に力を入れ、園が一体となって事業を推進する取り組みを行っている	
内容②	園では、人事考課制度を導入して面接を行い、本人の意向や希望を把握して業務上の目標や自己の成長目標を立てて育成に努めると同時に、適材適所の配置を行っている。さらに、職員アンケートに力を入れて職員の意欲、満足度の分析を行っている。このアンケートは定期的実施され、園が一体となって事業を推進できる大きな力となっている。一方で、第三者評価に伴う職員自己評価においては、人材育成や意欲の向上に関する項目が比較的低い評価となっていることから、より一層の職員の意向把握と丁寧な説明に期待したい。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル③	人材の一層の定着と質の向上を図るため様々な取り組みを行っている	
内容③	園では、残業がなく有給休暇も順調に消化できるなど、離職率が低く充実した人員体制を作り上げている。また、園内スキルアップ研修やオンライン研修などにより、質の高い職員の育成を行っており、効果的な採用活動と合わせて質・量ともに十分な人材の確保と養成が行われている。また、地方出身の職員も多いことから、住宅の補助制度を活用するなど福利厚生充実の充実を努めており、さらに、非常勤職員に対しても、子どもたちの情報を会議などで報告し合い、議事録を回覧するなど、園の保育の状況の共有に努め一体感の醸成に努めている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	研修の充実に努め、職員の能力向上に取り組んでいる
	内容	園では、職員の要望に基づき、様々な方法による教育プログラムを実施している。柱となるのは、年8回のスキルアップ研修とオンライン研修の2種類の研修であり、中でもオンライン研修は今年から始めた取り組みであるが、新型コロナ禍においてその有用性を発揮している。オンラインでの研修は概ね30分程度を一講義として200～300種類の講座が系統的に用意され、いつでも繰り返し受講することができ、業務やスキルの標準化に役立つなど、園の求める専門職としての人材の育成に貢献している。
2	タイトル	特別教育プログラムを保育計画に取り入れて様々な分野の経験をする機会があり、子どもの関心の幅を広げている
	内容	法人では0～9歳をしっかりと土台を作る時期と捉えるシングルエイジエデュケーション教育を実施している。その一環として目的を持った特別教育プログラムを実践しており、子どもは様々な経験をして関心の幅を広げる機会になっている。専門講師が子どもにわかりやすい言葉かけをして理解を深めている。リトミック、体操、英会話、絵画指導、茶道など各々月に1、2回実施して、情操を育てる、体幹機能を伸ばす、国際感覚を養う、日本の文化に触れるなどの経験を通して楽しみながら様々な感覚を自然と身につけている。
3	タイトル	子どもが関心を持つことを保育士は専門的経験から認識して、子どもの新たな取り組みを導き出すような働きかけをしている
	内容	1、2歳児の保育は個人の成長に合わせて行っているが、3歳児からは集団生活の中で社会性を養いながら子どもの創造性や仲間意識を育てている。十分な職員配置がされており、子どもの可能性を引き出す余裕を持った保育をしている。いつも玩具があるわけでない環境の中で、子どもは遊びを創出して他児も巻き込み、目の前にあるものを利用して新たな遊びをしている。最近は美容師ごっこだが、ポリ袋でケープを作るなど保育士は子どもの創造力や発想を導き出せるような働きかけをしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	ヒヤリハット記録の記入基準の整理、集計分析の実施などリスクマネジメントの一層の充実に期待したい
	内容	園では、「危機管理マニュアル」が整備され、事故などの発生に備えるとともに、発生した場合は、原因の分析を行い再発防止に努めている。また、アレルギー対応のフローチャートや幼児突然死症候群のお知らせの掲示、アプリを活用した情報提供に努めている。一方で、ヒヤリハットについては園長会において法人傘下の全園の分をまとめて報告するしくみとなっているが、年間15件程度と少ない。今後、ヒヤリハット記録の記入基準を定めて集計・分析を行い、傾向を把握する仕組みを整備するなどヒヤリハットの一層の活用に期待したい。
2	タイトル	2014年度から矢継ぎ早に6園を開設してきたが、待機児解消の施設整備は一段落しており、量から質へ、本格的な転換を図る必要がある。
	内容	法人では、今年4月に6か所目の新規保育園が開設し、2014年度からの量の拡大はひと段落した。上高井戸保育園は、勤続年数2年と組織が若い。新規施設開設時には、職員の異動などで少なからず影響があった。今後は法人として量から質へと明確に転換を図るべき時がきている。上高井戸保育園は、令和7年度には、現在の運営法人に移管され、民営となることがきまっている。久我山地域では、母体となる学校法人が70年の歴史をもつ幼稚園を運営、4か所の保育園が集中しており、教育と保育の連携で新たな子育て支援モデルを示す可能性に期待する。
3	タイトル	保護者、子どもが登園、降園時に使用している玄関先に落下防止だけでなく雨天時に雨で濡れないように降水対策をすることが望まれる
	内容	都営住宅の1階にある園のため、落下防止のための庇が園の庭に向かい設置されている。新型コロナ禍の影響で各クラス、園庭側から保育室前にて子どもの引き渡しをしている。建物に沿って一直線に金網状の太い鉄で庇が取り付けられており、洗濯ばさみのような小さな物でも落下しないようになっているが、網目を通して雨は降込み傘を差しながらの引き渡しにならざるを得ない。雨が漏らない材質の屋根を付けて安心して子どもの引き渡しができるような環境整備が望まれる。東京都は落下防止に視点を置いているが、各保育室前の雨対策が必要と思われる。

(7) 高井戸保育園

調査対象

園児全世帯の保護者を対象とした(複数の在園児がいる場合は、最年少の児童に対する回答をお願いした)。

調査方法

アンケート方式
園からアンケート用紙を配付してもらい、回収は評価機関へ直接郵送、もしくは園内に設置した回収箱へ投函とした。

利用者総数

96

利用者家族総数(世帯)

82

共通評価項目による調査対象者数

82

共通評価項目による調査の有効回答者数

62

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

75.6

利用者調査全体のコメント

調査対象世帯82世帯中、62世帯から回答を得ることができた。満足度が高かった項目としては、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」「職員の接遇・態度は適切か」などがあげられる。

総合的な満足度では、「大変満足、満足」が59名、「どちらともいえない」が3名であった。「季節の行事や異年齢同士の交流など、子どもの成長に有意義な経験ができる取り組みを積極的に行っていると感じます」「先生方が優しく愛情を子どもに注いでくれるのを感じます。しっかり子どもと向き合ってくれて感謝しています」「保育内容や食育に関する内容は、とても満足しています」「子どもが毎日楽しそうに登園しているので、安心して預けられます」「先生方は子どもが楽しめるよう色々工夫してくれていると思います」「給食もおいしいようで、しっかり食べています」などのコメントのほか、「先生方とあまり話せる時間がなく、園での子どもの様子を聞ける機会が少ないです」などの声も寄せられている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	62	0	0	0
<p>回答者全員が「はい」と回答している。 「表情が豊かになり、動きも活発になりました」「周りのお友達と接することで社会性を身に付けられると思っています」「泥んこや体を使っての絵の具遊びなど、五感を大切にしてくれていると思います」「保育園でたくさん刺激を受けて、言葉や生活能力の成長が著しいです」「園庭の畑やプランターで野菜を育て、実際に収穫してその場で食べさせてくれていることに感動しました」などのコメントがあがっている。</p>				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	61	1	0	0
<p>61名が「はい」、1名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「毎日楽しそうにその日にあったことを話してくれます」「年齢に合ったできることを色々させてもらって助かります」「園庭で野菜を育てたり、室内で虫やメダカを飼育したりと自然と触れ合う活動が多くて良いです」「毎月の絵本が一新され、毎日読み聞かせをしてもらえます」などのコメントがあがっている。</p>				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	57	3	0	2
<p>57名が「はい」、3名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「子どもに合わせて提供してくれています」「献立はいつも和食メインで、体に良さそうなメニューが多く助かっています」「出汁や香りを大切に、工夫もされていて、母子ともに喜んでいきます」「魚のメニューが多いところが良いです。もう少しメニューのバリエーションが多いといいなと思います」「行事食もあり子どもも喜んでいきます。アレルギーにも丁寧に対応してくれます」などのコメントがあがっている。</p>				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	55	4	3	0
55名が「はい」、4名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「庭があるので、毎日外でちゃんと遊んでいます」「戸外遊びの話がよく会話に出てきます」「だんご虫を捕まえたりセミの抜けがらを集めたり、水遊びしたり楽しそうです」「コロナの影響でいろんなことが制限されていると思います」「コロナの影響で行事はなく、公園遊びもできていません」などのコメントがあがっている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	45	8	1	8
45名が「はい」、8名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「対応にはとても満足しています」「必ず子どもの体調を確認した上で、快く受けてくれ助かります」「先生方は柔軟にしっかりサポートしてくれて感謝しています」「急な延長は昼前までに連絡する必要があるのですが、その時間に連絡できない人は利用しにくいです」などのコメントがあがっている。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	54	4	4	0
54名が「はい」、4名が「どちらともいえない」、4名が「いいえ」と回答している。 「危ないと感じたことがないです」「常に玄関は鍵がかかっています」「朝は入口のオートロックが開いているので、便利だがやや不安に感じることがあります」などのコメントがあがっている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	36	16	2	8
36名が「はい」、16名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「どうしても参加してほしい行事は年度初めに説明があるので、助かります」「運動会の対応は工夫されていると思いました」「保護者会がタ刻なのはありがたい」「平日は参加が難しい」などのコメントがあがっている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	55	6	1	0
55名が「はい」、6名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「迎えに行くとき必ず園での様子を先生方が話してくれるので助かっています」「先生方はとても話しやすいです」「日常的にきちんと話してくれるので相談しやすいです」「コロナの影響で、職員との面談や相談機会はありません」などのコメントがあがっている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	59	2	1	0
59名が「はい」、2名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「トイレなどもとてもきれいです」「いつも丁寧に掃除されていると感心しています」「建物自体の古さはありますが、掃除で清潔に保ってくれていると思います」などのコメントがあがっている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	60	2	0	0
60名が「はい」、2名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「とても良いと思います」「優しく素敵な先生達ばかりです」「とても品があり、エプロン姿が家庭的で良いです」などのコメントがあがっている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	56	5	0	1
56名が「はい」、5名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「必ず伝えてくれます」「小さなことでもきちんと伝達してくれてありがたいです」「けがをしたり体調が悪くなると電話して、どうするかこちらの気持ちを優先してくれます」「けがをした時は帰りにどの辺りをけがしたか見せてくれて、担任ではない時もきちんと対応してくれています」などのコメントがあがっている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	40	15	2	5
40名が「はい」、15名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「きちんと報告してくれます」「先生によって説明が足りないと感じることがありました」「職員からではなく子どもから聞かされることが多い」「そういう経験がありません」などのコメントがあがっている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	55	7	0	0
55名が「はい」、7名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「子どもの気持ちを汲み取ってくれるので、先生方が子どもは大好きです」「きちんと気持ちに共感しつつ話してくれます」「子どもの気持ちに付き合ってくれていると感じます」などのコメントがあがっている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	51	4	0	7
51名が「はい」、4名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「守られていると感じます」「他の子のプライベートな話をされることもないので、守ってくれていると思います」などのコメントがあがっている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	53	6	3	0
53名が「はい」、6名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「連絡帳にびっしり書いてくれて嬉しいです」「直接見たり話がある訳ではないので、お便りなどでしか知ることができません」「園に入って日も浅いので、もう少し一日の流れや活動の詳細を教えてください」などのコメントがあがっている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	51	6	0	5
51名が「はい」、6名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「小さなことでも丁寧に相談にのってもらえます」「朝の忙しい時もきちんと話をきいてくれます」「幼児クラスになると担任の人数が減るため、相談のタイミングが難しいことがあります」などのコメントがあがっている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	34	10	4	14
34名が「はい」、10名が「どちらともいえない」、4名が「いいえ」と回答している。 「入園時に説明してくれています」「行政のサービスなど、教えてください」「そのような相談はまだしたことがないのでわかりません」などのコメントがあがっている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	○非該当	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
	○非該当	
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	○非該当	
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
	○非該当	
	カテゴリ1の講評	
	<p>ホームページやパンフレットによって理念や方針の周知に努めている</p> <p>園は、保育・教育目標をホームページやパンフレットに掲載するとともに、玄関や各クラス内に掲示し、浸透に努めている。職員に対しては職員ハンドブックに記載し(園の業務遂行に必要な情報等:保育理念、目標、職務分担表等)年度当初読み合わせを行っており、年度毎に更新している。保護者に対しては、園内に理念や重要事項説明書を掲示するとともに4月の保護者会で伝え、新入園児の保護者には、保育園のしおりで説明している。また、ホームページで財務諸表などの事業報告を公表しており、積極的に透明性の確保に努めている。</p> <p>経営層は園の現状を把握し、的確な指示を行っている</p> <p>園長や事務長、リーダー長以下の経営層は指揮命令系統に基づき、園の方針や考えを職員会議や保育会議など各種の機会を通じて伝えている。また、日誌、報告、巡回などによって常に現場の状況を把握し、必要な場合はクラスリーダーを通じ改善を指示するなどリーダーシップを発揮している。今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、職員や保護者の不安の解消と安全の確保のための対策に努めている。</p> <p>重要案件や日常運営に関して決定し、周知する仕組みが整備されている</p> <p>園の重要案件は、法人の施設運営会議や幹部会、職員会議などによって決定される。施設運営会議は月1回開催され、幹部会議は、園長、リーダー層、事務長により毎月1回あるいは随時開催されている。また、職員会議、保育会議などが定期的に行われている。決定事項は、毎月の職員会議のほか、各クラスリーダーから職員に伝える仕組みとなっている。また、会議録での署名捺印による確認のほか、「おしらせ」としての掲示も行っている。保護者に対する周知は、園だよりの配布や園内の掲示、一斉メールの配信などで行っている。</p>	

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>保護者会やアンケートなどにより保護者の意向を把握し、速やかな対応を行っている</p> <p>保護者の意向を把握する手段は、連絡帳や年2回の保護者会、個人面談、日々の送迎時などが多い。また、行事後に保護者アンケートを実施して結果を保護者に公表している。今回のアンケート調査においては、「大変満足」と答えた保護者は69%と極めて高く、「満足」の答えを含めると95%の保護者が、園の保育に満足していると回答している。保護者のニーズに対応しながら、朝夕保育や土曜保育などに柔軟に対応していることが高い満足度の理由と思われる。地域の情報は、地域懇談会や子育てネットワークにおいて把握している。</p> <p>中・長期計画に基づき単年度の事業計画や年間指導計画が策定されている</p> <p>中・長期計画は法人によって策定され、園の単年度の事業計画は中長期計画に基づいて策定している。中・長期計画では、今後の少子化の進行や園の私立化などの経営環境の変化への対応の方向が示されると同時に、人材育成や職員のスキルアップ、職員の離職防止などの課題について対応の検討が行われ、事務長が職員会議などで説明を行っている。園では保育の年間指導計画が策定され幹部会などによって進行管理が行われている。</p> <p>計画で検討された課題に対して長期的な観点から対応を行っている</p> <p>園では、策定された長期計画をもとに、指定管理の継続や私立園化に向けて職員が一丸となって準備を進めることを大きな方針としている。検討された課題については、四半期毎に会議で評価・検討して反省を行い、改善を目指して方向性を決めている。さらに、日々の保育の振り返りを行うことで、その日の保育の問題点をチームで見直ししながら解決している。また、達成度合いについては、法人内保育園5園の施設運営会議で検討を行い、方向性を示している。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ3の講評		
<p>保育に従事する者としての倫理や規範を周知し、日常の保育に反映させている</p> <p>児童憲章がホームページや園内に掲示され、適宜説明が行われているほか、子どもたちへのよりよい援助に向けた保育の指針として「保育の根っこ」が策定されている。また、毎年、法人の合同職員会議で職務基準を読み返し、各自の振り返りを行っている。さらに、マナー研修の実施などのほか、ハンドブックには職員の言葉遣いの具体例などを記載し、毎年更新して全職員に配布し、服装や個人情報の扱いなどについては口頭で指導している。虐待の疑いが把握された場合は、子ども家庭支援センターなどと連携して対応する仕組みができています。</p> <p>苦情解決制度が整備され、第三者委員も任命されている</p> <p>苦情解決制度が整備され、保護者の意向や苦情に対しては、法人の苦情解決委員会によって対応が行われている。保護者に対しては、入園説明会で制度の利用ができることを伝え、第三者委員の設置や意見箱の案内をしている。また、第三者委員は地域住民も含めて3人が任命されている。受け付けられた苦情は年間5～6件で、自転車の取り扱いなど近隣からの苦情がほとんどであり、全職員に周知して対応を行っている。さらに、連絡帳や送迎時に申し出られた苦情、要望については園長に報告して対応している。</p> <p>地域貢献活動や地域のネットワークへの参加が積極的に行われている</p> <p>地域貢献については、子育て相談、ふれあい保育、園庭開放のほか、状況に応じて緊急一時保育の受け入れを行っている。また、施設園長会や地域懇談会、高井戸・久我山子育てネットワークなどに参加し、子どもまつりや赤ちゃんふれあい事業など各団体と連携しながら地域の課題に対応している。地域への貢献活動は、現在は新型コロナ禍によって活動を休止しているが、系列園で準備中の子育て支援室を利用しながら、今後、地域に対して積極的に情報発信を行っていきたいと考えている。</p>		
カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>安全対策委員会を設置し、マニュアル整備や訓練などの対応を行っている</p> <p>法人では安全対策委員会を設置し危機管理への対応を行っており、「危機管理マニュアル」「感染症マニュアル」「リスクマネジメント実施規程」などを策定している。また、事業継続計画として、「震災編」や「新型コロナウイルス感染症等編」の策定、防災用備品、飲料水、食料、トイレなどの備蓄などを行っている。さらに、各マニュアルや実施規定などをホームページに掲載するとともに、冊子を利用者に配布するなどして周知に努めている。避難訓練は浸水エリアにあることから、特に浸水に備えた訓練などを実施している。</p> <p>発生事故やヒヤリハットの集計分析を通じて事故防止に努めている</p> <p>園合同の安全防災対策委員会を年に数回開催し、情報の共有を行っている。また、ヒヤリハット、インシデント・アクシデント報告書があり、安全対策委員が中心となって、時間・曜日・発生場所などの集計と要因・原因の分析を行い、職員会議で情報を共有している。昨年度は、散歩マニュアルやルートマップによる公園や周辺道路の危険箇所の把握及びプール水遊びマニュアル、事故発生時のフローチャートの作成などを行い、想定訓練も実施している。年間の事故報告は26件でヒヤリハットの活用により件数が少なくなってきた。</p> <p>個人情報保護法の趣旨に則り個人情報保護のための仕組みを整備している</p> <p>個人情報の保護については、「保育園特定個人情報取扱規程」「個人情報保護規則」「情報公開要綱」などによりルールを定め、「園規則」「保育園就業規則」に記載し説明している。また、入職時に「個人情報保護契約書」への署名、提出をお願いしている。保護者に対しては、「保育園のしおり」に個人情報の取り扱いについて記載し、入園面接時に説明を行っている。個人情報に関する書類などについては、鍵の掛かる事務所内の保管庫で施錠し保管している。</p>		
カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>常勤職員を中心とした組織編成が行われ、定着率が高いことが特徴である</p> <p>園では、非常勤職員は35人中5名と少なく、常勤を中心とした組織編制となっている。人材の確保は、法人ホームページなどを活用している。また、派遣や固定勤務などの要望にもできるだけ応じており、常勤職員の園での平均在職年数は6年、法人での在職年数は10年と定着率は良好である。さらに、人事考課制度が整備され、年2回、面談シートによる意向の把握などを行っているほか、法人内5園の合同職員会議や合同研修を実施し、意識を共有できるように取り組んでいる。職員の配置は異動の希望などに基づき、法人の「施設運営会議」で決定している。</p> <p>個人別育成計画のもとに人材の育成が行われている</p> <p>園では、リーダー層の育成が課題であると考えており、職員集団のスキルアップとモチベーションの強化に努め、個人別の育成計画を作成するとともに、面談シートで目標や意向、成果を把握している。研修は、新人から中堅・リーダー研修までステップアップするように計画され、外部研修にはほとんどの職員が受講しており、研修結果は報告書の提出と閲覧及び職員会議での報告などにより共有できるようにしている。また、園内研修として毎年5園合同職員会議時に職員の希望による講演会を実施し、パート職員も参加できるようにしている。</p> <p>キャリアアップ制度や定年延長など職員のやる気の向上に努めている</p> <p>職員のやる気の向上に向けて、園では、キャリアアップ制度や家賃補助、定年延長などの見直しを進めている。また、ストレスチェック制度の導入のほか、園長は、個々の職員の勤務状況や健康状態などを把握し、気になることがあれば声をかけたり、個別に話をする時間を設けている。キャリアアップ制度などについては、専門性の向上のため同じ課目を継続して受講できないなどの課題もあるが、定年制の見直しについては、積極的な人材の活用策の面からも検討が必要と思われる。</p>		

7 カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1	
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
園では、子どもたちの安全を守ることを最優先と考え、日頃より準備に努めると同時に、職員全員で安全に対する意識を高めることを目的として、安全対策・防災対策を課題としてあげている。 取り組みとして、散歩中の交通事故の防止のため、「散歩マニュアル(園外活動時の留意事項)」や園が神田川に面していることから「水害対策マニュアル(洪水時の避難確保計画)」などの策定及び「プール、水遊び対応マニュアル」「給食衛生管理マニュアル」「保健衛生マニュアル」の改訂などを行い、さらに、災害時の事業継続計画(震災編・感染症等編)の策定などを実施した。 取組の成果として、 ①散歩経路の危険箇所を記載した散歩マップの作成及び園外活動時の留意事項をまとめた「散歩マニュアル」の策定 ②水害時の避難確保計画として水害対策マニュアルの策定及び水害を想定した訓練の実施などがある。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
園では、設定した、子どもの安心・安全の確保という課題の解決のため、マニュアル整備、職員間での周知、さらなる改善としてPDCAサイクルを意識した取組みを行っており、高く評価できる。 一方で、作成・改訂した各種マニュアルの周知徹底については、2020年3月の法人5園の合同職員会議で改訂箇所や重要な箇所を共有し周知徹底を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で園ごとの開催となった。 また、現在、マニュアルの策定や改訂時の職員間の共有を速やかに行える仕組みの検討を行っており、現状においてはオンライン会議を利用した5園安全対策会議を通じて共有を図っているが、全職員の共有方法などについてなお検討課題としている。 今後、取り組みと成果をより具体的に確認しながら安全の確保のための仕組みづくりに期待ができるものとなっている。	

評価項目2
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

園では、地域交流活動を課題として取り組んだ。
活動は地域活動や交流としての世代間交流、中学生職場体験や保育士を目指す学生ボランティアの受け入れ、幼保小交流の定着などがある。さらに、保育園在園の保護者だけでなく、育児に悩む子育て世代の方に向けての子育て支援、育児相談の場を設定するなど、地域の子育て支援を視野にいれた取り組みを行うとしている。
そのために園では、
①地域活動交流として、近隣の老人介護施設への幼児の訪問による交流
②職場体験の中学生5名、保育士を目指す学生ボランティア2名の受け入れ
③幼保小交流による近隣の小学校の子ども達との交流
④保育園見学に来た保護者に対しては、保育園の案内だけでなく、子どもの育ちや子育ての悩みの相談への対応
⑤保護者のニーズに対応するため、見学者記録に保護者の悩みや保育園への希望記載欄の設定などを実施した。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

地域交流については、地域の育児中の母親の不安や孤立などに対して地域の保育園が確実に受け止め、支えになることが重要である。そのため、園では地域での支え合いの中で、保護者と共に楽しく子育てができるように子育て支援の場を広げることを目標としている。地域交流について課題は明確であり、そのために様々な対応を行っている。しかし、中学生の職場体験では、区側から中止の申し入れがあるなど、新型コロナウイルス感染症の影響に直接左右されることとなった。
今後、交流の実現に向けて受け入れの工夫を行うとともに、受け入れに関する行政側のガイドラインの策定の必要性も感じている。PDCAの趣旨は計画的に改善を加えながら質の向上を図るという考え方に基づくものであるが、今回のような想定外の事態に直面することでPDCAサイクルが有効に機能しなかった。今後、新型コロナウイルス感染症を行いながら、上記の取り組みをいかに進めていくかが課題である。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
<p>評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
サブカテゴリ1の講評		
<p>杉並区のホームページ及び法人のホームページで園が大切にしていることを伝えている</p> <p>公設民営保育園として杉並区のホームページから当園にリンクできるようになっている。法人のホームページは文字も大きく見やすくなっており、毎回の園だよりを載せて「子育てメッセージ」を伝えている。保育理念、保育方針や保育目標に加えて「基本的な配慮のほか特に保育上心がけていくこと」として7項目をあげ、園での保育の基本をわかりやすく記載している。また各種書類として苦情申出書や与薬依頼書などがPDF化され、保護者が入手しやすくなっている。さらに、第三者評価結果も簡単に見ることができるなど積極的な情報公開を行っている。</p> <p>民間保育協会や行政に対して、保育園情報を提供している</p> <p>園が加入している民間保育協会や行政、東京都社会福祉協議会等へ最新の情報を提供している。また、杉並区の行事ではブースを設けて園の紹介をするなど、保育園を紹介する場に参加してアピールに努めている。不特定多数の人へ園のリーフレットを作成している。リーフレットには園内、保育室、子どもたちの活動の様子を多くの写真で紹介し、保育園の使命と目的、法人・園の沿革や保育方針などを明記している。さらに、保護者に特に読んでほしいチラシには「園からの大切なおねがい」と太字で書いて注意喚起するなど情報提供が上手に行われている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら園の見学を実施している</p> <p>園では新型コロナウイルス感染拡大予防のために見学希望者は午前、午後各1組の予約制にして園長またはリーダー長が対応している。子どもが活発に活動しているのを見てもらえるように見学時間を決めている。園の外側からの見学を行い、見学説明だけでなく、保育をしていく上での使命や目的など見学者に伝えており、また、子どもの成長発達の話しながら子育て相談も受けるなど子育て支援の活動も同時に行っている。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得ようとしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>2月末に開催している入園説明会で重要事項説明を行って保護者の同意を得ている</p> <p>例年、1月に区から入園内定者へ通知が郵送される。それを受けた保護者は各保育園に連絡をして入園説明会出席の日程を決めている。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のために人数を制限し、また、時間を区切って説明会を実施した。園が独自に作成した「保育園のしおり」をもとにリーダー層が運営方針、個人情報取り扱い、苦情解決など説明をして同意を得ている。その後園医の健康診断を受け、看護師が健康上の発達状況を、栄養士がアレルギーの有無や離乳食の進み具合について写真を示しながら確認をしている。</p> <p>慣れ保育は乳児、幼児別に期間を決めて行っている</p> <p>慣れ保育に関しては、環境の変化に対応する上で大切なことを保育園見学時にも伝えている。園では、たとえ他の保育園で過ごしてきた子どもであっても園の環境は異なるため丁寧な対応が必要と考えている。乳児は2週間、幼児は1週間をめぐりに慣れ保育を行っている。育児休業中から、今後復帰予定の保護者や多忙な保護者など、それぞれの保護者の就労状況や環境を考慮しながら、子どもの状況を第一として慣れ保育に取り組んでいる。</p> <p>年長クラスでは、小学校への移行がスムーズに行われるように交流を行っている</p> <p>保育園から子どもの状況を記録した「保育要録」を就学する小学校へ送り、子ども一人ひとりを理解してもらうように努めている。園では各小学校へスムーズに移行できるように、以前から各小学校と交流を図っており、年長クラスは近隣4園と交流をしながら小学校に出向き、教室の見学や校庭で遊んだり、ゲームをするなどして他園児や小学生と交流を行っている。小学校の学芸会に呼ばれることもあり、進学することに安心感を与えるように支援をしている。</p>		

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	12/12
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
<p>保育士、看護師、栄養士が子どもの情報を事前収集してアセスメントを実施している</p> <p>保育士、看護師、栄養士は、入園説明会で聞き取った家庭状況や子どもの発達状況、心身の状況などの子どもの状況を所定の用紙に記録している。入園前及び入園時の食事、睡眠、排泄、健康などの情報に加えて、入園後も引き続き発達経過を記録して、個々の子どもの発達を把握し、さらにクラスごとの発達の姿を捉えている。把握された子どもの状況は全体の計画に反映され、全体の計画や前期、後期の保育総括、行事総括、全体総括で振り返りと見直しを行っている。</p> <p>保育士の関わり方を明文化し、クラスで月の指導計画や週案を作成している</p> <p>3月にクラス担任が決まると新年度のクラス会議を開催している。クラスでは子どもの姿から月の指導計画をたて、園長・リーダー長・リーダー長補佐が決定している。また、クラスごとの子どもの姿から保育士の関わり方を文章化して月の指導計画を作成している。担当保育士はその週の子ども姿、成長を振り返り、翌週の保育のねらいを週案にまとめて週末に提出している。さらに、保護者に保育のねらいを知らせるために子どもの保育の状況を毎日各クラスのホワイトボードに記録して公開している。</p> <p>クラスごとの日々の記録で子どもの状況が共有され、引継ぎがされている</p> <p>乳児クラスは毎日連絡ノートで睡眠、食事、排泄などについて保護者とやりとりをしている。子どもの発達の記録は「日々の記録」や「個人発達記録」に記録している。家庭から、また、園から伝えるべき個別の内容は事務所内に置かれた伝達ボードにクラスごとに毎日記録されている。さらに、同じ場所にヒヤリハット(気付き)ボードも並べてあり、クラス担当だけでなく全保育士が情報を共有できるようになっている。子どもの状況は延長担当保育士に引き継がれ保護者に伝えられている。</p>			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報の取り扱いに関しては保護者の意向を尊重して対応している</p> <p>子どものプライバシーを保護するために、個人情報保護規則、個人情報取り扱い事業に関わる概要書及びプライバシーポリシーを定めている。入園時の重要事項説明書で個人情報の取り扱いについて保護者に説明をして、「確認書」を保護者と交わし、同意しない場合は「不許可届」を提出してもらっている。また、職員ハンドブックには、個人情報の取り扱いについて具体的な事例をあげて詳細に記載されており、園の個人情報取り扱いに関する意識は高い。</p> <p>保育の中で羞恥心を意識することを子どもに伝えている</p> <p>羞恥心への配慮は乳児から行っており、オムツ替えや着替えの時は衝立で仕切り、他の子どもから見えないようにしている。2歳児からは水遊びをする際には水着を着せて、乳児期より羞恥心を教えている。幼児クラスでは看護師がプライベートゾーンについて話をしており、毎年プールが始まる時期に安全教育の一つとして看護師とリーダー長補佐が子どもに伝えている。さらに、テラスでのシャワー時にはカーテンで仕切り、外から見えないように配慮すると同時に、子どもにも裸で飛び回らないように注意している。</p> <p>写真撮影のルールへの順守が課題となっている</p> <p>園では、保護者の多様な考え方や価値観に配慮しながら保育を行っており、中でも、写真の撮影に対しては特に慎重に対応している。廊下に掲示する日々の遊びの写真的掲載を、顔を分かりにくくするように個人情報に配慮しながらプリントアウトをしている。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>法人5園合同で作成した保育カリキュラムと職員ハンドブックを保育の基本としている</p> <p>法人内5保育園が合同で作成した保育カリキュラム「保育の根っこ」を基に日々保育に取り組んでいる。基準となる全体的な計画及び指導計画を記載し、発達のポイント、子どもの姿、環境、大切にしていることなどを保育の基本としている。「保育の根っこ」は教材としても使用しており、ロールプレイを取り込んだ勉強会を開くなどして保育に活かせるようにしている。また園で作成した「職員ハンドブック」は業務の基本的なマニュアルが明記されており、職員必携のものになっている。</p> <p>職員ハンドブック及び各種マニュアルは必要に応じて見直し、更新している</p> <p>保育をしていく上で楽しく遊べると同時に子どもの安全の確保が重要である。日々保育をしていく上で安全の確保に必要なマニュアル類が整備され、必要に応じて職員はマニュアルを確認しながら遊びに取り組んでいる。通路、横断歩道等写真を多数取り入れたお散歩マップ、プール活動・水遊び対応マニュアル、保健衛生マニュアルなど定期的に見直しをして改訂をしている。安全対策委員会でも必要な見直しを行っている。「職員マニュアル」は17項目の職務基準が明記されており利用しやすいものになっている。</p> <p>保護者や職員の意向を把握しながら保育の質を上げる取り組みをしている</p> <p>保護者に対して、保育参加や保育参観など、子どもの様子や子どもと保育士との関わりなどを見せられる機会を設けている。また、必要な場合はいつでも保護者と面談を行っている。子どものひっかきについても園内で発生した場合は速やかに解決することとしており、そのためにも保護者の声を聞いて保護者と協力していくことが重要だと考えている。行事の後のアンケートから改善すべき点は改善をして次の行事に活かしている。ご意見箱を設置しているが多くの場合は担任又は園長と話をすることで解決している。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
		35 / 35	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(000000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもの発達や生活状況を把握し、一人ひとりを大切に保育を行っている</p> <p>入園時の個別面談では健康状況や生活状況を看護師やリーダー長が中心になり細かく丁寧に聴き取り、個人発達記録等に記載し、子ども一人ひとりの状況が職員間で共有できるようにクラス打ち合わせで伝え合っている。特別な配慮が必要な子どもがいる場合は、入園前からかかりつけ医院に看護師や栄養士が相談するなど、事前の対応も柔軟に行っており、入園後も巡回相談や専門機関の助言を受けている。乳児クラスは発達の経過を一か月ごとに、幼児クラスは三か月ごとに記録し、日々の発達の状況に即した保育展開をしている。</p> <p>子どもたちの興味や発達に応じたコーナーを設定し、丁寧に玩具選定を行っている</p> <p>おままごとコーナーは、集中して遊びが展開できるように配置している。その年々のクラスの月齢などの違いを考慮した遊びのコーナーづくりを考えている。リーダー長、リーダー長補佐がどのように保育展開をしていくのかという思いをしっかりと受け止め、共に考えながら状況に合わせた適切なアドバイスをしている。玩具選びも重要な課題として位置づけ、園独自の「玩具リスト」を作成している。リストには写真と適切な年齢や素材が記載しており、日常の保育の中で月齢にあった玩具選びの参考にしている。</p> <p>幼児クラスでは行事や日常の中で異年齢の関わりが自然な形で持てるようにしている</p> <p>保育室が園庭に面して配置されており、朝から各クラスが園庭で遊び始め、乳児から幼児まで自然な形で関わりを持つ事ができている、その関わりを保育の中で大切にしている。3、4、5歳児は縦割りや畑づくりをしている。年長児が中心になり「季節の花や果物」等職員からヒントをもらいながら自分たちで「何を作りたいか」を考えて畑づくりに挑戦している。3、4歳児も柵作りを一緒にやり達成感を得ることができている。その様子を写真とコメントを入れたドキュメンテーションを作成して掲示し保護者と共有している。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(0000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当
評価項目2の講評			
<p>乳児クラスは月齢や子どもの状況、生活リズムを考慮して少人数保育をしている</p> <p>登園時は保護者と必ず言葉を交わし一人ひとりの健康面や生活面の状況を把握している。0歳児であれば登園時間や離乳食、発達の状態に合わせて2~3人のグループになり担当保育士(緩やかな担当制)が遊びや食事に関わり、安心して一日が過ぎるようにしている。1、2歳児も4~6人の小グループでの保育を行い、登園時間が早い子どもは朝から園庭に出て活発に体を動かし、食事時間も一斉に食べ始めるのではなく早く食べ始める等個々の状況に合わせている。担任が子どもの様子を伝え合うことできめ細やかな保育ができている。</p> <p>降園時には保護者に連絡帳やホワイトボード、口頭で子どもの様子を伝えている</p> <p>迎えの保護者に対して、乳児クラスは、連絡ノートに日中の様子を丁寧に記載している。幼児クラスではホワイトボードにその日の活動が記載されている。当番保育士は責任を持って担任から連絡事項を引き継いで伝えるが、必要に応じて担任が直接保護者に伝えることも行っている。幼児クラスでは異年齢活動の「えがおの日」を写真とコメントを入れたドキュメンテーションを掲示している、また年長児では経験したことが自分から保護者に言葉で伝えられるような援助をしている。</p> <p>子ども一人ひとりの状況に合わせた生活プログラムを作成し、職員で共有している</p> <p>個々の発達状況を毎月のクラス会議の中で確認し、乳児クラスは毎月、幼児クラスは期毎に、個人発達記録を作成している。会議にはリーダー長やリーダー長補佐がアドバイザーとして入り、担任と共に一人ひとりの子どもの食事や排泄状況などの些細なことも見逃さないように話し合っている。子どもの今良いところ、これから成長してほしいところなど、活発に意見を出し合っておりまとめている。</p>			

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>玩具リスト等を活用して、子どもが主体的にじっくり遊べる環境設定を行っている</p> <p>子どもが自ら遊びを選び、遊び込める環境つくりのために、子どもたちが今どんな遊びに興味を持っているか、年齢に応じた遊びはどのようなものがいいのかを職員がしっかりと捉えて、保育室の環境設定を行っている。積み木や折り紙、粘土、お絵描き、製作などの机上遊びは、興味ある素材をいつでも取り出せるように準備したり、季節や興味にあわせて入れ替えをしている。年齢や発達に応じて玩具を分類した「高井戸保育園玩具リスト」を作成して、遊びのコーナー設定時に参考資料として活用している。</p> <p>子どもが自分の気持ちや思いを伝えたり、友達の意見や話を聞くように配慮している</p> <p>子どもたちが運動会やお泊り保育、秋まつり等の行事に取り組む中で、自分の思いを伝えたり他の子の意見や考えたことを聞くことができるように配慮している。プランターや畑づくりでも子どもたちが植えたいものを出し合っている。友達同士の思いが一致しない場合には、職員は禁止言葉ではなく認め合える言葉を、子どもが迷っている時は、気づくような言葉を添えて子どもたちが考える過程を大事にしている。乳児では1対1で関わりながら、嫌だった気持ちや困った気持ちを受け止めて、否定的な言葉かけをしないように心掛けている。</p> <p>戸外、園外活動の経験の中で季節の移り変わりや植物の生長を感じられるようにしている</p> <p>広い園庭に各クラスの子どもたちが出て戸外遊びを楽しんでいる。追いかけっこや鬼ごっこ、雨が上がり外に出て水たまりを見つけ、柔らかくなった土に触れ、水に触れ泥こになりながら全身で遊んでいる。園庭遊びの中で自然にクラス交流ができています。近隣散歩では、落ち葉や木の実を集めてお面作りをしたり、絵本や歌もその季節にあったものを取り入れるなど、四季の移り変わりを感じられようとしている。園庭では朝顔、おしろい花等を使って色水遊びをしたり、プランターで草花を育てたり身近な自然と触れ合い、心の豊かさを育てている。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>お泊り保育を通して、同じ目的を持って活動することの楽しさを経験している</p> <p>今年度はお泊り保育は新型コロナ禍のため中止となったが、それに代わるものとしてお泊り保育のねらいを生かした行事を開催している。これまで年長クラスが御岳山に出かけていたことを、「どきどきズキュンディ」と子どもたちが命名し、再現している。御岳山の天狗からの手紙のなぞに挑戦したり、天狗の好きな干し柿をプレゼントするなど、子ども達で色々イメージを膨らませている。家でも話をするので、保護者も巻き込んだ活動となっている。一つの行事を通して共に考える事の楽しさや友達と繋がりが深まる等豊かな経験をする機会となっている。</p> <p>運動会や秋まつりでは活動の中で達成感や協調性を得ている</p> <p>運動会では、4、5歳児がバルーンや組体操の演技に取り組んでいる。練習を重ねながら一人ひとりの動きだけではなく、皆で力を合わせて行うことにより一つのことができていく事を学んでいる。当日は保護者や他学年の子どもが応援する中で、一つのことを成し遂げた満足感を持ち、その様子を見ている子ども達も次は自分たちの出番と期待感を持つことができる。秋まつりは、5歳児が話し合いの中で「御神輿」を作ることを決め、色塗りや飾り付けなどもアイデアを出しながら作成し、でき上がると「いいねー」と皆が喜び達成感を味わうことができた。</p> <p>行事ごとにプロジェクトを立ち上げ、ねらいをもって取り組めるようにしている</p> <p>運動会、お楽しみ会、お泊り保育など園全体で取り組む大きな行事開催時は、行事担当者が企画をし、会を進行している。行事ごとに子どもにとって何を大事にしていくかについて話し合っねらいを決め、園全体で共有し取り組んでいる。資料作りはリーダー長やリーダー長補佐が中心に行い、子どもたちの取り組みの様子や進行状況がわかるようにしている。行事終了時には保護者アンケートを実施し、意向を把握している。アンケート結果も保護者に報告し、次年度に意向を生かせるようにしている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○非該当
評価項目5の講評			
<p>延長担当の職員を固定し、子どもが安心して過ごせるようにしている 延長保育の登録は4人であり、多くはないが、常勤保育士2名と子どもたちの様子や状況をよくわかっているパート職員が常時保育に携われるように体制を組んでいる。また延長担当職員が、保護者に伝えることがある場合の対応や延長時間の子どもの姿や遊ぶ様子などを把握している。保護者への引き継ぎも決まった職員が行っているため、信頼関係も深まり安心できる時間となっている。</p> <p>長時間保育の部屋はいつも同じにして、落ち着いた環境で過ごせるようにしている 乳児クラスと幼児クラスでは、遊び内容の違いもあるので、夕方7時までは乳児と幼児は違う部屋で過ごすように配慮をしている。乳児クラスでは座って本を読むなど、のんびり過ごせる空間を大事にしている。幼児もお絵描きやままごと、ブロック遊びなどゆっくりと遊べる環境設定を行っている。延長保育を利用する子どもはある程度決まっているので、遊びの継続ができるように片づける場所を決めるなど部屋の使い方の工夫をしている。</p> <p>延長保育の時間は補食対応で空腹を満たすようにしている 「家庭の夕食は、親子で一緒に食べながら、保育園の話をしたり、友達の話をするなど大事なコミュニケーションの場である」という園の考え方があり。その趣旨を保護者にしっかり伝え、延長保育では空腹を満たす程度の補食提供として、帰園後の夕食時間を大切にしている。補食は夕食に支障のないようにおにぎり、ふかし芋、蒸しパン等のメニューを考え、ゆったりとした雰囲気の中で食べ、ホッとできるひとときになるように工夫している。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当
評価項目6の講評			
<p>食事は和食中心のメニューにこだわり、薄味、旬の素材を取り入れている 食事は和食中心のメニューとなっている。おやつも手づくりで、献立は季節の旬の食材を取り入れたものが多い。食材も国産中心にこだわっている。献立表の表記もメニューがひらがなになっているので、幼児クラスの子どもたちは、今日のご飯は何かと関心が持てるようになっている。食育として「赤→血や肉になる」「黄→力や熱になる」「緑→体の調子を整える」と栄養素をイラストで示し、食材を通じて知らせている。保護者から「バランスが良い、ヘルシー志向」の声も聞かれ園の取り組みが伝わっている。</p> <p>食育への関心を深めるために、野菜の栽培などに力を入れている 毎年3、4、5歳児各クラスでどんな野菜を育てるかを考え、キュウリやナス、ゴーヤ、かぼちゃ、すいかなどを植え、水やりをしたり、観察をしながら生長の過程を楽しんでいる。収穫した野菜は手で触れ、においを嗅いだりして新鮮さを感じている。その後、調理室で調理してもらい食べたり、すいか割りを行うなど活動の幅を拡げている。自分達で育て、収穫したものを食べる一連の過程が子ども達の大事な経験となり、食への関心を高める活動になっている。栽培の様子を記録に残し、保護者にも写真やコメントで伝えている。</p> <p>アレルギーや文化の違い等、状況や安全に配慮した食事を提供している 食物アレルギーがある場合は、入園時の面接で栄養士が状況を把握し、医師の指示書に基づき除去や代替食の提供を行っている。誤食防止の対応として栄養士と担任が献立表のアレルギーチェックを必ず行い、誰が見ても解るようにマーカーで食材チェックしている。また、チェックした献立表を保護者に渡してサインをもらい、共通理解を得ている。毎日の食事提供時には、人数報告時にアレルギー児の登園の確認を行い、調理や盛り付けは調理員で二重に確認し、さらに、提供時は担任が声を掛け合うなど誤食防止に努めている。</p>			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている		○非該当
評価項目7の講評			
<p>子どもが自分の体のことを知り安全にも関心が持てるような指導を行っている</p> <p>看護師や安全対策委員が中心になり年間計画を立てている。乳児突然死症候群(SIDS)、誤嚥、アナフィラキシー、プライベートゾーンなど、月ごとにテーマを決めて、職員、子どもの健康と安全意識を高め、予防、防止に努めている。健康指導では感染症が流行る冬場に「手洗い指導」を行っており、手洗いの重要性をより理解し深められるようにブラックライトを使用した指導を取り入れている。手の汚れている部分がブラックライト照射で浮かびあがるので、自分の手の汚れが一目瞭然とわかり、説得力があり手洗いに対する意識が向上している。</p> <p>園医による健診の際は、子どもに関する相談をしてアドバイスを受けている</p> <p>乳児クラスは毎月園医による定期健診を受けている。園医に対してけがや病気など健康に関する相談ができ、適切なアドバイスをもらっている。与薬に関しては原則として保護者が服用させることが基本であるが、慢性的な疾患など保育園内での服用が必要な場合はかかりつけ医により薬剤情報提供書に必要事項を記入してもらい対応している。与薬に関しては職員への周知が重要なことから、看護師から全職員に情報の周知を行っている。さらに、園医にも状況を伝えアドバイスを受ける場合もある。</p> <p>毎月の保健だよりや保護者向けの掲示板で感染症や健康に関しての情報発信をしている</p> <p>感染症情報は職員伝達や事務所ホワイトボードを利用し全職員が罹患状況などを把握できるようにしている。保護者に対しては事務所前の掲示板で情報を提供している。また、毎月「保健だより」を発行し、その中で子どもの健康に関しての情報や感染症に関しての注意点、園での取り組みなどを保護者に知らせ、健康や安全に対する意識が高められるように働きかけている。午睡時の乳児突然死症候群(SIDS)の予防では、0歳児5分、1歳児10分、2歳児15分、幼児30分を目安に午睡チェックを行い安全管理を徹底している。</p>			
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		○非該当
評価項目8の講評			
<p>子どもの状況や保護者の就労状況に合わせた柔軟な延長保育の受け入れをしている</p> <p>保護者の就労状況や個々の事情に関しては、入園時の面接で把握し、状況に応じた保育時間の決定をしている。残業などで当日急に延長保育を利用する場合も、昼までに電話を入れると利用することができる。延長保育利用の定員は決まってはいるが、必要に応じて臨機応変に対応できる体制を作っている。利用者調査結果の結果でも、「快く受けてくれている」「相談しやすい雰囲気がある」など、受け入れ時の柔軟な対応に満足している様子がうかがえる。</p> <p>秋まつりや父母会主催のイベント行事を通じて保護者間の交流を図っている</p> <p>秋まつりは、夕方の時間に保育園内や園庭で色々なゲームコーナーなど保育園主体で開催し、親子で参加している。事前に案内をしているのでほぼ全員が浴衣や基平に着替えて参加している。時間が異なる保護者が一堂に会することから、ゲームで順番を待つ時間などに保護者同士で話しをするなど、交流を持つきっかけになっている。また、父母の会活動も活発で、定期的な総会やクラス委員による集会も開催されている。父母の会主催の「たけのこまつり」は地域住民にも声をかけ、保護者、地域との交流の場になっている。</p> <p>保護者会や参加、参観保育を通じ保護者との相互理解を深められるようにしている</p> <p>乳児クラスは保育参観として窓越しから日頃の子どもの様子を見てもらうようになっている。幼児クラスはクラスの中で一緒に過ごし、その中で子どもの様子や友達との関わり、保育士の子どもへの関わりなどを見てもらっている。保育士体験はエプロンを付け先生役になった保護者が朝から遊びや食事、寝かしつけまで行うが、その中で絵本や紙芝居を読んだりするので子どもたちにも人気がある。保育体験は「子どもの姿がよくわかった」「保育の仕事の重要性を理解できた」など保護者からの評価も高く、保育園理解につながる取り組みとなっている。</p>			

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の読み聞かせボランティアグループとの交流を大切にしている</p> <p>地域のボランティアグループ「ジルベルト文庫」が月一度来園して絵本の読み聞かせを行っている、4、5歳対象で年齢や季節にあった紙芝居や絵本を持参し、子どもたちに読み聞かせをしている。様々な年齢層の住民が参加しているボランティアグループなので、高齢世代のボランティアが読んでくれる時は、日頃保育士が読んでいた時の雰囲気とは異なり、ゆったりとしたペースになるので子ども達にも人気がある。活動を通じて地域の様々な年齢層の大人と接点を持つことは子どもにとって貴重な経験になっている。</p> <p>近隣の児童館や老人施設との交流や中学生の職場体験を受け入れている</p> <p>児童館には兄弟関係も多く通っているため、運動会や秋まつり等の行事はポスター掲示や小学生の参加などを募っている。近隣の老人施設とは3歳～5歳児が交流を行っている。5歳児はソーラン節を踊ったり、楽器演奏を毎年披露し、喜ばれたり褒められたりするので達成感を味わうことができ、また、高齢者への親しみもわくなど人との関わりが豊かになっている。新型コロナ禍では手紙やお絵描きのやり取りを行っている。中学生職場体験では、子どもと関わる楽しさが伝わり将来保育士を目指す学生がいるなど次世代交流ができています。</p> <p>地域の子育て支援として緊急一時保育、園庭開放、電話相談を行っている</p> <p>園庭開放は、近隣の園庭のない保育園にも声をかけ利用してもらおうなど、等地域及び他園との交流拠点となるようにしている。在園の利用者からは違う年齢の子どもとの交流ができるのでうれしいという声が聞かれる。緊急一時保育の利用は少ないが、出産時の利用もあるので、丁寧に状況を聞きながら支援ができるようにしている。電話相談は「離乳食の進め方」「夜寝ない」等子育てが初めての親から多く園長、リーダー長を中心に話を聴きながら、その都度適切なアドバイスを伝えている、丁寧に話してもらい安心しましたとの声が聞かれる。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル①	国産野菜を使いバラエティー豊かな献立や食育推進に力を入れている	
内容①	「食事は『栄養を摂る』ことだけではなく仲間や職員と楽しみながら食することが『心の栄養』となる」という観点で食事メニューを考えたり、食育に取り組んでいる。栄養士は調理スタッフと共に新メニューを定期的に考案しており、栄養価も高く人気メニューになり、保護者からレシピを教えて欲しいとの申し出がある。年明けから始まる年長児のリクエスト給食では、今まで食べた中で自分が一番好きなメニューを作ってもらイベントで、園生活の中で最後の思い出に残る給食になっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている
タイトル②	「職員ハンドブック」を作成・配布して業務の標準化に力を入れている	
内容②	園では、「職員ハンドブック」として様々なマニュアルや規程、解説記事などを盛り込んだ冊子を作成して、職員に配布している。「職員ハンドブック」には、安全確保や事故防止に関わる基本的なマニュアルがまとめられているほか、「保育課程」「人事考課のチェックポイント」「職務分担表」などの基本的な規程や規則から、保育の内容に関わる項目からゴミ処理の仕方まで、園の日常の運営に関わるポイントが網羅されている。このハンドブックは毎年改訂され、常に新しい情報が提供されるようになっており、業務の標準化に貢献している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル③	子どもたちの安全を確保するために、様々な災害防止対策に力を入れている	
内容③	園では、「逃げる建物から逃げ込める建物」を目標に、安全対策員会を設置し危機管理への対応を行っている。また、「危機管理マニュアル」「感染症マニュアル」「リスクマネジメント実施規程」、震災や新型コロナウイルス感染症に対応した事業継続計画など、様々なマニュアルの整備を行い、それに基づいた訓練の実施や備品の整備などの対策を行っている。園では、災害時であっても、いち早く業務再開して子どもたちを預かることが保育園の使命であると考えており、子どもの命を守るために防災対策に力を入れている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	法人内5保育園のリーダー層を中心に作成した保育カリキュラムを活用して保育の質の確保に努めている
	内容	保育カリキュラム「保育の根っこ」は法人内にある5つの保育園のリーダー層が中心となって作成したもので、年齢ごとの発達のポイント、大事にしていること、子どもの姿や環境の大切さなどを明記したものである。保育をしていく上で基本となるべき内容で、職員の勉強会の教材にも活用している。ベテラン職員も新人職員も、振り返りや確認に役立っている。この「保育の根っこ」は、作成されてから時間の経過もあることから、見直しや加筆なども構想されており、新たな「保育の根っこ」の作成が期待される。
2	タイトル	保護者との共感と信頼関係を前提としながら、ニーズに応える姿勢が保護者の高い評価につながっている
	内容	今回のアンケート調査においては、「大変満足」と答えた保護者は69%と極めて高く、「満足」の答えを含めると95%の保護者が「満足」と回答している。満足度が高い理由として、保護者のニーズに対応しながら、朝夕保育や土曜保育などに柔軟に対応していること、また、職員の共感的対応やマナー、振る舞いなど保護者との信頼関係が厚いことなどが考えられる。園では、「保護者の子育てを支える」ことを理念の一つに掲げ、保護者との共感を大切にしながら質の高い保育に取り組んでいくとしており、評価できることである。
3	タイトル	自分だけの大切な絵本を「マイ絵本」として保育園生活の中に取り入れ、想像力や言葉の豊かさを養うことを大切にしている。
	内容	年齢に応じた絵本を、毎月部屋に設置したウォールポケットに用意し、読みたい時、読んでもらいたい時にいつでも取り出せるようにしている。繰り返し読んでもらったり友達と一緒に読んだり、自分だけの絵本が身近にあることで絵本に対する愛着が育っている。また、園だよりでは「絵本はたからもの」と題し、「絵本の読み聞かせは大人と子どもが心を通い合わせられる大事な時間である」と発信するなど、保護者にも絵本の魅力や子どもの育ちの中での大きな役割を伝えている。一年で12冊の絵本と出会う中でお気に入りの一冊が見つかるようにしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	子育て支援の一つである園庭開放などについて、より積極的に地域に発信していくことが望まれる
	内容	保育園ではふれあい保育、園庭開放を事業として行い、地域の未就園児親子の支援をしている。園では地域からの要請が少ないとの認識であるが、子育ての相談をしながら子どもを園庭で遊ばせたり、園児と給食を共にするなど気軽に参加できる地域の子育て支援事業は大きな役割を持っており、今後、保育園の特性を活用した地域での子育て支援事業の積極的な情報発信が望まれる。チラシを作成して近隣の行政機関だけでなく小児科医等子どもが行く施設等への配布なども効果的と思われる。
2	タイトル	書類作成の負担軽減、登降園時のセキュリティ確保や保護者との連絡など、ICT化検討に期待をしたい
	内容	新型コロナウイルス感染症予防のために、会議の開催方法や保護者への連絡など、様々な場面でICTを活用して接触の機会を減少させている。園では以前よりICT化を検討しており、職員の事務処理の効率化による負担軽減やアプリによる保護者への情報が的確に提供できる仕組み、さらに、SNSを利用した会議など、ICT化することで様々な場面での活用が期待できる。今後、ICT化への取り組みの検討に期待したい。
3	タイトル	職員とのコミュニケーションの強化に向けて園長との面談などを積極的に行っていくことが求められる
	内容	園では、職員間のチームワークがよく、また保護者からの評価も高い。しかし、一方で、人材の育成のために導入されている国のキャリアアップ制度については、保育園の実態に即さない様々な条件や制約があり、すべての職員の希望に応じて構築できるようにはなっていないことから、職員に対して不安感を抱かせる原因ともなっている。一方、園では、職員の園長との面談希望が多いことから、園長面談などを通じてコミュニケーションを図り、説明不足の解消に努めることが必要と思われる。

(8) 堀ノ内東保育園

調査対象

園児全世帯の保護者を対象とした(複数の在園児がいる場合は、最年少の児童に対する回答をお願いした)。

調査方法

アンケート方式
園からアンケート用紙を配付してもらい、回収は評価機関へ直接郵送、もしくは園内に設置した回収箱へ投函とした。

利用者総数

94

利用者家族総数(世帯)

83

共通評価項目による調査対象者数

83

共通評価項目による調査の有効回答者数

57

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

68.7

利用者調査全体のコメント

調査対象世帯83世帯中、57世帯から回答を得ることができた。満足度が高かった項目としては、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」などがあげられる。

総合的な満足度では、52名が「大変満足、満足」、2名が「どちらともいえない」、1名が「不満」との回答であった。「先生方もいつも優しく丁寧で安心して子どもを預けられます。保育園に通ってから沢山成長し、社会性を学ぶことができました」「保育内容や園の取り組みについて不満は全くなく、年に数回アンケートなどで保護者が意見や要望を出す機会もあります」「子ども達の気持ちに寄り添い、水遊びや創作活動などで精一杯工夫を重ねてくれて感謝しています」「子どもは保育園が大好きで、毎日登園を楽しみにしています」「楽しそうに毎日通っており、安心して預けることができ感謝しています」などのコメントのほか、「正門の鍵が開いていることがあり心配です」などの声も寄せられている。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	57	0	0	0
回答者全員が「はい」と回答している。 「お友達との交流や皆と食べる給食など、家ではできないことを沢山経験していると思います」「色々な工夫をして、のびのび保育してくれていると思います」「リズム運動はいろいろな動きができて体力もついていっていると思います」などのコメントがあがっている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	54	3	0	0
54名が「はい」、3名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「通常保育に加え、リズム体操や英語、食育や季節の行事などバランス良く教育活動されていると思います」「忙しい中、イベントや英語タイムなど充実して過ごせる工夫をしてくれています」「英語など楽しい気持ちでできているように感じます」などのコメントがあがっている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	53	4	0	0
53名が「はい」、4名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「栄養バランスが考えられているだけでなく、味つけや見た目も工夫いただき感謝しています」「家庭ではできないメニューや郷土料理、外国の料理など工夫されていると思います」などのコメントがあがっている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	43	9	4	1
43名が「はい」、9名が「どちらともいえない」、4名が「いいえ」と回答している。 「園庭で水遊びなど季節に応じた遊びをしてくれています」「コロナで大変な中、工夫して保育してくれています」「コロナで難しいが、今までは十分できていたと思います」「コロナのため、落ち着くまでは仕方がないと思います」「園庭をもっと利用して外遊びの時間を増やしてほしい」などのコメントがあがっている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	42	5	1	9
42名が「はい」、5名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「柔軟なだけでなく快く対応いただき感謝しています」「スポットである旨を前もって伝えてお願いしましたが、当日改めて電話するよう言われました」「まだ急な変更を相談したことはありません」などのコメントがあがっている。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	46	9	2	0
46名が「はい」、9名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「保護者の送迎の際、門の鍵がきちんと閉まっていないことがあるので、保護者への注意が必要かと思います」「室内は適宜レイアウト変更など工夫されていますが、正門から入退園のチェックがないので不審者対策などは心配です」「外部からの不審者対策など、やや心配です」などのコメントがあがっている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	40	11	0	6
40名が「はい」、11名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「平日なので都合がつかない時もあるが、前もって知らせるなど充分配慮されています」「事前に年間スケジュールをもらっているのが助かります」「保護者会が平日に設定されています」などのコメントがあがっている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	44	12	0	1
44名が「はい」、12名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「いつでも気軽に話しています」「登園時やお迎えの際に詳しく様子を伝えてくれたり、聞いてくれたりしています」「先生方に相談する時間的余裕を感じられず、忙しそうです」などのコメントがあがっている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	47	7	2	1
47名が「はい」、7名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「砂だらけになりやすい玄関などいつもきれいにされています」「ホールの床が汚いです」などのコメントがあがっている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	51	3	2	1
51名が「はい」、3名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「いつも笑顔でとても気持ちがいいです」などのコメントがあがっている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	51	5	0	1
51名が「はい」、5名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「適切な対応をしてくれていると感じます」「子どもが自分でひっかいていた細かい傷のことも教えてください」などのコメントがあがっている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	36	11	1	9
36名が「はい」、11名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「怪我した際の状況や対応について、しっかり教えてください」「子ども目線より大人目線での対応があるように感じます」「まだトラブルが発生していません」などのコメントがあがっている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	48	7	1	1
48名が「はい」、7名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「気持ちを十分に受け止め対応していると思います」「スキンシップをとってくれるので、子どもも心を許しているように思います」「年長になり子どもが着替えを恥ずかしがることを相談したら、すぐ対応してもらいました」などのコメントがあがっている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	44	6	0	7
44名が「はい」、6名が「どちらともいえない」と回答し、「いいえ」の回答はみられなかった。 「相談しやすい環境、言葉、話しかけをしてもらいありがとうございます」「特に思い当たることはありません」などのコメントがあがっている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	46	8	2	1
46名が「はい」、8名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「保護者会での資料や説明も大変わかりやすいです」「保護者会やお便りなどでわかりやすく説明していると思います」「帰宅の際の子ども引き渡し時に、渡すことに必死で説明が不十分な時があります」などのコメントがあがっている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	47	7	1	2
47名が「はい」、7名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「特に不満はありませんが、対応してくださると思います」「特に不満をもったことはありません」などのコメントがあがっている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	29	9	8	11
29名が「はい」、9名が「どちらともいえない」、8名が「いいえ」と回答している。 「知っていました」「園のしおり以外で説明はなかったように思います」「口頭では聞いていません。書面にて知りました」などのコメントがあがっている。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
1	カテゴリー1	
	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	○非該当	
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	
○非該当		
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	
○非該当		
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	
○非該当		
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	
○非該当		
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
○非該当		
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
○非該当		
カテゴリー1の講評		
<p>園は児童憲章のもと保育目標、方針を掲げ、その理解にむけた取り組みをしている</p> <p>当保育園は「児童憲章」を大切に、園として「保育目標」と「保育方針」を掲げている。これらは「入園のしおり」に示して保護者に説明している。職員にも園内掲示などで周知を図っている。さらに、これらを基本として「全体的な計画」に表して、常に原点に戻れるようにしている。なお区は「杉並区立保育園保育実践方針」を作成し、保育実践の考え方を示している。年度計画において方針を明示し、年度初めの会議にて方向性を説明している。また保護者にむけて年初の保護者会や掲示によって理解されるよう努めている。</p> <p>園長は区及びと本部(株式会社)と連携して園の運営をリードしている</p> <p>園長は管理層として、職員配置及び園の職務分担を決定し、常に保育所運営の課題を自覚しながら、保育の目標や方針の原則に基づき、組織の長としてリーダーシップの発揮に努めている。同時に年度計画の推進と安全の確保及び職員の能力向上の機会を与えるための役割を果たしている。区担当部門及び本部の指導の下、認可保育所としての役割の周知と保育指針の原則に従って、業務を推進している。また、エリアマネージャーと共に本部(会社)の目指す事業の目的の達成を目指している。</p> <p>各会議体の役割に従って、重要な案件を検討する仕組みができている</p> <p>園の運営に関する案件は、職員会議で検討及び決定し、さらに、本部で決定すべき案件は園長会に挙げている。本部での決定事項は園長会議またはエリアマネージャーを通じて園長が職員会議にて決定経緯を踏まえて説明している。その際、伝達漏れを防ぐために回覧や掲示を行っている。保護者にかかわる事項は年2回の保護者会で説明し、さらに、文書・掲示・毎月発行する園だよりに掲載して利用者に伝えるなど、決定経緯の透明性の確保を図っている。また、区からの伝達事項は園経由で各保護者に配信されている。</p>		

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
2 カテゴリー2の講評		
<p>保護者の意向を把握・分析するために「満足度調査」を毎年行い、公表している</p> <p>園は保護者の意向・要望を把握するために、年に1回「満足度調査」を行いその結果を保護者に公表している。保護者参加のイベントでの感想や運営委員会などで出された意見、保護者会で得られた発言などを大切にしている。更に登降園時の会話にも常に関心をもって対応している。また、職員の意向を把握するために毎年「従業員満足度調査」を行い、その結果を園管理層と本部が分析し、職員に開示している。そこで、必要に応じて改革或いは、要望に対処するよう取り組んでいる。</p> <p>地区の園長会や地域懇談会に参加し、福祉ニーズを把握している</p> <p>園長は地区の保育園園長会において区からの保育に関する情報を収集している。地域懇談会(中学校の学区を中心とした)に参加し、近隣での児童に関する情報を得ている。また、地域の中核園を中心とした会においては、今回の自粛期間や再開後の各園での取り組みの情報交換を行っている。これらは地域の福祉ニーズとして、必要に応じて本部にも上げ、情報の分析に役立てている。区の発行する「子ども・子育て事業支援計画」によって、中期的な動向を把握し、また区立保育園向け「杉並区立保育園保育実践方針」を園運営の参考にしている。</p> <p>年間の指導計画は、「全体的な計画」の方針に従って作成している</p> <p>子ども達への保育目標の達成を目指し、「保育所保育指針」の要件に沿って園が作成する「全体的な計画」に従い、具体的な指導計画を作成している。指導計画の作成にあたっては、各クラス担当は子どもたちの実態の把握と発達に即した内容を盛り込んだ案を作成している。各クラスからの案を持ち寄って、職員会議にて十分に検討して決定している。さらに、各職種(栄養、調理、看護)における目標や行事と担当者の分担も設定している。それらの計画の進捗、反省は半年ごとに行い、必要に応じて計画の見直しを行っている。</p>		

3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ3の講評		
<p>福祉サービスに従事する上での規範・倫理等を明確にし、各職員に周知している 園は、職員に対して規範・倫理等を「プロケア行動基準」で示している。また、「個人情報保護規程」「マニュアル」「ハラスメント防止規定・ガイドライン」を定めて、周知し職員の行動指針としている。「保育士マニュアル」は冊子として事務室に保管し、職員がいつでも閲覧できるようにしている。またこれら配備の有無を定期的に、チェックリストで管理している。新規職員にはこれらの書類によって入社時研修、職員全員については年度初めに確認し合っている。</p> <p>保護者等から苦情・相談を受けるための体制を整えている 保護者から苦情があった場合、自らの保育と保護者への対応を振り返る機会と捉えて体制を整えている。入園時に「園のしおり」「重要事項説明書」を基に、その体制を説明し、園での窓口、本部の担当、第三者委員の窓口を明示している。また、体制表を園の玄関に掲示し、苦情箱を設置し意見を受ける事ができる。通常苦情・相談の受付は園長又は主任が行っている。さらに日常の保護者との登降園時の会話も大切にしている。職員は些細な事でも、問題意識を持って園内の各会議に挙げて共有化を図っている。</p> <p>地域に開かれた保育園を目指しているが、新型コロナ禍の中関わりの方法を模索している 地域の中で開かれた保育園として、園行事への近隣住民の招待、在宅子育て家庭への保育所体験、児童館と協働で未就園児への支援などを通して地域へ貢献している。また区の私立保育園連絡会に出席して、行政からの地域の保育動向や他園との交流による情報交換を行っている。また、地域懇談会に参加し、地域の福祉ニーズを把握分析している。今後はさらに近隣商店街との交流の機会を深め、地域に開かれた園としての役割を果たしていくことを考えているが、新型コロナ禍の状況の中で縮小しており、禍の終息が待たれる。</p>		
カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>危機管理の視点から緊急の問題点を洗い出し、その対策を立てている</p> <p>日常業務における安全管理の視点はマニュアルを通じて全職員に周知している。「事故防止」「不審者対応」「感染症防止」「プール管理」「SIDS対応」などを揃え、職員は定期的に関覧をし、リスクの発生を防ぐとともに、対応力の強化を図っている。昨年度は散歩時の事故防止に関して、警察、区の協力のもとコースの点検を行った。今年度は新型コロナ禍の感染症対策として、登降園時の引き渡し場所の変更などを行った。また、保護者との連絡を迅速に行うために、インターネットを利用した配信システムを運用している。</p> <p>災害時の対応として備蓄品の管理を含め、事業再開の方法を定めている</p> <p>大規模災害時の区の災害想定により、予測される被害状況を見越した園としての対策案を作成している。物流システムの混乱などによる影響を避けるために、園では、本部と区の基準によって適切な備蓄品の管理を行っている。本部として標準的な事業再開計画(BCP)を定め、フローチャート化している。しかしながら、園のおかれた地域性、特殊性を考慮した改版、および訓練計画(組織体制や職員の参集基準、事前対応(特に教育、訓練、保護者対応などを含む)はこれからの課題となっている。</p> <p>個人情報保護に関する規定を整備し、保護と適切な管理を行っている</p> <p>情報の管理は区及び本部の指針に従って運用されている。園の運営にかかわる情報については職員室の鍵のかかるロッカーに保管し、必要な場合はその都度閲覧できる仕組みとなっている。電子データについてはパスワードで管理し、職員の職層によってアクセスの権限を与えている。利用者の個人情報の取り扱い、入園説明会の折にその扱い方を説明して同意を得ている。職員は入社時に守秘義務及び個人情報保護の趣旨に関して誓約書に署名し、実習生・ボランティアにも同様の趣旨で同意を得ている。</p>		
カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p> 必要な人材の確保に向けて、様々な手段を駆使している 園の職員体制を勘案して、園長が本部に要望して、人材の補強を行っている。本部は求める人材像と役割を明示し、広く人材を求めている。求人パンフレットやHPを工夫し、法人としての「理念」「保育目標」を掲げ、「処遇」などを明示している。特色としてワークライフバランスを考慮した働き方、きめ細かい休暇取得制度などをあげている。募集には通常の就職斡旋機関のみならず、「友人紹介アプリ」などを利用したり、専門学校に講師を派遣するなど、さまざまな手段を駆使している。 </p> <p> 新型コロナ禍の状況の中、密を避けるためオンライン研修が効果を発揮している 当園は保育方針「子どものありのままの姿を丸ごと受け止めるなど」を掲げている。これらの実現に向けた質の高いサービスを行うために、職員の職層、職種に応じたそれぞれの役割を明示している。それらを周知するために、本部によって、豊富な研修プログラムを用意している。本部での合同研修、園内研修を用意し、新型コロナ禍の状況の中で、オンライン研修が効果を発揮している。特に職層別の研修では職員のキャリアパスに準じたそれぞれの役割での理解が求められている。 </p> <p> 職員の働く意欲が増すよう常に配慮し、心身の健康を図る取り組みをしている 園長は、職員の日頃の気づきや工夫を導き出すよう、会議や研修報告会で全員に働きかけ、それぞれの良い面、専門能力を高めるよう心掛けている。また、主任も交えて園内の状況を的確に把握して、風通しの良い職場づくりを目指し、必要に応じて個人面談や業務上の進捗状況へのアドバイスを行っている。本部では産業医を配置し、メンタルに不調がある場合など、職員が相談できる窓口を設けている。また、新規職員には入社1か月後にエリアマネージャーによる面談を行い、困っていることはないかなど、心身のケアに努めている。 </p>		

7 カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1	
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
<p>当園は公設民営として運営を開始して7年が経過し、年々保育の質を高めるよう努めてきた。昨年度より「リーダー保育士の育成」を掲げた。これは、入社年次の浅い保育者がキャリアパスを理解し、リーダーとその役割を共有するとともに、次期のリーダーに育てていくことによって、園全体の保育力の向上を目指したものである。</p> <p>これらを達成するために以下の取り組みを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の積極的な受講に向けて、職場環境(シフトの変更など)を整備した。 ・受講成果の共有のため、研修報告を行い、意見の交換を行った。 ・リーダー保育士の会議に参加し、それぞれの立場や迷いについて話し合った。 <p>以上の取り組みによって、研修受講で学びの機会が増え、日頃の保育を振り返り、実践に活かすことが出来た。さらに、コーチングの役割を共有することができた。</p> <p>昨年度の活動の検証結果から、次期のリーダーがその役割を認識するために今年度も同様の取り組みを継続する事とした。また新型コロナウイルス禍という事態に対して、研修受講が途切れないように、オンライン研修やリモート会議をさらに充実させる一歩となった。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>園として様々な世代の職員を保育者として従事させる必要があり、新人を迎え、中堅への育成は大切な取り組みである。「リーダー保育士の育成」はそれらの中で重要な取り組みといえる。</p> <p>研修への参加を促し、その環境を整えることは園としての役割であり、さらにリーダーの役割を経験によって速やかに理解する取り組みを大切にした。</p> <p>これらの取り組みは、新型コロナウイルス禍の中でも引き続き継続している。さらに研修(本部及び外部)に参加する事によって、園以外のさまざまな保育者との触れ合いによって、幅広い交流が生まれる。ただし、今年度の状況では、すべてを達成する事は困難であると考えられるため、「リモート」或いは「オンライン化」によって補完される事を期待する。</p>	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

地域に根差した保育園として長年事業を行ってきたため、子育てにおける「みんなで育てる」の実践を目指して、地域交流を積極的に取り組んだ。

これらの達成に向け、以下の取り組みを行った。

・地域交流として、4歳児・5歳児が年に数回老人ホームへ訪問した。その時には歌を披露したり、製作物をプレゼントしたりして交流を楽しんだ。また、クリスマス時期には老人ホームの職員がサンタクロースに扮装して訪問していただき、子どもたちを喜ばすなどして頂いた。

・近隣の商店街のお花屋さんが花材を準備し、「花育」を行った。4・5歳児対象にフラワーアレンジメントを制作してを持ち帰り、保護者に好評だった。

・ハロウィンの際には、商店街のご協力の下、パレードを行い、お菓子を頂いた。

・園の各行事のポスターを貼ったり、招待状を送ったりして地域の方々も参加頂くようにした。

以上の取り組みの結果、「花育」から始まった、地域交流が活発になり、子どもたちが保育園以外の方々との出会いによって交流の幅を広げることができた。

今年度も「みんなで育てる保育」の実践に取り組む予定であったが、新型コロナ禍の中で、一時活動が休止状態となっている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

老人施設での触れ合いや地域商店街との交流は、園が地域の福祉拠点としての役割を發揮することが求められる中での取り組みである。また、子どもたちにとって、様々な世代の方々との交流ができる事はかけがえのない財産となることが期待される。また、子どもたちの成長と共に近い将来、近隣が生活の場になっていくことも明らかである。

昨年までの取り組みを検証した結果、今年度も継続して実施する計画であったが、新型コロナ禍という不測の事態の発生により計画を大幅に縮小せざるを得ない状況のため、それに代わる取り組みを模索中である。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>ホームページで公設民営園であることや対象年齢、保育時間などの情報を発信している</p> <p>本部が開設している当園のホームページでは、園長より一言として「みんなで育てるという思いを大切に、個々の姿にしっかり向きあい、寄り添った保育を目指している」と発信している。公式ホームページでは、区立園であり公設民営の運営形態であること、0歳(9週目以上)から就学前までが対象年齢であることなどの情報を掲載している。また、園の特色「児童館と併設しているので行事や地域交流、遊び場として活用している」ことや「公園に隣接しているので散歩に出やすく、近隣の方との交流にも活用している」ことなどを伝えている。</p> <p>地域のネットワークを中心に情報提供を行っている</p> <p>区立園であることから、区とさまざまな情報のやりとりを日常的に行っている。園長は毎月園長会や地域懇談会などに出席して情報を交換し、共有に努めている。園では児童館が併設されていることから、日々の保育の中で遊び場としてや地域交流の場として活用させてもらったり、児童館の事業に職員を派遣するなどして連携強化を図っている。現在は新型コロナウイルス感染症対応のため休止している。また、子ども家庭支援センターや子ども発達支援センターなどの専門機関と連携し、子ども一人ひとりの成長を見守っている。</p> <p>利用希望者の見学時には資料を配付して丁寧な説明を行っている</p> <p>見学の希望者には新型コロナウイルス感染症対応の園としての取り組みを話し、見学者が重ならないよう日程を調整している。受け入れは月曜日から金曜日とし、都合が悪い方は土曜日にも受け入れている。見学者にはマスクを着用してもらい、園長や主任が対応している。「入園のしおり(見学者用)」を配付して保育目標や方針、園の概要について説明し、テラスから施設を案内し見学をしてもらっている。見学者の質問「体調をくずした時の対応、延長保育について」などに丁寧に答え、週1回英語の時間に1歳児と一緒に保育体験できる機会を設けている。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>新入園児の説明会を開き、園の重要事項やルールなどについて説明している</p> <p>新入園児の説明会は全体で行い、新型コロナウイルス感染症対応として各家庭1名の保護者参加としている。園長は「重要事項説明書」や「入園のしおり」を用いて、保育目標や方針、園のルール、活動の特徴、延長保育制度、年間行事予定、健康管理、給食、災害に備えてなどとともに、プライバシー・個人情報の取り扱いや苦情解決制度などの説明を行っている。説明後は保護者からの質問にも答え、不安な気持ちに寄り添い少しでも解決するよう心がけている。また重要事項の説明を受け受領したことの署名を保護者から得ている。</p> <p>入園時に心身に負担がかからないよう「慣れ保育」を行い、配慮している</p> <p>新規の入園にあたっては短時間から始める「慣れ保育」を行っている。入園時に提出された児童票(入園までの生活状況、保育状況、健康面の記録、食事調査など)は支援に役立つ基礎資料としている。保護者の就労状況は様々であることから、入園当初は保護者と相談して「慣れ保育」の計画を立て1週間から10日間を目途に、子どもの心身にストレスをかけずに園生活に入れるよう進めている。子どもと一定の保育士が関わり信頼関係ができるよう配慮している。お迎え時には子どもの食事や睡眠、遊びの様子を話し、安心してもらうように努めている。</p> <p>転園、卒園した子どもを行事に招待し、友だちや職員に会える機会を作っている</p> <p>途中で転園する子どもには、担任手作りの写真やメッセージを添えたカードと製作帳(子どもの作品集)をクラスで渡し、「新しい園でも元気に過ごしてください」とお別れの会を行っている。卒園していく5歳児の子どもたちには一人ひとり「保育所児童保育要録」を作成し、入学先の小学校に送付している。転園、卒園した子どもたちには、ちびっこ祭りや運動会などの行事に案内状を出して招待している。今年度は新型コロナウイルス感染症対応で中止しているが、正月に年賀状をいただくなど、元気な様子を職員で知ることができ喜びとなっている。</p>		

サブカテゴリ-3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリ-3の講評		
クラス会議などで計画や個別の指導計画を作成し見直している 保育理念「大地にがっしり根を張る(大樹)に育つ」を基に「全体的な計画」を作成している。養護と教育の一体性を踏まえ「全体的な計画」を基に、年間指導計画、月間指導計画、週日案指導計画を作成し、週案では具体的な活動を計画している。各指導計画はそれぞれ、年、期、月、週ごとに振り返り(反省・評価)を行って次月に活かしている。0～2歳児の月別個人指導計画はクラス会議で作成し、月初・月末会議(職員会議)で共有している。食育計画や保健計画も作成し、計画や記録書類は職員全員が見ることができるようになっている。		
子どもの日々の活動は週日案に、一人ひとりの成長の様子は児童票に記載している 日々の活動は保育日誌を兼ねた週日案に記入し、週日案はその日の活動とわらい、予想される子どもの活動、配慮・環境構成、振り返りなどを記入する書式になっている。0～2歳児の連絡帳には園での様子を具体的に書き、3～5歳児はノートを活用している。子どもが成長していく姿は「児童票、保育の経過記録」に、月齢や年齢に応じた「主な発達のあらわれ」の一覧表で「大人との言葉のやりとりを楽しむ」「自分の名前が言える」などの指標に達した時期を記入し、成長の経過を定期的に文章にまとめて記入し園中の記録が集積していくようになっている。		
昼礼や職員会議などで子どもに関する情報を職員間で共有している 毎日行っている昼礼では、子どもや保護者の状況、発熱、けが、感染症などの発生状況を確認し、伝達事項は各クラスの視診表や園日誌に詳細に記入している。園日誌の全職員のチェック欄に各自でチェックし、保護者への連絡がもれないように職員間で共有している。月2回の職員会議をはじめ、リーダー会議、乳児・幼児会議、クラス会議などを行い、職員会議では各クラスの保育内容や子どもに関する情報、行事、連絡事項などについて報告して意見交換し、職員全員で把握し共有するよう努めている。		

サブカテゴリ5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ5の講評		
<p>個人情報の取り扱いや子どもと保護者のプライバシー保護に努めている 子どもと保護者のプライバシーを守ることに、入園時に「個人情報の取り扱い(プライバシーポリシー)」について説明し、「個人情報・写真等の取り扱いに関するお願い」の文書を配付して、氏名や写真、動画などの利用目的と範囲(園だよりなどへの掲載、園内での掲示、保護者会での上映など)を示し、保護者にも他の園児が写っているものをブログなどにアップしないことを依頼し、書面で同意を得ている。職員も誓約書を提出して、子どもや保護者の情報を外部に提供しないことや保護者との会話がほかの保護者に聞こえないよう配慮している。</p> <p>子ども一人ひとりを尊重し羞恥心に配慮した保育を行っている 職員は子どもが安心と自信を持って生活ができるよう、保育方針の「子どものありのままの姿を丸ごと受け止める」ことに努めている。一人ひとりの子どもの行動や欲求に分かりやすい言葉で穏やかに語りかけ、応答的に関わっている。子どもの権利について「呼び捨てにしない、食事を無理強いしない、全裸にしない、恐怖心をもつ言動をしない」など具体的に確認し、十分に配慮して保育を実践している。オムツは決まった場所で交換し、着替えは一つずつ着替えることを伝え、身体測定はロールカーテンやカフェカーテンなどで他者の視線を遮る工夫をしている。</p> <p>児童虐待のサインを見逃さないための知識を職員間で共有している 本部作成の「虐待防止対応マニュアル」を常時閲覧できるようにし、本部、区、外部の研修を受講し、受講後は職員会議で報告し共有している。虐待防止や育児困難家庭への支援に向けては、子どもの様子や日々の保育の中で留意する事項などについて会議で情報を共有し、理解を深めている。日ごろから保護者とコミュニケーションを取り、家庭の生活習慣や価値観を尊重するよう努め、子どもや保護者の気持ちを傷つけるような言動はしないことを確認している。また、職員間のコミュニケーションを円滑にし、共通理解と協働性を高めようと行動している。</p>		

サブカテゴリ6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ6の講評			
<p>系列園共通のマニュアルが整備され、日常的な活用が行われている</p> <p>本部が作成した系列園共通マニュアルが園に置かれ、保育指針とともに業務の標準化に活用している。「事故防止対応、防災・災害対応、感染症防止・衛生管理、食育、食物アレルギー、プール管理」などのマニュアルや、「身だしなみ・勤務時のマナー等」のマニュアルが整備され、職員はいつでも見られるようになっており、年度初めに全職員で確認している。新規職員は本部の研修で行動基準を取り入れたこれらのマニュアルの主要部分を学んで現場の業務に就いている。本部でマニュアルを改訂し、園の職員会議で確認し新しい手順を現場に活かしている。</p> <p>手順の見直しを定期、随時に行い、必要に応じて保護者に説明している</p> <p>業務手順やマニュアルは必要に応じて見直しを行っている。今年度新型コロナウイルス感染症対応で区や本部の指導を受け、職員で一日の流れや行事などの見直しを行っている。登降園時の受け渡し場所は各保育室のテラス前としたことや持ち物の準備の仕方、午睡用のシーツ交換などの変更を保護者に説明し協力を得ている。午睡用布団はレンタルに変更し、0歳は1か月ごと、1、2歳は6か月ごとに交換している。手洗いや排せつ、遊びが密にならないように工夫し、玩具の消毒や室内清掃に努め、散歩先でも石鹸で手洗いをしている。</p> <p>会議や研修を活用し、業務水準の確保に努めている</p> <p>本部や区の園長会、主任会に参加して情報を交換し、得た情報は持ち帰って職員会議で周知し園運営に活かしている。職員の対応の水準が一定になるよう研修制度を充実して学ぶ機会を増やし、職員一人ひとりのスキルアップに繋がっている。研修後は研修報告書を作成し、参加した職員がリーダーとなって職員会議で報告し、情報を共有している。園内研修の実施や昨年度から継続してリーダー会議を行うことで、横の繋がりが深まり、保育の協力体制が生まれてきている。毎日の昼礼や行事後の反省会などでも課題を早急に話し合い、改善に向けて取り組んでいる。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
		35 / 35	
<p>1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(000000)</p>			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>発達過程や生活調査などから、子どもの姿を把握し、保育を行っている</p> <p>入園前の生活調査票・食事調査票・家庭調査票・健康調査票その他のけんこうカードなどから、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握して保育を行っている。子どもたちは、毎月身体計測を受け、0歳児クラスの子どもには毎週嘱託医による健康チェックを実施している。園では、日々のミーティングで各クラスの子どもの状況を事細かく伝えあい話し合われたことを園日誌や健康観察票に記載し、全体での共有と把握ができるようにしている。気になるケースについても日々のミーティングで全体共有をし、区の巡回相談で助言を受けている。</p> <p>各クラスの子どもの成長に合った玩具を取り揃え、コーナーの充実を図っている</p> <p>昨年からブロック等の玩具を揃え、玩具の充実を図っている。どのクラスも子どもの発達の状態に応じた保育をする中で、子どもの興味や関心を見せる様子を見ながら玩具の入れ替えや新しい玩具を出し、子どもが遊び込める環境設定をしている。日中の天候の状態を見て戸外遊びも入れている。4・5歳児クラスの子どもたちは午睡あけから友達と協力して大型の作品を作り上げるなどし、充実感を持って取り組んでおり、その続きができるよう場所の確保をして行くことで遊びの連続性につながっている。</p> <p>配慮が必要な子どもは子ども発達支援センターとの連携をし、保育の取り組みをしている</p> <p>対象児については、クラスの子どもたちとの関わりの中で、対象児を気遣い合い、共に成長を促すような形に育ちあっている。年間を通し、子ども発達支援センター及び区保育課との連携を取り、情緒面は心理職の巡回訪問による助言を受け、身体面については医師の助言をいただきながら進めている。5歳児の小学校教育への円滑な接続に向けては近隣の小学校と連携をとり、年度末に向けて保護者への説明も含め年間の予定を決定し年3回ほど交流を行っている。5歳児の児童要録は入学予定校に渡し、配慮が必要な子どもは支援シートを手渡し連携を図っている。</p>			
<p>2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(0000)</p>			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当	
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当	
評価項目2の講評			
<p>登園時の受け入れの際に前日夕方から朝までの子どもの体調や機嫌等を確認している</p> <p>朝の受け入れ担当者は、0・1・2歳児の乳児の保護者に挨拶後、連絡帳を受け取りながら前日夕方から朝までの子どもの体調や機嫌の様子、睡眠の状況を直接確認している。確認事項は、視診票に記入し、クラス担任の他、特記事項等があれば、園全体で把握するようになっている。3・4・5歳児についても子どもの様子や保護者について、担当者からの伝言で連絡されている。保護者との会話を大切に保護者支援の取り組みにつながるよう努めている。</p> <p>子どもの生活が安定し、一人ひとりの生活リズムが整うよう配慮した支援をしている</p> <p>食事や排泄など基本的な生活習慣の計画性や連続性の大切さを伝えるために朝夕の送迎時や個別の面談時間も必要であれば随時設け、保護者との会話の時間を大事にしている。子どもに習慣化が身につくよう個々の発達の支援を丁寧に行っている。トイレトレーニングは保護者との連携を取りながら一人ひとりの排尿感覚をつかみ、同じ時間帯の子どもを少人数ずつトイレ誘導をし、自分でできたという満足感を持たせている。0・1・2歳児の食育計画にならない、子どもは食べ物に興味を持ち自ら意欲的に食事をすることや、好き嫌いなく食べることを実践している。</p> <p>子どもの状況に合わせ、休息(昼寝を含む)の長さは子どもの様子を見て配慮している</p> <p>0歳児は月齢に応じた午睡をし、家庭の状況を見て2回睡眠を設け、体調の安定を図っている。幼児クラスの4・5歳児は保護者からの申し入れ等があった場合は、午睡時間を短くし、休息の時間に切り替えるなど状況に合せ保護者の意向を汲む形にしている。休息をとる場合は静かに過ごし、午睡に入っている子どもの妨げにならないよう配慮している。降園時には、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりにきめ細やかに伝え、保護者からの信頼感を得ている。</p>			

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがまじりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの発達過程を踏まえた保育者の深い関わりが子どもの心を育てている</p> <p>0歳児は、特定の保育者の受容的・応答的な深い関わりから、愛着心が形成されることが「全体的な計画」に記されている。同様に1歳児は、周囲の人への興味、関心が広がり、2歳児では、自己主張や友達との関わりが増え、きまりあることを知るようになる。3・4・5歳児は集団遊びの楽しさもわかるようになり、ルールのある遊びをして友だちと力を合せて一つの目標に向かって保育者の援助を受けながら行事をやり遂げるまでに育っている。</p> <p>子どもたちは近隣の小学校から一人一冊ずつの図書を借り本に親しんでいる</p> <p>年長児は近隣の交流している小学校に遊びに行き、図書室から本を借りている。4・5歳児クラスの子どもたちは、読み聞かせボランティアに絵本を読んでもらい読み聞かせを楽しむほか、時には「すばなし」を聞かせてもらうこともあり、ものがたりや絵本の世界の楽しさに入り込んでいる。0・1・2歳児は保育者との安定した関わりの中で言葉掛けを喜び、絵本の読み聞かせや手遊び、触れあい遊びを楽しみ、ごっこ遊びや見立て遊びを楽しみながらクラスの友達との関わりに関心を持つようになっていく。</p> <p>近隣には公園が多くあり、天気の良い日は毎日園外保育に出かけている</p> <p>子どもが戸外で活動する場所に園庭があり、近隣にはたくさんの公園があって天気の良い日は毎日、園外保育に出ている。季節の移り変わりを散歩や公園での遊び、自然観察から木の実や色づいた落ち葉を持ち帰るなど、室内遊びや製作に活かし、楽しんでいる。雨の日は気分転換にホールを活用し、乳児クラスは児童館を利用させてもらい、活発に体を動かし地域住民との自然な関わりが持てている。また、地域の商店街に散歩に出かけ、別の地域住民と触れ合っている姿もある。幼児クラスは週1回体操指導と園独自のリズム運動で発達援助を受けている。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>年間行事は日々の保育に変化を添え子どもの成長の様子をお見せするため実施している</p> <p>園行事は、成長の節目や季節行事を入れ、子どもの成長の様子を保護者に見ていただくものとして実施されている。今年度は、新年度がスタートする前の2月あたりから新型コロナウイルス感染症が起き、感染拡大の心配があったことから、園児の登園自粛呼びかけが区から要請された。保護者には、年度全般の行事の大半が取りやめとなったことを伝え、ご理解をいただいているが、園としては何らかの形を変えた行事にして行きたく検討を重ねている。</p> <p>子ども同士力を合わせ、精一杯行事等をやり遂げ満足感が持てるよう取り組んでいる</p> <p>園は三密を避ける工夫をしながら子どもたちに楽しい体験と思い出が残るよう、行事の変更と入れ替えを園だより10月号で保護者にお知らせした。主なものとして4・5歳児のバス遠足と5歳児の芋ほりは中止とした。3～5歳児は遠足ごっこをし、家から持参してもらった弁当を食べ、満足感を持たせている。中止となった運動会は5歳児のみ運動会を実施し、家庭からは一家庭2名までの出席とした。3・4歳児は運動会ごっこをし、それぞれの年齢の予定日は雨天の場合は変更日を設けている。</p> <p>行事の準備や実施では早めに保護者の理解と協力を得る工夫をしている</p> <p>今年度から年間予定表を年度初めに配布したことにより、保護者が計画的に日程調整が可能になった。園として保護者の参加人数が多いほど協力を依頼しやすくなり、行事を盛り上げる事にもつながると考えている。ただし、今年は主な行事の開催を見合わせるか、縮小を余儀なくされたため効果を発揮するには至らなかった。また、保護者からは、行事も含めて、急ぎの連絡手段の活用を幅をより拡げてもらった方が助かるという意見も出ており、様々な改善や調整が整うことを期待したい。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○非該当
評価項目5の講評			
<p>長時間保育の利用児が、安心してくつろげる室内環境になるように配慮をしている</p> <p>月案で、長時間保育の枠を作り、年間を通し見通しを持ったサービスができるよう配慮がされている。園として、長時間保育のための室内の環境設定を考えた場合、空間作りを行い保育者の存在も環境設定の一つと捉えている。子どもに対し、言葉遣いなども気をつけている。3・4・5歳児の場合任意で水筒を家庭から持参してもらい、0・1・2歳児クラスは園からの水分補給を心がけている。今年度の延長保育利用児の定員は19名であるが、利用児は1名のみである。希望対象家庭が少ないのは本年度特例と考えられる。</p> <p>子どもが楽しく過ごせるよう本人が遊ぶ玩具を整え言葉がけも気をつけている</p> <p>延長保育に残る子どもは合同保育になることから、異年齢交流を大切にしている。また、対象児が一人の場合には、本人への穏やかな言葉がけをしながら、寂しさや退屈にならないよう温かいまなざしと共に寄り添い続けるようにしている。更に、疲れた時に横になれるように小さなマットを敷き、休息が取れるように場の整備がされている。子どもに元気がない様子が見える時には、小さな変化も見逃さずに保護者に丁寧に伝えることとし、生活の連続性につなげている。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当
評価項目6の講評			
<p>子どもの年齢発達にあった机や椅子を用意し、落ち着いて食事がとれるようにしている</p> <p>食事環境には年齢や発達にあった机や椅子を用意し、一人ひとりの子どもに応じた言葉がけをしている。体を使い、思いきりあそびを楽しんだ充実感を持ち、お腹を空かせて食事に向かうことを大切にしている。今年、年度当初にコロナウイルス感染症が発生し、幼い子どもたちがいる園では登園自粛が区から出され、どの家庭でも様々な事情を抱えながら協力をして頂いている。今現在もコロナウイルスが終息はしておらず緊張状態が続いており、食事前のうがい、手洗いをしっかり行い、机に座る時も向かいあう子どもの席は空席にし、密を避ける配慮をしている。</p> <p>毎月、給食だよりを全家庭に向け配布し食事摂取の注意点や誕生日給食を紹介している</p> <p>給食だよりが毎月全家庭に配布され10月号は誕生日給食の子どもが喜ぶ内容紹介や食事摂取時の注意点が出されている。食事摂取の注意喚起として誤嚥を防ぐため園の給食ではブチトマト、ぶどう、さくらんぼ等の提供廃止を伝えており、食品による子どもの窒息事故を防ぐポイントを分かりやすく説明している。園では食物アレルギーを含む子どもの体調や文化の違いに応じた食事を提供している。アレルギー児については毎月の献立表を保護者に内容確認してもらい、更に園長、担任、調理職も確認するなど、提供時の誤食を防ぐ対応を確実にしている。</p> <p>今年も夏野菜の栽培をし、収穫をして食材に組み込んでいる</p> <p>食育計画は栄養士・保育士で話し合いのうえ決定し、クッキングも毎月実施している。しかし、コロナウイルス感染症が発生し、当園においても行事の取りやめから形を変え縮小化し、子どもを喜ばせ保護者にその様子をお見せする態勢に変わってきている。夏野菜を早めに栽培していたことから5歳児を中心にキュウリ、ピーマン、茄子を収穫し、給食の食材に組み込んでいる。子どもにとって楽しみなクッキングは、密になる可能性があるため取り組んでいないが、歳児に応じた食育計画は日々実践している。</p>			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当	
評価項目7の講評			
<p>年間保健指導計画で、子どもが自分の病気やけがを予防・防止できるよう援助している</p> <p>園には年間保健指導計画がある。毎月保護者に配布するほけんだよりには、この保健指導計画から保護者への配慮を含めた月々のテーマを出し、担当する看護師が伝えている。5歳児は就学を控えた年に入っているため、自分の体の大切さを分かりやすく伝えている。担任保育者と連携を取り必要なことをその都度具体的に話し、自分の健康を守り安全に過ごすよう援助している。全園児には年齢区分で担当保育者に委ね、子育てそれぞれの状況に合わせて連携を取り全体の把握に努めている。今年はコロナ感染のため園舎全体の衛生消毒も担当立場になっている。</p> <p>園児の健診等は、0歳児、3・4・5歳児、全園児と3種に分けて受診している</p> <p>園では、全園児月1回の身体測定その他、毎週、0歳児の様子を診察に訪れる嘱託医がいる。全園児の健診は春と秋の年2回受診し、内科医によるものと他に歯科健診がある。また、耳鼻科健診と眼科健診を幼児のみ受診している。また、この結果はそれぞれ全園児の家庭に伝えられ、各健診記録は、それぞれのクラスの児童票にも記載されている。このほか、園では医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関との連携に基づく対応をできるようにしている。現時点では、その対象児は在籍していない。</p> <p>子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組みを行っている</p> <p>園では、0歳児の睡眠時無呼吸症候群(SIDS)の予防として全園児の午睡チェックを行っている。この際、寝返りを打ってうつ伏せ寝になった場合、必ず仰向けに直している。特に0歳児については、うつ伏せ寝で鼻がふさがれた場合、自発呼吸ができにくく危険な状態になるため、必ず、見守りをする保育者が注意深く様子観察をし、体位交換を入れる事が大事である。また、このことについてのポスターや説明資料は、保健のお知らせコーナーに掲示して注意を促している。</p>			
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当	
評価項目8の講評			
<p>保護者の様々な事情で本来の届けがなくとも、個々の事例に配慮した支援を行っている</p> <p>届け出がなくとも、家庭の状況から判断して受けいれたり、登録していない当事者がスポットの対応を求めてきたときに、受け入れるなど、状況に応じた対応をしている。今年度は、新型コロナウイルス感染症が後半に向けて拡がりを見せているため、飲食を伴った会話や狭い空間での密な触れ合いから感染が起きた場合、幼い子どもにも感染する可能性がある。そのため、いままでのように和やかな空間を作ることが難しいと思われる。工夫が求められるが、どの選択肢が良いか職員間で話し合いをしているところである。</p> <p>朝の受け入れ時や夕方のお迎え時にできるだけ子どもの様子を詳しく伝えている</p> <p>保護者と園職員の信頼関係が深まるような取り組みを随時設けてきている。年2回の保護者会で行われる子育てに関する意見交換などで、関係性を構築している。今年は全くそれができず、新型コロナウイルスが拡がってきている中で個人面談自体が難しい状況でもある。子どもの発達や育児について共通認識を得る取り組みのひとつとして、昨年の後期保護者会では、日頃の保育の様子をビデオ撮影し上映をして喜んでいただいた。今年度も感染症対策を講じたうえで、同じように実施する事を期待する。</p> <p>保護者の思いを受け止め、話をじっくり聞く姿勢を大事にして取り組んできている</p> <p>既に、オンライン会議やeラーニングが実施されている状況のなかであっても、保護者との接点は登降園時の顔合わせに頼らざるを得ない。さらに、連携を密にするための保護者会や、養育力向上を目指した保育参加などの取り組みが待たれる。園ではさまざまな試みをを検討する中、何回かに分けての取り組みも計画している。話し合う場にマスク着用やアクリル板ガードを使用しての会合も考慮している。新型コロナウイルス禍の影響が少しでも改善されることが待たれる。</p>			

9 評価項目9		地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)	
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○非該当	
●あり ○なし		2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○非該当	
評価項目9の講評					
<p>児童館や商店街の交流を活かしてさらに前進をしている</p> <p>児童館との交流や花育(フラワーアレンジメント)の実施で商店街との交流が深まり、ハロウィンパレードを実現できた。さらに、老人ホーム訪問で高齢者との交流も実現ができています。地域に根差している園なので、近隣の商店街の方々から子どもの散歩時に声をかけていただくことが多い。園は、商店街にある花屋さんに来てもらい、花育を実施し、職員や子どもたちも花に接し、学ぶことができています。</p> <p>園の行事のちびっこ祭りや運動会では、地域の方々の参加を呼びかけている</p> <p>園の行事に地域の人参加を呼びかけたり園の子どもたちが地域の行事に参加し、自然な交流が広がってきている。地域の行事では子どもが職員以外の人と交流する機会になり、地域の中で様々な触れ合いを通して、社会性が身につく機会にもなっている。園としては、さらに地域の中で何ができるか検討をしていきたいとしている。しかしながら、今年度の新型コロナ禍の中でこれらの取り組みの縮小が余儀なくされた。禍の少しでも早い終息を期待する。</p>					

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル①	事故防止に結び付くヒヤリハット記録への取り組みを強めて、危機管理に繋げている	
内容①	園全体で、危険に結びつく可能性を記録し、ヒヤリハット記録としている。この取り組みは、些細なことをまず記録に残すことが重要で、職員全員が意識を持つことが必要である。記録は各年齢クラス、給食室毎にノートに記載し、担当者が躊躇なく記録をとれるよう、内容に制限はしていない。おおよそ半年（自粛期間も含めて）に140件の記録を残している。これらの記録を集計することによって、起こったことの傾向を把握し、事故防止に役立っている。またこれらの報告、集計の過程で職員全員の問題意識の向上に繋がっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保育の活動や子どもの様子を伝え、保護者の要望の把握に努めている	
内容②	送迎時の会話や連絡帳で日々のコミュニケーションを図り、活動の様子を写真で紹介している。保護者会は年2回、個人面談は1回実施し、保護者の要望を把握する機会としている。各クラス前期(5月)の保護者会で年間のねらいや保育内容などを説明し、後期(1月)では日ごろの保育の様子をビデオ撮影して上映し、普段見ることができない姿を見ることができると好評であった。行事後のアンケートや満足度調査によって、問題点を把握し次年度に活かしている。新型コロナ禍の状況で、当初計画が縮小される中、代替案などを模索している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル③	園の立地している環境を利用して、さまざまな出会いの機会に繋げている	
内容③	園の周りは公園が多くあり、子どもたちは天気を見て先ず散歩に出かけ健康的に過ごしている。0歳児の子どもたちは雨の日は児童館で思い切り動き回り、訪れている地域住民の方達と自然な触れ合いを楽しんでいる。園の近くには商店街があり、そこに出かける子どもたちもおり、通ううちに顔なじみになり声をかけられている。商店街にある花屋さんに花育(フラワーアレンジメント)を受けたことがきっかけとなり、昨年は商店街でハロウィンパレードができた。また、そのご縁で老人ホームの高齢者と触れ合い、多世代の方達と交流ができている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員間のコミュニケーションや連携を大切にし、職員が主体的に考えチームで保育することを目指している
	内容	日常的な場面や昼礼などの会議において、職員間のコミュニケーションや連携を重視している。年度初めに本部の方針「こころ・からだ・生活」の三位一体の保育実践と、危機管理意識を高め不測の事態に備えることなどについて話している。それを受けて園の計画「保育内容、職員育成、子育て支援、保育環境の充実」などに繋げて、園全体の保育の質の向上取り組んでいる。子どもへの声かけが全体的に増えたり、意識が自主的に変化し意欲が高まる結果を生み出した。今回の自己評価結果でも職員の関係が良好で協力体制ができているなどの意見が見られる。
2	タイトル	年間保健指導計画のもと、子どもが自分の病気やけがを予防・防止できるよう援助している
	内容	園には年間保健指導計画があり、毎月保護者に配布するほけんだよりは、この保健指導計画から保護者への配慮を含めた月々のテーマを出し、担当する看護師が伝えている。5歳児には就学を控えた年に入っており自分の体の大切さを分かりやすく伝え担任保育者と連携を取り必要なことをその都度具体的に話し、自分の健康を守り安全に過ごすよう援助している。全園児には年齢区分で担当保育者に委ね、子育てのそれぞれの状況に合わせて連携を取り全体の把握に努めている。今年はコロナ感染防止のため、園舎全体の衛生消毒も担う重要な立場になっている。
3	タイトル	本部及び園は、職員の働きやすい職場を目指して、さまざまな取り組みを行っている
	内容	本部は「保育目標」「こんな保育園を目指します」の実現のため、働きやすい職場を目指している。職員の勤続年数を延ばすことも重要と考え、毎年1回の「従業員満足度調査」によって、職員の意向を確認し、改善が必要な場合はその対応を行っている。多様な働き方や入社すぐの有給休暇の取得の承認等、常に働きやすい職場環境の実現に取り組んでいる。また本部と園のスムーズな関係の実現のため、エリアマネージャーが潤滑となって職員に助言したり、新入社員へのフォローアップを行ったり、環境の変化に慣れるようサポートしたりしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	園舎内や園庭などの安全対策について見直し、保護者が安心して預けられる施設づくりに期待したい
	内容	利用者調査では、「安全対策が十分取られていますか」の問いに「門扉がきちんと閉まっていないことが多い」「不審者対策などが心配」などの声が複数寄せられている。施設は昭和46年に建てられ49年経過しているが、職員は日頃から整理整頓を心がけ、清潔で明るく快適な環境を提供することに努めている。園では不審者対策を講じたり、併設されている児童館と連携したりするなど、保護者の不安感を取り除く取り組みをしている。しかしながら、安全対策について施設の改善も含めて、再度職員で見直し、対応をされることを期待したい。
2	タイトル	保護者との共育をを目指して、保育支援システムの更なる活用(アップグレード)が期待される
	内容	園が目指す保育の姿勢として、「保護者と共育」を目標としている。この実現に向けて保育支援システムを導入して、日々の連絡(緊急も含む)に保護者への一斉配信を行っている。また今年の登園自粛期間においても「園だより」や連絡事項のプリント類や区からの伝達事項などを速やか発信し、保護者の不安の軽減に役立ってきた。日に日に進歩するICT化の取り組みの一環として、保護者との情報共有に役立ため現在配信のみではなく、保護者からの連絡などにも対応できることが期待される。
3	タイトル	職員の専門能力を高めるための取り組みとして、研修方法の更なる強化が望まれる
	内容	園では職員の能力向上を目指して定期的な研修プログラムを用意している。新人には新卒研修、中堅職員にはキャリアアップ研修を整えている。また園内研修と本部での保育研修(1回/月)を用意している。今年度は外部講師を招いてリモート研修を行った。新型コロナウイルス禍の状況の推移によっては、集合研修が困難になることも懸念されるため、リモート研修の試みは状況にあった取り組みと考えられる。更に、多くの科目(例として基礎的な手順書のデータベース化や動画配信など)を用意することが望まれる。

巻末 付属資料

- (1) 利用者調査 調査票
- (2) 事業プロフィール
- (3) 経営層合議用シート（組織マネジメント、サービス分析）
- (4) 職員用シート（組織マネジメント分析、サービス分析）

令和2年度 認可保育所 杉並区立△△保育園

調査のお願い

このたび、△△保育園では、よりよい保育サービスの実施をめざして、東京都福祉サービス第三者評価を実施することになりました。この評価は、東京都福祉サービス評価推進機構によって認証されている株式会社日本生活介護が実施いたします。

第三者評価にあたって、△△保育園を利用されている保護者の方が、日常の保育サービスに対して、どのように感じていらっしゃるかを把握するため、アンケート調査を実施することになりました。

調査結果は、△△保育園のサービスを評価するために使用し、定められた項目については、インターネット※を通じて公表されることになっています。

また、調査結果は統計的に処理したうえで使用しますので、記入者を特定したり、第三者評価の目的以外に使用したりすることは絶対にいたしません。

お忙しいところたいへん申し訳ありませんが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

※第三者評価結果は「とうきょう福祉ナビゲーション」で公表しています。

「福ナビ」で検索 <http://www.fukunavi.or.jp>

■ 記入に当たって

- ・ この調査は、△△保育園を利用されている保護者の方がご回答ください。
- ・ あてはまる番号に○をつけてください。
- ・ 質問内容が、ご自身にとって「経験がない」「認識がない」など該当しない場合には、「4 非該当」に○をつけてご回答ください。
- ・ 質問ごとにご意見などがある場合は、（自由意見）欄にご記入ください。
- ・ この調査票は、**別添の返信用封筒をご利用のうえ、○年○月○日までに投函**してください。

この調査に関してのお問い合わせは、下記をお願いします。

問合せ先
株式会社日本生活介護
第三者評価担当者（××××）
〒176-0001
東京都練馬区練馬1-20-2
電話 03-3991-8440

現在ご利用の保育園についておたずねします

あなたの気持ちに最も近い番号を1つだけ選び、○印をお付けください。

複数のお子さんがいらっしゃる場合は、一番年齢の低いお子さんの例でご回答ください。

《毎日の保育サービスについてお聞きします》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問1. 園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問2. 園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問3. 園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問4. 戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問5. 急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問6. 安全対策が十分取られていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問7. 行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問8. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				

《安心・快適性》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問9. 園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問10. あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問11. お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問12. 子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	1	2	3	4
(自由意見)				

《利用者個人の尊重》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問13. あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問14. あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問15. お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				

《不満・要望への対応》

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
問16. あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	1	2	3	4
(自由意見)				
問17. あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	1	2	3	4
(自由意見)				

《総合的な感想についてお聞きします》

〔1〕 現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。

(1つに○)

大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満
1	2	3	4	5

〔2〕 日頃お感じになっている保育園に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

〔3〕 今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。

最後に保護者の方とお子さんについておたずねします

F 1. 調査票記入者 (1つに○)

1. 父 2. 母 3. 父母一緒に 4. その他 ()

F 2. 調査票記入者の年齢 (主に中心になって回答した方) (1つに○)

1. 20歳未満 2. 20～25歳未満 3. 25～30歳未満 4. 30～35歳未満
5. 35～40歳未満 6. 40～50歳未満 7. 50歳以上

F 3. 保護者の勤務形態 (○は各1つ)

①父
1. 常勤 (フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他 ()
②母
1. 常勤 (フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他 ()
③その他の保護者(主にお迎えに行かれる方)
1. 常勤 (フルタイム) 2. パート、アルバイト 3. 自営業 4. 無職 5. その他 ()

F 4. お子さんが通うクラス (複数のお子さんがいらっしゃる場合は、該当する全部に○)

1. 0歳児クラス 2. 1歳児クラス 3. 2歳児クラス 4. 3歳児クラス
5. 4歳児クラス 6. 5歳児クラス

ご協力ありがとうございました。

この調査票は、別添の封筒をご利用のうえ、○月○日までに投函してください。

事業プロフィール I

- 1 事業所名（サービス種別）： ()
- 2 (1) 運営主体（法人名等）：
 (2) 設置主体：
- 3 事業所所在地：
- 4 事業所の長の氏名（施設長等）：
- 5 連絡先

T e l		F a x	
Eメール		ホームページ	

- 6 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している主な福祉・医療サービスを利用者数からみて上位5つ以内（例. 特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなど、評価対象事業を含む。）
- (1)
 (2)
 (3)
 (4)
 (5)

- 7 定員および現在の利用者
 ※内訳は別紙のとおり

8 職員の状況

(1) 職員数

区 分	計	男性	女性
常 勤 職 員 数			
非 常 勤 職 員 数			
計			

(常勤換算 _____ 人)
 (計算式: 非常勤職員のそれぞれの勤務延べ時間数の総数 ÷ 当該事業所の常勤職員が勤務すべき時間数)

(2) 専門職員の人数

専門職の名称	人数	専門職の名称	人数	専門職の名称	人数

(3) 非常勤職員の勤務形態と業務内容

*職員種別は、パート、アルバイト、派遣、契約等、施設で通常使用している呼称でご記入ください。

職員種別	人数	勤務形態 (勤務時間、シフト)	業務内容

(4) 前年度採用・退職の状況

	計	常勤	非常勤
採用			
退職			

- (5) 常勤職員の平均年齢 _____ 歳
- (6) 常勤職員の平均在職年数 _____ 年（現在の事業所での在職年数とする）
- (7) 直接支援に携わっている職員（非常勤は常勤換算）1人当たりの利用者数 _____ 人
 (計算式: 定員 ÷ 直接支援に携わっている職員数)

9 実習生の受け入れ状況

前年度の実習生受け入れ人数

人

【内訳】

実習の種類	受け入れ人数

10 ボランティアの受け入れ状況

前年度のボランティア受け入れ人数

人

【内訳】

ボランティアの内容	受け入れ人数

11 平面図等施設の状況がわかるものを添付

事業プロフィールⅡ

1 理念・ビジョン、基本方針など (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)

事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン、基本方針など)のうち、特に重要なもの(上位5つ程度)を簡潔に記述(関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)
- 5)

※ 理念・ビジョン、基本方針などがわかるものを添付して下さい。

2 サービス提供の考え方について記述 (関連 カテゴリー6 サービス提供のプロセス)

日々の業務の考え方、利用者ニーズに合わせた事業者独自の取り組み、利用者や家族との関係、地域との関係を含む

3 期待する職員像(関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上)

(1) 職員に求めている人材像や役割

※ 事業所のキャリアパス(事業所が求める職責または職務内容に応じた人材像)があれば添付して下さい。

(2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)

4 現在のサービス提供能力と利用者数(関連 カテゴリー6 サービス提供のプロセス)

(以下のどれかに○をつける)

- 1) サービスを希望しながら待っている人(事業所に登録している待機者)がかなりいる
- 2) ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない(ほぼ定員を満たしている)
- 3) サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい
- 4) その他()

5 3年後の見通し(関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行)

(以下、〔契約による利用〕、〔措置など契約以外による利用〕のどちらかを選んだうえで、一つに○をつける)

〔契約による利用〕

- 1) 利用者数の増加を見込んでサービス提供能力を拡大する計画がある
- 2) サービス提供能力を拡大する計画はないが、ほぼ現在のサービス提供能力に見合う利用者数は維持できると思う
- 3) 現在の利用者数を維持するのは経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う
- 4) その他 ()

〔措置など契約以外による利用〕

- 1) 施設規模の拡大または新たなサービス提供を行う計画がある
- 2) 現在の施設規模、サービス提供能力を維持する方向で考えている
- 3) 現在のサービス提供能力を維持するのは、経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う
- 4) その他 ()

6 評価対象のサービス事業に関して事業者として力を入れて取り組んでいる点を、人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述 (関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行)

〈人的サービス面〉

- 1)
- 2)
- 3)

〈設備・環境面〉

- 1)
- 2)
- 3)

7 当該事業の開始時から現在までの重要な変遷 (制度改正に基づくもの含む)

- 1) 開始時期 年 月
- 2) 重要な変遷

8 経営に影響を与えていると考えている事業環境の変化を記述 (制度改正を含む) (関連 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行)

事業プロフィール I (7 定員及び現在の利用者 内訳) 認可保育所 版

7 定員及び現在の利用者 (年 月 現在)
 ※下記の利用者の状況が分かる表を添付するか、下の空白部分に書き込んでください。

(1) 一般保育

	定員 (人)	利用者児 (人)
0歳児		
1歳児		
2歳児		
3歳児		
4歳児		
5歳児		
計		

(2) 多様な保育サービス

	定員 (人)	利用者児 (人)	料金 (円)	備考
産休明け保育				
延長保育事業				() 時間延長
病児・病後児保育事業				
休日保育				
一時預かり事業				
障害児保育事業				
分園設置				
アレルギー児対応				
夜間保育				
育児困難家庭への支援				
外国人児童受入れ				
年末年始保育				
子育て広場※1				事業内容番号
在宅子育て支援※2				事業内容番号
その他()				
計				

※1 子育て広場には、つどいの広場を含む。

※2 「在宅子育て支援」欄は、在宅子育て家庭を対象とした子育て支援事業を実施している場合に、備考欄に下記の事業内容番号を記入すること。

- ①育児相談 ②育児講座 ③保育所体験 ④出産を迎える親の体験学習
 ⑤子育てサークル支援 ⑥子育て情報誌の発行 ⑦家庭訪問 ⑧出前保育

〔令和2年度〕

組織マネジメント分析シート 【自己評価用】

経営層合議用

作成日 (完成日)	令和	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者 (役職名) (氏名)				

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行
3.経営における社会的責任
4.リスクマネジメント
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.事業所の重要課題に対する組織的な活動

網掛け部が組織マネジメント分析シートに該当します

■組織マネジメント分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

【カテゴリー1～5】

- 評価項目に対する事業所の取り組み状況を確認するために、「標準項目」の実施状況をチェック☑します。「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、「評価項目」の〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリー」及び「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。
また、各「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等に当たるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
 - 事業者が当該事項を実施していること
 - その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること ⇒ 「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
 - その根拠が示せること ⇒ 「その実践の記録等」欄に記入する内容です。
- ひとつのカテゴリー内のすべての標準項目について確認した後に、「カテゴリー」全体を通じて「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
⇒ 「良いと思う点」
 - 力を入れて取り組んでいること ・工夫して取り組んでいること ・独自に取り組んでいること
 - 自信を持って取り組んでいること ・利用者に知ってもらいたいこと など⇒ 「改善する必要がある点」
 - 改善の必要があると認識していること ・改善計画中のこと
 - 改善に取り組んでいること など

【カテゴリー7】

前年度に行った、事業所の重要課題（サービス提供のプロセスに関するものも含む）に対する組織的な活動を記載します。

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題についての、前年度の目標設定、目標に対する取り組み、取り組みの結果を踏まえた今年度の事業活動への反映事項を記入します。

そして、前年度に事業所の重要課題に対する活動がPDCAサイクルに基づいて行われたかどうか、評価機関が客観的に判断し、①目標の設定と取り組み、②取り組みの検証、③検証結果の反映を評語を用いて評価します。

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目 1-1-1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している [ねらい]・理念・ビジョン、基本方針を達成するためにそれを職員や利用者等の関係者がわかるように周知しているか ・それを職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
2 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
評価項目 1-1-2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている [ねらい]・経営層は、理念等を実現するため、自らの役割と責任を職員にわかりやすく伝えているか ・経営層は、理念等を実現するために、方向性を示しリーダーシップを発揮しているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="checkbox"/>		
2 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="checkbox"/>		
評価項目 1-1-3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している [ねらい]・重要な案件については、組織として決定する手順をあらかじめ定めているか ・職員や利用者等に意思決定過程の透明性を図っているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="checkbox"/>		
2 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="checkbox"/>		
3 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="checkbox"/>		

カテゴリー1 について リーダーシップと意思決定

良いと思う点 	改善する必要があると思う点
-----------------------	------------------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評価項目 2-1-1				
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している				
[ねらい]・利用者や職員の意向、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向、事業所の経営状況などを、様々な機会をとらえて積極的に把握・検討し、対応すべき課題を抽出しているか				
	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="checkbox"/>		
2	事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="checkbox"/>		
3	地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="checkbox"/>		
4	福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="checkbox"/>		
5	事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="checkbox"/>		
6	把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリ2 実践的な計画策定に取り組んでいる

評価項目 2-2-1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している			
[ねらい]・事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた事業計画や予算が策定されているか ・その計画や予算は現場や利用者の意向、地域福祉のニーズや事業所の課題等を踏まえたものとなっているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
2 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
3 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 2-2-2 着実な計画の実行に取り組んでいる			
[ねらい]・策定した計画に基づいて、進捗状況に応じ見直しを行いながら、目標達成に向けて取り組んでいるか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="checkbox"/>		
2 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

カテゴリ2 について 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリ 3 経営における社会的責任

サブカテゴリ 1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目 3-1-1
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる
 [ねらい]・事業所が社会的な役割を果たすために、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを、職員に対して周知・徹底しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
2	全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的を確認している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリ 2 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

評価項目 3-2-1
利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている
 [ねらい]・事業所内外の苦情解決制度や相談窓口を機能させるとともに、様々な機会をとらえて利用者の意向を把握し、組織全体で迅速に対応する体制を整えているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="checkbox"/>		
2	利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="checkbox"/>		

評価項目 3-2-2
虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている
 [ねらい]・虐待の防止と早期発見、早期対応を行う体制を、組織として整えているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="checkbox"/>		
2	虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目 3-3-1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる [ねらい]・地域社会への情報開示などにより透明性を高め、地域社会に開かれた組織となって、地域との関係づくりに取り組んでいるか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
2 ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 3-3-2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている [ねらい]・事業所が有している機能や福祉の専門性を活かしながら、関係機関と連携して地域の一員としての役割を果たすための取り組みを行っているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="checkbox"/>		
2 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="checkbox"/>		
3 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

カテゴリー3 について 経営における社会的責任

良いと思う点 	改善する必要があると思う点
-------------------------------	--------------------------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー4 リスクマネジメント

サブカテゴリー1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

評価項目 4-1-1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる			
[ねらい]・事業所が目指していることの実現を阻害するリスクを洗い出し、必要なリスクマネジメントの対策をとっているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="checkbox"/>		
2 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="checkbox"/>		
3 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="checkbox"/>		
4 リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
5 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評価項目 4-2-1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている			
[ねらい]・事業所に必要な情報を適切に収集、整理した上で、組織的に管理・保護し、活用を図っているか ・事業所で扱っている個人情報の取り扱いについて、規程・体制を整備し、必要な対策を講じているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
2 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="checkbox"/>		
3 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="checkbox"/>		
4 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="checkbox"/>		

カテゴリー4 について リスクマネジメント

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリー5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

評価項目 5-1-1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている [ねらい]・理念・ビジョン、基本方針の実現に必要な人材確保や配置を行っているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="checkbox"/>		
2 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
評価項目 5-1-2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している [ねらい]・事業所として求める人材像を具体的に定め、それに基づくキャリアパスを職員へ周知しているか ・事業所のキャリアパスと事業所の人材育成計画が整合しており、職員のキャリアアップを支援しているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="checkbox"/>		
2 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
評価項目 5-1-3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる [ねらい]・事業所が目指していることの実現に適した人材の育成に向けて、個人の意向、理解度、到達状況、就業状況に合わせ、きめ細かい指導を行っているか ・指導者の支援に取り組んでいるか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="checkbox"/>		
2 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="checkbox"/>		
3 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="checkbox"/>		
4 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 5-1-4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる			
[ねらい]・職員の定着により組織力を発揮するために、事業所として職員の意識を把握して、意欲向上に向けた働きかけを行っているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="checkbox"/>		
2 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
3 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		
4 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー2 組織力の向上に取り組んでいる

評価項目 5-2-1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる			
[ねらい]・組織力の向上に向け、職員一人ひとりの学びや気づきの共有化を図るなど、チーム力を発揮できるようどのように取り組んでいるか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="checkbox"/>		
2 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="checkbox"/>		
3 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="checkbox"/>		

カテゴリー5 について 職員と組織の能力向上

<p>良いと思う点</p> 	<p>改善する必要があると思う点</p>
--------------------------------------	---

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

カテゴリ7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリ1 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目 1

・事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

【課題・目標】

事業所の理念・基本方針の実現を図るための重要課題(事業計画に掲げた事項等)、そしてその課題に対して前年度に設定した目標を記載します。(重要課題の中で、前年度中に達成すべきとしていた短期的な目標を記載する。)

○上記の課題を抽出した理由・背景

【取り組み】

上記の目標を達成するために、前年度に行った具体的な取り組み(体制・期間・内容等)を記載します。

【取り組みの結果】

前年度末までの取り組みの状況や目標達成の度合いを具体的に記載します。

【振り返り(検証)・今後の方向性】

【取り組みの結果】について検証した内容と、どのように今年度の目標設定や取り組みに反映したかを記載します。

評価項目 2

・事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

【課題・目標】

事業所の理念・基本方針の実現を図るための重要課題(事業計画に掲げた事項等)、そしてその課題に対して前年度に設定した目標を記載します。(重要課題の中で、前年度中に達成すべきとしていた短期的な目標を記載する。)

○上記の課題を抽出した理由・背景

【取り組み】

上記の目標を達成するために、前年度に行った具体的な取り組み(体制・期間・内容等)を記載します。

【取り組みの結果】

前年度末までの取り組みの状況や目標達成の度合いを具体的に記載します。

【振り返り(検証)・今後の方向性】

【取り組みの結果】について検証した内容と、どのように今年度の目標設定や取り組みに反映したかを記載します。

事業所の特に良いと思う点 特に改善したいと思う点

特に良いと思う点	特に改善したいと思う点

注)これは「サービス分析シート(カテゴリ6 サービス提供のプロセス)」の評価結果を含めて記述してください。

[令和2年度]

認可保育所

サービス分析シート
(6. サービス提供のプロセス)
【自己評価用】

経営層合議用

作成日 (完成日)	令和	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者 (役職名) (氏名)				

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行
3.経営における社会的責任
4.リスクマネジメント
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.事業所の重要課題に対する組織的な活動

網掛け部がサービス分析シートに該当します

■サービス分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

- 1 評価項目に対する事業所の取り組み状況を確認するために、「標準項目」の実施状況をチェック☑します。
「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、「評価項目」の〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリー」及び「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。
また、各「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等にあたるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 2 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。
 - 1 事業者が当該事項を実施していること
 - 2 その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること ⇒ 「私たちの実践例」欄に記入する内容です。
 - 3 その根拠が示せること ⇒ 「その実践の記録等」欄に記入する内容です。
- 3 標準項目について確認した後に、「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。
 - ・サブカテゴリー1～3及び5、6は、サブカテゴリーごとに記述します。
 - ・サブカテゴリー4「サービスの実施」は、評価項目ごとに記述します。⇒ 「良いと思う点」
 - ・力を入れて取り組んでいること ・工夫して取り組んでいること ・独自に取り組んでいること
 - ・自信を持って取り組んでいること ・利用者に知ってもらいたいこと など⇒ 「改善する必要がある点」
 - ・改善の必要があると認識していること ・改善計画中のこと
 - ・改善に取り組んでいること など

カテゴリー6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1 サービス情報の提供

評価項目 6-1-1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している				
[ねらい] ・サービスを選択するための情報が、利用者に届くように工夫して提供しているか ・パンフレットやホームページ等の存在のみを評価するものではない				
	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="checkbox"/>		
2	利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="checkbox"/>		
3	事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="checkbox"/>		
4	利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー1 サービス情報の提供 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者を知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目 6-2-1
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている
 [ねらい] ・サービス開始時に、保護者の状況に応じたサービス内容の説明をしているか
 ・十分な説明をしたうえで、保護者の意向を確認し、納得を得ているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="checkbox"/>		
2 サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="checkbox"/>		
3 サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-2-2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている
 [ねらい] ・サービス開始時の環境変化による影響を緩和する取り組みをしているか
 ・子どもがサービスを終了する場合、子どもや保護者の不安を軽減するための取り組みをしているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="checkbox"/>		
2 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="checkbox"/>		
3 サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリ 3 個別状況の記録と計画策定

<p>評価項目 6-3-1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面 [ねらい] ・保育をするうえで必要な子ども個人の情報をどのように把握しているか ・子どもの状況に応じたアセスメントの手順や見直しの基準が確立しているか</p>			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="checkbox"/>		
2 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="checkbox"/>		
3 アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="checkbox"/>		
<p>評価項目 6-3-2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している [ねらい] ・全体的な計画や子どもの実態、子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)をどのように取り入れ、指導計画を作成しているか ・個別的な計画を作成するしくみがあり、子どもの状況に応じて作成、見直しをしているか</p>			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="checkbox"/>		
2 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
3 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
4 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="checkbox"/>		
5 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたくえで、必要に応じて見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
<p>評価項目 6-3-3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している [ねらい] ・職員が、子どもの状況の変化等をどのように記録しているか ・具体的な保育内容や子どもの変化等が適切に記録されているか</p>			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="checkbox"/>		
2 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-3-4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している			
[ねらい] ・子どもに関わる情報を職員間でどのように共有化しているか ・日々の子どもの変化等をどのような方で共有化しているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="checkbox"/>		
2 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目 6-4-1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
[ねらい] ・一人ひとりの子どもの発達の過程をどのように把握しているか ・集団での生活の中で子ども一人ひとりを尊重した援助をしているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="checkbox"/>		
2 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="checkbox"/>		
3 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="checkbox"/>		
4 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="checkbox"/>		
5 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="checkbox"/>		
6 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-1 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
[ねらい] ・子どもの生活の連続性に配慮した保育を行っているか ・子どもの状態を保護者と保育所で共有することができるか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="checkbox"/>		
2 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="checkbox"/>		
3 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="checkbox"/>		
4 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-2 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している			
[ねらい] ・子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう、環境や取り組みにどのような工夫をしているか ・教育の5領域に即した取り組みを、子どもの年齢や発達の状態に応じて行っているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="checkbox"/>		
2 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="checkbox"/>		
3 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="checkbox"/>		
4 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="checkbox"/>		
5 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="checkbox"/>		
6 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-3 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

[ねらい] ・子どもが興味を持ち、協力して進められる行事をどのように実施しているか
 ・行事の実施に対する保育所の考え・目的は何か

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="checkbox"/>		
2	みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="checkbox"/>		
3	子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-4 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

[ねらい] ・保育時間の長い子どもがくつろげるような工夫をしているか
 ・保育時間が長くなることにより保育形態や担当職員が変わっても、子どもが楽しく過ごせるようにしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="checkbox"/>		
2	保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-5 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している			
[ねらい] ・年齢等にあった調理方法や食習慣に応じた食事を提供しているか ・食育の推進にむけた取り組みを行っているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="checkbox"/>		
2 メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="checkbox"/>		
3 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="checkbox"/>		
4 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-6 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している			
[ねらい] ・子どもを病気や怪我から守る取り組みを行っているか ・専門機関や保護者との連携をどのように行っているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="checkbox"/>		
2 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="checkbox"/>		
3 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-7 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
--------	---------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

令和2年度 認可保育所版 サービス分析シート(経営層合議用)

評価項目 6-4-8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

- [ねらい] ・保護者の個々の事情に応じた子育て支援を行っているか
 ・園で実施する保育活動に対し、保護者の理解や参加を促しているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="checkbox"/>		
2	保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="checkbox"/>		
3	保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="checkbox"/>		
4	子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>		
5	保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-8 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

- [ねらい] ・子どもの生活の幅を広げる視点から、地域とのかかわりをどのように考えているか
 ・子どもが地域とかかわる機会をどのように設けているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="checkbox"/>		
2	園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="checkbox"/>		

評価項目 6-4-9 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目 6-5-1 子どものプライバシー保護を徹底している [ねらい] ・日常の中で、どのように子どものプライバシーの保護をしているのか ・組織としての規定やしぐみに則って行動しており、属人的な対応になっていないか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得ようとしている	<input type="checkbox"/>		
2 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="checkbox"/>		
評価項目 6-5-2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している [ねらい] ・サービス提供の中で、子どもの権利を擁護し、意思を尊重しているか ・子どもと保護者の価値観等を考慮し、その人らしい生活を尊重しているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="checkbox"/>		
2 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="checkbox"/>		
3 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
---------------	----------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

<p>評価項目 6-6-1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている [ねらい] ・業務の一定水準を確保するための手引書等を整備し、その内容に沿ったサービスを実施しているか ・業務の標準化は、対人援助の単純化や画一化をめざすものではない</p>			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="checkbox"/>		
2 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="checkbox"/>		
3 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="checkbox"/>		
<p>評価項目 6-6-2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている [ねらい] ・業務の標準レベルを見直す仕組みを確立しているか ・よりよいサービスをめざし、職員や保護者等の意見を反映して見直しを行っているか</p>			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="checkbox"/>		
2 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="checkbox"/>		

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化 について

<p>良いと思う点</p>	<p>改善する必要があると思う点</p>
----------------------	-----------------------------

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

〔令和2年度〕

職員用組織マネジメント分析シート

記入の手引き

■組織マネジメント分析シートの構成

この組織マネジメント分析シートは、6つの大きな「カテゴリー（評価の領域）」で構成されています。そして、それぞれのカテゴリーは、さらにサブカテゴリー、評価項目、標準項目（カテゴリー7を除く）と分かれ、より具体的な内容が記述されています。カテゴリー「6. サービス提供のプロセス」は、別紙「職員用サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」で評価するため、このシートは使用しません。

■評価の進め方

【カテゴリー1～5】

- (1) カテゴリー1～5は、それぞれの標準項目について実施されているかどうか職員自己評価項目により評価を行っていただきます。
- (2) それぞれの質問に対し、「**そう思う**」「**そう思わない**」「**わからない**」のうち、あてはまると思うところに○印をつけてください。
自分が直接関わっていない仕事についても、周囲の様子などから判断し、「**そう思う**」・「**そう思わない**」のいずれかに○をつけてください。
見当がつかないという項目については「**わからない**」の欄に○をつけてください。
- (3) 「**事業所（で）は…**」という質問は、事業所の取り組みについて、あてはまるところに○をつけてください。
「**私は…**」という質問は、回答者自身があてはまるところに○をつけてください。

【前年度の取り組みにより、良くなったと思う点(カテゴリー7)】

- (1) 回答シートには、事業所全体として前年度の取り組みにより、良くなったと思う点を記入する欄があります。
これは、評価機関がカテゴリー7の評価を行う際の参考にします。
カテゴリー7においては、事業所の重要課題に対する前年度の目標設定・取り組み・取り組みの結果を踏まえた振り返り、そして、振り返りの内容を今年度以降の目標設定や取り組みにどう活かしているのかを確認します。
なお、この評価については、評価機関が評語を用いた評価を行います。

【特に良いと思う点、特に改善したいと思う点】

- (1) 回答シートには事業所全体として①特に良いと思う点、②特に改善したいと思う点（各3つ以内）を記入する欄があります。
この欄は、「職員用サービス分析シート（6. サービス提供のプロセス）」も終わってから一番最後に記述してください。

■回答シート

- (1) カテゴリー1～5については、この「組織マネジメント分析シート」で、職員自己評価項目の評価を行ったうえで、回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。

※ 回答していただいた内容は、個人の評価や成績をつけるものではなく、事業所の取り組みを評価するために使用します。
ご提出いただいた回答シートは、評価機関以外の者が見ることはありません。

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
1-1-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	1 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ①	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を理解できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1-1-2	経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	1 事業所では、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任を職員に伝えている ①	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、経営層の役割と責任を理解できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所では、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1-1-3	重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	1 事業所では、重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所では、経営層が重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ①	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、経営層から、重要な意思決定に関して、その内容と決定経緯を知らされている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所では、利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

カテゴリー 2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
2-1-1	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	1 事業所は、利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 事業所は、福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5 事業所は、事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		6 事業所は、把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー2 実践的な計画策定に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
2-2-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している	1 事業所は、課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2-2-2	着実な計画の実行に取り組んでいる	1 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

カテゴリー3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
3-1-1	社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる	1	① 事業所は、全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			② 私は、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを理解できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	① 事業所は、全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			② 私は、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを遵守している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー2 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
3-2-1	利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている	1 事業所は、苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		2 事業所には、利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
3-2-2	虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている	1 事業所は、利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		2 事業所は、虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

サブカテゴリー3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
3-3-1	透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる	1	事業所は、透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	事業所は、ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている	1	事業所は、地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	事業所は、事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	事業所は、地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

カテゴリー4 リスクマネジメント

サブカテゴリー1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる	1 事業所は、事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 ① 事業所は、リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、リスクに対する必要な対策や事業継続計画について理解できており、自分の役割に応じて対応できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 事業所は、事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

サブカテゴリー2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
4-2-1	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	1 ① 事業所は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを理解し遵守している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 事業所は、事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

カテゴリ-5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ-1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
5-1-1	事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている	1 事業所は、事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5-1-2	事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している	1 事業所では、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 ① 私は、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)を理解できている ② 事業所は、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる	1 ① 事業所は、勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している ② 私には、事業所から様々な研修等の機会が与えられている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 ① 事業所は、職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している ② 私の育成(研修)計画は、私の意向や経験等に基づいて策定されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 ① 事業所は、職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している ② 私の育成(研修)計画には、事業所が私の育成の成果を確認した内容が反映されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 事業所では、指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

令和2年度 組織マネジメント分析シート(職員用)

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる	1 事業所は、事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 事業所は、就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 ① 事業所は、職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私はこの事業所の仕事について、意欲と働きがいを持つことができている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4 ① 事業所は、職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
② 私の職場では、良好な人間関係が構築されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

サブカテゴリー2 組織力の向上に取り組んでいる

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)		
			そう思う	そう思わない	わからない
5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	1 ① 事業所は、職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私が学んだ研修内容は、レポートや発表等で報告し、職員間で共有化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2 ① 事業所は、職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		② 私の日頃の気づきや工夫について、他の職員と互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす機会がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3 事業所は、目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**事業所が行った前年度の取り組みにより良くなったと思う点
(カテゴリー7 事業所の重要課題に対する組織的な活動)**

○カテゴリー7は、カテゴリー1～6と評価方法が異なり、前年度の事業所による組織的な活動を評価します。

このカテゴリーでの評価は、事業所が行った前年度の取り組みにより、良くなったと思う点を記入して頂き、それに基づいて評価機関が評価を行います。

→ こちらは「職員用 回答シート」にご記入ください。

貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点

○上記について3つ以内でご自由にお答え下さい。

(組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体としてご記入下さい。)

→ こちらは「職員用 回答シート」にご記入ください。

職員用：回答シート

○ 組織マネジメント分析シート(カテゴリー1～5) (あてはまるもの一つに"○"をつけてください)

NO.		そう思う	そう思わない	わからない
1-1-1	1-①			
	1-②			
	2			
1-1-2	1-①			
	1-②			
	2			
1-1-3	1			
	2-①			
	2-②			
	3			
2-1-1	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
2-2-1	1			
	2			
	3			
2-2-2	1			
	2			

NO.		そう思う	そう思わない	わからない
3-1-1	1-①			
	1-②			
	2-①			
	2-②			
3-2-1	1			
	2			
3-2-2	1			
	2			
3-3-1	1			
	2			
3-3-2	1			
	2			
	3			
4-1-1	1			
	2			
	3			
	4-①			
	4-②			
	5			
4-2-1	1-①			
	1-②			
	2			
	3			
	4			

NO.		そう思う	そう思わない	わからない
5-1-1	1			
	2			
5-1-2	1-①			
	1-②			
	2			
	1-①			
5-1-3	1-②			
	2-①			
	2-②			
	3-①			
	3-②			
	4			
5-1-4	1			
	2			
	3-①			
	3-②			
	4-①			
	4-②			
5-2-1	1-①			
	1-②			
	2-①			
	2-②			
	3			

○ 事業所が行った前年度の取り組みにより、良くなったと思う点をご記入ください。

(カテゴリー7 事業所の重要課題に対する組織的な活動)

--

○ 貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点を、それぞれ3つ以内でご自由にお答え下さい。

(組織マネジメント分析シート・サービス分析シートの記入を終えてから、事業所全体についてご記入下さい。)

特に良いと思う点 (組織マネジメント分析シート・サービス分析シートをあわせてご記入下さい。)	特に改善したいと思う点 (組織マネジメント分析シート・サービス分析シートをあわせてご記入下さい。)

〔令和2年度〕

認可保育所

職員用サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)

記入の手引き

■サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)の構成

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、
カテゴリー6「サービス提供のプロセス」を評価するためのものです。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、6つのサブカテゴリーに
分かれています。
そして各サブカテゴリーはさらに評価項目、標準項目と分かれており、よりサービスの具
体的な内容が記述されています。

■評価の進め方

- (1) それぞれの標準項目について、実施されているかどうか職員自己評価項目により
評価を行っていただきます。
- (2) それぞれの質問に対し、「**そう思う**」「**そう思わない**」「**わからない**」のうち、あてはま
るところに○印をつけてください。
自分が直接関わっていない仕事についても、周囲の様子などから判断し、「**そう思う**」・
「**そう思わない**」のいずれかに○をつけてください。
見当がつかないという項目については「**わからない**」の欄に○をつけてください。

■回答シート

- (1) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」で評価したうえで、
回答シートに転記し、回答シートのみ提出してください。
- (2) この「サービス分析シート(6. サービス提供のプロセス)」は、日常の業務点検などに
活用していただければ幸いです。

※ 回答していただいた内容は、個人の評価や成績をつけるものではなく、事業所の取り組みを
評価するために使用します。
ご提出いただいた回答シートは、評価機関以外の者が見ることはありません。

カテゴリー6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1 サービス情報の提供

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)			
			そう思う	そう思わない	わからない	
6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	1	利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目		職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)			
			そう思う	そう思わない	わからない	
6-2-1	サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	1	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている	1	サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
6-3-1	定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	1	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-3-2	全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している	1	指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5	指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-3-3	子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	1	子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	1	指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目		職員自己評価項目		評価(3段階のうちどれか1つに○)		
				そう思う	そう思わない	わからない
6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	1	発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5	発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		6	【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-4-2	子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	1	登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している	1	子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4	子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		5	戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		6	生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

令和2年度 認可保育所版 サービス分析シート(職員用)

6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している	1	行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2	みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		3	子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6-4-5	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている	1	保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2	保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している	1	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2	メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		3	子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		4	食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるよう援助している	1	子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2	医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		3	保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている	1	保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2	保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		3	保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		4	子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		5	保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和2年度 認可保育所版 サービス分析シート(職員用)

6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	1	地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目	職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)				
		そう思う	そう思わない	わからない		
6-5-1	子どものプライバシー保護を徹底している	1	子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-5-2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している	1	日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

評価項目	職員自己評価項目	評価(3段階のうちどれか1つに○)				
		そう思う	そう思わない	わからない		
6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	1	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3	職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	1	提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

令和 2 年度
保育園サービス第三者評価事業
報告書

登録印刷物番号
02-0070

令和 3 年 3 月発行

編集・発行

杉並区こども家庭部保育課

〒166-8570 東京都杉並区阿佐ヶ谷南一丁目 15 番 1 号

電話 (03) 3312-2111 (代表)

調査・評価機関

株式会社日本生活介護

(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号 02-015)

〒176-0001 東京都練馬区練馬 1-20-2

電話 (03) 3991-8440

☆杉並区のホームページでご覧になれます。 <https://www.city.suginami.tokyo.jp>

